

藤沢市
高齢者の保健・福祉に関する
調査報告書

令和5年3月

藤沢市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	1
2. 調査の対象者及び調査方法等	1
3. 回収結果	1
4. 調査項目	1
5. 調査結果を見る上での注意事項	2
第2章 調査結果の詳細	3
1. 基本属性	5
(1) 回答者の属性	5
2. 住まいの状況について	14
(1) 住居状況	14
(2) 住まいについて困っていること	17
(3) 要介護認定を受けた時の生活についての希望	21
(4) 住み慣れたご自宅で暮らし続けるために必要なこと	25
3. 健康状態について	27
(1) 主体的健康観	27
(2) かかりつけ医等の有無	37
(3) 服用薬の種類	38
(4) 食事を食べる時の状況	41
4. 外出等の状況について	43
(1) 家の中での移動状況	43
(2) 外出頻度	46
(3) 外出時の移動手段	50
(4) 外出しない理由	53
(5) 外出しない日に過ごす相手	56
5. 買い物の状況について	58
(1) 買い物で不便に感じること	58
(2) 買い物で不便を感じる理由	62
(3) 買い物で必要とする(希望する)支援やサービス	65
6. 同居の家族以外のお付き合いの状況について	68
(1) 同居の家族以外で付き合いや連絡を取り合う人の有無	68

(2) 近隣や地域の方と付き合う機会	71
(3) 付き合いがない理由	74
7. 生きがい・楽しみについて	76
(1) 充実感や生きがいを感じる事	76
(2) 生きがいづくり・社会参加に必要な支援	82
8. 情報通信機器・ICTの利用状況	86
(1) 情報の入手媒体	86
(2) 情報通信機器の利用状況	89
9. 就労の状況について	92
(1) 現在の就労状況	92
(2) 仕事をしている（または探している）理由	95
(3) 今後の働き方	98
(4) 今後の就労形態の希望	101
(5) 就労するうえで重視すること	104
10. 地域で参加している活動について	107
(1) 地域で参加している活動の有無	107
(2) 地域で参加している活動	110
(3) 地域の活動に参加した理由	112
(4) 今後、地域で参加したい活動	115
(5) 地域の活動に参加する上で支障となることや問題点	118
(6) 手助けできること	121
11. 普段の生活の中での不安や心配ごとについて	124
(1) 現在のお住まいで生活を続けていく上で、あれば助かる地域の手助け	124
(2) 家事援助の具体的な内容	127
(3) 移動支援の具体的な内容	129
(4) 入浴についての具体的な内容	132
(5) 運転免許証の自主返納について	136
(6) 自主返納を考えた理由	141
(7) 自主返納をためらう理由	143
12. 相談先について	145
(1) 健康や福祉、介護のことなどで困った時の相談先	145
(2) 地域包括支援センターの認知度	148
(3) 地域包括支援センターを知ったきっかけ	151
(4) 地域包括支援センターの利用満足度	154

13. 認知症について	157
(1) 認知症になった場合の暮らし方	157
(2) ご自身またはご家族が認知症になった場合、不安に感じること	160
(3) 市が重点を置くべき認知症施策	163
14. 人生最期のとき（終活）について	166
(1) ご自身の人生最期のとき（終活）について家族との共有状況	166
(2) ご自身の人生最期を迎えたい場所	168
15. 権利擁護について	170
(1) 判断能力が不安になったときに利用したい支援やサービス	170
(2) 成年後見人の希望	173
(3) 「ふじさわ あんしんセンター」の認知度	176
16. 65歳からの健康づくり事業(介護予防事業)等について	179
(1) 介護予防実施の場の参加経験	179
(2) 参加したことのある介護予防に関する講座や講演会、事業	182
(3) 介護予防に関して、力を入れてほしいこと	185
(4) 普段の介護予防の取り組み状況	188
(5) 介護予防の具体的な取り組み	191
(6) 介護予防に取り組むことになった主なきっかけ	194
17. 介護予防・日常生活支援総合事業について	197
(1) 交流できる通いの場として通いたいもの	197
(2) 自宅から通いの場へ通うことができるか	200
(3) 通いの場への移動時間・移動手段の希望	203
(4) ご自身で通いの場へ通えない理由	208
(5) 通いの場に通うための支援	211
18. 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券について	213
(1) 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券の利用状況	213
(2) 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券の利用目的	215
(3) 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券利用による健康維持や 介護予防効果の実感	217
(4) 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券を利用していない理由	219
(5) 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券の利用希望	221
(6) 利用助成を希望する施設の内容	223
19. 高齢者に対する施策(サービスや事業など)について	225
(1) 高齢者に対する施策(サービスや事業など)に関する情報の入手方法	225

(2) 今後優先すべき施策（サービスや事業など）	228
(3) 高齢者に対するサービスの利用者負担について	231
20. 今後の高齢者保健福祉施策に対するご意見	234
第3章 調査票	255

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本市の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画である「いきいき長寿プランふじさわ2023～藤沢市高齢者保健福祉計画・第8期藤沢市介護保険事業計画～」について、見直しを行い、新たな計画を策定するにあたり、本市の高齢者の生活実態や意識・意向、課題等を把握し、施策の計画的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的に実施した。

2. 調査の対象者及び調査方法等

調査地域	藤沢市全域
調査対象	市内在住の65歳以上(令和4年10月1日現在)で、介護保険の要介護・要支援の認定を受けていない方
対象者数	4,000人
抽出法	住民基本台帳に基づく無作為抽出
調査方法	郵送によるアンケート調査(お礼兼督促ハガキ1回)
調査期間	令和4年11月24日(木)～12月9日(金)

3. 回収結果

対象者数	4,000
有効回収数	2,816(Web回答は268)
有効回収率	70.4%

4. 調査項目

<ul style="list-style-type: none"> ○回答者の属性(性・年齢・居住地域 など) ○お住まいの状況について ○健康状態について ○外出等の状況について ○買い物の状況について ○同居の家族以外のお付き合いの状況について ○生きがい・楽しみについて ○情報通信機器・ICTの利用状況 ○就労の状況について ○地域で参加している活動について ○普段の生活の中での不安や心配ごとについて 	<ul style="list-style-type: none"> ○相談先について ○認知症について ○人生最期の時(終活)について ○権利擁護について ○65歳からの健康づくり事業(介護予防事業)等について ○介護予防・日常生活支援総合事業について ○高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券について ○高齢者に対する施策(サービスや事業など)について 等
---	---

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・表、グラフ中の「n」は、各設問に対する「回答者数（調査数）」を示している。
- ・百分率（%）の計算は、「n」を分母とし、小数第2位を四捨五入して表示している。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフ中は、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。

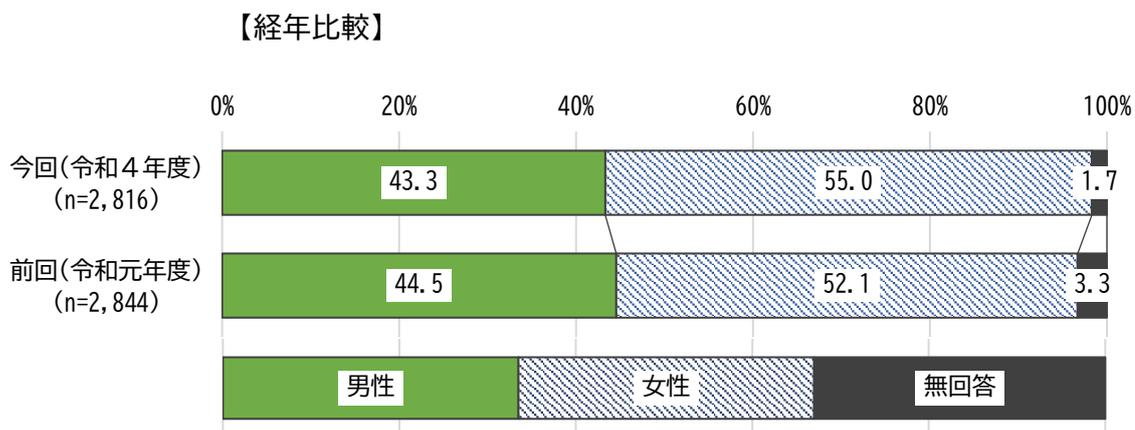
第2章 調査結果の詳細

1. 基本属性

(1) 回答者の属性

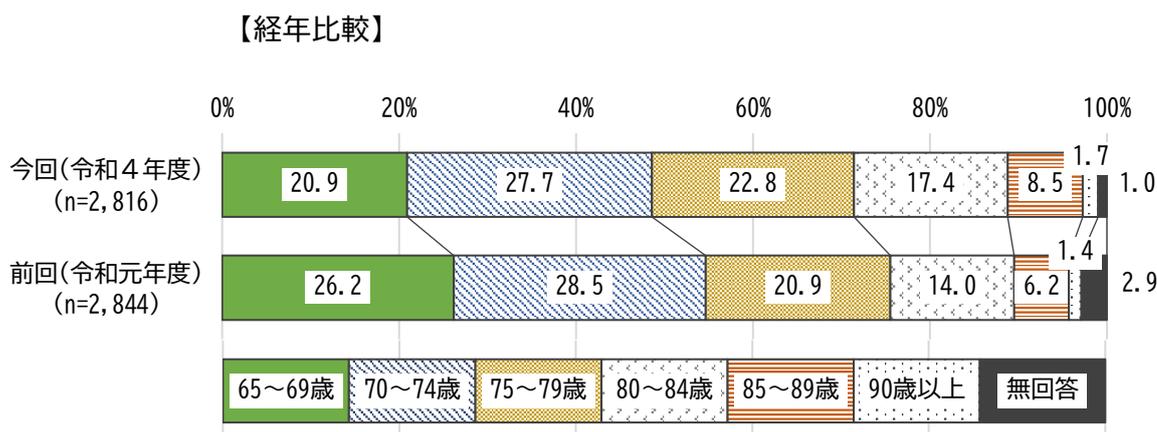
①対象者(本人)の性別(問1)

性別構成は、女性 55.0%、男性 43.3%となっています。



②対象者(本人)の年齢(問2)

年齢構成は、前期高齢者(65~74歳)は48.6%、後期高齢者(75歳以上)は50.4%となっています。また85歳以上は10.2%となっています。

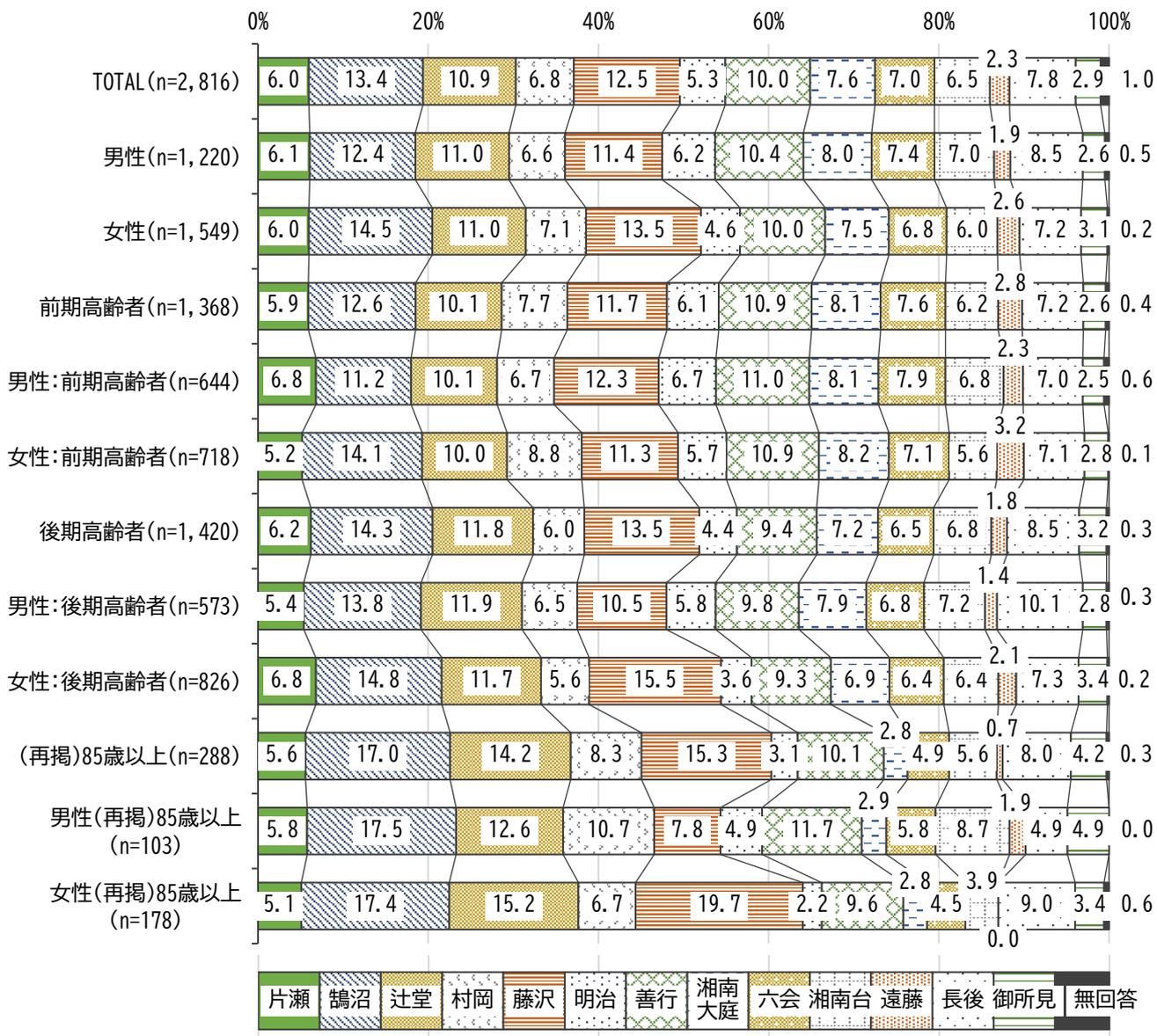


第2章 調査結果の詳細

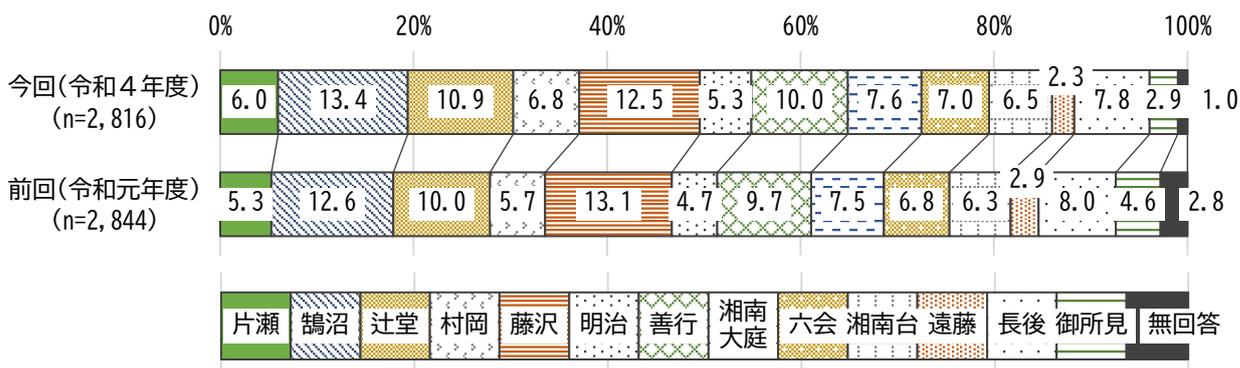
③対象者（本人）の居住地域（問3）

居住地域については、「鵜沼」地域が13.4%で最も高く、次いで「藤沢」地域が12.5%、「辻堂」地域が10.9%の順となっています。

【基本属性別（%）】



【経年比較】



【基本属性別（人数・％）】

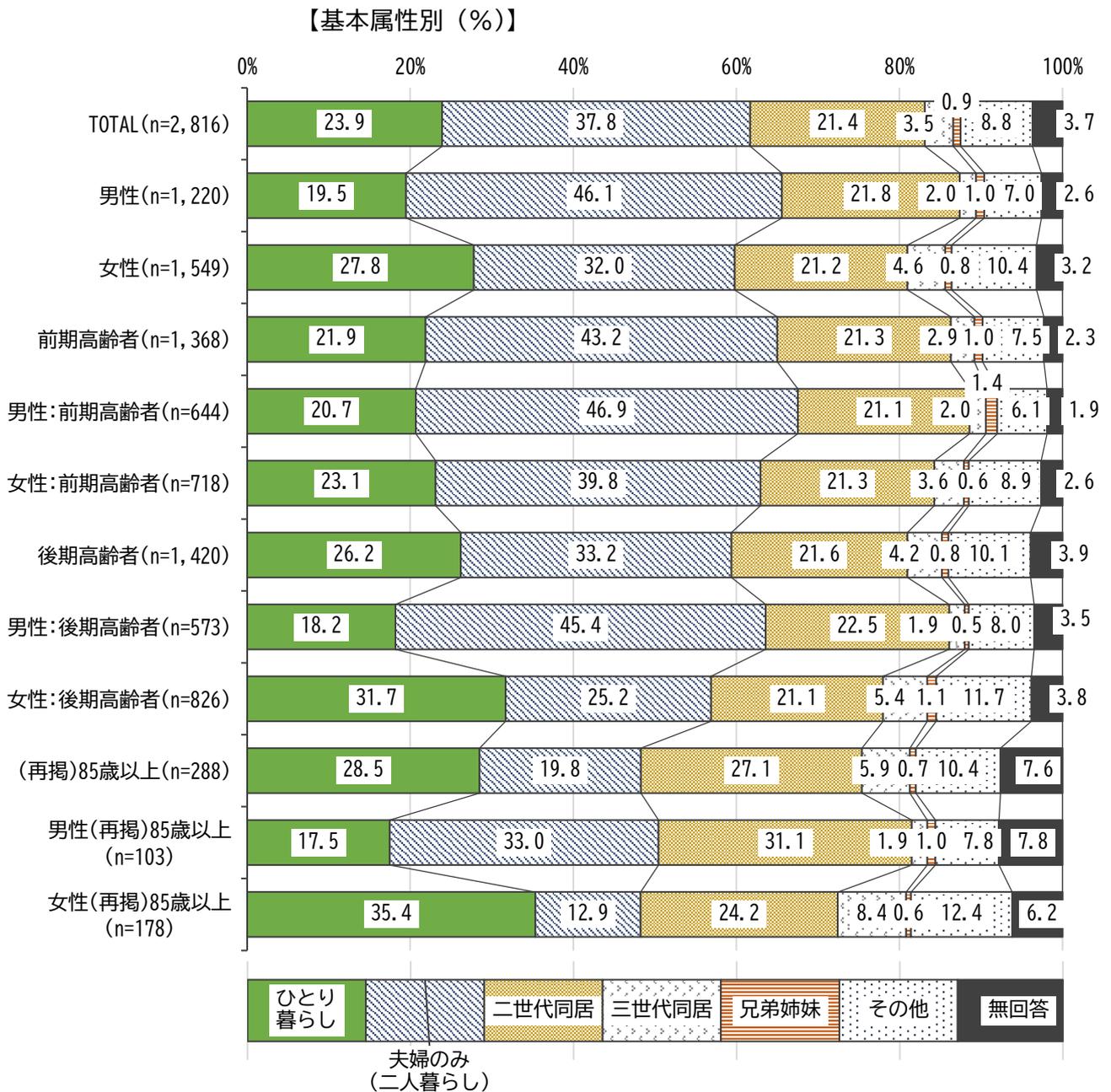
	n=	片瀬	鵜沼	辻堂	村岡	藤沢	明治	善行	湘南大庭	六会	湘南台	遠藤	長後	御所見	無回答
TOTAL	2,816 100.0	169 6.0	377 13.4	308 10.9	192 6.8	352 12.5	148 5.3	283 10.0	213 7.6	197 7.0	183 6.5	64 2.3	220 7.8	82 2.9	28 1.0
男性	1,220 100.0	75 6.1	151 12.4	134 11.0	80 6.6	139 11.4	76 6.2	127 10.4	97 8.0	90 7.4	86 7.0	23 1.9	104 8.5	32 2.6	6 0.5
女性	1,549 100.0	93 6.0	224 14.5	170 11.0	110 7.1	209 13.5	71 4.6	155 10.0	116 7.5	105 6.8	93 6.0	40 2.6	112 7.2	48 3.1	3 0.2
前期高齢者	1,368 100.0	81 5.9	173 12.6	138 10.1	106 7.7	160 11.7	84 6.1	149 10.9	111 8.1	104 7.6	85 6.2	38 2.8	98 7.2	36 2.6	5 0.4
男性 前期高齢者	644 100.0	44 6.8	72 11.2	65 10.1	43 6.7	79 12.3	43 6.7	71 11.0	52 8.1	51 7.9	44 6.8	15 2.3	45 7.0	16 2.5	4 0.6
女性 前期高齢者	718 100.0	37 5.2	101 14.1	72 10.0	63 8.8	81 11.3	41 5.7	78 10.9	59 8.2	51 7.1	40 5.6	23 3.2	51 7.1	20 2.8	1 0.1
後期高齢者	1,420 100.0	88 6.2	203 14.3	168 11.8	85 6.0	192 13.5	63 4.4	134 9.4	102 7.2	92 6.5	97 6.8	26 1.8	120 8.5	46 3.2	4 0.3
男性 後期高齢者	573 100.0	31 5.4	79 13.8	68 11.9	37 6.5	60 10.5	33 5.8	56 9.8	45 7.9	39 6.8	41 7.2	8 1.4	58 10.1	16 2.8	2 0.3
女性 後期高齢者	826 100.0	56 6.8	122 14.8	97 11.7	46 5.6	128 15.5	30 3.6	77 9.3	57 6.9	53 6.4	53 6.4	17 2.1	60 7.3	28 3.4	2 0.2
(再掲)85歳以上	288 100.0	16 5.6	49 17.0	41 14.2	24 8.3	44 15.3	9 3.1	29 10.1	8 2.8	14 4.9	16 5.6	2 0.7	23 8.0	12 4.2	1 0.3
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	6 5.8	18 17.5	13 12.6	11 10.7	8 7.8	5 4.9	12 11.7	3 2.9	6 5.8	9 8.7	2 1.9	5 4.9	5 4.9	0 0.0
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	9 5.1	31 17.4	27 15.2	12 6.7	35 19.7	4 2.2	17 9.6	5 2.8	8 4.5	7 3.9	0 0.0	16 9.0	6 3.4	1 0.6

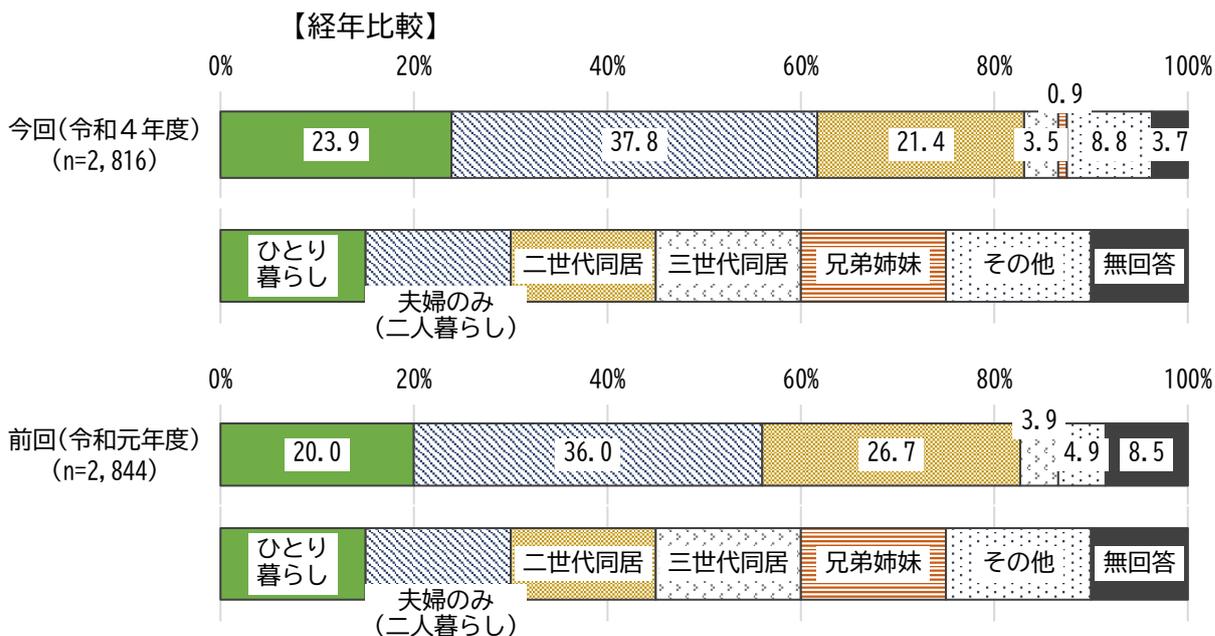
④対象者（本人）の家族構成（問4）

家族構成については、「夫婦のみ(二人暮らし)」が 37.8%で最も高く、次いで「ひとり暮らし」が 23.9%、「二世世代同居」が 21.4%の順となっています。

性別でみると、男女ともに「夫婦のみ(二人暮らし)」が全体の割合に対して高くなっていますが、女性の「ひとり暮らし」が男性より高くなっています。

年齢別にみると、「85歳以上」では「ひとり暮らし」が全体の割合に対して高くなっています。





【基本属性別（人数・％）】

	n=	ひとり暮らし	夫婦のみ(二人暮らし)	二世帯同居	三世帯同居	兄弟姉妹	その他	無回答
TOTAL	2,816	674	1,065	602	98	25	247	105
	100.0	23.9	37.8	21.4	3.5	0.9	8.8	3.7
男性	1,220	238	562	266	24	12	86	32
	100.0	19.5	46.1	21.8	2.0	1.0	7.0	2.6
女性	1,549	430	496	328	71	13	161	50
	100.0	27.8	32.0	21.2	4.6	0.8	10.4	3.2
前期高齢者	1,368	299	591	292	39	13	103	31
	100.0	21.9	43.2	21.3	2.9	1.0	7.5	2.3
男性 前期高齢者	644	133	302	136	13	9	39	12
	100.0	20.7	46.9	21.1	2.0	1.4	6.1	1.9
女性 前期高齢者	718	166	286	153	26	4	64	19
	100.0	23.1	39.8	21.3	3.6	0.6	8.9	2.6
後期高齢者	1,420	372	472	307	59	12	143	55
	100.0	26.2	33.2	21.6	4.2	0.8	10.1	3.9
男性 後期高齢者	573	104	260	129	11	3	46	20
	100.0	18.2	45.4	22.5	1.9	0.5	8.0	3.5
女性 後期高齢者	826	262	208	174	45	9	97	31
	100.0	31.7	25.2	21.1	5.4	1.1	11.7	3.8
(再掲)85歳以上	288	82	57	78	17	2	30	22
	100.0	28.5	19.8	27.1	5.9	0.7	10.4	7.6
男性(再掲)85歳以上	103	18	34	32	2	1	8	8
	100.0	17.5	33.0	31.1	1.9	1.0	7.8	7.8
女性(再掲)85歳以上	178	63	23	43	15	1	22	11
	100.0	35.4	12.9	24.2	8.4	0.6	12.4	6.2

上段：人数
下段：％

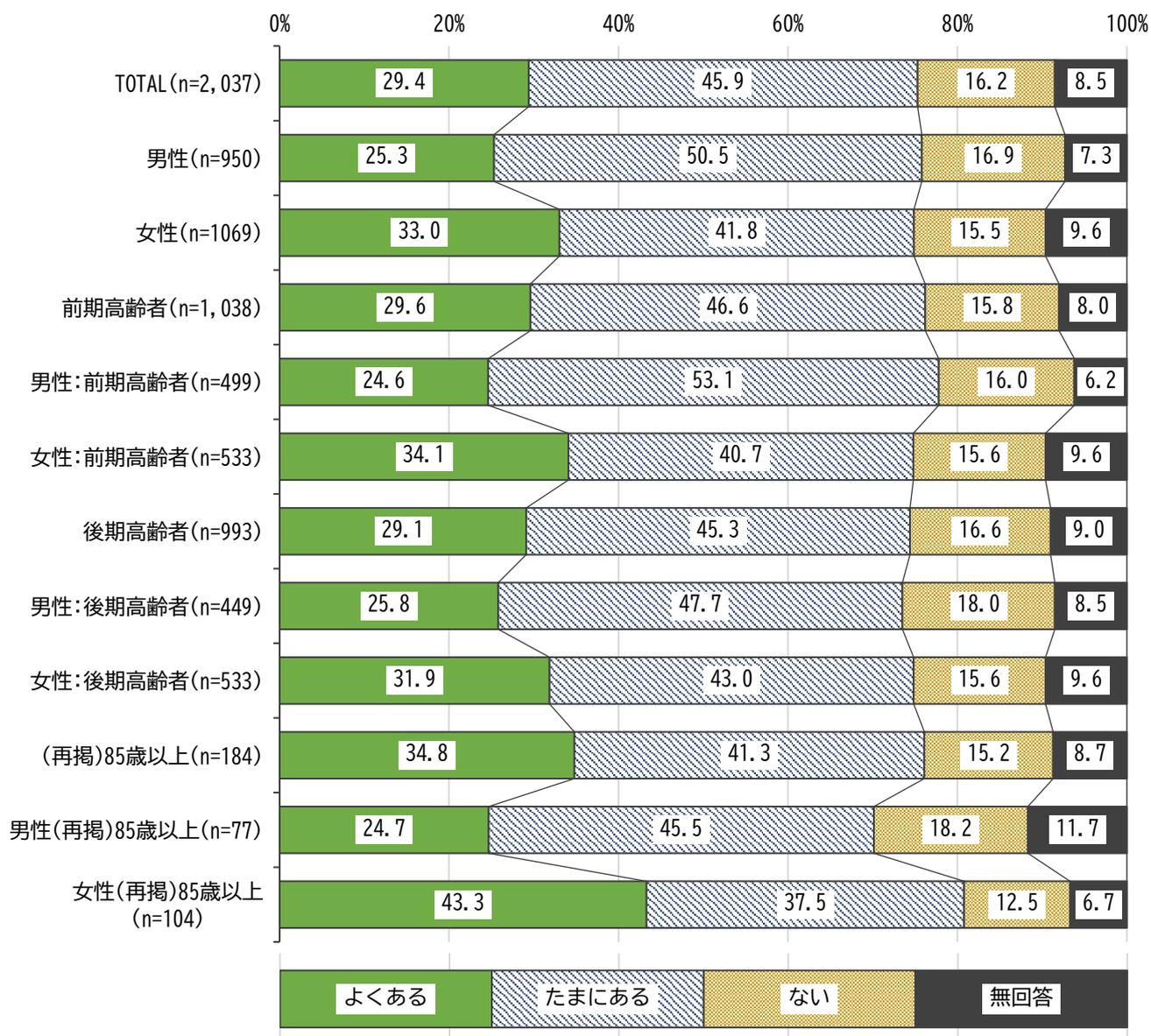
第2章 調査結果の詳細

④-1 対象者（本人）の家族構成が「ひとり暮らし」ではない方（問4で「2」～「6」のいずれかを回答）の日中独居の状況（問4-1）

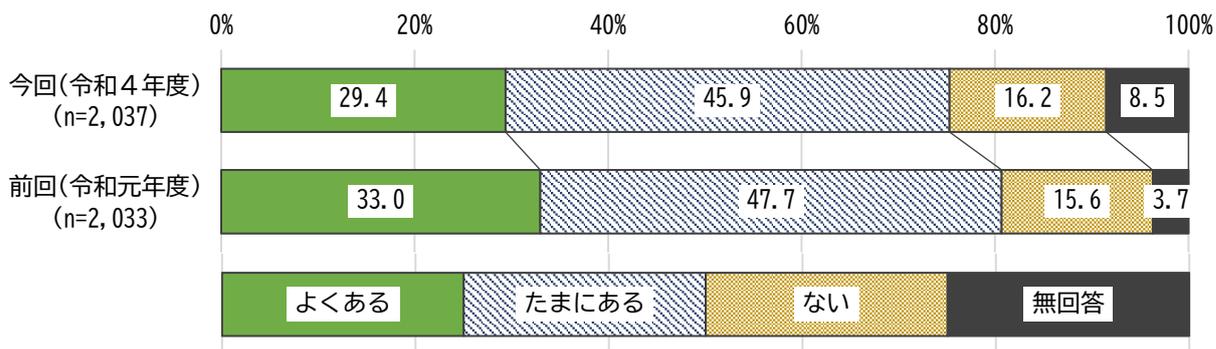
ひとり暮らし以外の方で、日中、一人になる状況については、「たまにある」（45.9%）、「よくある」（29.4%）を合わせて、75.3%が『（日中、一人になることが）ある』となっています。

性別にみると、男女ともに「たまにある」が全体の割合に対して高くなっています。

【基本属性別（%）】



【経年比較】

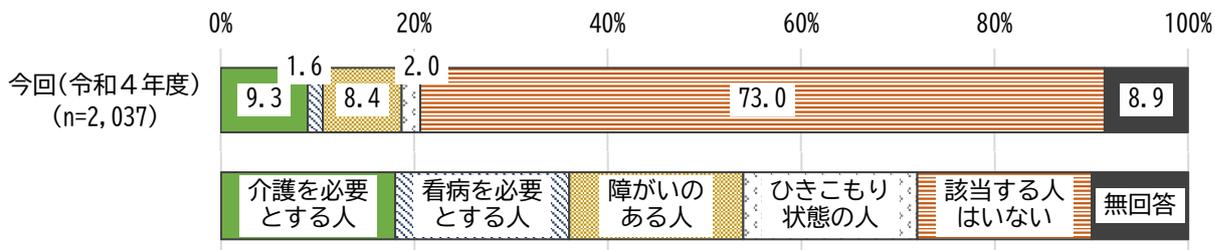


【基本属性別（人数・％）】

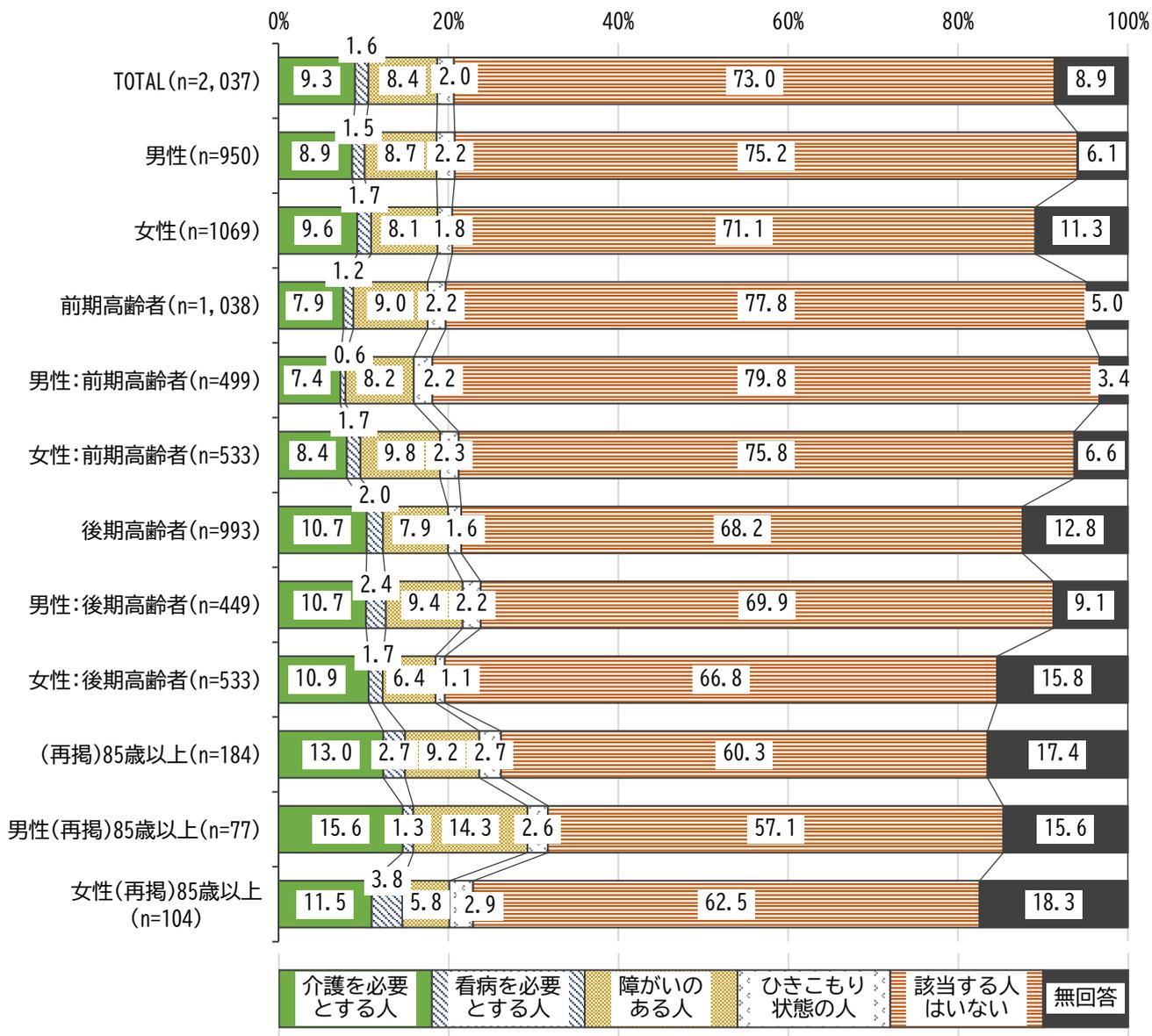
	n=	よくある	たまにある	ない	無回答	上段：人数 下段：％
TOTAL	2,037	598	936	330	173	
		100.0	29.4	45.9	16.2	8.5
男性	950	240	480	161	69	
		100.0	25.3	50.5	16.9	7.3
女性	1,069	353	447	166	103	
		100.0	33.0	41.8	15.5	9.6
前期高齢者	1,038	307	484	164	83	
		100.0	29.6	46.6	15.8	8.0
男性 前期高齢者	499	123	265	80	31	
		100.0	24.6	53.1	16.0	6.2
女性 前期高齢者	533	182	217	83	51	
		100.0	34.1	40.7	15.6	9.6
後期高齢者	993	289	450	165	89	
		100.0	29.1	45.3	16.6	9.0
男性 後期高齢者	449	116	214	81	38	
		100.0	25.8	47.7	18.0	8.5
女性 後期高齢者	533	170	229	83	51	
		100.0	31.9	43.0	15.6	9.6
(再掲)85歳以上	184	64	76	28	16	
		100.0	34.8	41.3	15.2	8.7
男性(再掲)85歳以上	77	19	35	14	9	
		100.0	24.7	45.5	18.2	11.7
女性(再掲)85歳以上	104	45	39	13	7	
		100.0	43.3	37.5	12.5	6.7

④-2 対象者（本人）の家族構成が「ひとり暮らし」ではない方（問4で「2」～「6」のいずれかを回答）の同居家族の状況（問4-2）

「ひとり暮らし」ではない方（問4で「2」～「6」のいずれかを回答）の、何らかの支援を要する人との同居の有無については、「該当する人はいない」が73.0%で最も高くなっています。「介護を必要とする人」（9.3%）、「障がいのある人」（8.4%）がそれぞれ1割未満となっています。



【基本属性別 (%)】



【基本属性別（人数・％）】

	n=	介護を必要とする人	看病を必要とする人	障がいのある人	ひきこもり状態の人	該当する人はいない	無回答
TOTAL	2,037 100.0	189 9.3	32 1.6	172 8.4	40 2.0	1,487 73.0	181 8.9
男性	950 100.0	85 8.9	14 1.5	83 8.7	21 2.2	714 75.2	58 6.1
女性	1,069 100.0	103 9.6	18 1.7	87 8.1	19 1.8	760 71.1	121 11.3
前期高齢者	1,038 100.0	82 7.9	12 1.2	93 9.0	23 2.2	808 77.8	52 5.0
男性 前期高齢者	499 100.0	37 7.4	3 0.6	41 8.2	11 2.2	398 79.8	17 3.4
女性 前期高齢者	533 100.0	45 8.4	9 1.7	52 9.8	12 2.3	404 75.8	35 6.6
後期高齢者	993 100.0	106 10.7	20 2.0	78 7.9	16 1.6	677 68.2	127 12.8
男性 後期高齢者	449 100.0	48 10.7	11 2.4	42 9.4	10 2.2	314 69.9	41 9.1
女性 後期高齢者	533 100.0	58 10.9	9 1.7	34 6.4	6 1.1	356 66.8	84 15.8
(再掲)85歳以上	184 100.0	24 13.0	5 2.7	17 9.2	5 2.7	111 60.3	32 17.4
男性(再掲)85歳以上	77 100.0	12 15.6	1 1.3	11 14.3	2 2.6	44 57.1	12 15.6
女性(再掲)85歳以上	104 100.0	12 11.5	4 3.8	6 5.8	3 2.9	65 62.5	19 18.3

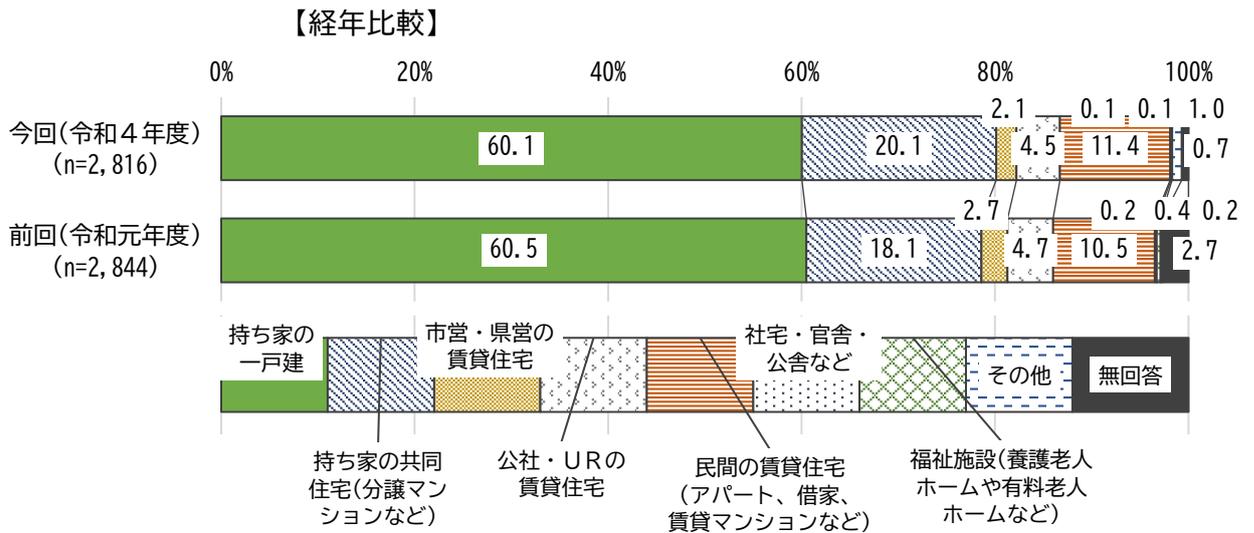
上段：人数
下段：％

2. 住まいの状況について

(1) 住居状況

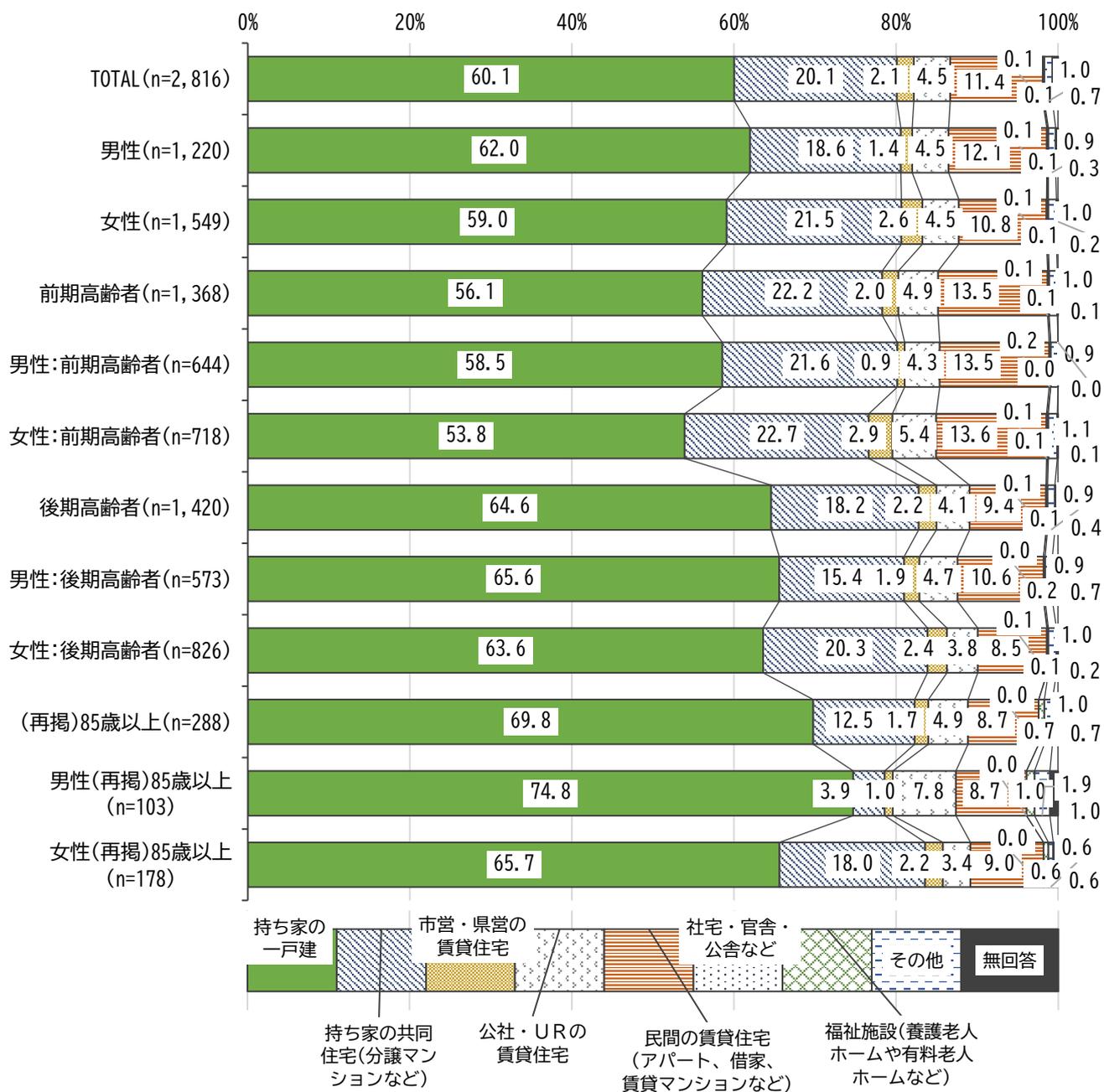
問5 どのような住宅にお住まいですか。(1つに○)

住居形態については、「持ち家の一戸建」が60.1%で最も高く、次いで「持ち家の共同住宅(分譲マンションなど)」(20.1%)、「民間の賃貸住宅(アパート、借家、賃貸マンションなど)」(11.4%)の順となっています。



性別・年齢別にみると、男女ともに前期高齢者より後期高齢者で「持ち家の一戸建て」の割合が多くなっています。

【基本属性別 (%)】



第2章 調査結果の詳細

【基本属性別（人数・％）】

	n=									
	持ち家の 一戸建	持ち家の共同住宅 (分譲マンションなど)	市営・ 県営の 賃貸住宅	公社・ URの 賃貸住宅	民間の 賃貸住宅 (アパート、 借家、 賃貸マン ションな ど)	社宅・ 官舎・ 公舎な ど	福祉施 設(養 護老人 ホーム など)	その他	無 回 答	
TOTAL	2,816 100.0	1,693 60.1	566 20.1	58 2.1	126 4.5	320 11.4	3 0.1	3 0.1	27 1.0	20 0.7
男性	1,220 100.0	756 62.0	227 18.6	17 1.4	55 4.5	148 12.1	1 0.1	1 0.1	11 0.9	4 0.3
女性	1,549 100.0	914 59.0	333 21.5	41 2.6	70 4.5	168 10.8	2 0.1	2 0.1	16 1.0	3 0.2
前期高齢者	1,368 100.0	767 56.1	304 22.2	27 2.0	67 4.9	185 13.5	2 0.1	1 0.1	14 1.0	1 0.1
男性 前期高齢者	644 100.0	377 58.5	139 21.6	6 0.9	28 4.3	87 13.5	1 0.2	0 0.0	6 0.9	0 0.0
女性 前期高齢者	718 100.0	386 53.8	163 22.7	21 2.9	39 5.4	98 13.6	1 0.1	1 0.1	8 1.1	1 0.1
後期高齢者	1,420 100.0	917 64.6	258 18.2	31 2.2	58 4.1	134 9.4	1 0.1	2 0.1	13 0.9	6 0.4
男性 後期高齢者	573 100.0	376 65.6	88 15.4	11 1.9	27 4.7	61 10.6	0 0.0	1 0.2	5 0.9	4 0.7
女性 後期高齢者	826 100.0	525 63.6	168 20.3	20 2.4	31 3.8	70 8.5	1 0.1	1 0.1	8 1.0	2 0.2
(再掲)85歳以上	288 100.0	201 69.8	36 12.5	5 1.7	14 4.9	25 8.7	0 0.0	2 0.7	3 1.0	2 0.7
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	77 74.8	4 3.9	1 1.0	8 7.8	9 8.7	0 0.0	1 1.0	2 1.9	1 1.0
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	117 65.7	32 18.0	4 2.2	6 3.4	16 9.0	0 0.0	1 0.6	1 0.6	1 0.6

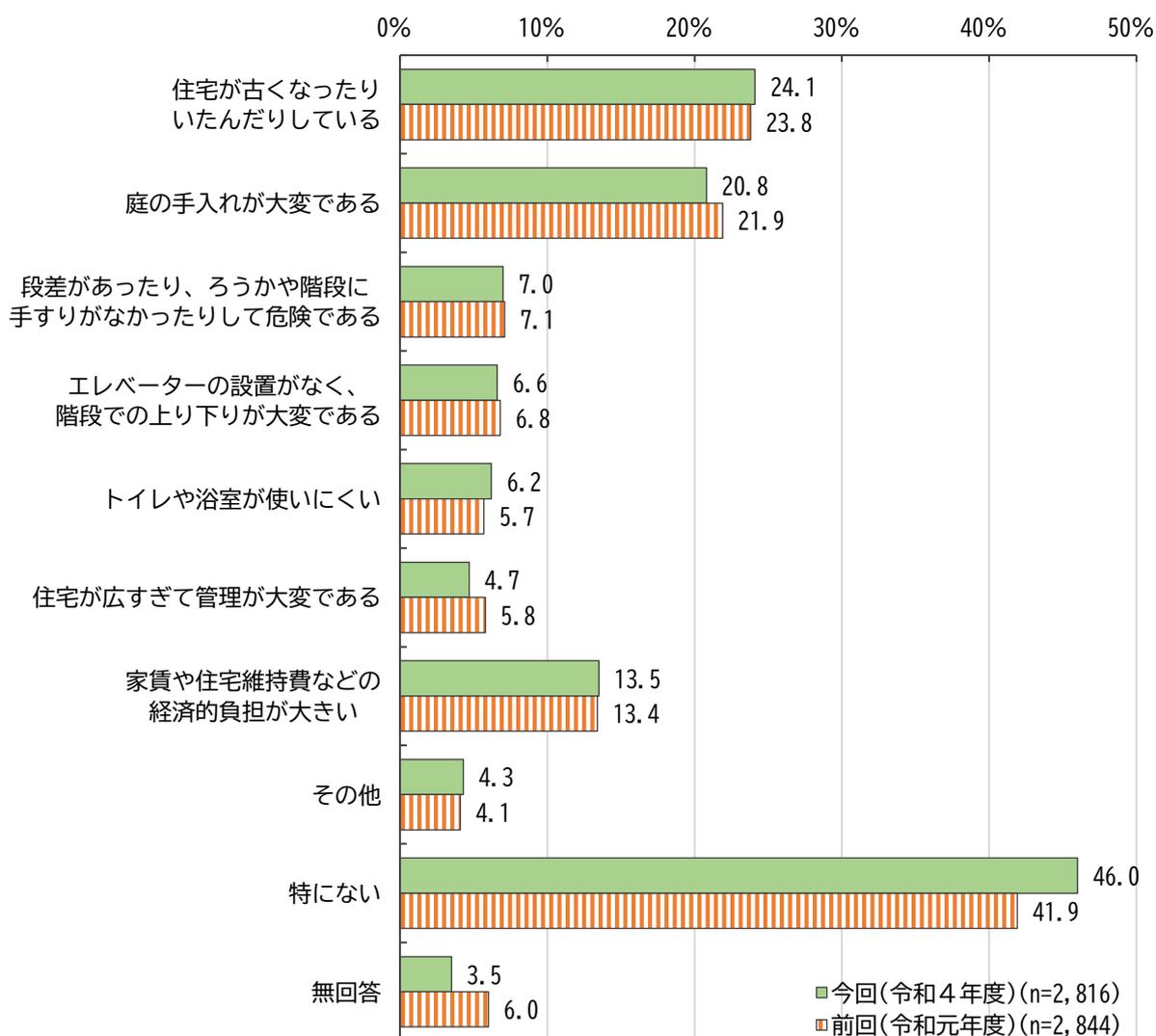
上段：人数
下段：％

(2) 住まいについて困っていること

問6 現在のお住まいについて、困っていることはありますか。
(特にあてはまるもの5つまでに○)

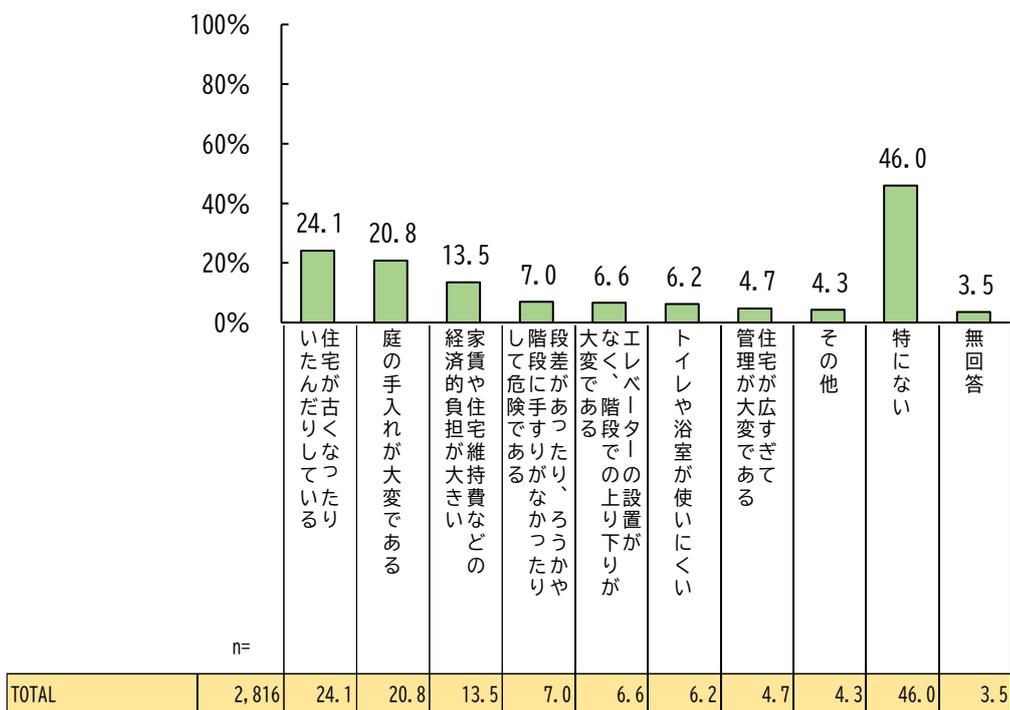
現在のお住まいについて、困っていることについては、「特にない」と「無回答」を除いた50.5%が「(困っていることが)ある」と回答し、「住宅が古くなったりいたんだりしている」(24.1%)、「庭の手入れが大変である」(20.8%)がそれぞれ2割台となっています。次いで「家賃や住宅維持費などの経済的負担が大きい」が13.5%となっています。

【経年比較】



第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



年齢別にみると、後期高齢者では「庭の手入れが大変である」の割合が、全体と比較して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=	住宅が古くなり たりしている	庭の手入れが大変である	家賃や住宅維持費などの 経済的負担が大きい	手すりがあったり、ろうかや階段である	エレベーターの設置がなく、階段の上り下りが大変である	トイレや浴室が使いにくい	住宅が広すぎて管理が大変である	その他	特にない	無回答	上段：人数
												下段：％
TOTAL	2,816 100.0	678 24.1	585 20.8	379 13.5	198 7.0	187 6.6	174 6.2	131 4.7	120 4.3	1,294 46.0	98 3.5	
男性	1,220 100.0	312 25.6	256 21.0	189 15.5	88 7.2	82 6.7	63 5.2	58 4.8	52 4.3	566 46.4	24 2.0	
女性	1,549 100.0	360 23.2	319 20.6	184 11.9	108 7.0	103 6.6	110 7.1	73 4.7	68 4.4	715 46.2	59 3.8	
前期高齢者	1,368 100.0	338 24.7	258 18.9	221 16.2	84 6.1	77 5.6	72 5.3	62 4.5	58 4.2	648 47.4	30 2.2	
男性 前期高齢者	644 100.0	170 26.4	116 18.0	112 17.4	35 5.4	34 5.3	24 3.7	28 4.3	29 4.5	317 49.2	7 1.1	
女性 前期高齢者	718 100.0	167 23.3	141 19.6	109 15.2	49 6.8	43 6.0	48 6.7	34 4.7	29 4.0	327 45.5	23 3.2	
後期高齢者	1,420 100.0	337 23.7	323 22.7	155 10.9	113 8.0	109 7.7	102 7.2	69 4.9	62 4.4	641 45.1	52 3.7	
男性 後期高齢者	573 100.0	142 24.8	140 24.4	76 13.3	53 9.2	48 8.4	39 6.8	30 5.2	23 4.0	247 43.1	17 3.0	
女性 後期高齢者	826 100.0	191 23.1	176 21.3	75 9.1	59 7.1	60 7.3	62 7.5	39 4.7	39 4.7	388 47.0	34 4.1	
(再掲)85歳以上	288 100.0	69 24.0	67 23.3	27 9.4	25 8.7	17 5.9	26 9.0	16 5.6	11 3.8	134 46.5	12 4.2	
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	31 30.1	30 29.1	14 13.6	12 11.7	9 8.7	7 6.8	6 5.8	2 1.9	40 38.8	4 3.9	
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	37 20.8	33 18.5	13 7.3	13 7.3	8 4.5	19 10.7	10 5.6	9 5.1	92 51.7	7 3.9	

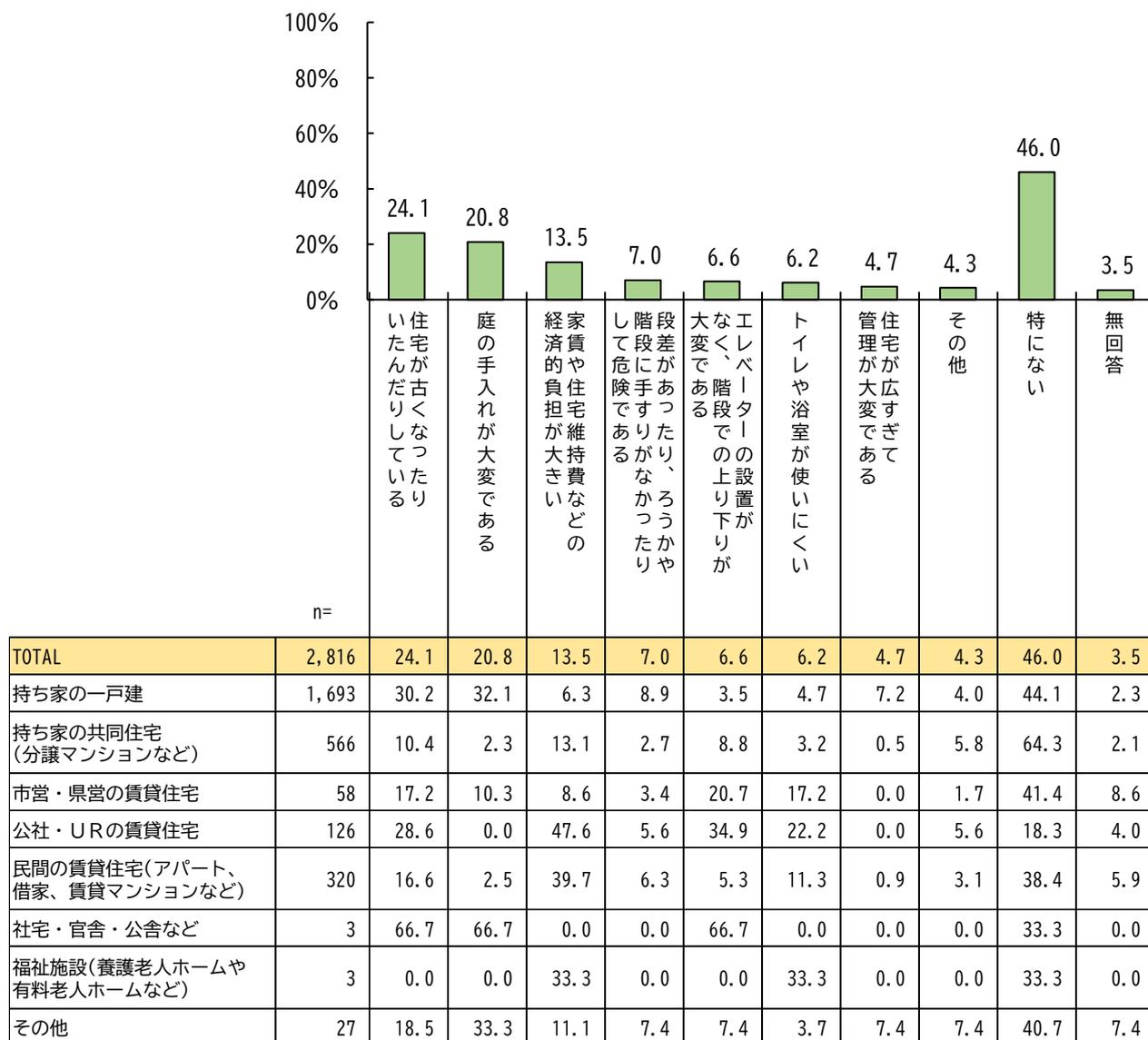
※（再掲）85歳以上については、母数が少ないため割合の比較コメントを控えます。

第2章 調査結果の詳細

住居形態別にみると、持ち家の一戸建てでは「庭の手入れが大変である」、「住宅が古くなったりいたんだりしている」の割合が高く、「公社・URの賃貸住宅」、「民間の賃貸住宅（アパート、借家、賃貸マンションなど）」では「家賃や住宅維持費などの経済的負担が大きい」の割合が最も高く、「市営・県営の賃貸住宅」では「エレベーターの設置がなく、階段での上り下りが大変である」の割合が最も高くなっています。

また、「持ち家の共同住宅（分譲マンションなど）」では、「特にない」の割合が他の住宅形態と比べて最も高くなっています。

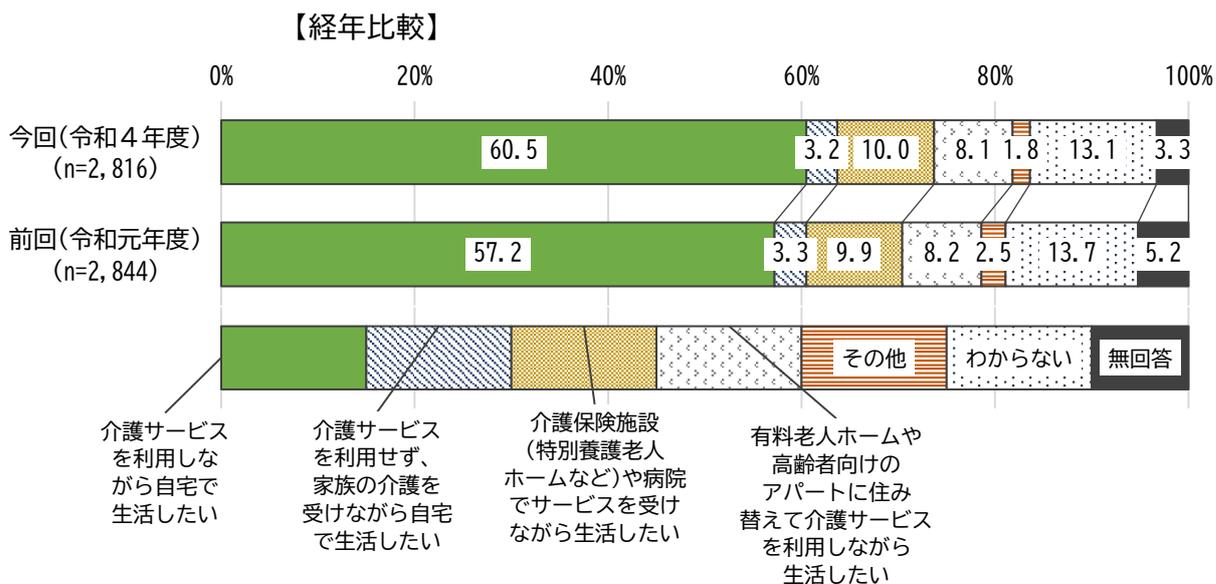
【住居形態別】



(3) 要介護認定を受けた時の生活についての希望

問7 介護保険制度の要介護認定を受けた場合の生活について、どのような希望をお持ちですか。(1つに○)

要介護認定を受けた場合の生活については、「介護サービスを利用しながら自宅で生活したい」が60.5%と6割を超えています。次いで「介護保険施設(特別養護老人ホームなど)や病院でサービスを受けながら生活したい」が10.0%、「有料老人ホームや高齢者向けのアパートに住み替えて介護サービスを利用しながら生活したい」が8.1%の順となっています。

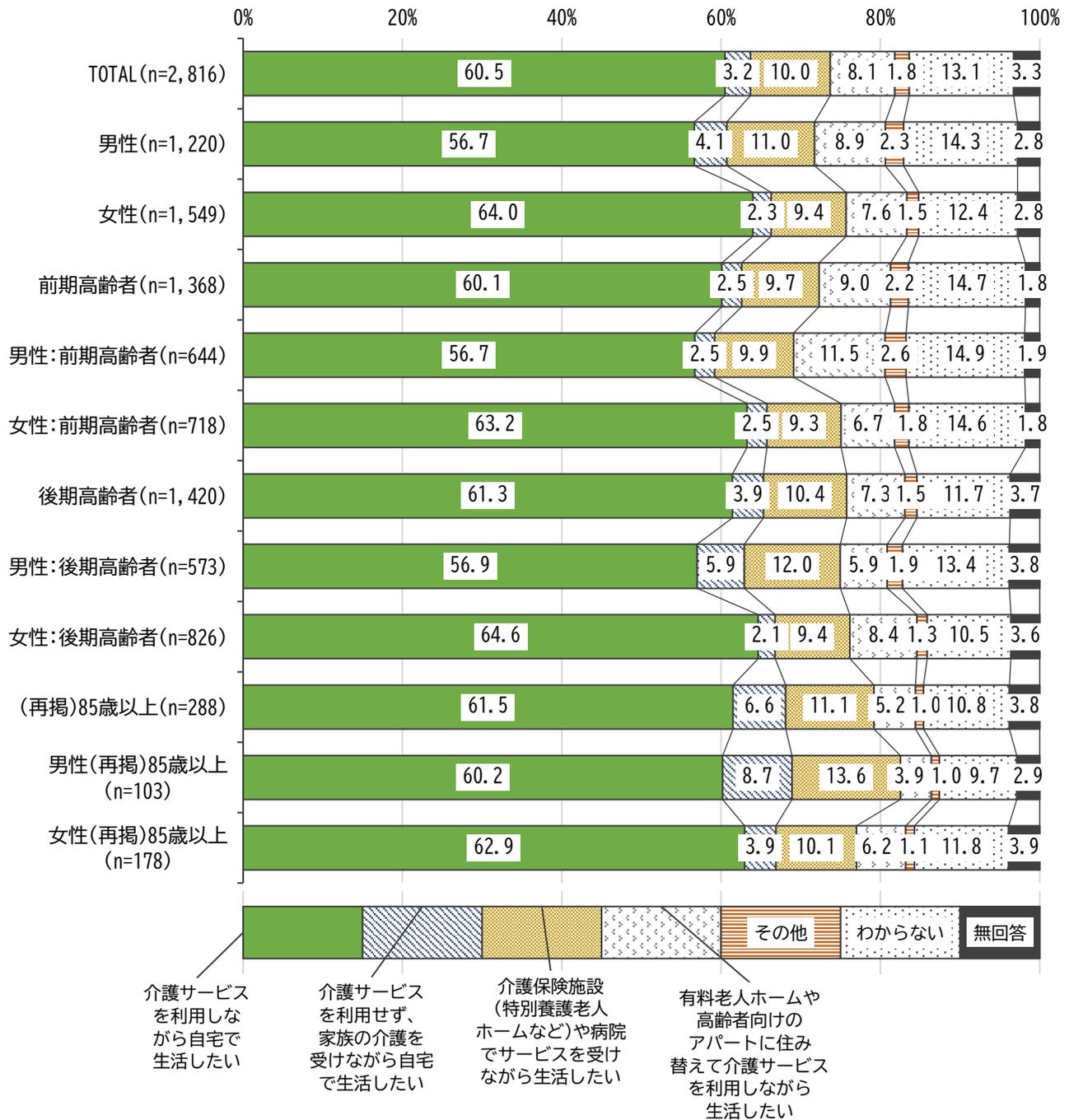


第2章 調査結果の詳細

性別にみると、「介護サービスを利用しながら自宅で生活したい」割合は、男性より女性の方が高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者・後期高齢者いずれも全体の割合と大きな差はありません。

【基本属性別 (%)】

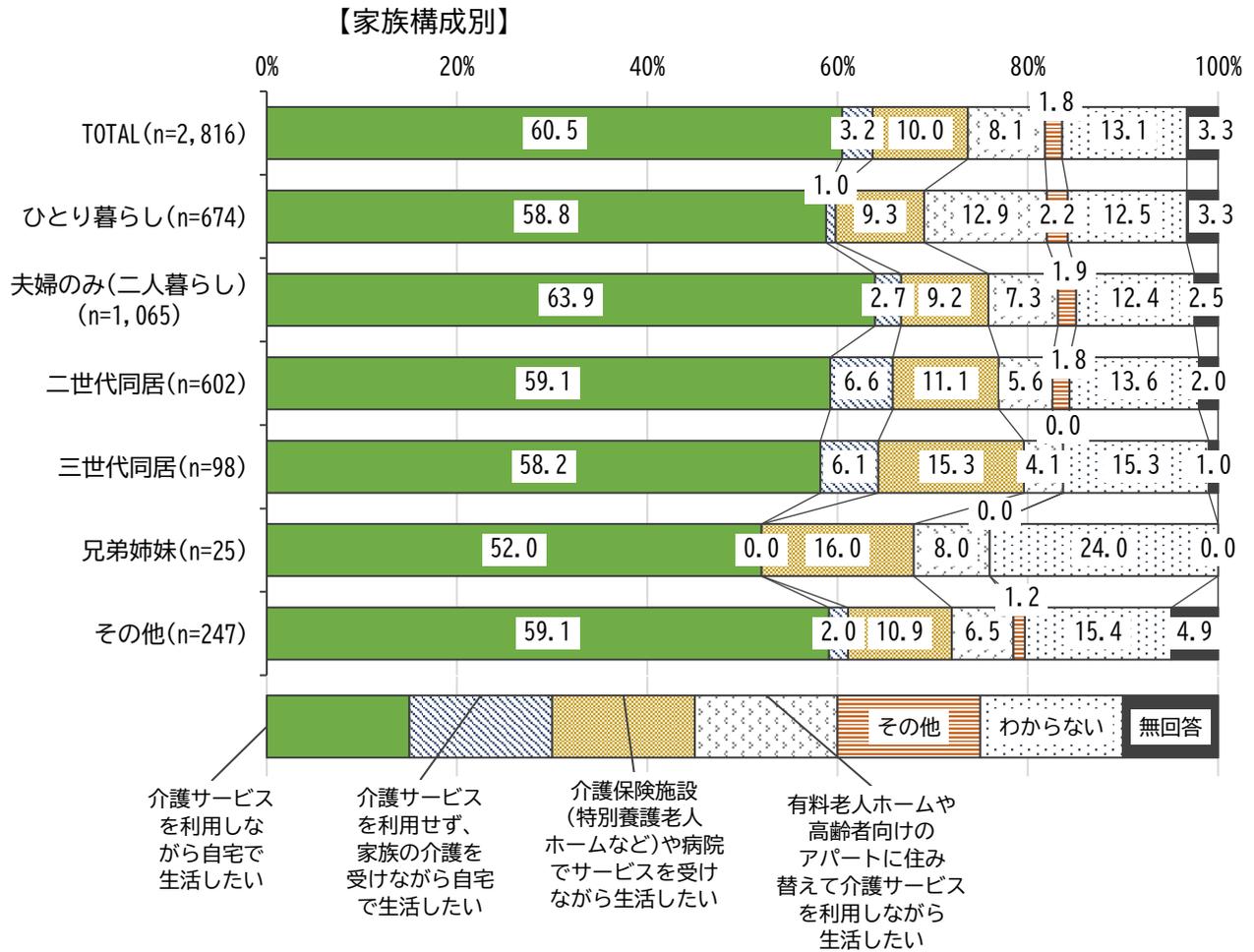


【基本属性別（人数・％）】

	介護サービスを利用しながら 自宅サービスを利用しながら		介護サービスを利用せず、家族の介護を 受けながら自宅を生活したい		介護保険施設（特別養護老人ホームなど）や 病院でサービスを受けながら生活したい		有料老人ホームや高齢者向けのケアサービスに 替えて介護サービスを利用しながら生活したい		その他		わからない		無回答	
	n=													
	人数	％	人数	％	人数	％	人数	％	人数	％	人数	％	人数	％
TOTAL	2,816	100.0	1,703	60.5	90	3.2	283	10.0	228	8.1	52	1.8	368	13.1
男性	1,220	100.0	692	56.7	50	4.1	134	11.0	108	8.9	28	2.3	174	14.3
女性	1,549	100.0	992	64.0	35	2.3	146	9.4	117	7.6	24	1.5	192	12.4
前期高齢者	1,368	100.0	822	60.1	34	2.5	133	9.7	123	9.0	30	2.2	201	14.7
男性 前期高齢者	644	100.0	365	56.7	16	2.5	64	9.9	74	11.5	17	2.6	96	14.9
女性 前期高齢者	718	100.0	454	63.2	18	2.5	67	9.3	48	6.7	13	1.8	105	14.6
後期高齢者	1,420	100.0	871	61.3	56	3.9	148	10.4	104	7.3	22	1.5	166	11.7
男性 後期高齢者	573	100.0	326	56.9	34	5.9	69	12.0	34	5.9	11	1.9	77	13.4
女性 後期高齢者	826	100.0	534	64.6	17	2.1	78	9.4	69	8.4	11	1.3	87	10.5
(再掲)85歳以上	288	100.0	177	61.5	19	6.6	32	11.1	15	5.2	3	1.0	31	10.8
男性(再掲)85歳以上	103	100.0	62	60.2	9	8.7	14	13.6	4	3.9	1	1.0	10	9.7
女性(再掲)85歳以上	178	100.0	112	62.9	7	3.9	18	10.1	11	6.2	2	1.1	21	11.8

第2章 調査結果の詳細

家族構成別にみると、ひとり暮らしでは、「有料老人ホームや高齢者向けのアパートに住み替えて介護サービスを利用しながら生活したい」が全体の割合に対して多くなっています。

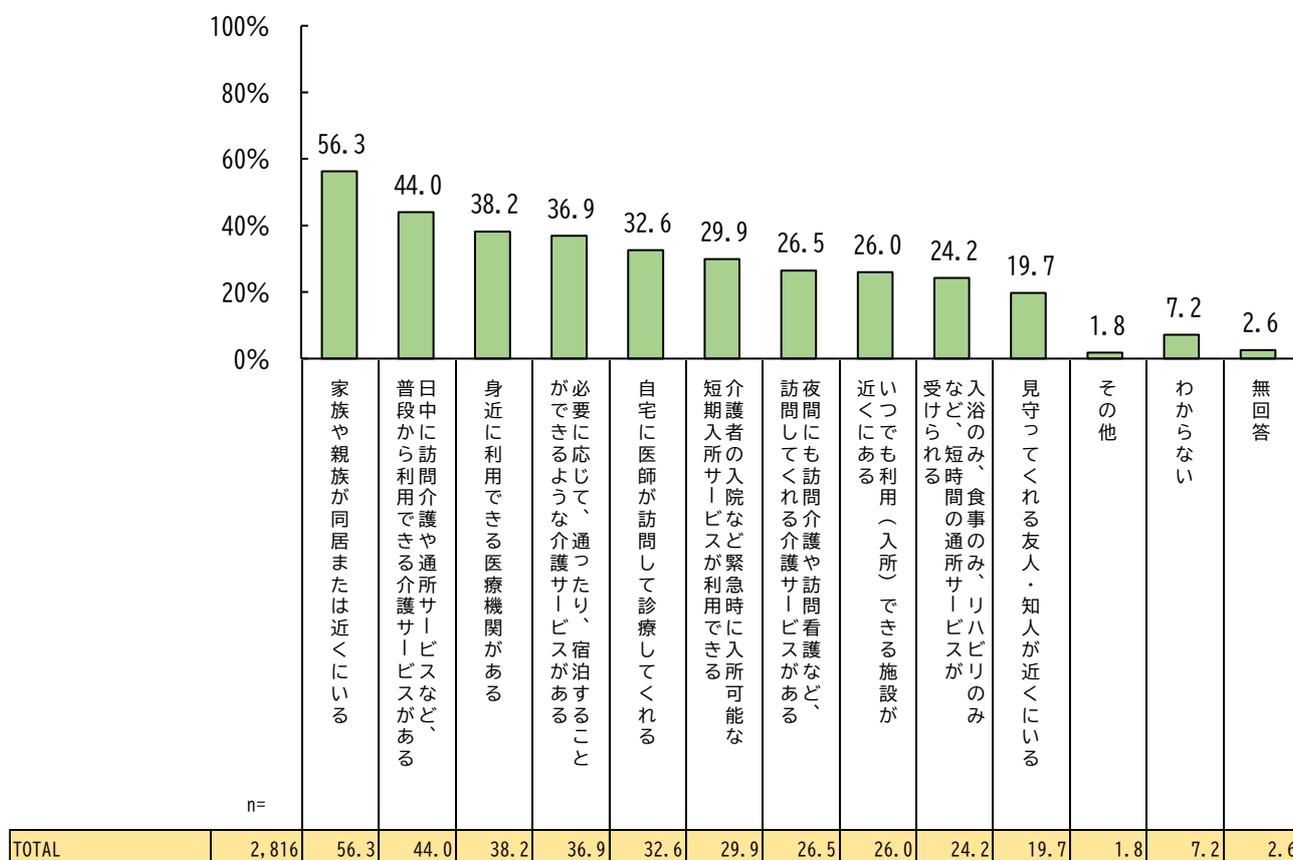


(4) 住み慣れたご自宅で暮らし続けるために必要なこと

問8 住み慣れたご自宅で暮らし続けるために、どのようなことが必要と思われますか。
(特にあてはまるもの5つまでに○)

住み慣れたご自宅で暮らし続けるために必要なことについては、「家族や親族が同居または近くにいる」が56.3%と半数を超え最も高く、次いで「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」(44.0%)、「身近に利用できる医療機関がある」(38.2%)、「必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある」(36.9%)がいずれも4割前後となっています。

【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

年齢別にみると、前期高齢者では「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」、「身近に利用できる医療機関がある」、「必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある」、「介護者の入院など緊急時に入所可能な短期入所サービスが利用できる」、「夜間にも訪問介護や訪問看護など、訪問してくれる介護サービスがある」、「いつでも利用（入所）できる施設が近くにある」など多くの項目で全体の割合を上回っています。一方、後期高齢者では「家族や親族が同居または近くにいる」、「自宅に医師が訪問して診療してくれる」が全体の割合を上回っています。

【基本属性別（人数・％）】

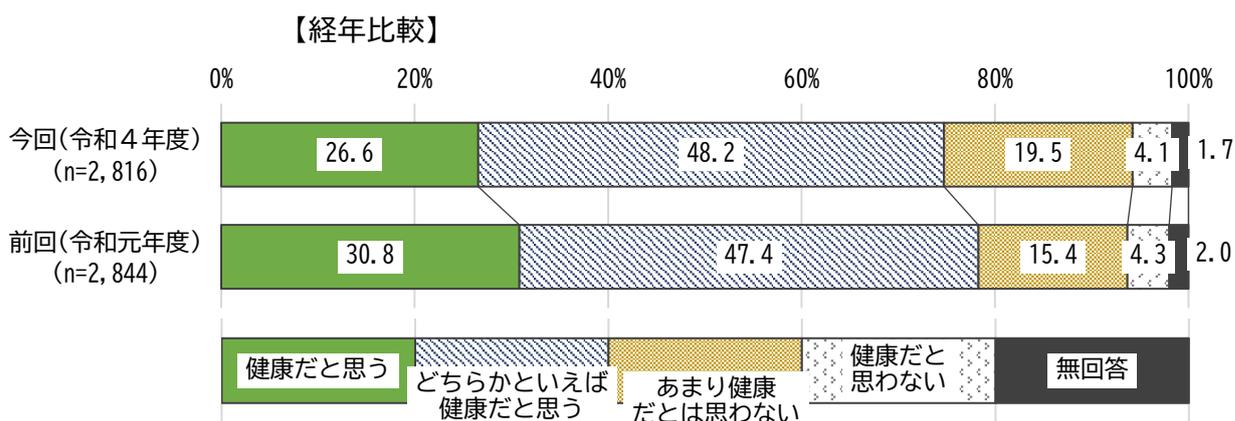
	家族や親族が同居または近くにいる	日中に訪問介護や通所サービスなど、身近に利用できる医療機関がある	必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある	自宅に医師が訪問して診療してくれる	介護者の入院など緊急時に入所可能な短期入所サービスが利用できる	夜間にも訪問介護や訪問看護など、訪問してくれる介護サービスがある	いつでも利用（入所）できる施設が近くにある	入浴のみ、食事のみ、リハビリのみなど、短時間の通所サービスが受けられる	見守ってくれる友人・知人が近くにいる	その他	わからない	無回答		
	n=												上段：人数 下段：％	
TOTAL	2,816 100.0	1,586 56.3	1,239 44.0	1,076 38.2	1,038 36.9	918 32.6	843 29.9	747 26.5	733 26.0	681 24.2	555 19.7	50 1.8	202 7.2	73 2.6
男性	1,220 100.0	683 56.0	528 43.3	479 39.3	434 35.6	380 31.1	386 31.6	323 26.5	290 23.8	244 20.0	198 16.2	21 1.7	111 9.1	19 1.6
女性	1,549 100.0	885 57.1	700 45.2	593 38.3	595 38.4	531 34.3	451 29.1	417 26.9	436 28.1	432 27.9	354 22.9	28 1.8	88 5.7	40 2.6
前期高齢者	1,368 100.0	762 55.7	672 49.1	534 39.0	562 41.1	430 31.4	452 33.0	398 29.1	391 28.6	357 26.1	277 20.2	19 1.4	95 6.9	19 1.4
男性 前期高齢者	644 100.0	355 55.1	312 48.4	250 38.8	253 39.3	187 29.0	211 32.8	186 28.9	169 26.2	144 22.4	111 17.2	7 1.1	53 8.2	7 1.1
女性 前期高齢者	718 100.0	404 56.3	356 49.6	283 39.4	306 42.6	241 33.6	238 33.1	210 29.2	220 30.6	211 29.4	166 23.1	12 1.7	42 5.8	12 1.7
後期高齢者	1,420 100.0	814 57.3	559 39.4	539 38.0	469 33.0	483 34.0	386 27.2	346 24.4	337 23.7	321 22.6	275 19.4	31 2.2	106 7.5	40 2.8
男性 後期高齢者	573 100.0	326 56.9	214 37.3	229 40.0	180 31.4	191 33.3	175 30.5	136 23.7	121 21.1	99 17.3	87 15.2	14 2.4	57 9.9	12 2.1
女性 後期高齢者	826 100.0	476 57.6	342 41.4	308 37.3	285 34.5	289 35.0	210 25.4	207 25.1	212 25.7	220 26.6	185 22.4	16 1.9	46 5.6	28 3.4
(再掲)85歳以上	288 100.0	171 59.4	98 34.0	115 39.9	80 27.8	91 31.6	69 24.0	58 20.1	73 25.3	52 18.1	57 19.8	5 1.7	18 6.3	16 5.6
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	61 59.2	35 34.0	43 41.7	29 28.2	33 32.0	33 32.0	20 19.4	22 21.4	15 14.6	19 18.4	2 1.9	5 4.9	4 3.9
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	105 59.0	63 35.4	71 39.9	49 27.5	57 32.0	36 20.2	37 20.8	50 28.1	36 20.2	37 20.8	3 1.7	13 7.3	12 6.7

3. 健康状態について

(1) 主体的健康観

問9 ご自分の心身の健康状態をどのように感じていますか。(1つに○)

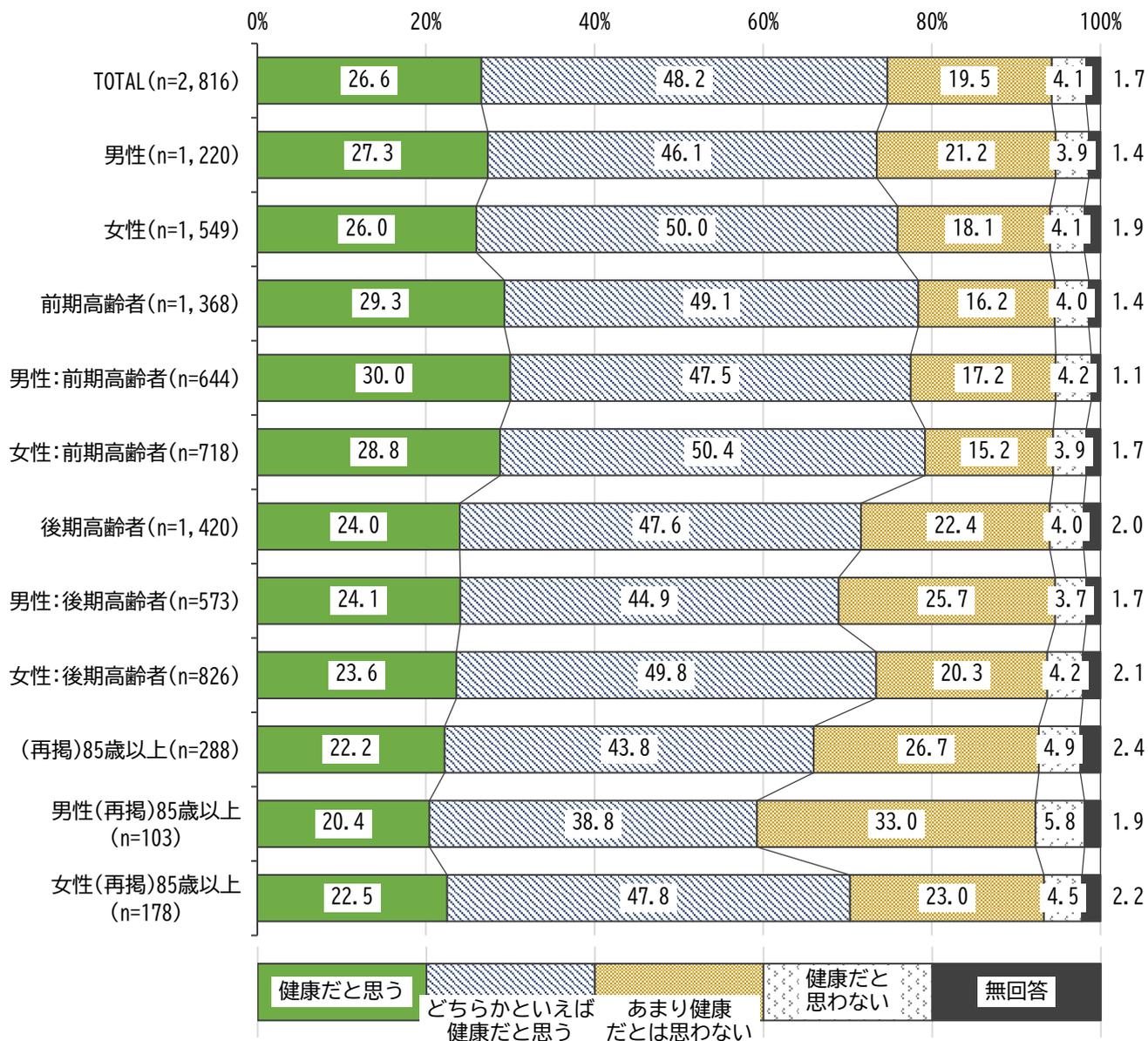
自身の健康状態については「どちらかといえば健康だと思う」(48.2%)、「健康だと思う」(26.6%)を合わせて、『健康』とする割合は74.8%となっています。
一方、「あまり健康だとは思わない」(19.5%)、「健康だと思わない」(4.1%)を合わせて『健康と思わない』とする割合は23.6%となっています。



第2章 調査結果の詳細

年齢別にみると、年齢の上昇にともない「健康だと思う」割合は低下しています。

【基本属性別 (%)】



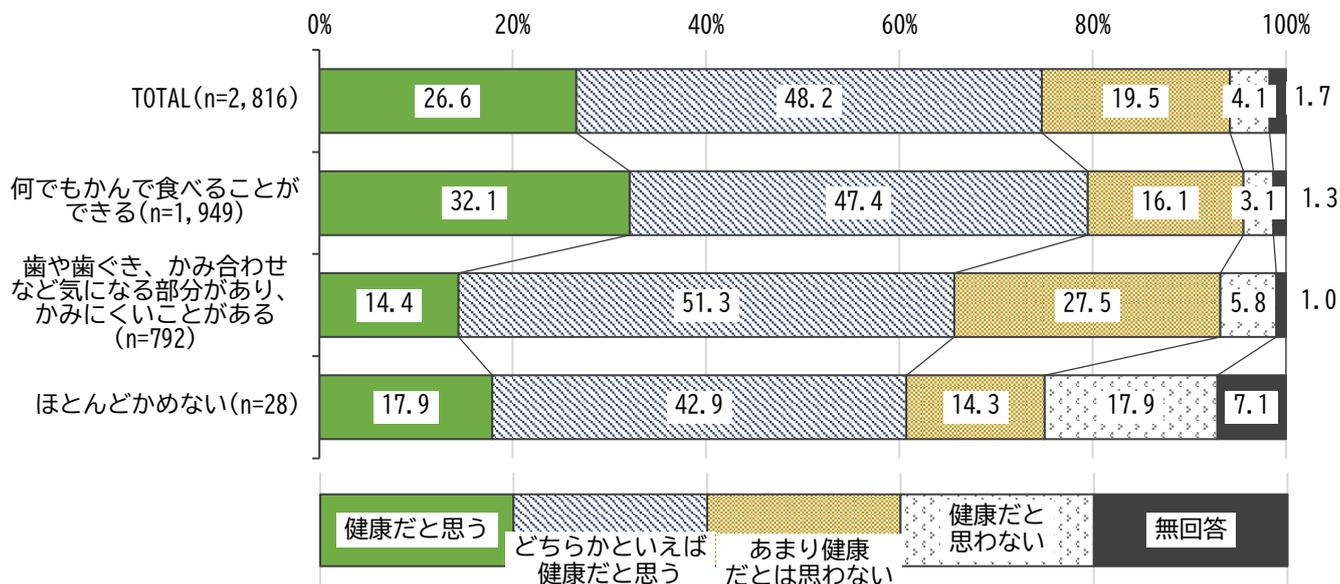
【基本属性別（人数・％）】

	n=	健康だ と思う	ど ち ら か と い え ば 健 康 だ と 思 う	あ ま り 健 康 だ と は 思 わ な い	健 康 だ と 思 わ な い	無 回 答
		上段：人数 下段：％				
TOTAL	2,816 100.0	749 26.6	1,356 48.2	548 19.5	115 4.1	48 1.7
男性	1,220 100.0	333 27.3	563 46.1	259 21.2	48 3.9	17 1.4
女性	1,549 100.0	403 26.0	774 50.0	280 18.1	63 4.1	29 1.9
前期高齢者	1,368 100.0	401 29.3	672 49.1	221 16.2	55 4.0	19 1.4
男性 前期高齢者	644 100.0	193 30.0	306 47.5	111 17.2	27 4.2	7 1.1
女性 前期高齢者	718 100.0	207 28.8	362 50.4	109 15.2	28 3.9	12 1.7
後期高齢者	1,420 100.0	341 24.0	676 47.6	318 22.4	57 4.0	28 2.0
男性 後期高齢者	573 100.0	138 24.1	257 44.9	147 25.7	21 3.7	10 1.7
女性 後期高齢者	826 100.0	195 23.6	411 49.8	168 20.3	35 4.2	17 2.1
(再掲)85歳以上	288 100.0	64 22.2	126 43.8	77 26.7	14 4.9	7 2.4
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	21 20.4	40 38.8	34 33.0	6 5.8	2 1.9
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	40 22.5	85 47.8	41 23.0	8 4.5	4 2.2

第2章 調査結果の詳細

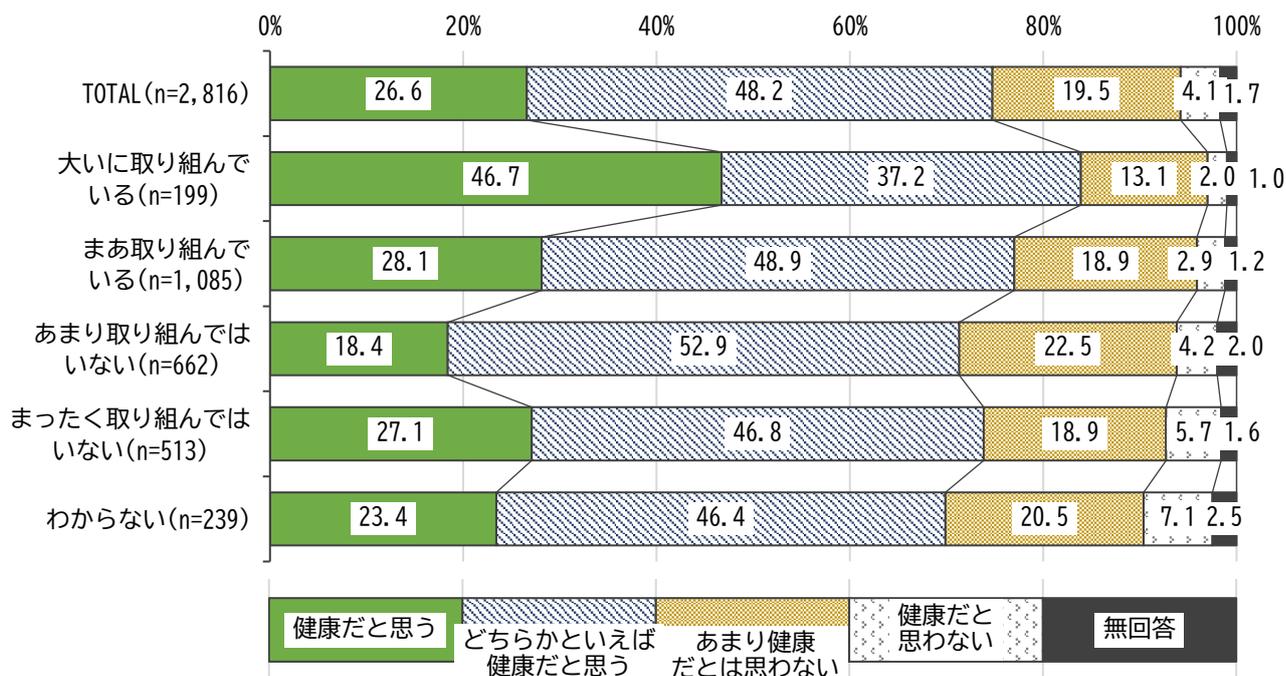
食事を食べる時の状況別にみると、「何でもかんで食べることができる」方は「健康だと思う」が全体の割合に対して高くなっています。

【食事を食べる時の状況別】



介護予防の取り組み状況別にみると、取り組み方が熱心なほど健康状態もよいと回答する割合が高い傾向にあります。

【介護予防の取り組み状況別】

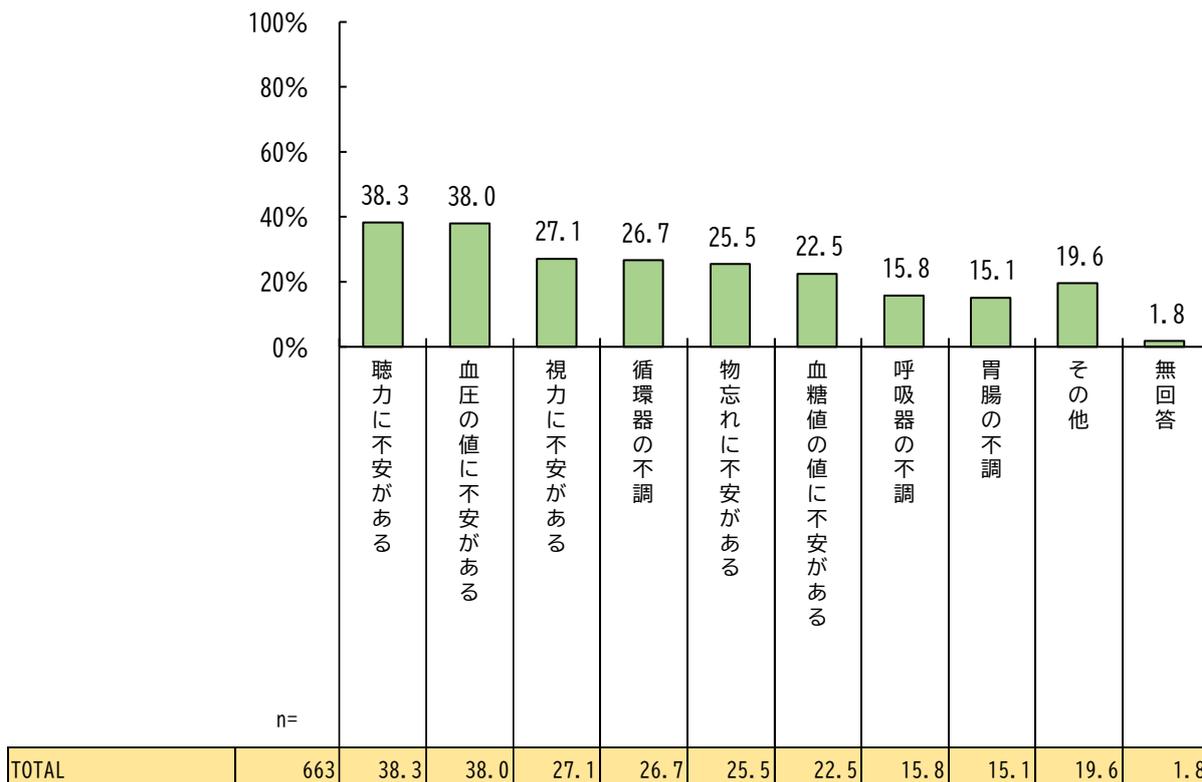


問9で「3. あまり健康だとは思わない」、「4. 健康だと思わない」のいずれかを回答した方にうかがいます。

問9-1 身体的不調を感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

身体的不調を感じるかについては、「聴力に不安がある」(38.3%)、「血圧の値に不安がある」(38.0%)が30%台、「視力に不安がある」(27.1%)、「循環器の不調」(26.7%)、「物忘れに不安がある」(25.5%)、「血糖値の値に不安がある」(22.5%)が20%台となっています。

【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

【基本属性別（人数・％）】

	n=	聴力に不安がある	血圧の値に不安がある	視力に不安がある	循環器の不調	物忘れに不安がある	血糖値の値に不安がある	呼吸器の不調	胃腸の不調	その他	無回答
TOTAL	663 100.0	254 38.3	252 38.0	180 27.1	177 26.7	169 25.5	149 22.5	105 15.8	100 15.1	130 19.6	12 1.8
男性	307 100.0	116 37.8	122 39.7	72 23.5	103 33.6	74 24.1	72 23.5	51 16.6	41 13.4	47 15.3	6 2.0
女性	343 100.0	129 37.6	124 36.2	101 29.4	71 20.7	90 26.2	76 22.2	52 15.2	56 16.3	83 24.2	6 1.7
前期高齢者	276 100.0	86 31.2	111 40.2	67 24.3	73 26.4	51 18.5	88 31.9	41 14.9	41 14.9	56 20.3	7 2.5
男性 前期高齢者	138 100.0	47 34.1	62 44.9	33 23.9	44 31.9	26 18.8	41 29.7	22 15.9	20 14.5	15 10.9	2 1.4
女性 前期高齢者	137 100.0	39 28.5	48 35.0	34 24.8	29 21.2	25 18.2	46 33.6	19 13.9	21 15.3	41 29.9	5 3.6
後期高齢者	375 100.0	159 42.4	136 36.3	108 28.8	101 26.9	114 30.4	60 16.0	62 16.5	56 14.9	72 19.2	5 1.3
男性 後期高齢者	168 100.0	69 41.1	59 35.1	39 23.2	59 35.1	48 28.6	31 18.5	29 17.3	21 12.5	32 19.0	4 2.4
女性 後期高齢者	203 100.0	88 43.3	76 37.4	67 33.0	41 20.2	65 32.0	29 14.3	33 16.3	35 17.2	40 19.7	1 0.5
(再掲)85歳以上	91 100.0	54 59.3	33 36.3	29 31.9	21 23.1	27 29.7	17 18.7	15 16.5	14 15.4	16 17.6	2 2.2
男性(再掲)85歳以上	40 100.0	21 52.5	15 37.5	8 20.0	14 35.0	11 27.5	8 20.0	7 17.5	5 12.5	8 20.0	1 2.5
女性(再掲)85歳以上	49 100.0	32 65.3	17 34.7	20 40.8	7 14.3	15 30.6	9 18.4	8 16.3	9 18.4	8 16.3	1 2.0

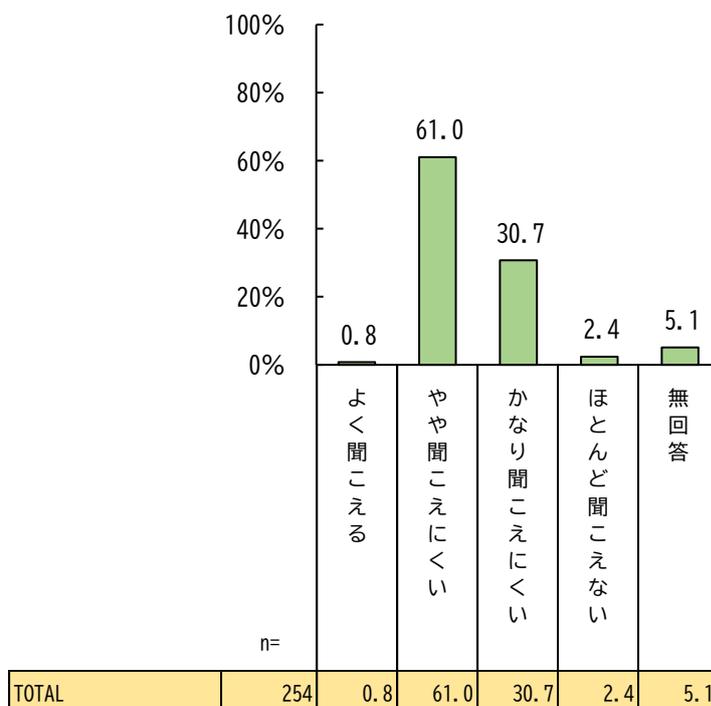
上段：人数
下段：％

問9-1で「7. 聴力に不安がある」と回答した方にうかがいます。

問9-2 自分の聴力についてどのように感じますか。(1つに○)

自分の聴力についてどのように感じるかについては、「やや聞こえにくい」(61.0%)が最も高く、次いで「かなり聞こえにくい」(30.7%)となっています。

【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

【基本属性別（人数・％）】

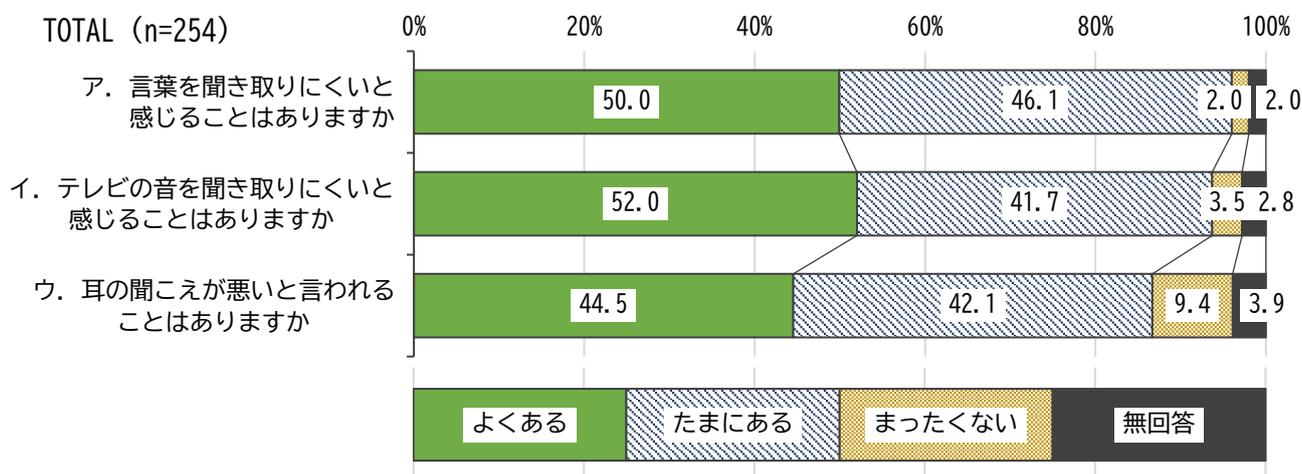
	n=	よく聞こえる	やや聞こえにくい	かなり聞こえにくい	ほとんど聞こえない	無回答
TOTAL	254 100.0	2 0.8	155 61.0	78 30.7	6 2.4	13 5.1
男性	116 100.0	2 1.7	66 56.9	42 36.2	1 0.9	5 4.3
女性	129 100.0	0 0.0	85 65.9	32 24.8	5 3.9	7 5.4
前期高齢者	86 100.0	1 1.2	66 76.7	15 17.4	0 0.0	4 4.7
男性 前期高齢者	47 100.0	1 2.1	35 74.5	10 21.3	0 0.0	1 2.1
女性 前期高齢者	39 100.0	0 0.0	31 79.5	5 12.8	0 0.0	3 7.7
後期高齢者	159 100.0	1 0.6	83 52.2	61 38.4	6 3.8	8 5.0
男性 後期高齢者	69 100.0	1 1.4	31 44.9	32 46.4	1 1.4	4 5.8
女性 後期高齢者	88 100.0	0 0.0	52 59.1	27 30.7	5 5.7	4 4.5
(再掲)85歳以上	54 100.0	0 0.0	21 38.9	28 51.9	2 3.7	3 5.6
男性(再掲)85歳以上	21 100.0	0 0.0	5 23.8	14 66.7	1 4.8	1 4.8
女性(再掲)85歳以上	32 100.0	0 0.0	16 50.0	13 40.6	1 3.1	2 6.3

上段：人数
下段：％

問9-1で「7. 聴力に不安がある」と回答した方にうかがいます。

問9-3 日常生活における、聞こえ具合をうかがいます。(それぞれ1つに○)

日常生活における聞こえ具合について、ア～ウのそれぞれについてみると、言葉やテレビについては「よくある」が半数を超えており、「たまにある」も4割を超えています。



【基本属性別 (人数・%)】

ア. 言葉を聞き取りにくいと感じることはありますか。

	n=	よくある	たまにある	まったくない	無回答	上段:人数 下段:%
TOTAL	254	127	117	5	5	
		100.0	50.0	46.1	2.0	2.0
男性	116	55	52	4	5	
		100.0	47.4	44.8	3.4	4.3
女性	129	66	63	0	0	
		100.0	51.2	48.8	0.0	0.0
前期高齢者	86	35	48	3	0	
		100.0	40.7	55.8	3.5	0.0
男性 前期高齢者	47	18	26	3	0	
		100.0	38.3	55.3	6.4	0.0
女性 前期高齢者	39	17	22	0	0	
		100.0	43.6	56.4	0.0	0.0
後期高齢者	159	87	66	1	5	
		100.0	54.7	41.5	0.6	3.1
男性 後期高齢者	69	37	26	1	5	
		100.0	53.6	37.7	1.4	7.2
女性 後期高齢者	88	48	40	0	0	
		100.0	54.5	45.5	0.0	0.0
(再掲)85歳以上	54	39	14	0	1	
		100.0	72.2	25.9	0.0	1.9
男性(再掲)85歳以上	21	15	5	0	1	
		100.0	71.4	23.8	0.0	4.8
女性(再掲)85歳以上	32	23	9	0	0	
		100.0	71.9	28.1	0.0	0.0

第2章 調査結果の詳細

イ. テレビの音を聞き取りにくいと感じることはありますか。

	n=	よくある	たまにある	まったくくない	無回答
TOTAL	254 100.0	132 52.0	106 41.7	9 3.5	7 2.8
男性	116 100.0	61 52.6	44 37.9	6 5.2	5 4.3
女性	129 100.0	66 51.2	58 45.0	3 2.3	2 1.6
前期高齢者	86 100.0	31 36.0	50 58.1	4 4.7	1 1.2
男性 前期高齢者	47 100.0	16 34.0	27 57.4	3 6.4	1 2.1
女性 前期高齢者	39 100.0	15 38.5	23 59.0	1 2.6	0 0.0
後期高齢者	159 100.0	96 60.4	52 32.7	5 3.1	6 3.8
男性 後期高齢者	69 100.0	45 65.2	17 24.6	3 4.3	4 5.8
女性 後期高齢者	88 100.0	49 55.7	35 39.8	2 2.3	2 2.3
(再掲)85歳以上	54 100.0	39 72.2	10 18.5	2 3.7	3 5.6
男性(再掲)85歳以上	21 100.0	17 81.0	2 9.5	0 0.0	2 9.5
女性(再掲)85歳以上	32 100.0	21 65.6	8 25.0	2 6.3	1 3.1

上段：人数
下段：%

ウ. 耳の聞こえが悪いと言われることはありますか。

	n=	よくある	たまにある	まったくくない	無回答
TOTAL	254 100.0	113 44.5	107 42.1	24 9.4	10 3.9
男性	116 100.0	51 44.0	48 41.4	10 8.6	7 6.0
女性	129 100.0	57 44.2	56 43.4	13 10.1	3 2.3
前期高齢者	86 100.0	31 36.0	45 52.3	9 10.5	1 1.2
男性 前期高齢者	47 100.0	15 31.9	26 55.3	5 10.6	1 2.1
女性 前期高齢者	39 100.0	16 41.0	19 48.7	4 10.3	0 0.0
後期高齢者	159 100.0	78 49.1	58 36.5	14 8.8	9 5.7
男性 後期高齢者	69 100.0	36 52.2	22 31.9	5 7.2	6 8.7
女性 後期高齢者	88 100.0	40 45.5	36 40.9	9 10.2	3 3.4
(再掲)85歳以上	54 100.0	36 66.7	13 24.1	4 7.4	1 1.9
男性(再掲)85歳以上	21 100.0	15 71.4	4 19.0	2 9.5	0 0.0
女性(再掲)85歳以上	32 100.0	20 62.5	9 28.1	2 6.3	1 3.1

上段：人数
下段：%

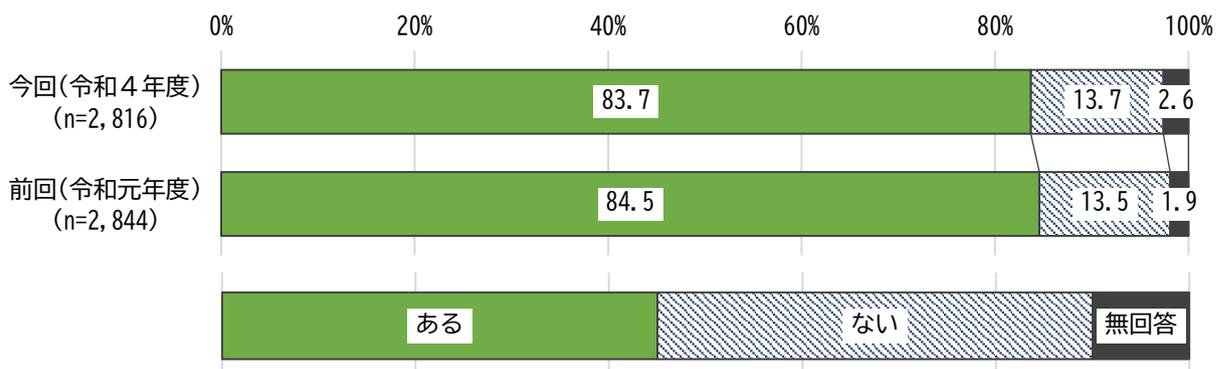
(2) かかりつけ医等の有無

問10 治療や健康について相談する、かかりつけの医師、歯科医師、薬局がありますか。
(それぞれ1つに○)

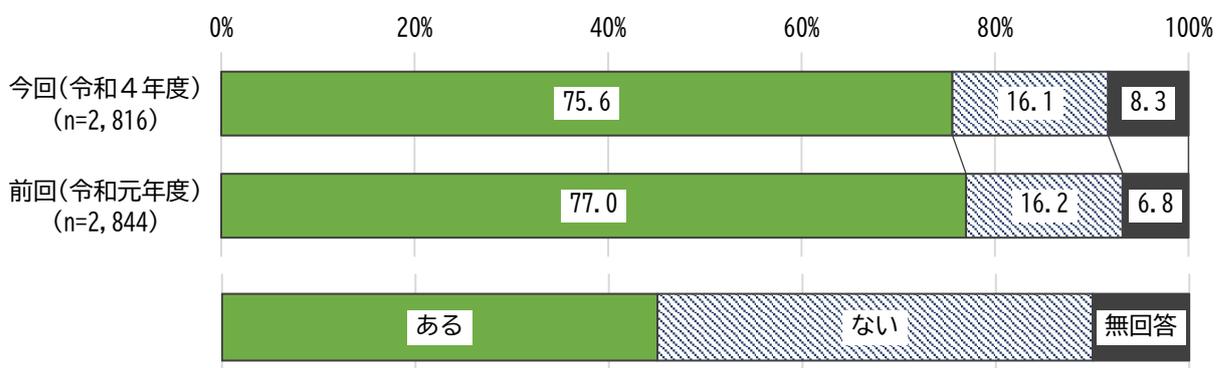
かかりつけ医等の有無については、「ア. かかりつけ医がある」は83.7%、「イ. かかりつけ歯科医がある」は75.6%、「ウ. かかりつけ薬局がある」は67.6%となっています。

【経年比較】

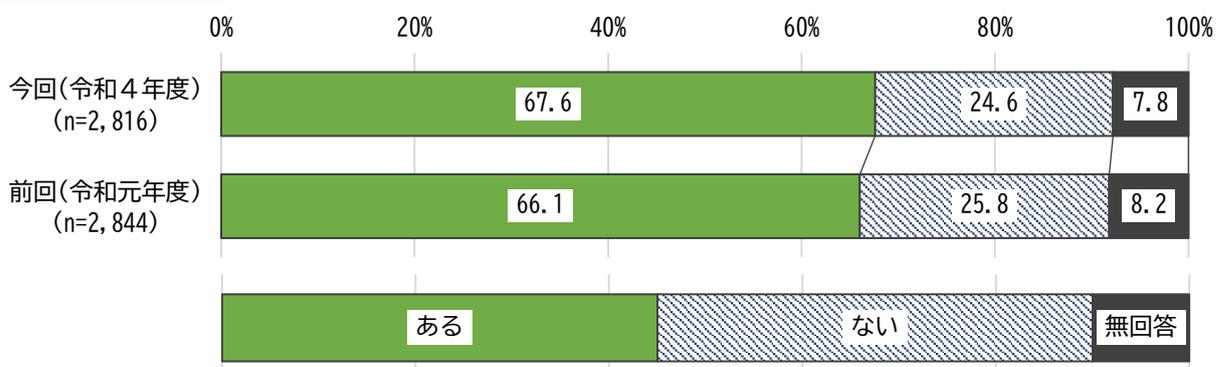
ア. かかりつけ医



イ. かかりつけ歯科医



ウ. かかりつけ薬局

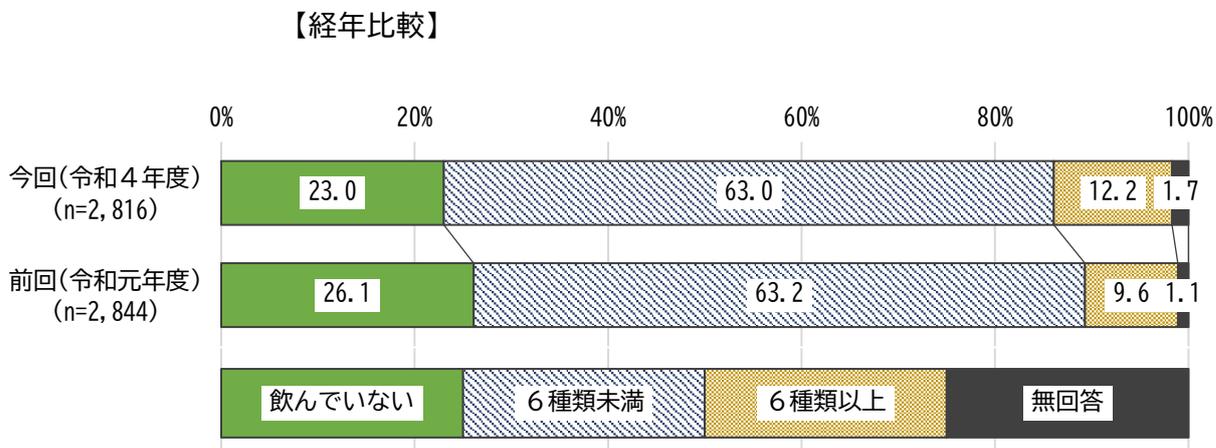


第2章 調査結果の詳細

(3) 服用薬の種類

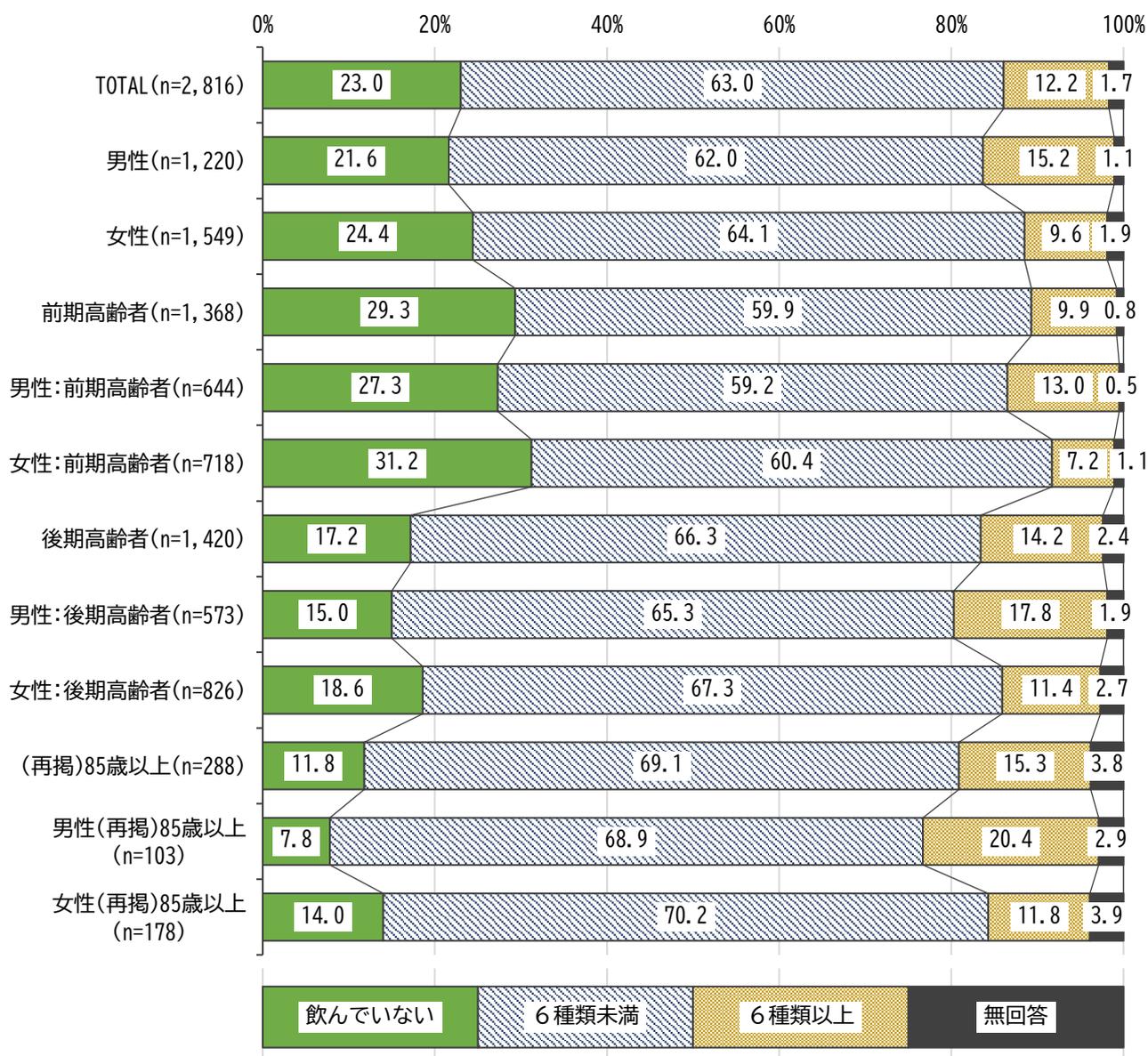
問 11 現在何種類の薬を服用していますか。(1つに○)

服用している薬の種類については、「6種類未満」が63.0%で最も高く、「6種類以上」は12.2%、「(薬を)飲んでいない」は23.0%となっています。



性別・年齢別にみると、「飲んでいない」では女性：前期高齢者が、「6種類未満」では女性（再掲）85歳以上が、「6種類以上」では男性（再掲）85歳以上が他の基本属性と比べて高くなっています。

【基本属性別（%）】



第2章 調査結果の詳細

【基本属性別（人数・％）】

	n=	飲 ん で い ない	6 種 類 未 満	6 種 類 以 上	無 回 答
TOTAL	2,816 100.0	649 23.0	1,775 63.0	344 12.2	48 1.7
男性	1,220 100.0	263 21.6	757 62.0	186 15.2	14 1.1
女性	1,549 100.0	378 24.4	993 64.1	148 9.6	30 1.9
前期高齢者	1,368 100.0	401 29.3	820 59.9	136 9.9	11 0.8
男性 前期高齢者	644 100.0	176 27.3	381 59.2	84 13.0	3 0.5
女性 前期高齢者	718 100.0	224 31.2	434 60.4	52 7.2	8 1.1
後期高齢者	1,420 100.0	244 17.2	941 66.3	201 14.2	34 2.4
男性 後期高齢者	573 100.0	86 15.0	374 65.3	102 17.8	11 1.9
女性 後期高齢者	826 100.0	154 18.6	556 67.3	94 11.4	22 2.7
(再掲)85歳以上	288 100.0	34 11.8	199 69.1	44 15.3	11 3.8
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	8 7.8	71 68.9	21 20.4	3 2.9
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	25 14.0	125 70.2	21 11.8	7 3.9

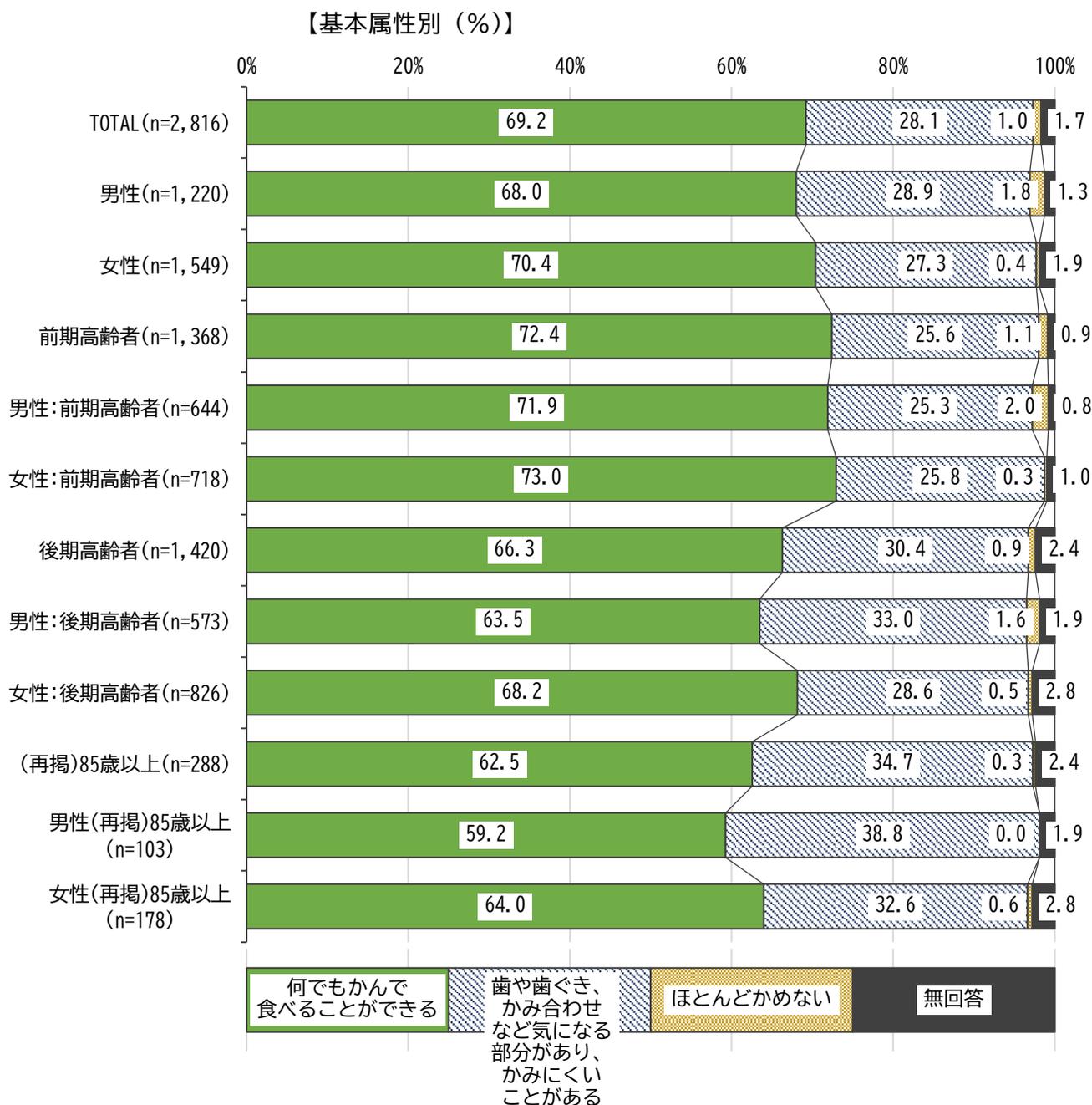
上段：人数
下段：％

(4) 食事を食べる時の状況

問12 食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。(1つに○)

食事をかんで食べる時の状態については、「何でもかんで食べることができる」が69.2%、「歯や歯ぐき、かみ合わせなど気になる部分があり、かみにくいことがある」が28.1%となっています。

性別・年齢別にみると、「何でもかんで食べることができる」では女性：前期高齢者が、「歯や歯ぐき、かみ合わせなど気になる部分があり、かみにくいことがある」では男性(再掲)85歳以上が全体の割合に対して高くなっています。



第2章 調査結果の詳細

【基本属性別（人数・％）】

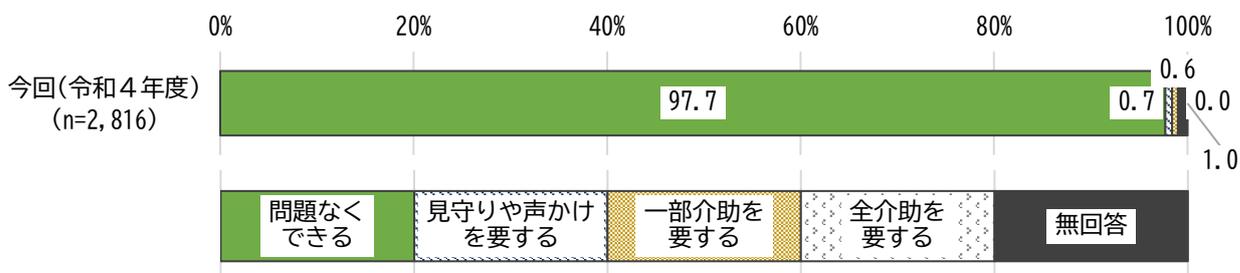
	n=	で 何 も か ん で 食 べ る こ と が	部 分 が あ ぐ き 、 か み に く わ せ な ど が あ る	ほ と ん ど か め ない	無 回 答	上段：人数 下段：％
TOTAL	2,816 100.0	1,949 69.2	792 28.1	28 1.0	47 1.7	
男性	1,220 100.0	830 68.0	352 28.9	22 1.8	16 1.3	
女性	1,549 100.0	1,090 70.4	423 27.3	6 0.4	30 1.9	
前期高齢者	1,368 100.0	991 72.4	350 25.6	15 1.1	12 0.9	
男性 前期高齢者	644 100.0	463 71.9	163 25.3	13 2.0	5 0.8	
女性 前期高齢者	718 100.0	524 73.0	185 25.8	2 0.3	7 1.0	
後期高齢者	1,420 100.0	942 66.3	431 30.4	13 0.9	34 2.4	
男性 後期高齢者	573 100.0	364 63.5	189 33.0	9 1.6	11 1.9	
女性 後期高齢者	826 100.0	563 68.2	236 28.6	4 0.5	23 2.8	
(再掲)85歳以上	288 100.0	180 62.5	100 34.7	1 0.3	7 2.4	
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	61 59.2	40 38.8	0 0.0	2 1.9	
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	114 64.0	58 32.6	1 0.6	5 2.8	

4. 外出等の状況について

(1) 家の中での移動状況

問13 1人で家の中などを移動できますか。(1つに○)

家の中の自力移動の状況については、「問題なくできる」が97.7%と大半を占めています。



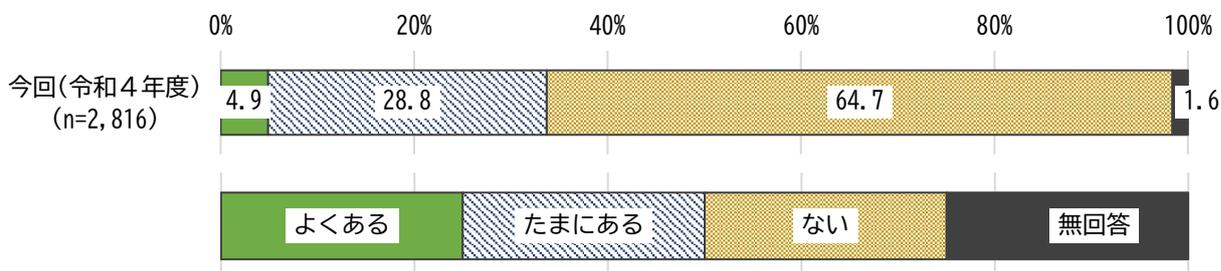
【基本属性別（人数・%）】

	n=	問題なくできる	見守りや声かけを要する	一部介助を要する	全介助を要する	無回答	上段：人数 下段：%	
							人数	%
TOTAL	2,816	2,751	20	16	0	29	97.7	1.0
男性	1,220	1,193	6	7	0	14	97.8	1.1
女性	1,549	1,514	14	7	0	14	97.7	0.9
前期高齢者	1,368	1,355	5	3	0	5	99.0	0.4
男性 前期高齢者	644	638	1	2	0	3	99.1	0.5
女性 前期高齢者	718	711	4	1	0	2	99.0	0.3
後期高齢者	1,420	1,371	15	11	0	23	96.5	1.6
男性 後期高齢者	573	552	5	5	0	11	96.3	1.9
女性 後期高齢者	826	798	10	6	0	12	96.6	1.5
(再掲)85歳以上	288	270	6	6	0	6	93.8	2.1
男性(再掲)85歳以上	103	96	1	2	0	4	93.2	3.9
女性(再掲)85歳以上	178	167	5	4	0	2	93.8	1.1

第2章 調査結果の詳細

問 14 外出が「むずかしい」、「おっくうである」と感じることはありますか。(1つに○)

外出の難しさやおっくうさについては、「ない」が 64.7%と最も高く、次いで「たまにある」(28.8%)となっています。

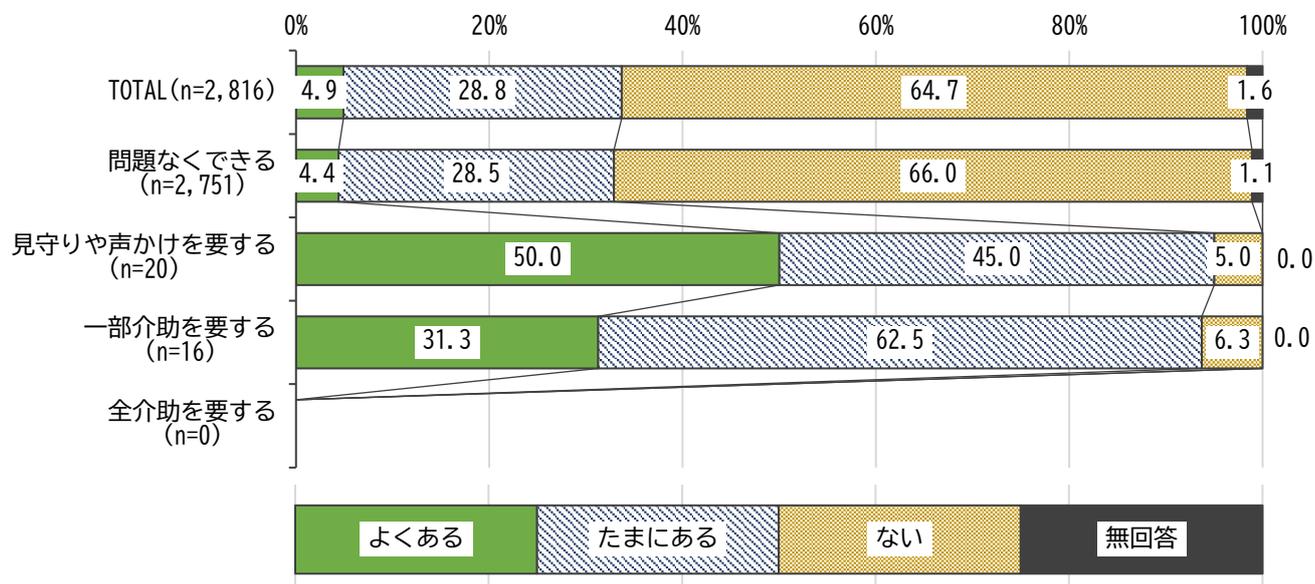


【基本属性別（人数・%）】

	n=	よくある	たまにある	まったくない	無回答	上段：人数 下段：%	
TOTAL	2,816	138	810	1,822	46		
	100.0	4.9	28.8	64.7	1.6		
男性	1,220	50	311	841	18		
	100.0	4.1	25.5	68.9	1.5		
女性	1,549	83	486	955	25		
	100.0	5.4	31.4	61.7	1.6		
前期高齢者	1,368	41	320	991	16		
	100.0	3.0	23.4	72.4	1.2		
男性 前期高齢者	644	19	123	496	6		
	100.0	3.0	19.1	77.0	0.9		
女性 前期高齢者	718	22	195	491	10		
	100.0	3.1	27.2	68.4	1.4		
後期高齢者	1,420	94	481	816	29		
	100.0	6.6	33.9	57.5	2.0		
男性 後期高齢者	573	31	186	344	12		
	100.0	5.4	32.5	60.0	2.1		
女性 後期高齢者	826	61	288	462	15		
	100.0	7.4	34.9	55.9	1.8		
(再掲)85歳以上	288	42	125	113	8		
	100.0	14.6	43.4	39.2	2.8		
男性(再掲)85歳以上	103	11	46	41	5		
	100.0	10.7	44.7	39.8	4.9		
女性(再掲)85歳以上	178	29	77	70	2		
	100.0	16.3	43.3	39.3	1.1		

家の中での自力移動の状況別にみると、「問題なくできる」方は外出の難しさやおっくうさを感じる割合が「ない」割合が6割を超えています。

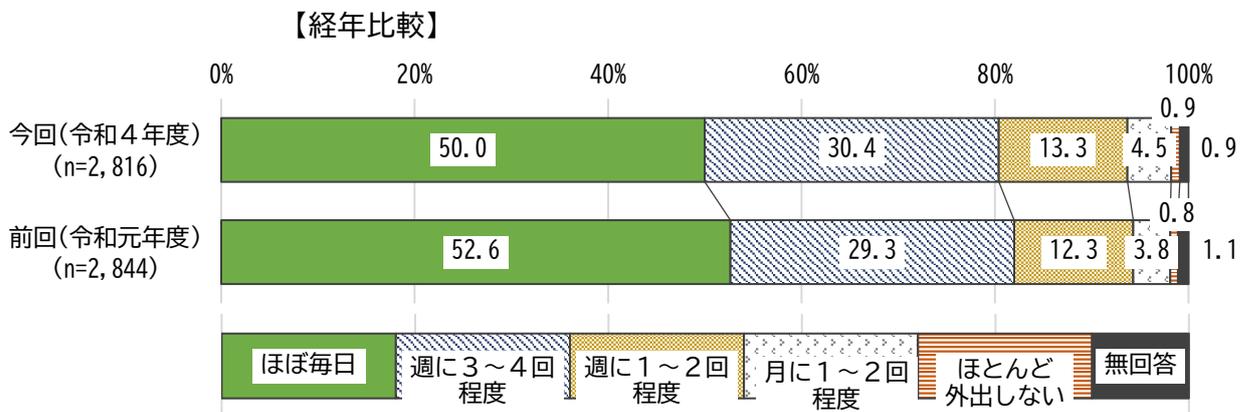
【家の中での自力移動の状況別】



(2) 外出頻度

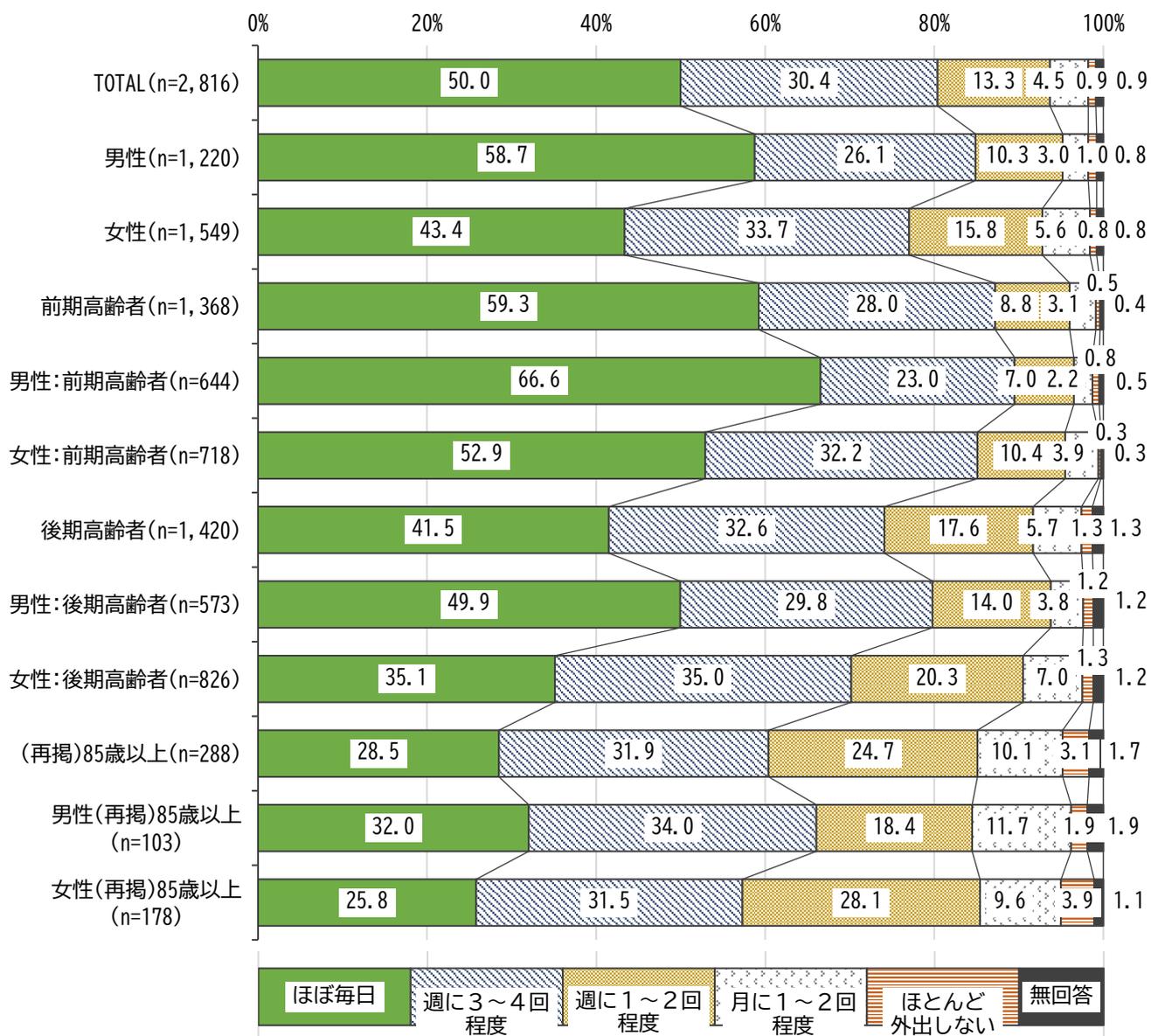
問 15 外出（散歩や通院も含む）はどのくらいの頻度で行っていますか。（1つに○）

外出頻度については、「ほぼ毎日」が 50.0%、「週に3～4回程度」が 30.4%、「週1～2回程度」が 13.3%、「月に1～2回程度」が 4.5%、「ほとんど外出しない」が 0.9%となっています。週に1回以上外出している割合は 93.7%となっています。



性別・年齢別にみると、年齢の上昇とともに「ほぼ毎日」の割合は減少しています。また、「ほぼ毎日」の割合は、年代区分いずれも男性が女性を上回っています。

【基本属性別 (%)】



第2章 調査結果の詳細

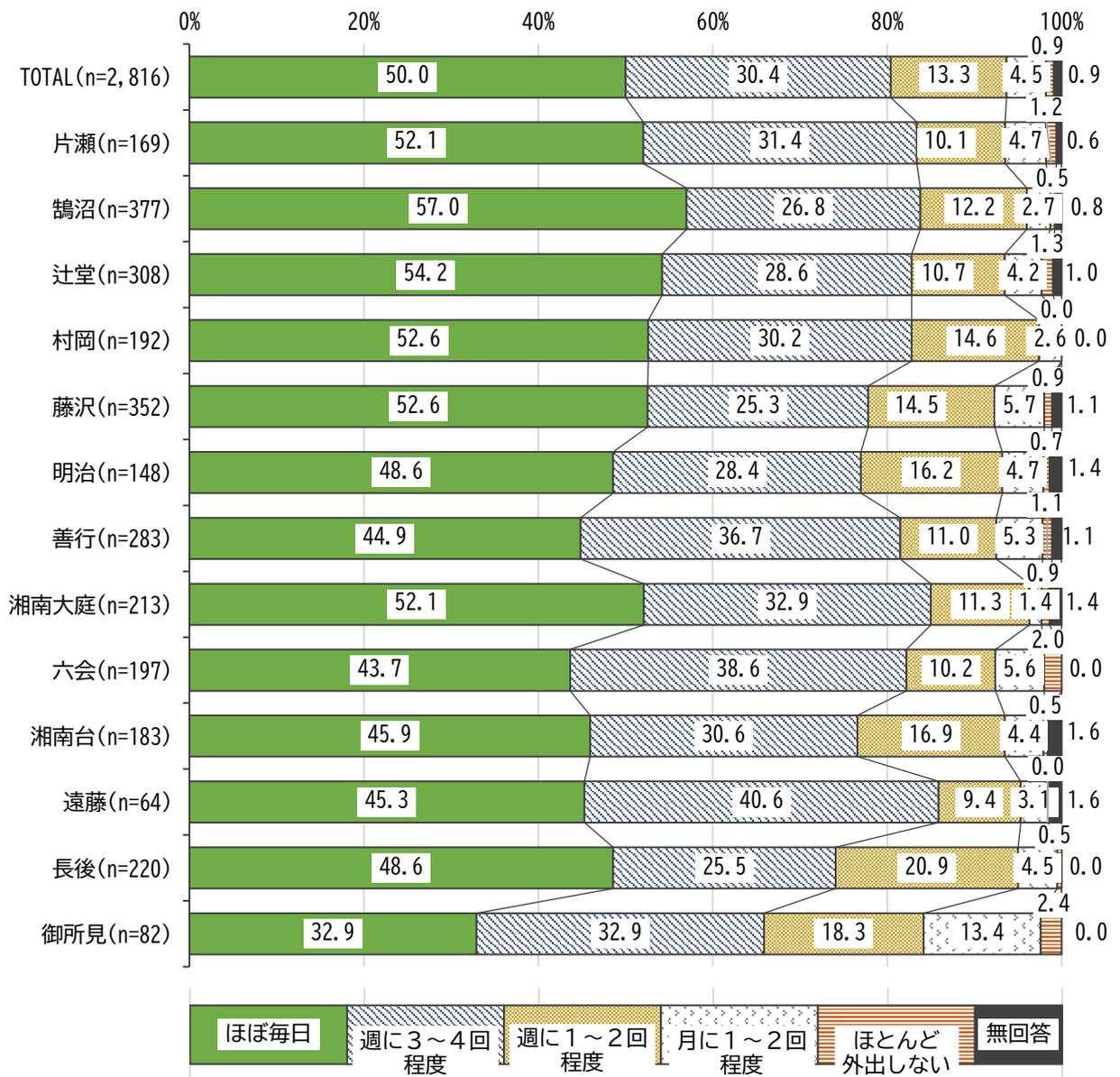
【基本属性別（人数・％）】

	n=	ほぼ毎日	週に3〜4回程度	週に1〜2回程度	月に1〜2回程度	ほとんど外出しない	無回答
		上段：人数 下段：％					
TOTAL	2,816 100.0	1,409 50.0	855 30.4	375 13.3	126 4.5	26 0.9	25 0.9
男性	1,220 100.0	716 58.7	319 26.1	126 10.3	37 3.0	12 1.0	10 0.8
女性	1,549 100.0	672 43.4	522 33.7	244 15.8	86 5.6	13 0.8	12 0.8
前期高齢者	1,368 100.0	811 59.3	383 28.0	120 8.8	42 3.1	7 0.5	5 0.4
男性 前期高齢者	644 100.0	429 66.6	148 23.0	45 7.0	14 2.2	5 0.8	3 0.5
女性 前期高齢者	718 100.0	380 52.9	231 32.2	75 10.4	28 3.9	2 0.3	2 0.3
後期高齢者	1,420 100.0	590 41.5	463 32.6	250 17.6	81 5.7	18 1.3	18 1.3
男性 後期高齢者	573 100.0	286 49.9	171 29.8	80 14.0	22 3.8	7 1.2	7 1.2
女性 後期高齢者	826 100.0	290 35.1	289 35.0	168 20.3	58 7.0	11 1.3	10 1.2
(再掲)85歳以上	288 100.0	82 28.5	92 31.9	71 24.7	29 10.1	9 3.1	5 1.7
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	33 32.0	35 34.0	19 18.4	12 11.7	2 1.9	2 1.9
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	46 25.8	56 31.5	50 28.1	17 9.6	7 3.9	2 1.1

【健康状態別】

	n=	ほぼ毎日	週に3〜4回程度	週に1〜2回程度	月に1〜2回程度	ほとんど外出しない	無回答
TOTAL	2,816	50.0	30.4	13.3	4.5	0.9	0.9
健康だと思う	749	64.8	25.4	6.7	2.3	0.7	0.3
どちらかといえば健康だと思う	1356	49.4	31.9	13.9	3.5	0.7	0.6
あまり健康だとは思わない	548	37.0	34.9	19.3	6.8	1.3	0.7
健康だと思わない	115	31.3	25.2	21.7	17.4	4.3	0.0

【地域別】



第2章 調査結果の詳細

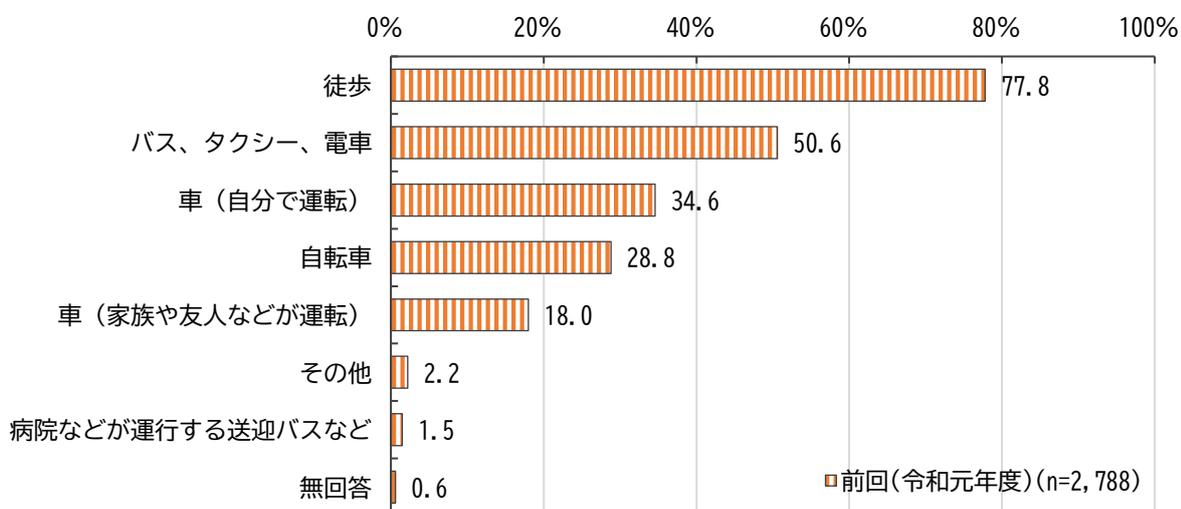
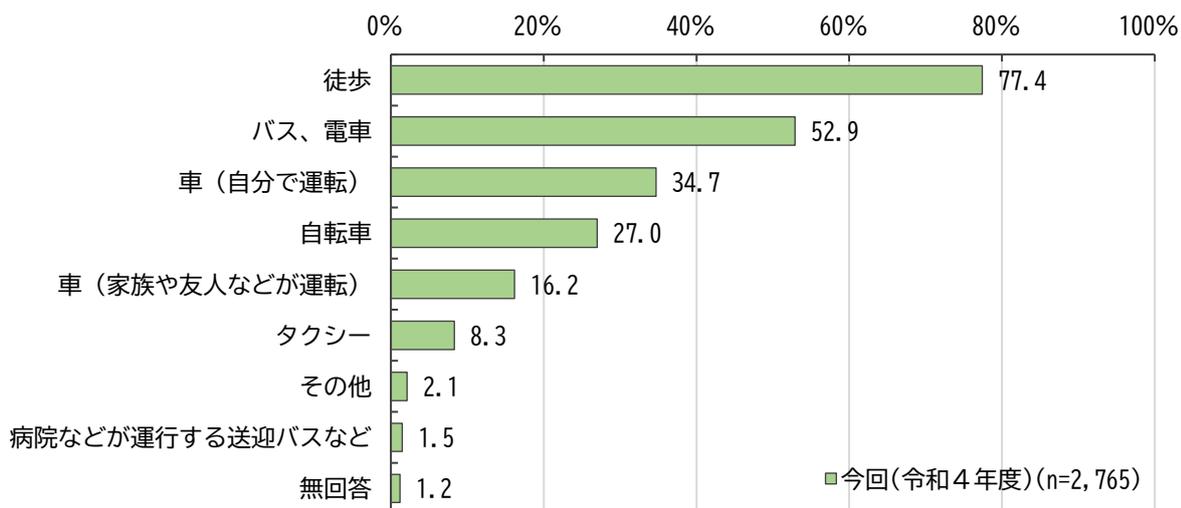
(3) 外出時の移動手段

問15で「1」～「4」のいずれかを回答した方にうかがいます。

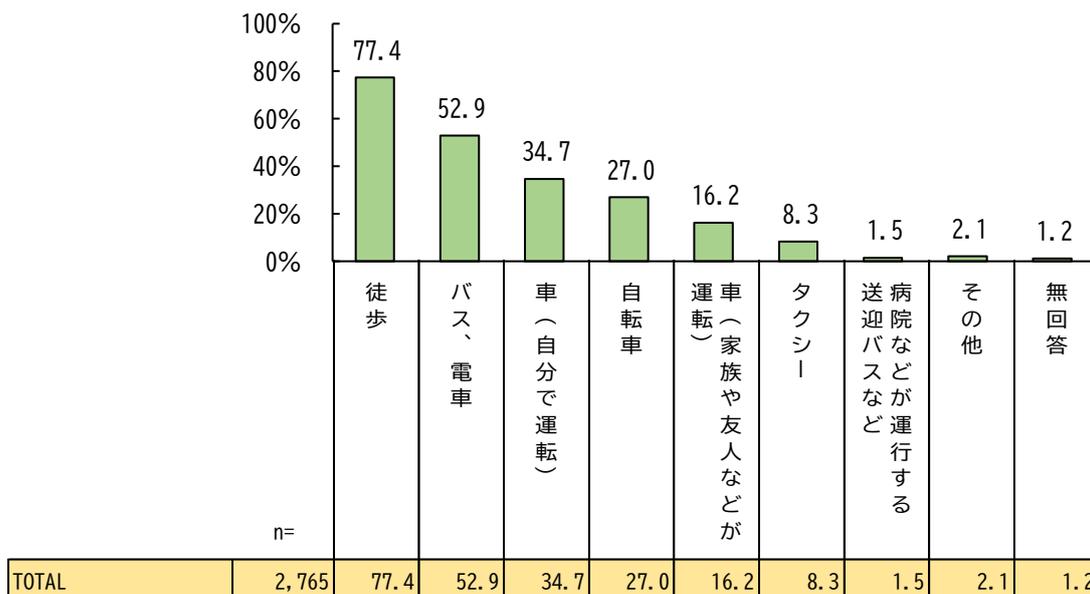
問15-1 外出の際の移動手段は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

外出の際の移動手段については、「徒歩」が77.4%で最も高く、次いで「バス、電車」が52.9%、「車（自分で運転）」が34.7%、「自転車」が27.0%の順となっています。

【経年比較】



【単純集計 (%)】



性別にみると、男性では「車（自分で運転）」、女性では「バス、電車」、「車（家族や友人などが運転）」の割合が全体より高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「車（自分で運転）」、「自転車」、85歳以上では「バス、電車」の割合が全体より高くなっています。

【基本属性別（人数・%）】

属性	n	徒歩	バス、電車	車（自分で運転）	自転車	車（家族や友人などが運転）	タクシー	送迎バスなど	病院などが運行する	その他	無回答
		人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
TOTAL	2,765	2,141	1,462	959	746	449	230	41	59	33	
		100.0	77.4	52.9	34.7	27.0	16.2	8.3	1.5	2.1	1.2
男性	1,198	935	557	639	359	91	68	11	30	11	
		100.0	78.0	46.5	53.3	30.0	7.6	5.7	0.9	2.5	0.9
女性	1,524	1,181	883	308	378	348	156	30	28	21	
		100.0	77.5	57.9	20.2	24.8	22.8	10.2	2.0	1.8	1.4
前期高齢者	1,356	1,062	714	612	397	209	57	10	30	15	
		100.0	78.3	52.7	45.1	29.3	15.4	4.2	0.7	2.2	1.1
男性 前期高齢者	636	503	315	401	177	39	19	0	17	6	
		100.0	79.1	49.5	63.1	27.8	6.1	3.0	0.0	2.7	0.9
女性 前期高齢者	714	556	396	208	218	168	38	10	13	9	
		100.0	77.9	55.5	29.1	30.5	23.5	5.3	1.4	1.8	1.3
後期高齢者	1,384	1,063	733	343	341	233	167	31	28	18	
		100.0	76.8	53.0	24.8	24.6	16.8	12.1	2.2	2.0	1.3
男性 後期高齢者	559	429	240	237	180	52	48	11	13	5	
		100.0	76.7	42.9	42.4	32.2	9.3	8.6	2.0	2.3	0.9
女性 後期高齢者	805	622	485	100	157	179	118	20	15	12	
		100.0	77.3	60.2	12.4	19.5	22.2	14.7	2.5	1.9	1.5
(再掲)85歳以上	274	205	149	30	44	66	53	7	1	2	
		100.0	74.8	54.4	10.9	16.1	24.1	19.3	2.6	0.4	0.7
男性(再掲)85歳以上	99	68	52	26	29	14	17	3	0	1	
		100.0	68.7	52.5	26.3	29.3	14.1	17.2	3.0	0.0	1.0
女性(再掲)85歳以上	169	132	94	3	15	52	36	4	1	1	
		100.0	78.1	55.6	1.8	8.9	30.8	21.3	2.4	0.6	0.6

第2章 調査結果の詳細

【地域別 (%)】

	n=	徒歩	バス、電車	車（自分で運転）	自転車	車（家族や友人などが運転）	タクシー	病院などが運行する 送迎バスなど	その他	無回答
TOTAL	2,765	77.4	52.9	34.7	27.0	16.2	8.3	1.5	2.1	1.2
片瀬	166	87.3	71.1	35.5	22.9	13.3	7.2	0.0	1.8	0.6
鶴沼	372	83.6	60.2	26.3	37.1	13.4	10.5	0.8	0.8	0.8
辻堂	301	80.4	48.5	28.2	42.2	14.3	9.3	2.7	2.3	0.7
村岡	192	75.0	57.8	29.7	20.3	19.3	9.9	0.5	2.6	0.5
藤沢	345	82.6	50.1	25.8	23.5	16.8	7.8	0.3	2.3	1.2
明治	145	73.1	49.7	33.1	40.0	17.9	10.3	1.4	1.4	0.7
善行	277	72.2	57.0	42.6	18.1	13.4	8.7	0.7	3.2	2.2
湘南大庭	208	79.8	57.2	45.7	22.6	18.3	2.9	3.4	1.0	1.4
六会	193	72.0	47.7	44.0	16.6	19.7	4.7	1.0	1.6	1.6
湘南台	179	79.9	49.7	29.6	20.1	15.1	12.3	3.4	1.7	2.2
遠藤	63	65.1	42.9	54.0	22.2	17.5	6.3	0.0	4.8	0.0
長後	219	76.7	40.2	40.6	32.9	19.2	7.3	2.3	2.3	0.9
御所見	80	43.8	35.0	55.0	13.8	17.5	6.3	3.8	6.3	3.8

【健康状態別】

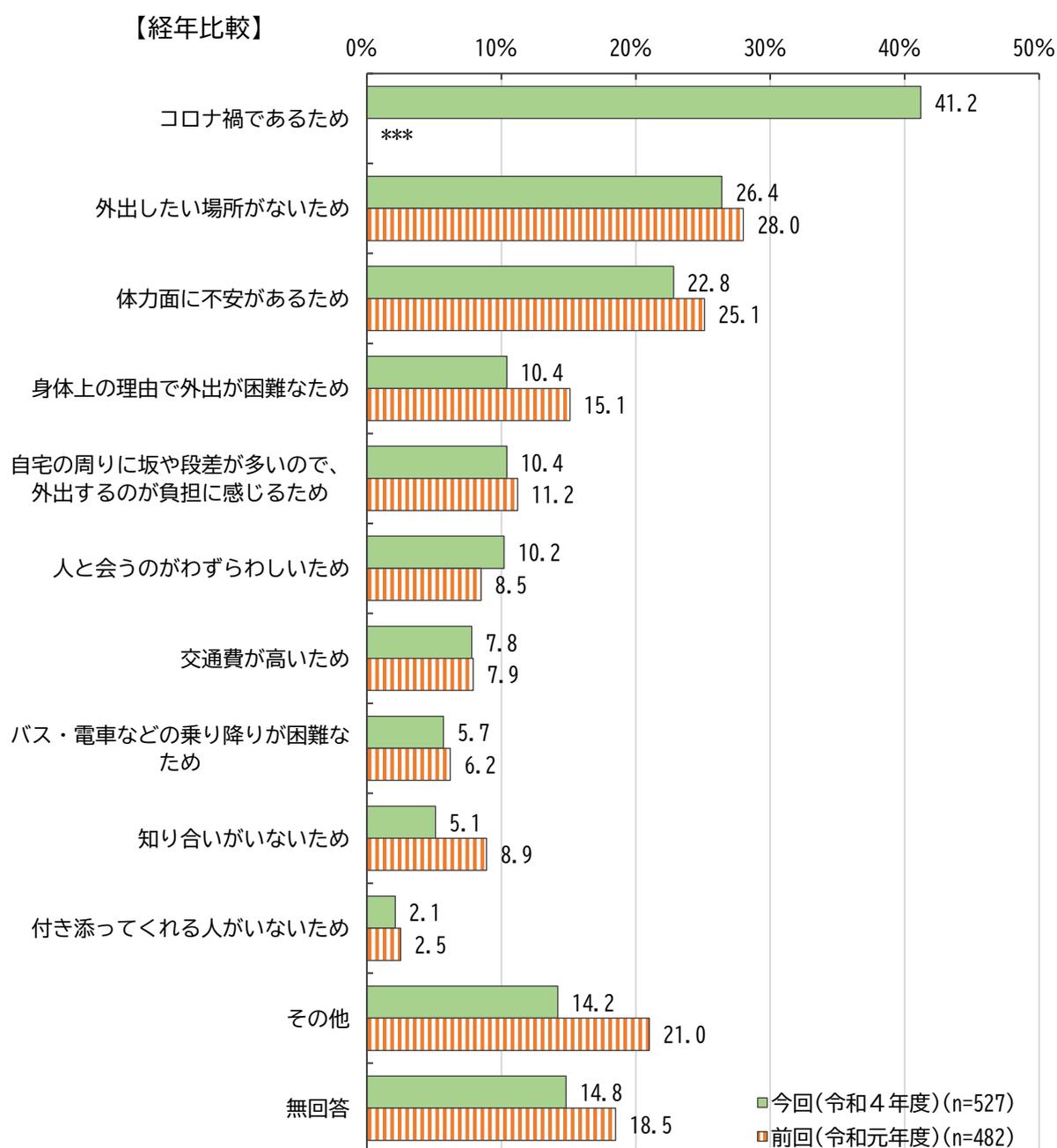
	n=	徒歩	バス、電車	車（自分で運転）	自転車	車（家族や友人などが運転）	タクシー	病院などが運行する 送迎バスなど	その他	無回答
TOTAL	2,765	77.4	52.9	34.7	27.0	16.2	8.3	1.5	2.1	1.2
健康だと思う	742	81.3	49.5	39.6	29.5	13.5	4.6	0.1	1.5	1.5
どちらかといえば健康だと思う	1339	78.9	54.1	35.1	28.1	15.5	7.0	1.6	2.5	0.9
あまり健康だとは思わない	537	72.4	55.9	29.2	24.4	20.1	12.8	2.4	2.0	1.5
健康だと思わない	110	59.1	50.9	26.4	13.6	22.7	26.4	3.6	2.7	0.9

(4) 外出しない理由

問15で「3. 週に1～2回程度」「4. 月に1～2回程度」「5. ほとんど外出しない」と回答した方にうかがいます。

問15-2 外出しない・外出が少ない理由は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

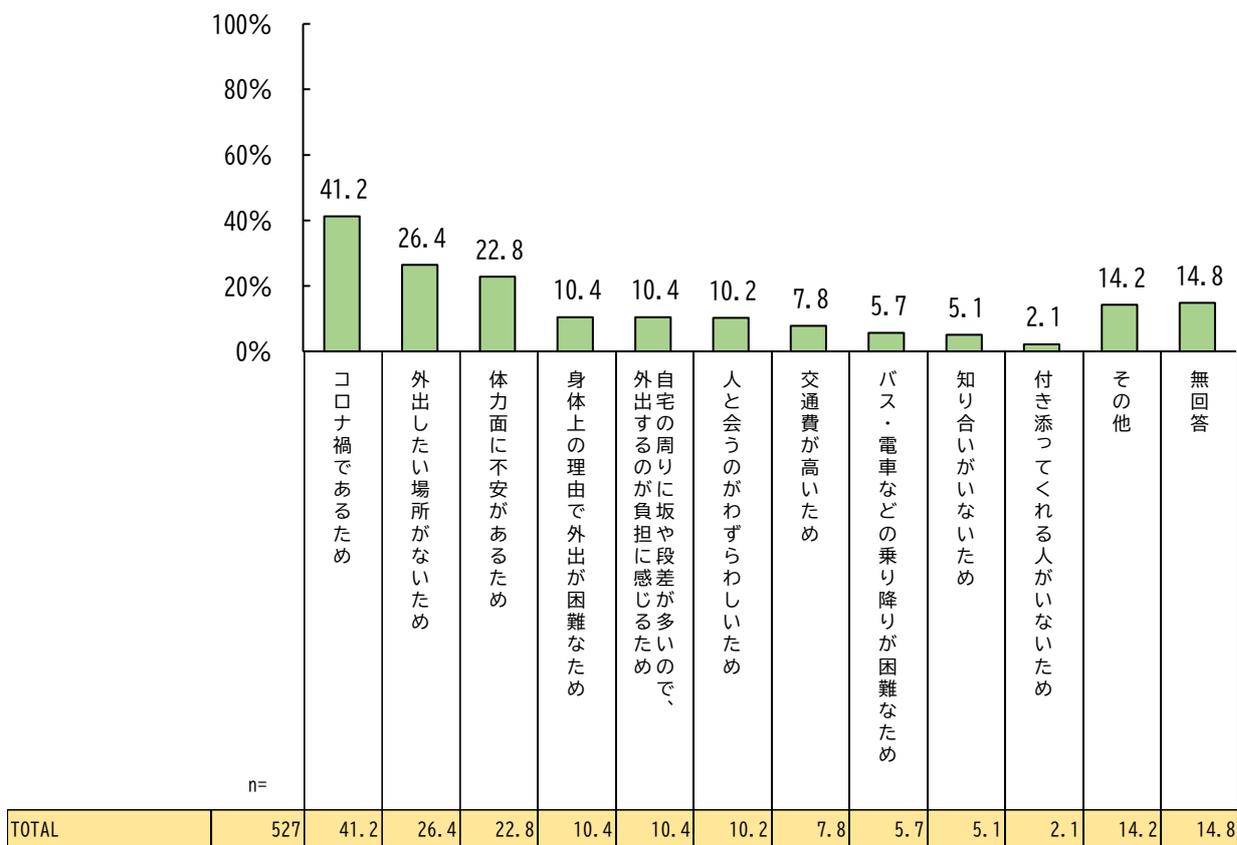
外出頻度の少ない方(「3. 週に1～2回程度」「4. 月に1～2回程度」「5. ほとんど外出しない」18.2%、計527人)の外出頻度の少ない理由については、「コロナ禍であるため」(41.2%)が最も高く、次いで「外出したい場所がないため」(26.4%)、「体力面に不安があるため」(22.8%)がともに2割台となっています。また、「身体上の理由で外出が困難なため」、「自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じるため」(各10.4%)、「人と会うのがわずらわしいため」(10.2%)が1割台で続いています。



※令和元年度では「コロナ禍であるため」という選択肢がないため、***表記としている。

第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



性別にみると、男性では「外出したい場所がないため」、「人と会うのがわずらわしいため」、女性では「コロナ禍であるため」が全体の割合に対して多くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「外出したい場所がないため」、後期高齢者では「自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じるため」、「バス・電車などの乗り降りが困難なため」が全体の割合に対して比較的多くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=	コロナ禍であるため	外出したい場所がないため	体力面に不安があるため	身体上の理由で外出が困難なため	自宅の周りに坂や段差が多いため、	人と会うのがわずらわしいため	交通費が高いため	バス・電車などの乗り降りが困難なため	知り合いがいないため	付き添ってくれる人がいないため	その他	無回答	上段：人数 下段：％
TOTAL	527	217	139	120	55	55	54	41	30	27	11	75	78	
	100.0	41.2	26.4	22.8	10.4	10.4	10.2	7.8	5.7	5.1	2.1	14.2	14.8	
男性	175	70	58	42	17	21	25	16	3	6	5	25	23	
	100.0	40.0	33.1	24.0	9.7	12.0	14.3	9.1	1.7	3.4	2.9	14.3	13.1	
女性	343	145	80	75	36	33	29	25	27	21	5	48	51	
	100.0	42.3	23.3	21.9	10.5	9.6	8.5	7.3	7.9	6.1	1.5	14.0	14.9	
前期高齢者	169	75	53	38	18	11	18	14	7	11	3	24	16	
	100.0	44.4	31.4	22.5	10.7	6.5	10.7	8.3	4.1	6.5	1.8	14.2	9.5	
男性 前期高齢者	64	28	26	15	6	3	7	3	2	2	2	12	4	
	100.0	43.8	40.6	23.4	9.4	4.7	10.9	4.7	3.1	3.1	3.1	18.8	6.3	
女性 前期高齢者	105	47	27	23	12	8	11	11	5	9	1	12	12	
	100.0	44.8	25.7	21.9	11.4	7.6	10.5	10.5	4.8	8.6	1.0	11.4	11.4	
後期高齢者	349	141	85	77	35	44	36	27	23	16	7	49	59	
	100.0	40.4	24.4	22.1	10.0	12.6	10.3	7.7	6.6	4.6	2.0	14.0	16.9	
男性 後期高齢者	109	42	31	25	11	18	18	13	1	4	3	13	19	
	100.0	38.5	28.4	22.9	10.1	16.5	16.5	11.9	0.9	3.7	2.8	11.9	17.4	
女性 後期高齢者	237	98	53	51	24	25	18	14	22	12	4	36	39	
	100.0	41.4	22.4	21.5	10.1	10.5	7.6	5.9	9.3	5.1	1.7	15.2	16.5	
(再掲)85歳以上	109	32	23	21	18	9	8	7	10	5	3	17	28	
	100.0	29.4	21.1	19.3	16.5	8.3	7.3	6.4	9.2	4.6	2.8	15.6	25.7	
男性(再掲)85歳以上	33	5	7	6	6	4	3	4	0	2	0	4	12	
	100.0	15.2	21.2	18.2	18.2	12.1	9.1	12.1	0.0	6.1	0.0	12.1	36.4	
女性(再掲)85歳以上	74	27	16	14	12	5	5	3	10	3	3	13	15	
	100.0	36.5	21.6	18.9	16.2	6.8	6.8	4.1	13.5	4.1	4.1	17.6	20.3	

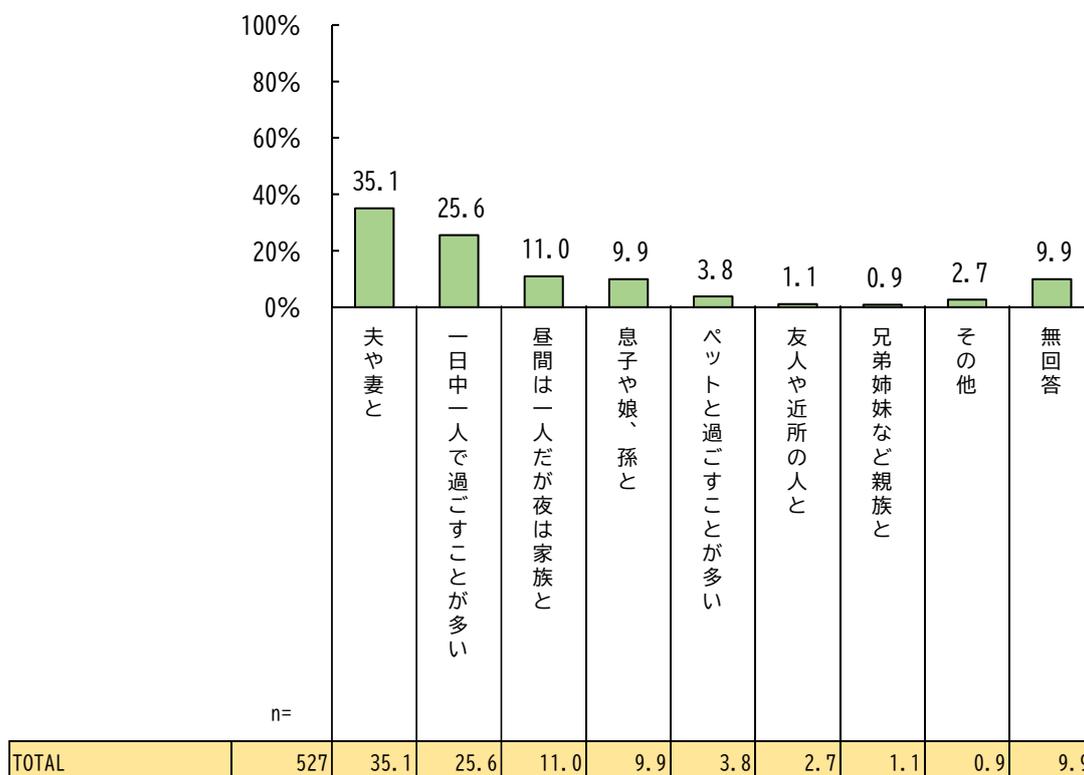
(5) 外出しない日に過ごす相手

問 15 で「3. 週に1～2回程度」「4. 月に1～2回程度」「5. ほとんど外出しない」と回答した方にうかがいます。

問 15-3 外出しない日はどなたと過ごすことが多いですか。(1つに○)

外出頻度の少ない方(「3. 週に1～2回程度」「4. 月に1～2回程度」「5. ほとんど外出しない」18.7%、計527人)の、外出しない日とともに過ごす相手については、「夫や妻と」が35.1%で最も高く、次いで「一日中一人で過ごすことが多い」が25.6%、「昼間は一人だが夜は家族と」が11.0%、「息子や娘、孫と」が9.9%となっています。

【単純集計 (%)】



性別にみると、男性では「夫や妻と」、女性では「息子や娘、孫と」「昼間は一人だが夜は家族と」が全体の割合に対して多くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

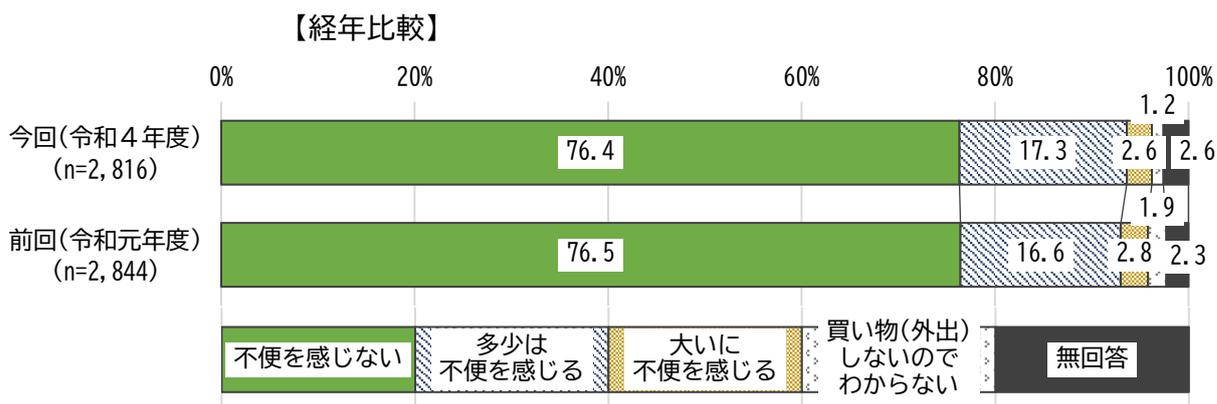
	n=	夫や妻と	息子や娘、孫と	兄弟姉妹など親族と	友人や近所の人と	昼間は一人だが夜は家族と	ペットと過ごすことが多い	一日中一人で過ごすことが多い	その他	無回答	上段：人数 下段：％
TOTAL	527 100.0	185 35.1	52 9.9	5 0.9	6 1.1	58 11.0	20 3.8	135 25.6	14 2.7	52 9.9	
男性	175 100.0	90 51.4	7 4.0	0 0.0	0 0.0	12 6.9	2 1.1	42 24.0	4 2.3	18 10.3	
女性	343 100.0	93 27.1	44 12.8	5 1.5	6 1.7	46 13.4	18 5.2	89 25.9	10 2.9	32 9.3	
前期高齢者	169 100.0	71 42.0	8 4.7	2 1.2	2 1.2	23 13.6	9 5.3	39 23.1	4 2.4	11 6.5	
男性 前期高齢者	64 100.0	33 51.6	1 1.6	0 0.0	0 0.0	8 12.5	2 3.1	15 23.4	1 1.6	4 6.3	
女性 前期高齢者	105 100.0	38 36.2	7 6.7	2 1.9	2 1.9	15 14.3	7 6.7	24 22.9	3 2.9	7 6.7	
後期高齢者	349 100.0	113 32.4	43 12.3	3 0.9	4 1.1	33 9.5	11 3.2	93 26.6	10 2.9	39 11.2	
男性 後期高齢者	109 100.0	57 52.3	6 5.5	0 0.0	0 0.0	3 2.8	0 0.0	27 24.8	3 2.8	13 11.9	
女性 後期高齢者	237 100.0	55 23.2	37 15.6	3 1.3	4 1.7	30 12.7	11 4.6	65 27.4	7 3.0	25 10.5	
(再掲)85歳以上	109 100.0	25 22.9	18 16.5	0 0.0	1 0.9	17 15.6	2 1.8	29 26.6	0 0.0	17 15.6	
男性(再掲)85歳以上	33 100.0	14 42.4	2 6.1	0 0.0	0 0.0	3 9.1	0 0.0	7 21.2	0 0.0	7 21.2	
女性(再掲)85歳以上	74 100.0	10 13.5	16 21.6	0 0.0	1 1.4	14 18.9	2 2.7	22 29.7	0 0.0	9 12.2	

5. 買い物の状況について

(1) 買い物で不便に感じること

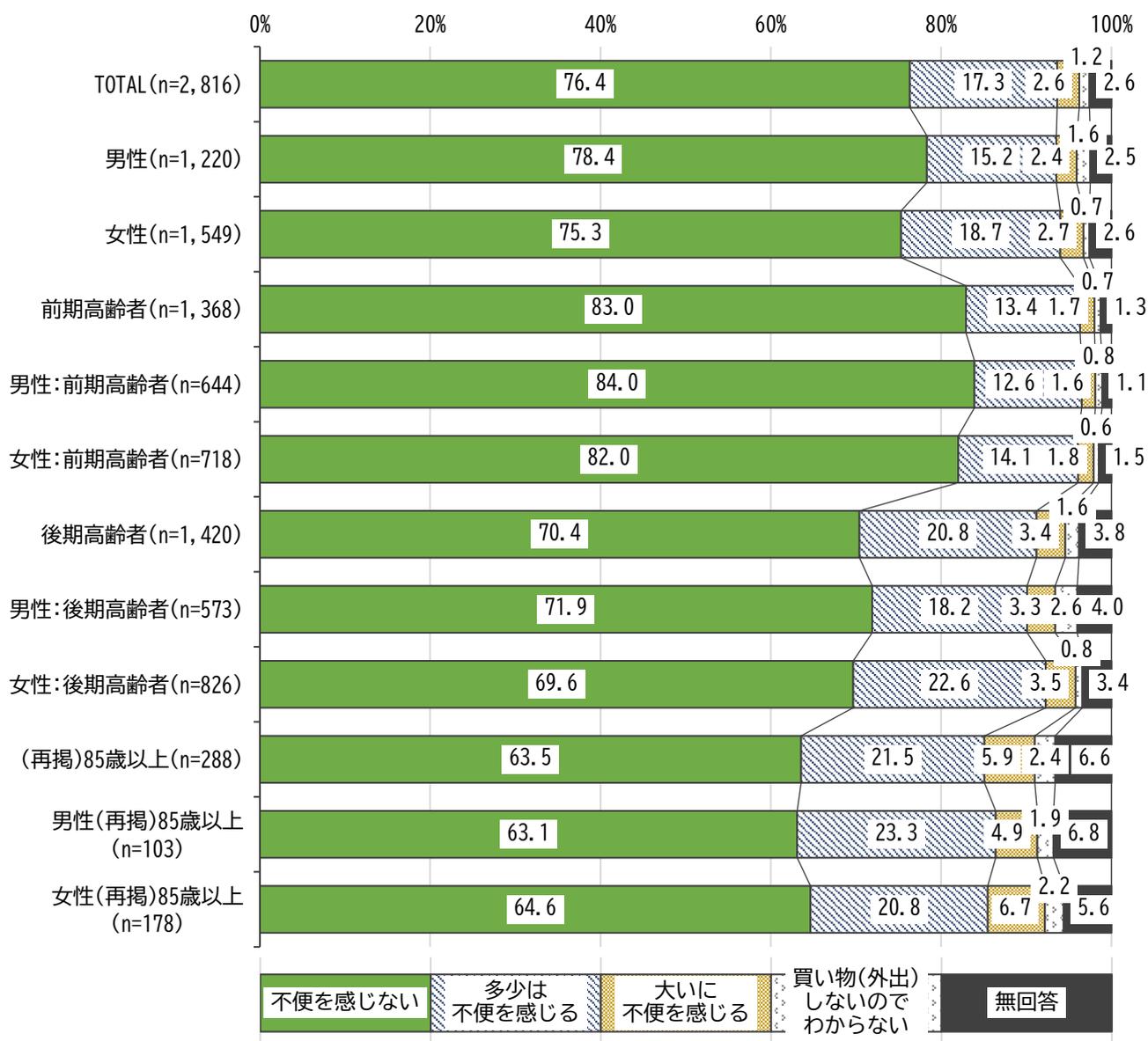
問16 あなた(ご本人)は日ごろ、食料品や日用品など、日常生活に必要な買い物で不便を感じることがありますか。(1つに○)

ふだんの買い物で不便を感じる経験については、「不便を感じない」が76.4%に対し、「多少は不便を感じる」(17.3%)、「大いに不便を感じる」(2.6%)を合わせて、『不便を感じる』とする割合は19.9%となっています。



年齢別にみると、前期高齢者では「不便を感じない」、後期高齢者では「多少は不便を感じる」が全体の割合に対して多くなっています。

【基本属性別 (%)】



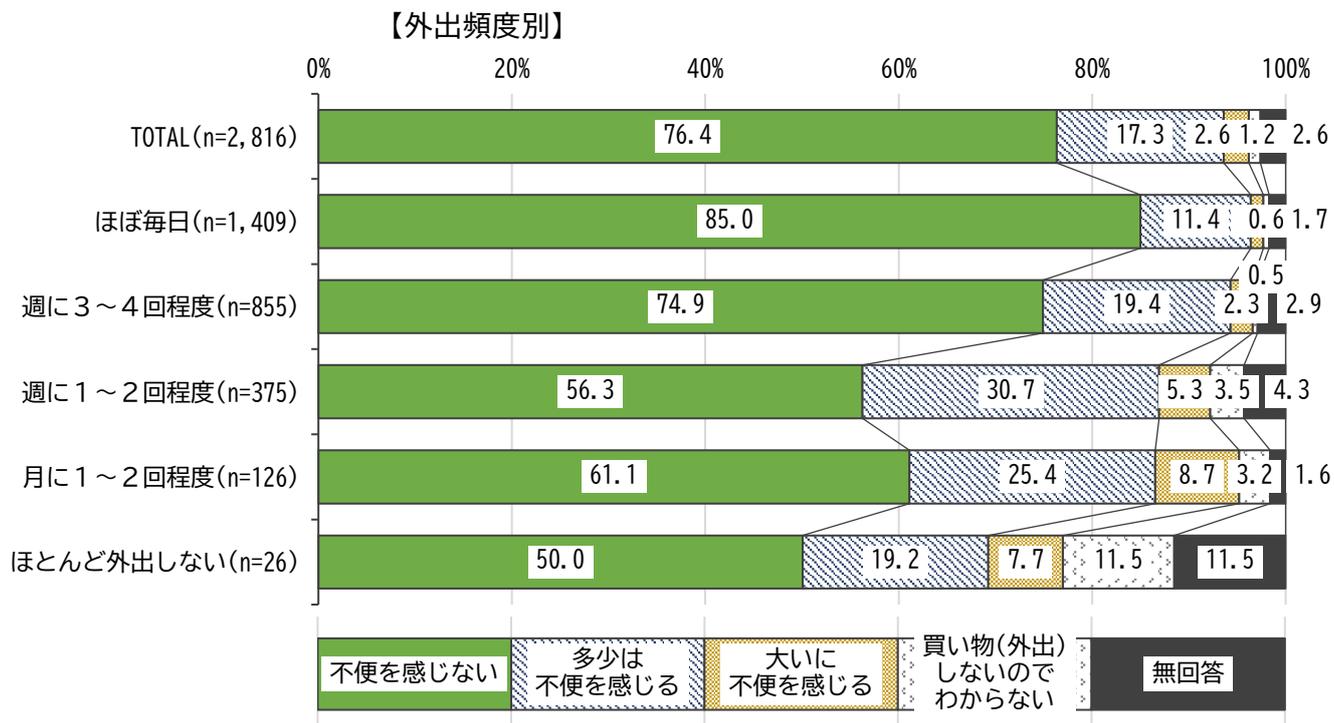
第2章 調査結果の詳細

【基本属性別（人数・％）】

	n=	不便を感じない	多少は不便を感じる	大いに不便を感じる	買い物（外出）しない	無回答
TOTAL	2,816 100.0	2,152 76.4	486 17.3	72 2.6	33 1.2	73 2.6
男性	1,220 100.0	956 78.4	185 15.2	29 2.4	20 1.6	30 2.5
女性	1,549 100.0	1,166 75.3	290 18.7	42 2.7	11 0.7	40 2.6
前期高齢者	1,368 100.0	1,135 83.0	183 13.4	23 1.7	9 0.7	18 1.3
男性 前期高齢者	644 100.0	541 84.0	81 12.6	10 1.6	5 0.8	7 1.1
女性 前期高齢者	718 100.0	589 82.0	101 14.1	13 1.8	4 0.6	11 1.5
後期高齢者	1,420 100.0	1,000 70.4	295 20.8	48 3.4	23 1.6	54 3.8
男性 後期高齢者	573 100.0	412 71.9	104 18.2	19 3.3	15 2.6	23 4.0
女性 後期高齢者	826 100.0	575 69.6	187 22.6	29 3.5	7 0.8	28 3.4
(再掲)85歳以上	288 100.0	183 63.5	62 21.5	17 5.9	7 2.4	19 6.6
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	65 63.1	24 23.3	5 4.9	2 1.9	7 6.8
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	115 64.6	37 20.8	12 6.7	4 2.2	10 5.6

上段：人数
下段：％

外出頻度別にみると、「ほぼ毎日（外出している）」方は「不便を感じない」が高くなっています。外出頻度が減るにつれ、『不便を感じる』が高くなる傾向にあります。



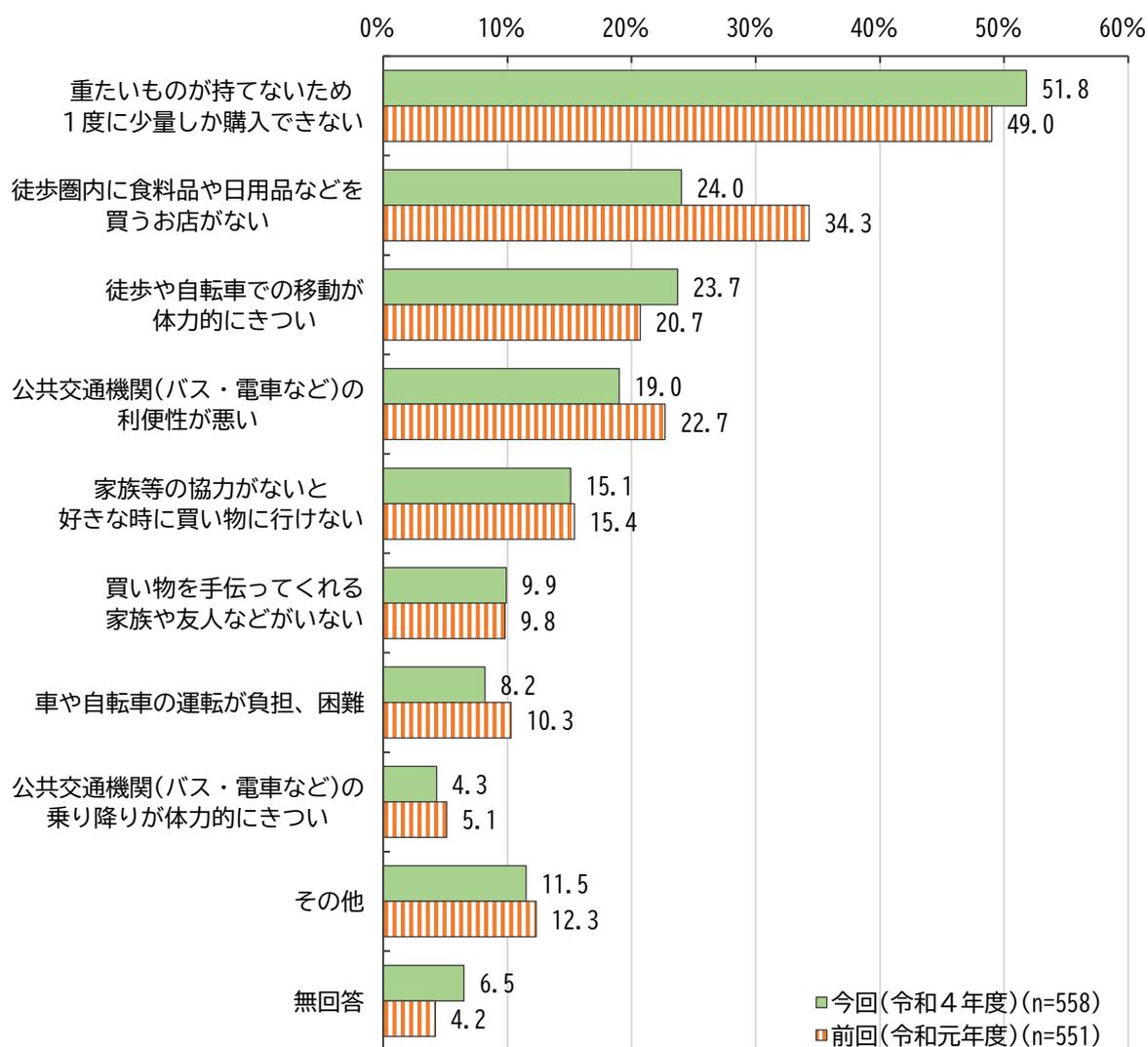
(2) 買い物で不便を感じる理由

買い物で不便を感じている方のみ（問16で「2. 多少は不便を感じる」または「3. 大いに不便を感じる」と回答した方）お答えください。

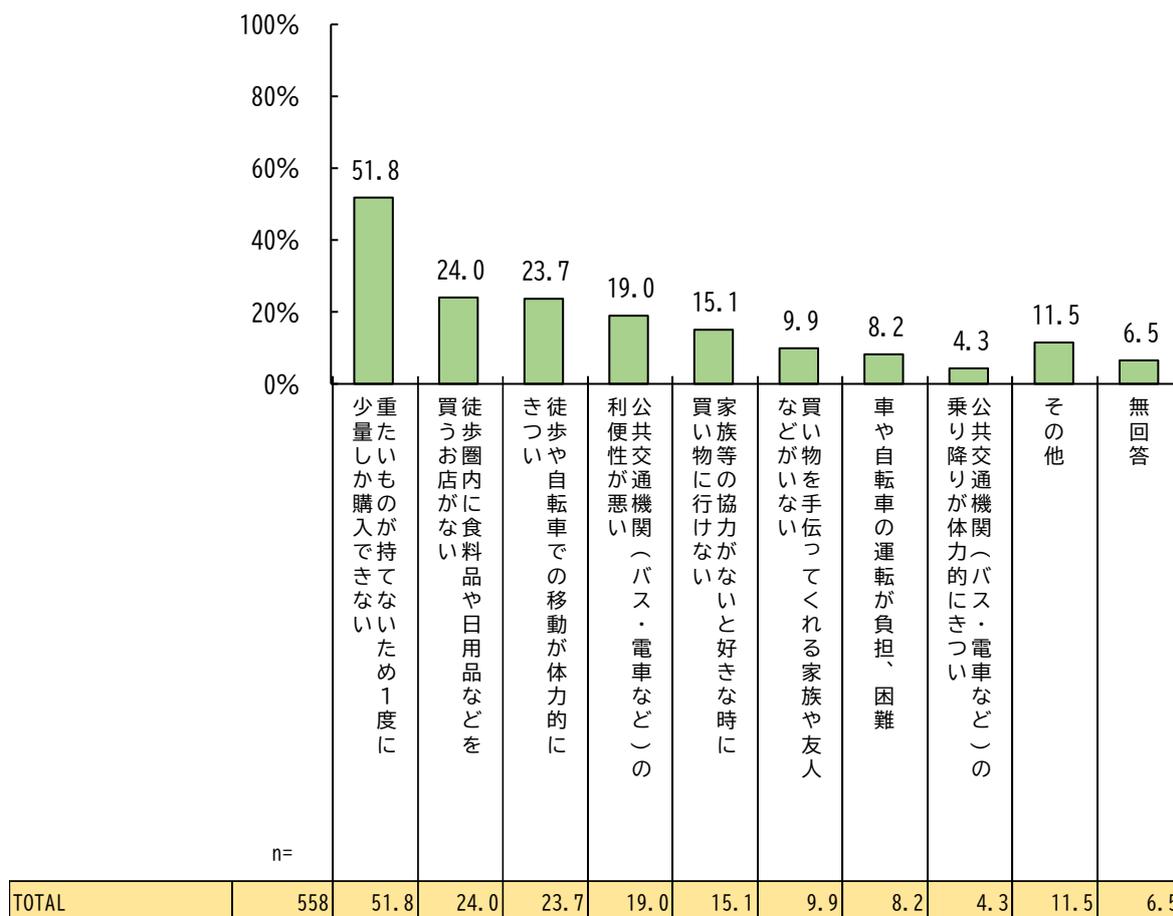
問16-1 その理由は何ですか。（特にあてはまるもの3つまでに○）

ふだん買い物で『不便を感じる』（558人、19.9%）理由については、「重たいものが持てないため1度に少量しか購入できない」が51.8%で最も高く、次いで「徒歩圏内に食料品や日用品などを買うお店がない」が24.0%、「徒歩や自転車での移動が体力的にきつい」が23.7%、「公共交通機関（バス・電車など）の利便性が悪い」が19.0%の順となっています。

【経年比較】



【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「徒歩圏内に食料品や日用品などを買うお店がない」、「公共交通機関(バス・電車など)の利便性が悪い」、女性では「重たいものが持てないため1度に少量しか購入できない」が全体の割合に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=	少量しか購入できない	重たいものが持てないため1度に	買歩圏内に食料品や日用品などがない	徒歩圏内に食料品や日用品などがない	体力的にきついで移動が	徒歩や自転車での移動が	公共交通機関(バス・電車など)の利便性が悪い	公共交通安全(バス・電車など)の	家族等の協力がなく好きな時に	買い物に行けないと好きな時に	家族等の協力がなく好きな時に	買物を手伝ってくれる家族や友人	などがいない	車や自転車の運転が負担、困難	公共交通機関(バス・電車など)の	乗り降りが体力的にきつい	その他	無回答			
TOTAL	558	289	134	132	106	84	55	46	24	64	36	100.0	51.8	24.0	23.7	19.0	15.1	9.9	8.2	4.3	11.5	6.5
男性	214	80	70	54	47	19	22	23	3	30	13	100.0	37.4	32.7	25.2	22.0	8.9	10.3	10.7	1.4	14.0	6.1
女性	332	204	62	76	58	64	33	22	20	33	18	100.0	61.4	18.7	22.9	17.5	19.3	9.9	6.6	6.0	9.9	5.4
前期高齢者	206	100	57	43	44	28	15	19	4	32	4	100.0	48.5	27.7	20.9	21.4	13.6	7.3	9.2	1.9	15.5	1.9
男性 前期高齢者	91	29	31	18	23	9	8	10	1	17	1	100.0	31.9	34.1	19.8	25.3	9.9	8.8	11.0	1.1	18.7	1.1
女性 前期高齢者	114	70	26	25	21	18	7	8	3	15	3	100.0	61.4	22.8	21.9	18.4	15.8	6.1	7.0	2.6	13.2	2.6
後期高齢者	343	183	74	88	61	56	39	27	18	31	30	100.0	53.4	21.6	25.7	17.8	16.3	11.4	7.9	5.2	9.0	8.7
男性 後期高齢者	123	51	39	36	24	10	14	13	2	13	12	100.0	41.5	31.7	29.3	19.5	8.1	11.4	10.6	1.6	10.6	9.8
女性 後期高齢者	216	132	35	51	37	46	25	14	16	18	15	100.0	61.1	16.2	23.6	17.1	21.3	11.6	6.5	7.4	8.3	6.9
(再掲)85歳以上	79	40	17	22	11	21	8	6	3	7	11	100.0	50.6	21.5	27.8	13.9	26.6	10.1	7.6	3.8	8.9	13.9
男性(再掲)85歳以上	29	13	8	10	6	6	2	3	2	5	4	100.0	44.8	27.6	34.5	20.7	20.7	6.9	10.3	6.9	17.2	13.8
女性(再掲)85歳以上	49	27	9	12	5	15	6	3	1	2	6	100.0	55.1	18.4	24.5	10.2	30.6	12.2	6.1	2.0	4.1	12.2

上段：人数
下段：％

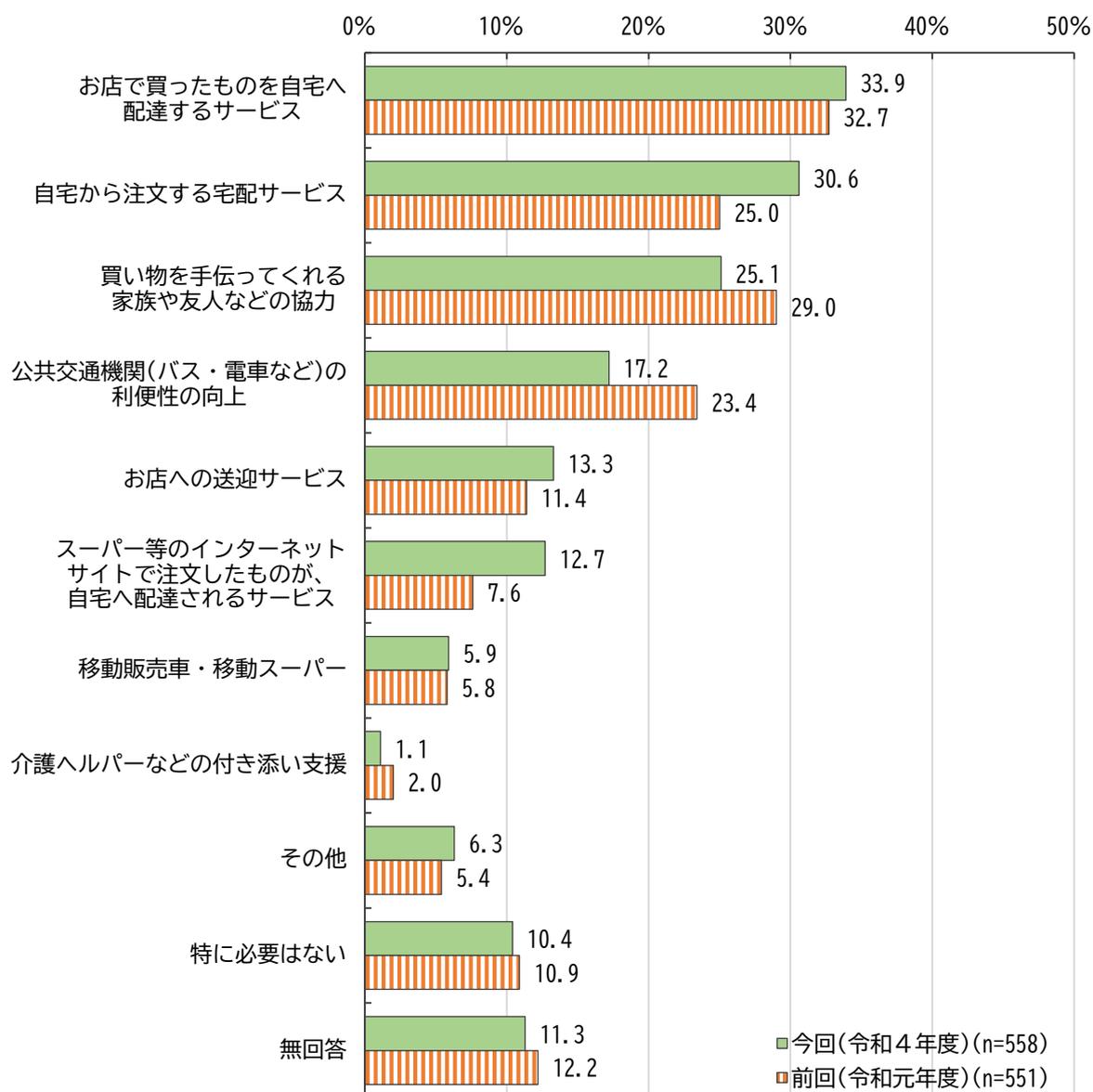
(3) 買い物で必要とする(希望する)支援やサービス

買い物で不便を感じている方のみ(問16で「2. 多少は不便を感じる」または「3. 大いに不便を感じる」と回答した方)お答えください。

問16-2 あなた(ご本人)は、食料品や日用品など、日常生活に必要な買い物をする時、必要とする(希望する)支援やサービスはありますか。
(特にあてはまるもの3つまでに○)

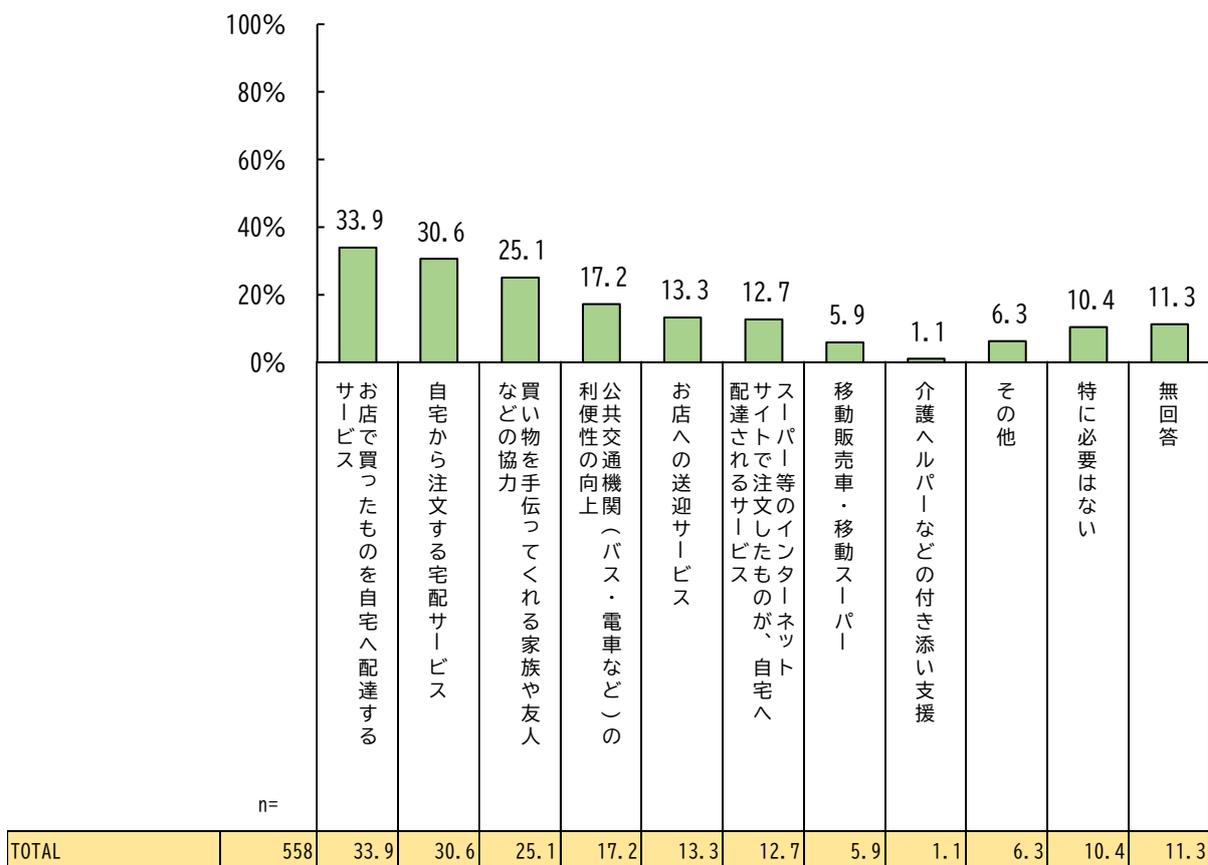
ふだん買い物で『不便を感じる』(558人、19.9%)方の支援、ニーズについては、「お店で買ったものを自宅へ配達するサービス」(33.9%)、「自宅から注文する宅配サービス」(30.6%)が約3割と高く、「買い物を手伝ってくれる家族や友人などの協力」(25.1%)が2割台で続いています。前回と比較すると、「自宅から注文する宅配サービス」、「スーパー等のインターネットサイトで注文したものが、自宅へ配達されるサービス」などの配達サービスを求める意見の増加が顕著です。

【経年比較】



第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



性別にみると、女性では「お店で買ったものを自宅へ配達するサービス」、「買い物を手伝ってくれる家族や友人などの協力」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、後期高齢者で「買い物を手伝ってくれる家族や友人などの協力」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

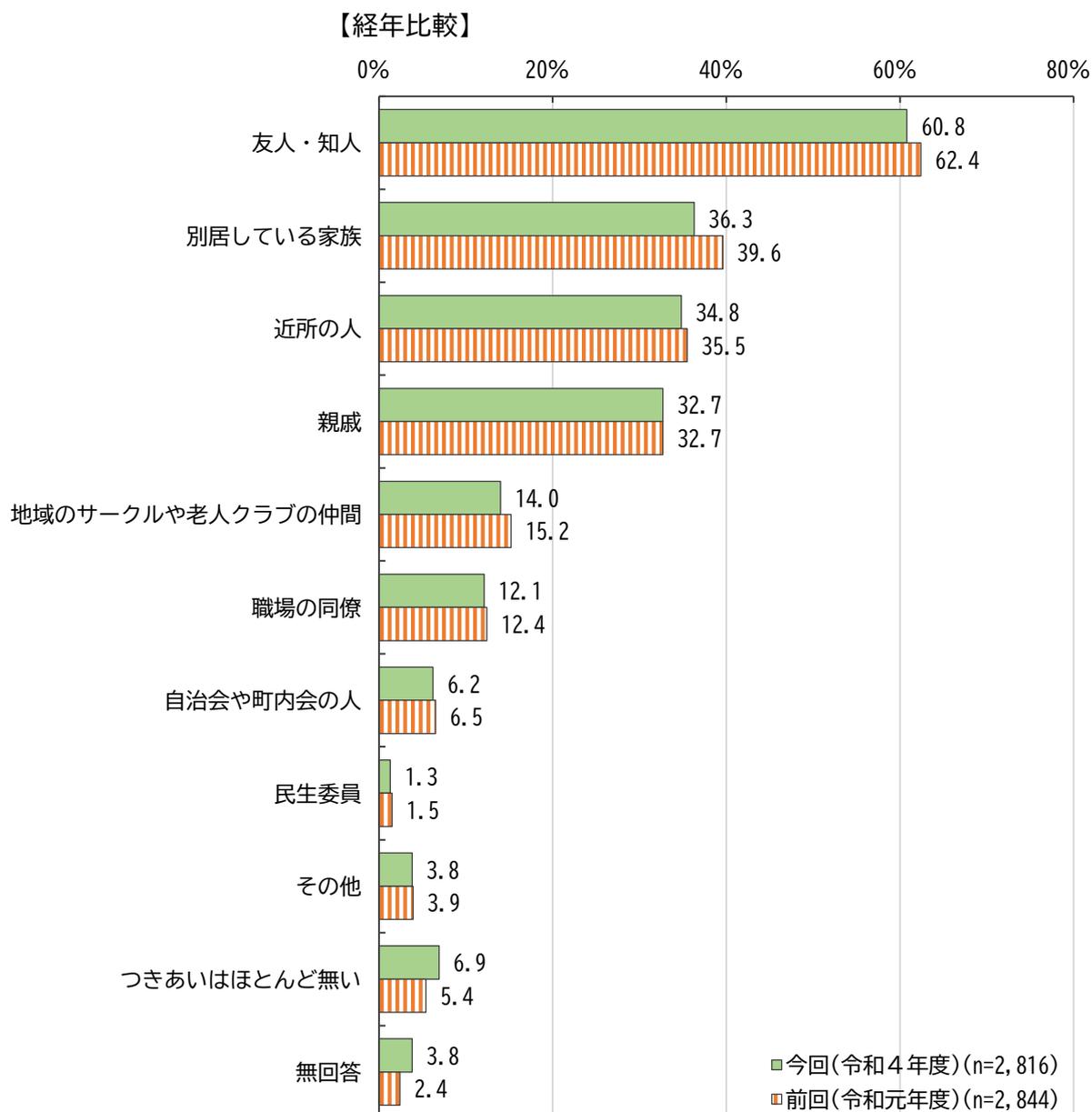
	サービス	お店で買ったものを自宅へ配達する	自宅から注文する宅配サービス	買い物を手伝ってくれる家族や友人などの協力	公共交通機関（バス・電車など）の利便性の向上	お店への送迎サービス	スーパー等のインターネットサイトで注文したものが、自宅へ配達されるサービス	移動販売車・移動スーパー	介護ヘルパーなどの付き添い支援	その他	特に必要はない	無回答	上段：人数 下段：％
n=													
TOTAL	558 100.0	189 33.9	171 30.6	140 25.1	96 17.2	74 13.3	71 12.7	33 5.9	6 1.1	35 6.3	58 10.4	63 11.3	
男性	214 100.0	68 31.8	62 29.0	34 15.9	39 18.2	31 14.5	33 15.4	11 5.1	3 1.4	11 5.1	33 15.4	24 11.2	
女性	332 100.0	120 36.1	106 31.9	105 31.6	55 16.6	42 12.7	37 11.1	21 6.3	3 0.9	23 6.9	22 6.6	35 10.5	
前期高齢者	206 100.0	82 39.8	59 28.6	41 19.9	41 19.9	32 15.5	41 19.9	16 7.8	3 1.5	14 6.8	26 12.6	14 6.8	
男性 前期高齢者	91 100.0	33 36.3	24 26.4	13 14.3	21 23.1	14 15.4	21 23.1	6 6.6	2 2.2	7 7.7	15 16.5	5 5.5	
女性 前期高齢者	114 100.0	48 42.1	35 30.7	28 24.6	19 16.7	17 14.9	20 17.5	10 8.8	1 0.9	7 6.1	11 9.6	9 7.9	
後期高齢者	343 100.0	105 30.6	108 31.5	98 28.6	54 15.7	42 12.2	29 8.5	16 4.7	3 0.9	20 5.8	30 8.7	48 14.0	
男性 後期高齢者	123 100.0	35 28.5	38 30.9	21 17.1	18 14.6	17 13.8	12 9.8	5 4.1	1 0.8	4 3.3	18 14.6	19 15.4	
女性 後期高齢者	216 100.0	70 32.4	70 32.4	77 35.6	36 16.7	25 11.6	17 7.9	11 5.1	2 0.9	16 7.4	11 5.1	26 12.0	
(再掲)85歳以上	79 100.0	19 24.1	26 32.9	26 32.9	14 17.7	14 17.7	4 5.1	3 3.8	1 1.3	4 5.1	1 1.3	15 19.0	
男性(再掲)85歳以上	29 100.0	9 31.0	12 41.4	7 24.1	6 20.7	9 31.0	2 6.9	0 0.0	0 0.0	2 6.9	1 3.4	3 10.3	
女性(再掲)85歳以上	49 100.0	10 20.4	14 28.6	19 38.8	8 16.3	5 10.2	2 4.1	3 6.1	1 2.0	2 4.1	0 0.0	11 22.4	

6. 同居の家族以外のお付き合いの状況について

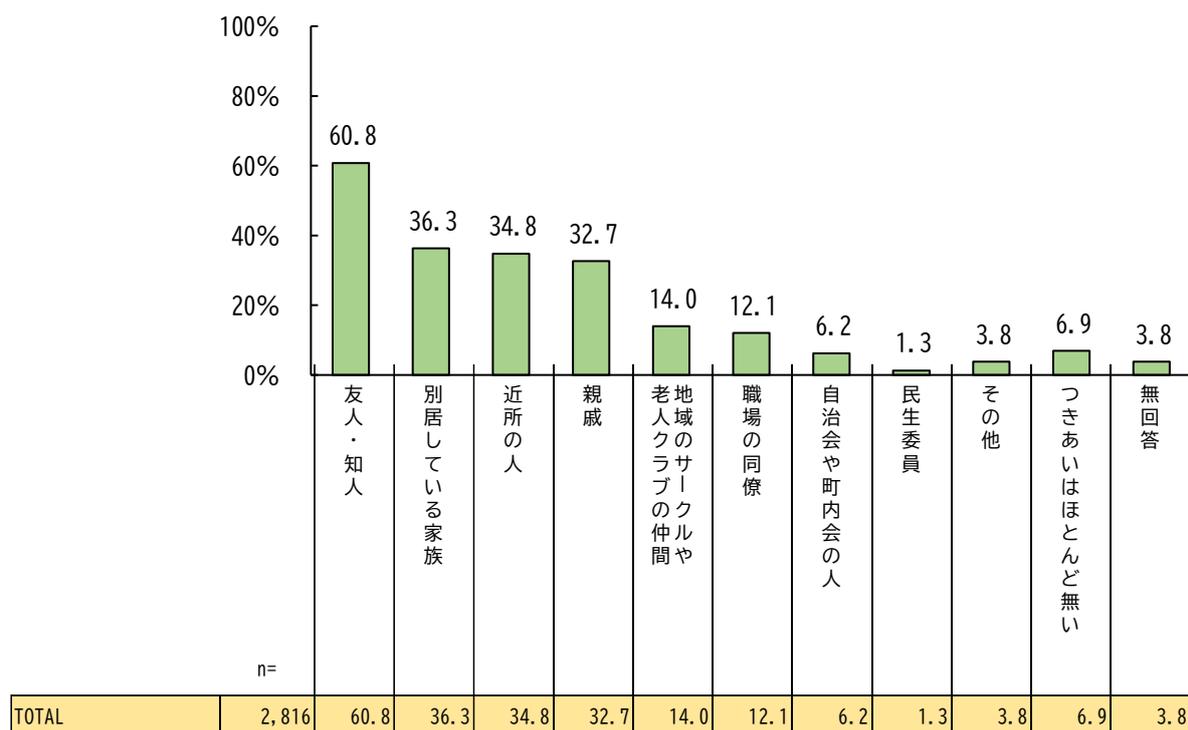
(1) 同居の家族以外で付き合いや連絡を取り合う人の有無

問 17 普段、同居の家族以外でどのような方とお付き合いをしたり、連絡をとりあったりしていますか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

同居家族以外との付き合いや連絡については、89.3%が『付き合いや連絡のやりとりがある』としており、そのうち「友人・知人」が60.8%で最も高く、次いで「別居している家族」が36.3%、「近所の人」が34.8%、「親戚」が32.7%の順となっています。



【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「職場の同僚」、「自治会や町内会の人」、女性では「友人・知人」、「別居している家族」、「近所の人」、「親戚」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「友人・知人」、「別居している家族」、「親戚」、「職場の同僚」、後期高齢者では「近所の人」、「地域のサークルや老人クラブの仲間」の割合が全体に対して高くなっています。

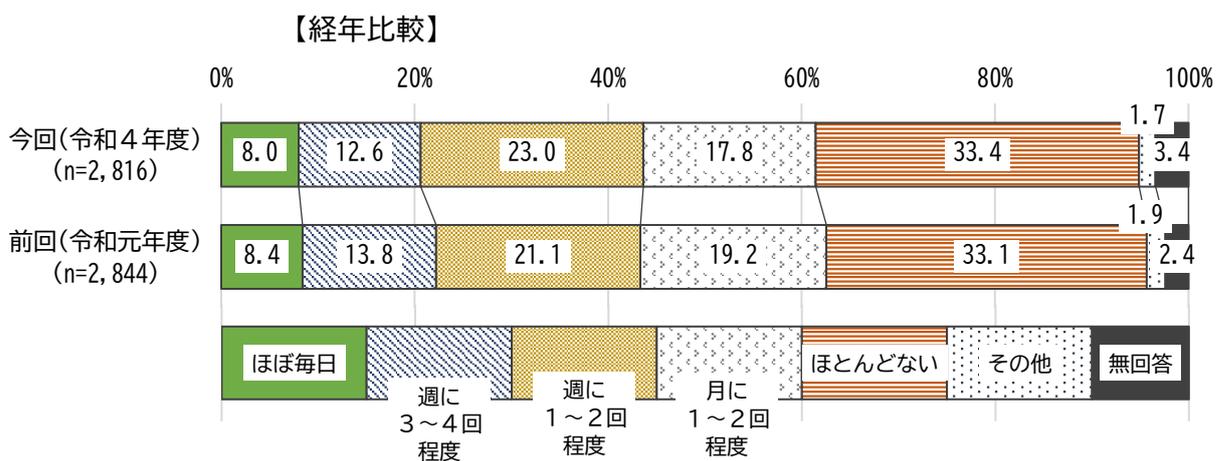
【基本属性別（人数・％）】

	n=	友人・知人	別居している家族	近所の人	親戚	地域のサークルや老人クラブの仲間	職場の同僚	自治会や町内会の人	民生委員	その他	つきあいはほとんど無い	無回答	上段：人数 下段：％
TOTAL	2,816 100.0	1,712 60.8	1,021 36.3	980 34.8	922 32.7	395 14.0	340 12.1	174 6.2	36 1.3	107 3.8	195 6.9	106 3.8	
男性	1,220 100.0	679 55.7	368 30.2	346 28.4	366 30.0	157 12.9	197 16.1	111 9.1	13 1.1	43 3.5	127 10.4	43 3.5	
女性	1,549 100.0	1,006 64.9	635 41.0	617 39.8	542 35.0	231 14.9	141 9.1	59 3.8	21 1.4	62 4.0	67 4.3	57 3.7	
前期高齢者	1,368 100.0	878 64.2	521 38.1	396 28.9	477 34.9	155 11.3	255 18.6	71 5.2	3 0.2	57 4.2	104 7.6	28 2.0	
男性 前期高齢者	644 100.0	384 59.6	202 31.4	138 21.4	219 34.0	68 10.6	144 22.4	50 7.8	0 0.0	22 3.4	69 10.7	14 2.2	
女性 前期高齢者	718 100.0	489 68.1	315 43.9	257 35.8	257 35.8	85 11.8	111 15.5	21 2.9	3 0.4	34 4.7	35 4.9	14 1.9	
後期高齢者	1,420 100.0	816 57.5	486 34.2	573 40.4	433 30.5	236 16.6	85 6.0	99 7.0	33 2.3	48 3.4	89 6.3	76 5.4	
男性 後期高齢者	573 100.0	292 51.0	165 28.8	207 36.1	146 25.5	88 15.4	53 9.2	61 10.6	13 2.3	20 3.5	58 10.1	29 5.1	
女性 後期高齢者	826 100.0	513 62.1	316 38.3	360 43.6	283 34.3	144 17.4	30 3.6	38 4.6	18 2.2	28 3.4	31 3.8	43 5.2	
(再掲)85歳以上	288 100.0	141 49.0	93 32.3	122 42.4	99 34.4	41 14.2	6 2.1	21 7.3	11 3.8	3 1.0	17 5.9	23 8.0	
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	45 43.7	36 35.0	46 44.7	28 27.2	18 17.5	5 4.9	11 10.7	3 2.9	0 0.0	8 7.8	9 8.7	
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	95 53.4	55 30.9	74 41.6	70 39.3	22 12.4	1 0.6	10 5.6	8 4.5	3 1.7	9 5.1	11 6.2	

(2) 近隣や地域の方と付き合う機会

問18 普段、近隣や地域の方とお付き合いする機会はどの程度ありますか。(1つに○)

普段、近隣や地域の方とお付き合いする機会については、「週に1～2回程度」が23.0%で最も高く、次いで「月に1～2回程度」が17.8%、「週に3～4回程度」が12.6%の順となっています。一方、「(普段、近隣や地域の方とお付き合いすることが)ほとんどない」は33.4%と、およそ3人に1人となっています。

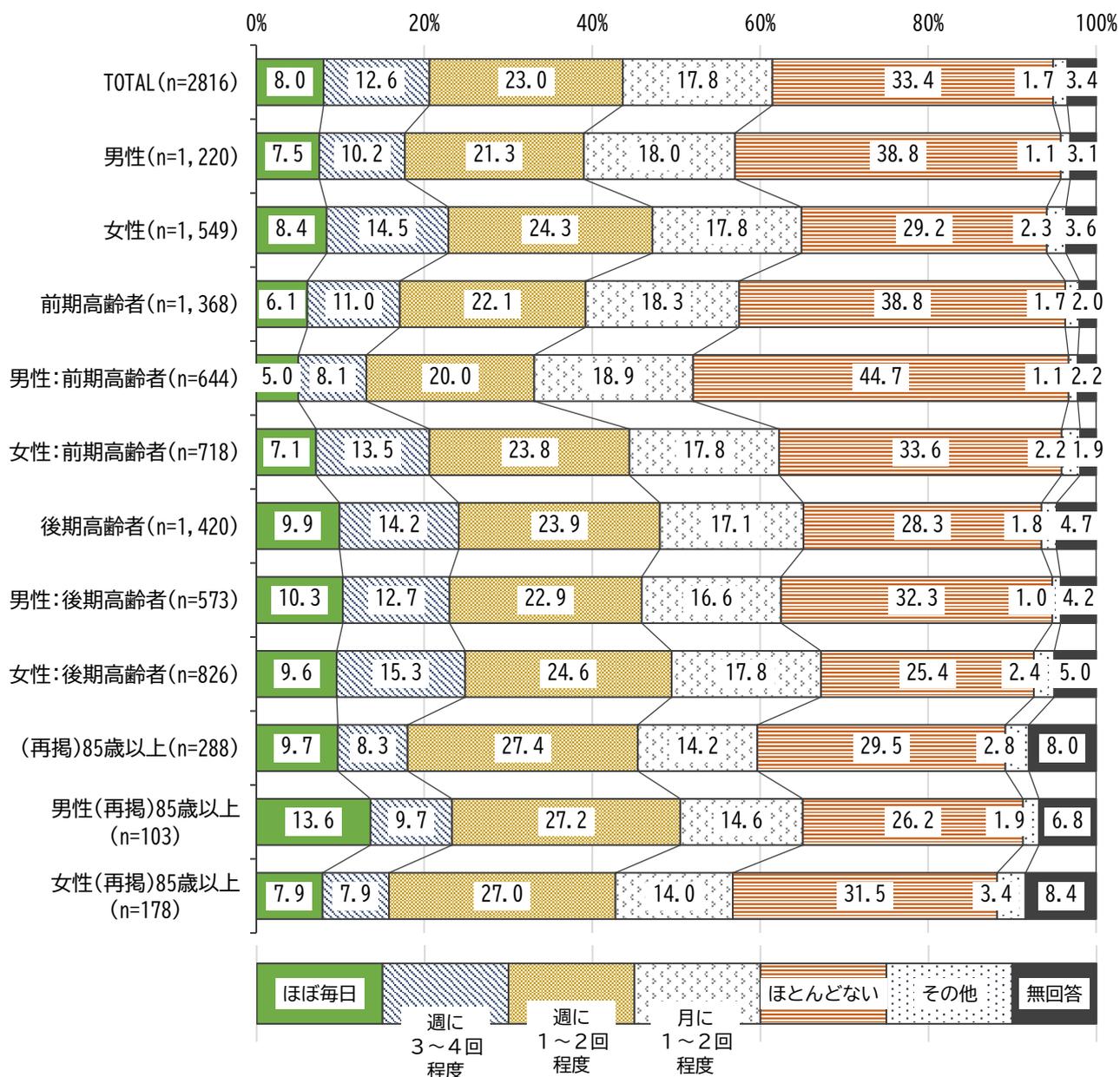


第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「ほとんどない」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者は「月に1～2回程度」、後期高齢者は「週に3～4回程度」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別 (%)】



【基本属性別（人数・％）】

	n=	ほぼ毎日	週に3〜4回程度	週に1〜2回程度	月に1〜2回程度	ほとんどない	その他	無回答
		上段：人数 下段：％						
TOTAL	2,816 100.0	226 8.0	355 12.6	649 23.0	500 17.8	941 33.4	49 1.7	96 3.4
男性	1,220 100.0	92 7.5	125 10.2	260 21.3	219 18.0	473 38.8	13 1.1	38 3.1
女性	1,549 100.0	130 8.4	224 14.5	376 24.3	276 17.8	452 29.2	36 2.3	55 3.6
前期高齢者	1,368 100.0	83 6.1	150 11.0	302 22.1	251 18.3	531 38.8	23 1.7	28 2.0
男性 前期高齢者	644 100.0	32 5.0	52 8.1	129 20.0	122 18.9	288 44.7	7 1.1	14 2.2
女性 前期高齢者	718 100.0	51 7.1	97 13.5	171 23.8	128 17.8	241 33.6	16 2.2	14 1.9
後期高齢者	1,420 100.0	141 9.9	201 14.2	340 23.9	243 17.1	402 28.3	26 1.8	67 4.7
男性 後期高齢者	573 100.0	59 10.3	73 12.7	131 22.9	95 16.6	185 32.3	6 1.0	24 4.2
女性 後期高齢者	826 100.0	79 9.6	126 15.3	203 24.6	147 17.8	210 25.4	20 2.4	41 5.0
(再掲)85歳以上	288 100.0	28 9.7	24 8.3	79 27.4	41 14.2	85 29.5	8 2.8	23 8.0
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	14 13.6	10 9.7	28 27.2	15 14.6	27 26.2	2 1.9	7 6.8
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	14 7.9	14 7.9	48 27.0	25 14.0	56 31.5	6 3.4	15 8.4

第2章 調査結果の詳細

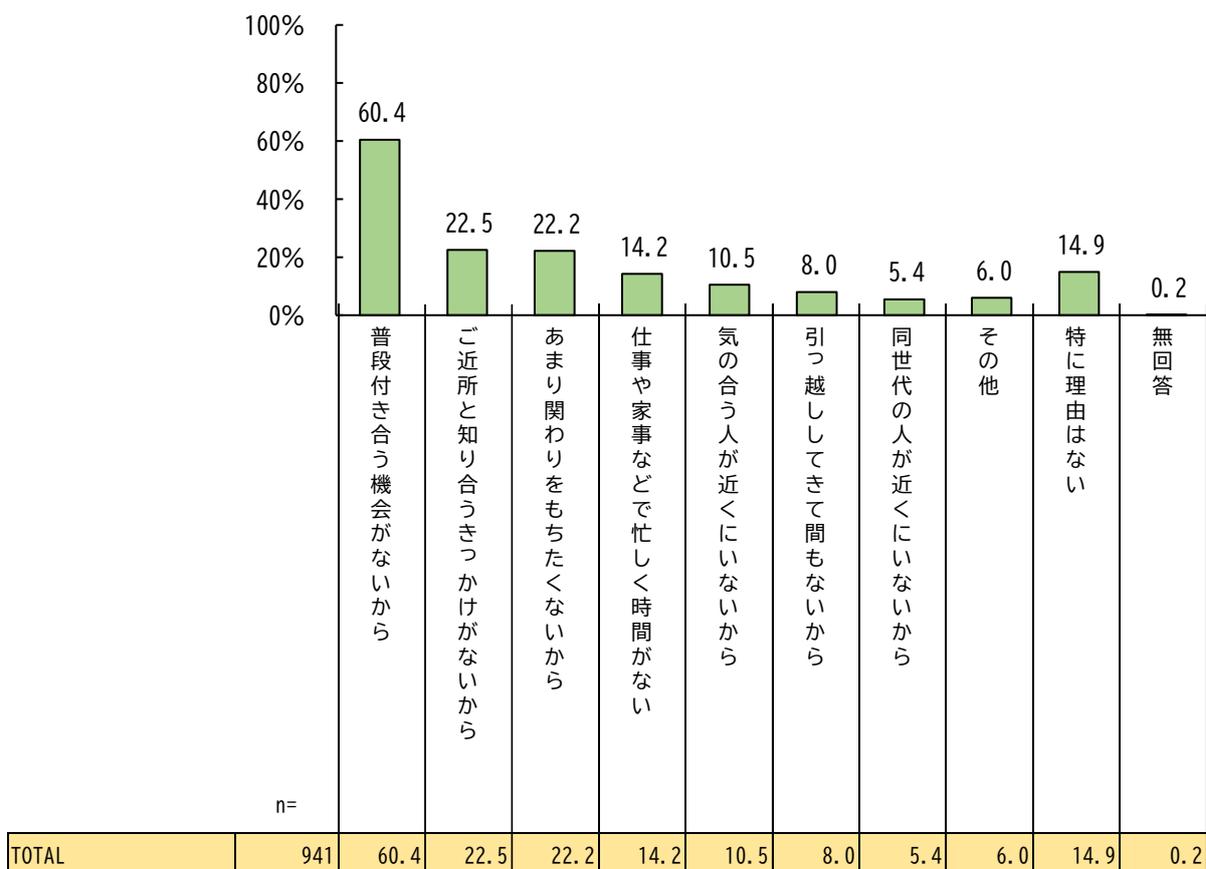
(3) 付き合いがない理由

問18で「5. ほとんどない」と回答した方のみ、お答えください。

問18-1 お付き合いがほとんどない理由は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

普段近隣や地域の方とお付き合いする機会が「5. ほとんどない」方の理由については、「普段付き合う機会がないから」が60.4%で最も高く、次いで「ご近所と知り合うきっかけがないから」(22.5%)、「あまり関わりをもちたくないから」(22.2%)がいずれも2割台となっています。

【単純集計 (%)】



年齢別にみると、前期高齢者では「普段付き合う機会がないから」、「仕事や家事などで忙しく時間がないから」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

n=		な 普 段 か ら き 合 う 機 会 が	き ご つ 近 か け と が 知 り 合 う か ら	も あ ち ま り く 関 わ り か ら	忙 し く や 時 間 事 が な ど い で	い 気 な い 合 う 人 が 近 く に	間 引 も つ 越 え し て き て	い 同 な 世 代 の 人 が 近 く に	そ の 他	特 に 理 由 は な い	無 回 答	上段：人数
												下段：％
TOTAL	941 100.0	568 60.4	212 22.5	209 22.2	134 14.2	99 10.5	75 8.0	51 5.4	56 6.0	140 14.9	2 0.2	
男性	473 100.0	294 62.2	112 23.7	108 22.8	67 14.2	61 12.9	21 4.4	20 4.2	25 5.3	75 15.9	0 0.0	
女性	452 100.0	264 58.4	96 21.2	98 21.7	67 14.8	36 8.0	51 11.3	29 6.4	29 6.4	64 14.2	2 0.4	
前期高齢者	531 100.0	336 63.3	124 23.4	112 21.1	108 20.3	58 10.9	43 8.1	21 4.0	27 5.1	71 13.4	1 0.2	
男性 前期高齢者	288 100.0	188 65.3	76 26.4	60 20.8	55 19.1	35 12.2	17 5.9	9 3.1	13 4.5	39 13.5	0 0.0	
女性 前期高齢者	241 100.0	147 61.0	48 19.9	52 21.6	53 22.0	23 9.5	25 10.4	12 5.0	14 5.8	32 13.3	1 0.4	
後期高齢者	402 100.0	226 56.2	87 21.6	95 23.6	26 6.5	41 10.2	30 7.5	30 7.5	27 6.7	69 17.2	1 0.2	
男性 後期高齢者	185 100.0	106 57.3	36 19.5	48 25.9	12 6.5	26 14.1	4 2.2	11 5.9	12 6.5	36 19.5	0 0.0	
女性 後期高齢者	210 100.0	116 55.2	48 22.9	46 21.9	14 6.7	13 6.2	26 12.4	17 8.1	15 7.1	32 15.2	1 0.5	
(再掲)85歳以上	85 100.0	48 56.5	13 15.3	14 16.5	2 2.4	10 11.8	6 7.1	9 10.6	9 10.6	18 21.2	0 0.0	
男性(再掲)85歳以上	27 100.0	24 88.9	8 29.6	7 25.9	0 0.0	7 25.9	0 0.0	2 7.4	1 3.7	2 7.4	0 0.0	
女性(再掲)85歳以上	56 100.0	24 42.9	5 8.9	7 12.5	2 3.6	2 3.6	6 10.7	7 12.5	8 14.3	15 26.8	0 0.0	

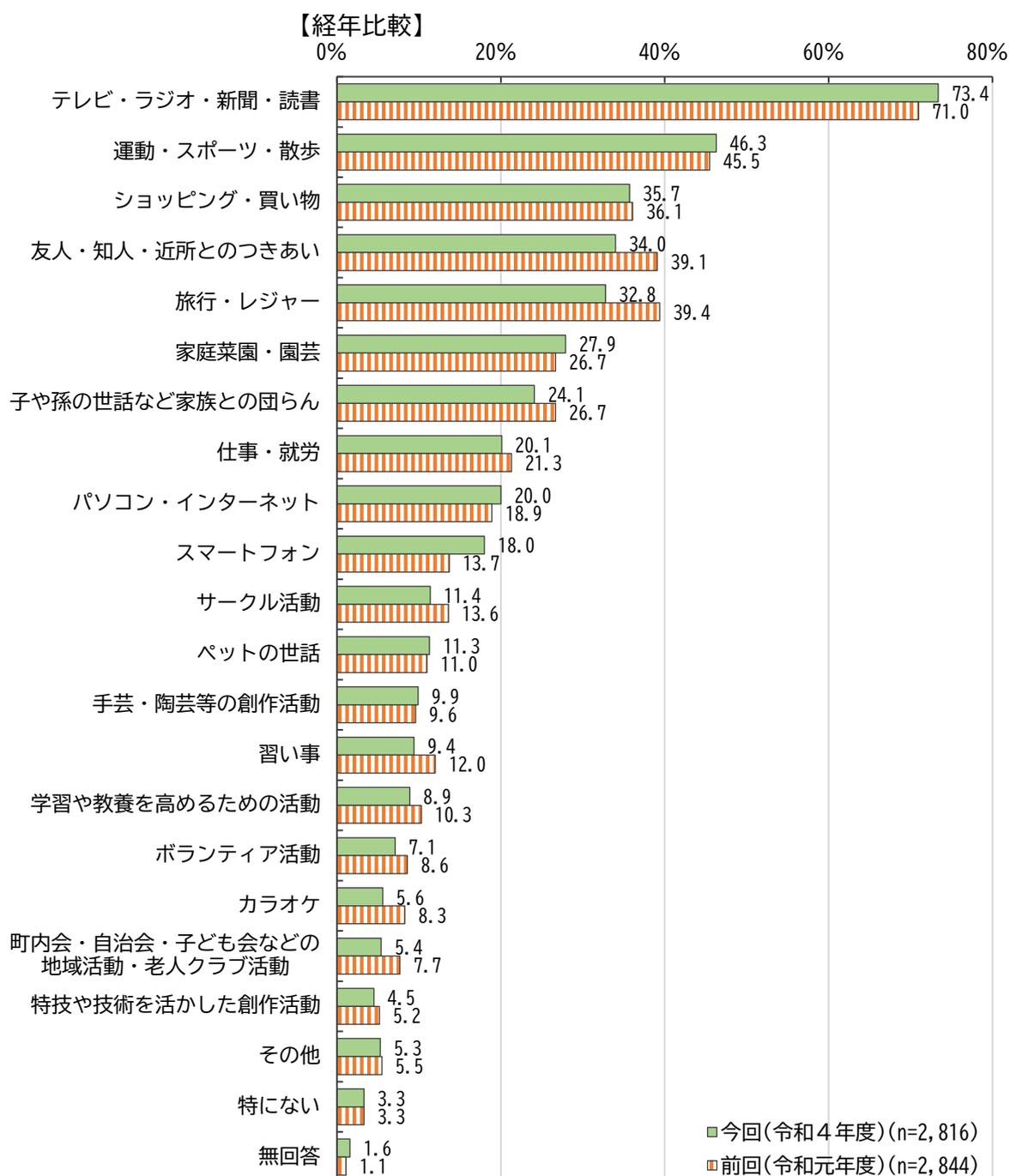
7. 生きがい・楽しみについて

(1) 充実感や生きがいを感じること

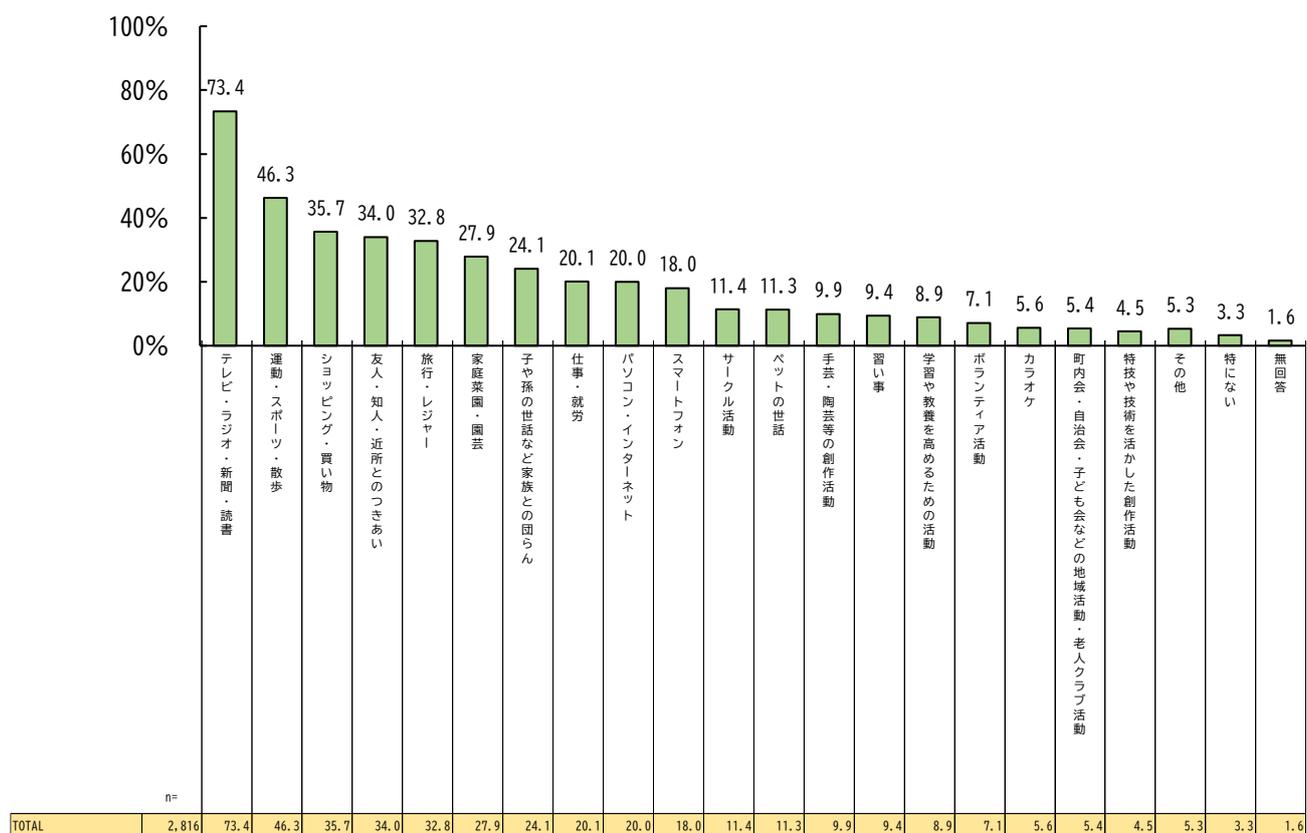
問19 (1) 現在、どのようなことに充実感や生きがいを感じていますか。また(2) 今後してみたいことはありますか。(1)(2)それぞれにお答えください。
(それぞれ特にあてはまるもの10個までに○)

(1) 現在充実感や生きがいを感じていること

現在、「充実感や生きがいを感じていること」では、「テレビ・ラジオ・新聞・読書」が73.4%で最も高く、次いで「運動・スポーツ・散歩」(46.3%)、「ショッピング・買い物」(35.7%)、「友人・知人・近所とのつきあい」(34.0%)、「旅行・レジャー」(32.8%)がいずれも3割を超えています。



【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「運動・スポーツ・散歩」、「旅行・レジャー」、「仕事・就労」、「パソコン・インターネット」、女性では「ショッピング・買い物」、「友人・知人・近所とのつきあい」、「手芸・陶芸等の創作活動」、「習い事」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「運動・スポーツ・散歩」、「旅行・レジャー」、「仕事・就労」、「スマートフォン」、「ペットの世話」、「子や孫の世話など家族との団らん」、後期高齢者では「テレビ・ラジオ・新聞・読書」の割合が全体に対して比較的高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

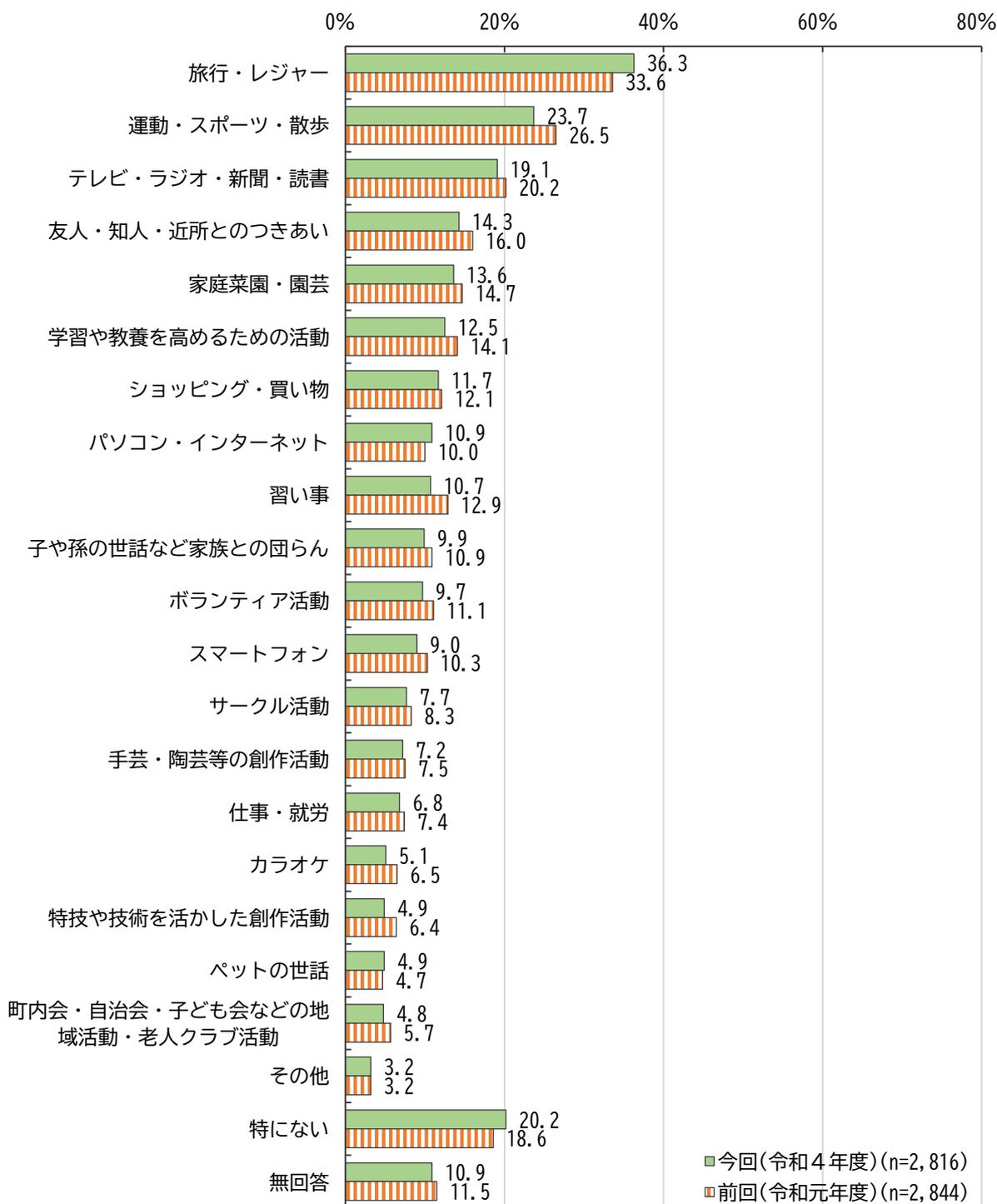
	テレビ・ラジオ・新聞・読書	運動・スポーツ・散歩	ショッピング・買い物	友人・知人・近所とのつきあい	旅行・レジャー	家庭菜園・園芸	子や孫の世話など家族との団らん	仕事・就労	パソコン・インターネット	スマートフォン	サークル活動	ペットの世話	手芸・陶芸等の創作活動	習い事	学習や教養を高めるための活動	ボランティア活動	カラオケ	町内会・自治会・子ども会などの地域活動・老人クラブ活動	特技や技術を活かした創作活動	その他	特にない	無回答	
n=	2,816	2,066	1,303	1,004	958	925	786	680	567	562	506	321	318	280	265	251	201	158	151	128	149	93	46
	100.0	73.4	46.3	35.7	34.0	32.8	27.9	24.1	20.1	20.0	18.0	11.4	11.3	9.9	9.4	8.9	7.1	5.6	5.4	4.5	5.3	3.3	1.6
男性	1,220	875	641	314	328	446	303	276	311	391	232	109	119	21	52	126	86	77	76	60	66	51	23
	100.0	71.7	52.5	25.7	26.9	36.6	24.8	22.6	25.5	32.0	19.0	8.9	9.8	1.7	4.3	10.3	7.0	6.3	6.2	4.9	5.4	4.2	1.9
女性	1,549	1,162	645	680	612	466	476	393	250	166	266	208	193	257	207	123	111	77	72	67	81	39	20
	100.0	75.0	41.6	43.9	39.5	30.1	30.7	25.4	16.1	10.7	17.2	13.4	12.5	16.6	13.4	7.9	7.2	5.0	4.6	4.3	5.2	2.5	1.3
前期高齢者	1,368	967	687	513	478	553	351	390	401	324	314	125	192	124	116	135	112	48	65	68	58	46	18
	100.0	70.7	50.2	37.5	34.9	40.4	25.7	28.5	29.3	23.7	23.0	9.1	14.0	9.1	8.5	9.9	8.2	3.5	4.8	5.0	4.2	3.4	1.3
男性 前期高齢者	644	454	363	174	171	280	147	159	223	233	153	47	82	6	20	71	47	27	32	32	29	23	11
	100.0	70.5	56.4	27.0	26.4	43.5	22.8	24.7	34.6	36.2	23.8	7.3	12.7	0.9	3.1	11.0	7.3	4.2	5.0	5.0	4.5	3.6	1.7
女性 前期高齢者	718	509	321	337	304	273	203	228	176	89	160	77	109	118	96	63	65	21	33	36	29	23	7
	100.0	70.9	44.7	46.9	42.3	38.0	28.3	31.8	24.5	12.4	22.3	10.7	15.2	16.4	13.4	8.8	9.1	2.9	4.6	5.0	4.0	3.2	1.0
後期高齢者	1,420	1,080	604	485	465	359	427	281	165	236	186	195	123	153	143	116	86	107	83	59	89	46	26
	100.0	76.1	42.5	34.2	32.7	25.3	30.1	19.8	11.6	16.6	13.1	13.7	8.7	10.8	10.1	8.2	6.1	7.5	5.8	4.2	6.3	3.2	1.8
男性 後期高齢者	573	418	275	140	154	163	154	116	88	157	78	62	37	15	31	55	38	49	42	28	37	28	12
	100.0	72.9	48.0	24.4	26.9	28.4	26.9	20.2	15.4	27.4	13.6	10.8	6.5	2.6	5.4	9.6	6.6	8.6	7.3	4.9	6.5	4.9	2.1
女性 後期高齢者	826	649	322	341	304	190	271	163	74	76	104	130	84	138	110	60	46	56	39	31	52	16	13
	100.0	78.6	39.0	41.3	36.8	23.0	32.8	19.7	9.0	9.2	12.6	15.7	10.2	16.7	13.3	7.3	5.6	6.8	4.7	3.8	6.3	1.9	1.6
(再掲)85歳以上	288	220	103	87	81	55	76	50	16	29	23	33	14	29	27	19	12	20	16	10	18	12	8
	100.0	76.4	35.8	30.2	28.1	19.1	26.4	17.4	5.6	10.1	8.0	11.5	4.9	10.1	9.4	6.6	4.2	6.9	5.6	3.5	6.3	4.2	2.8
男性(再掲)85歳以上	103	80	46	25	26	21	28	18	7	19	8	14	4	3	6	12	5	7	8	1	8	5	4
	100.0	77.7	44.7	24.3	25.2	20.4	27.2	17.5	6.8	18.4	7.8	13.6	3.9	2.9	5.8	11.7	4.9	6.8	7.8	1.0	7.8	4.9	3.9
女性(再掲)85歳以上	178	134	56	60	53	32	48	31	9	10	15	18	9	26	20	7	6	12	8	9	10	7	3
	100.0	75.3	31.5	33.7	29.8	18.0	27.0	17.4	5.1	5.6	8.4	10.1	5.1	14.6	11.2	3.9	3.4	6.7	4.5	5.1	5.6	3.9	1.7

上段：人数
下段：％

(2) 今後してみたいこと

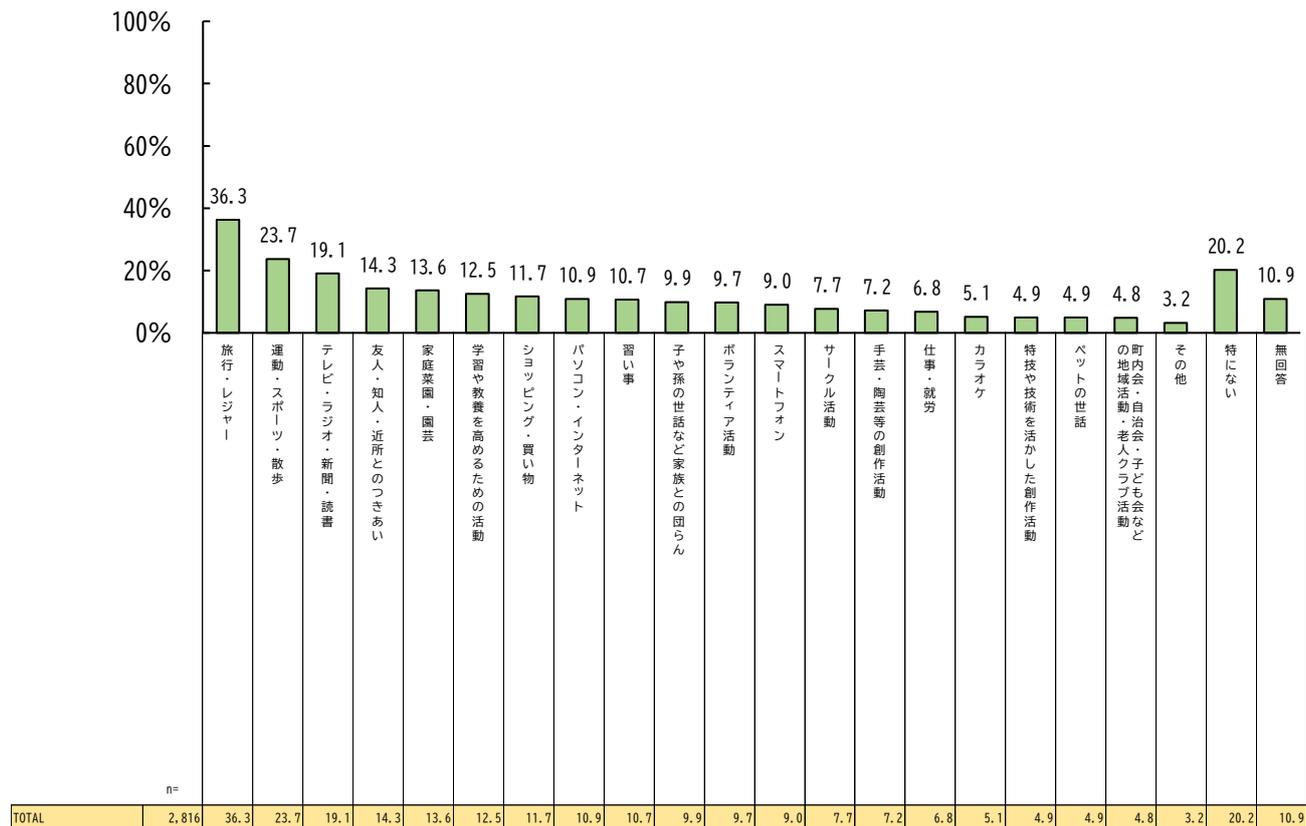
今後してみたいことでは、「旅行・レジャー」が36.3%で最も高く、次いで「運動・スポーツ・散歩」(23.7%)、「テレビ・ラジオ・新聞・読書」(19.1%)がいずれも2割前後となっています。

【経年比較】



第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



性別にみると、男性では「パソコン・インターネット」、「仕事・就労」、女性では「習い事」、「手芸・陶芸等の創作活動」、の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「旅行・レジャー」、「運動・スポーツ・散歩」、「学習や教養を高めるための活動」、「子や孫の世話など家族との団らん」、「ボランティア活動」、「仕事・就労」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	旅行・レジャー	運動・スポーツ・散歩	テレビ・ラジオ・新聞・読書	友人・知人・近所とのつきあい	家庭菜園・園芸	学習や教養を高めるための活動	ショッピング・買い物	パソコン・インターネット	習い事	子や孫の世話など家族との団らん	ボランティア活動	スマートフォン	サークル活動	手芸・陶芸等の創作活動	仕事・就労	カラオケ	特技や技術を活かした創作活動	ペットの世話	町内会・自治会・子ども会などの地域活動・老人クラブ活動	その他	特になし	無回答	
n=																							
TOTAL	2,816 100.0	1,021 36.3	666 23.7	539 19.1	404 14.3	383 13.6	351 12.5	330 11.7	307 10.9	300 10.7	279 9.9	274 9.7	254 9.0	218 7.7	202 7.2	192 6.8	144 5.1	139 4.9	139 4.9	134 4.8	89 3.2	570 20.2	306 10.9
男性	1,220 100.0	440 36.1	312 25.6	240 19.7	154 12.6	161 13.2	173 14.2	114 9.3	168 13.8	96 7.9	122 10.0	121 9.9	116 9.5	104 8.5	28 2.3	122 10.0	69 5.7	66 5.4	63 5.2	71 5.8	32 2.6	272 22.3	107 8.8
女性	1,549 100.0	571 36.9	349 22.5	293 18.9	243 15.7	220 14.2	175 11.3	211 13.6	137 8.8	201 13.0	152 9.8	148 9.6	137 8.8	114 7.4	72 4.5	72 4.6	72 4.6	71 4.6	61 3.9	53 3.4	290 18.7	189 12.2	
前期高齢者	1,368 100.0	569 41.6	384 28.1	258 18.9	212 15.5	199 14.5	215 15.7	165 12.1	162 11.8	181 13.2	164 12.0	186 13.6	131 9.6	123 9.0	122 8.9	133 9.7	51 3.7	89 6.5	87 6.4	72 5.3	34 2.5	258 18.9	89 6.5
男性 前期高齢者	644 100.0	262 40.7	177 27.5	122 18.9	84 13.0	89 13.8	114 17.7	64 9.9	86 13.4	63 9.8	75 11.6	85 13.2	61 9.5	62 9.6	16 2.5	84 13.0	24 3.7	45 7.0	43 6.7	39 6.1	14 2.2	136 21.1	43 6.7
女性 前期高齢者	718 100.0	305 42.5	204 28.4	135 18.8	126 17.5	109 15.2	100 13.9	100 13.9	75 10.4	117 16.3	87 12.1	100 13.9	70 9.7	61 8.5	105 14.6	49 6.8	27 3.8	44 6.1	42 5.8	33 4.6	19 2.6	122 17.0	46 6.4
後期高齢者	1,420 100.0	441 31.1	278 19.6	276 19.4	187 13.2	181 12.7	133 9.4	162 11.4	144 10.1	117 8.2	110 7.7	85 6.0	120 8.5	94 6.6	79 5.6	59 4.2	92 6.5	49 3.5	50 3.5	61 4.3	53 3.7	307 21.6	211 14.9
男性 後期高齢者	573 100.0	177 30.9	135 23.6	118 20.6	70 12.2	72 12.6	59 10.3	50 8.7	82 14.3	33 5.8	47 8.2	36 6.3	55 9.6	42 7.3	12 2.1	38 6.6	45 7.9	21 3.5	20 3.5	18 3.1	135 23.6	63 11.0	
女性 後期高齢者	826 100.0	263 31.8	143 17.3	155 18.8	114 13.8	109 13.2	73 8.8	109 13.2	61 7.4	84 10.2	63 7.6	46 5.6	65 7.9	52 6.3	67 8.1	21 2.5	45 5.4	28 3.4	29 3.5	28 3.4	34 4.1	168 20.3	143 17.3
(再掲)85歳以上	288 100.0	77 26.7	36 12.5	61 21.2	30 10.4	28 9.7	19 6.6	39 13.5	21 7.3	20 6.9	21 7.3	7 2.4	26 9.0	12 4.2	13 4.5	9 3.1	14 4.9	5 1.7	5 1.7	9 3.1	10 3.5	71 24.7	58 20.1
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	27 26.2	16 15.5	21 20.4	10 9.7	8 7.8	7 6.8	11 10.7	9 8.7	7 6.8	7 6.8	1 1.0	11 10.7	6 5.8	2 1.9	5 4.9	5 4.9	0 0.0	2 1.9	3 2.9	4 3.9	28 27.2	19 18.4
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	50 28.1	20 11.2	38 21.3	19 10.7	20 11.2	12 6.7	26 14.6	11 6.2	13 7.3	14 7.9	6 3.4	15 8.4	6 3.4	11 6.2	4 2.2	8 4.5	5 2.8	3 1.7	6 3.4	6 3.4	42 23.6	37 20.8

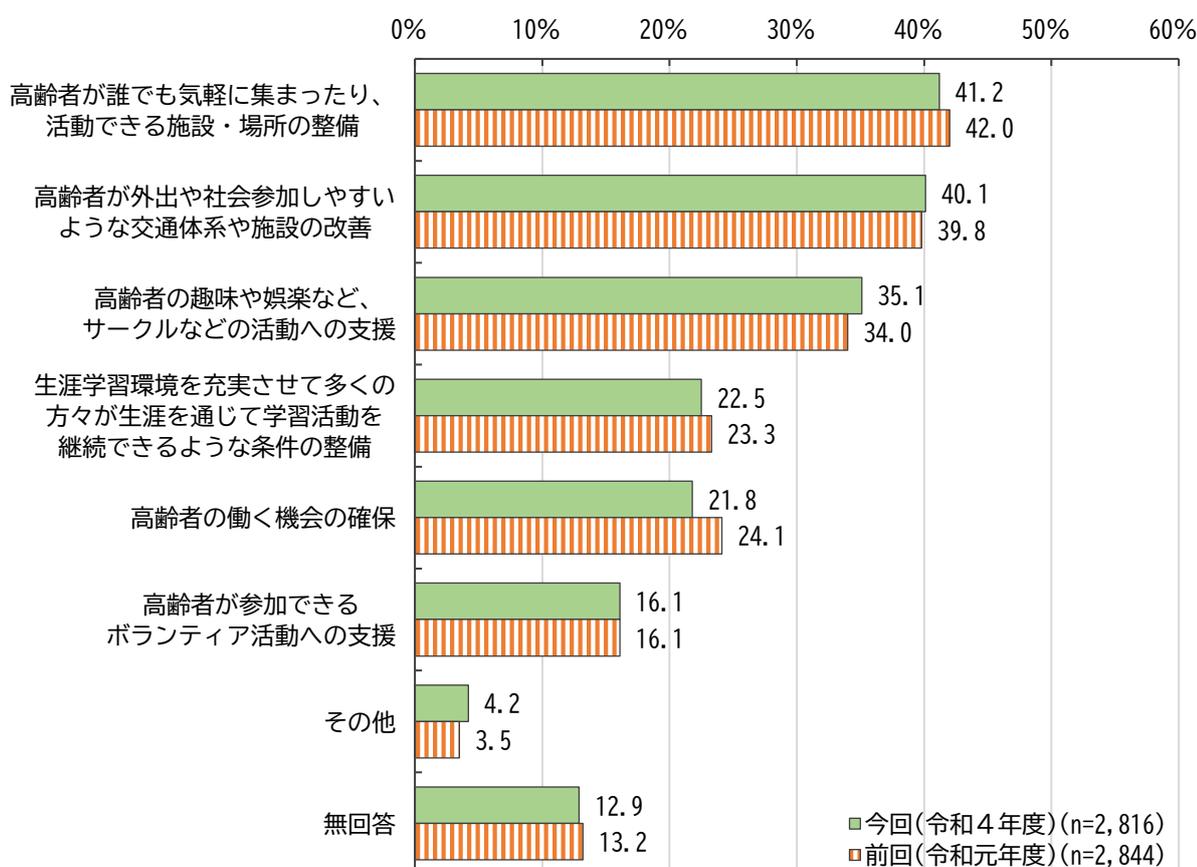
上段：人数
下段：%

(2) 生きがいづくり・社会参加に必要な支援

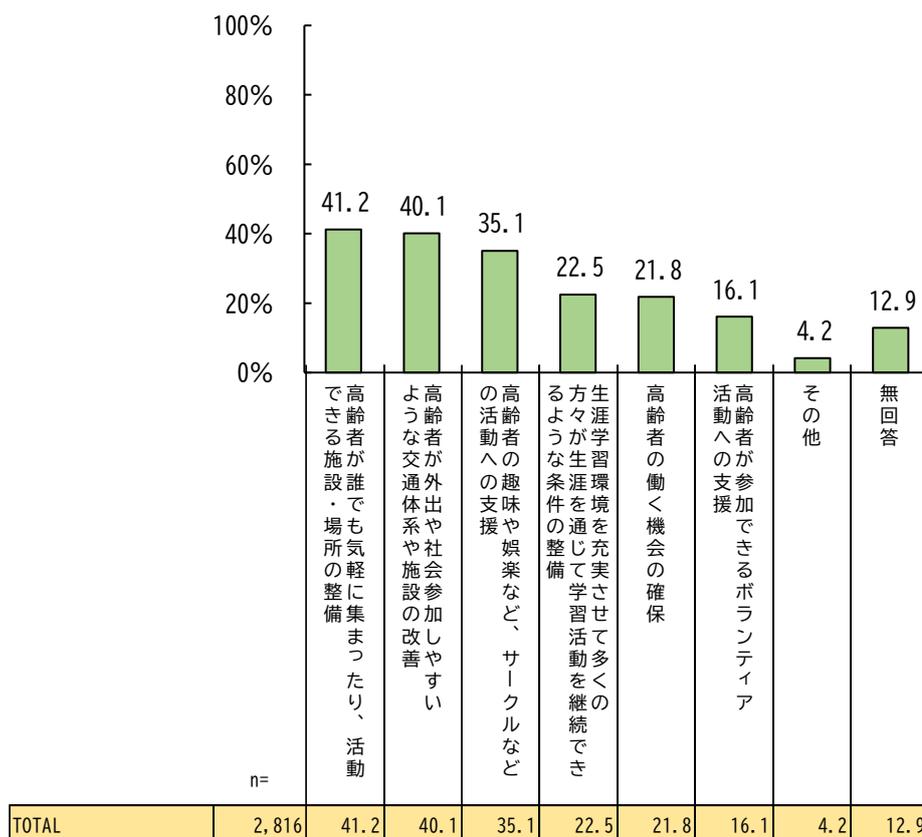
問 20 市が生きがいづくり・社会参加に対する取り組みをすすめていくうえで、どのような支援が必要と考えますか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

市が生きがいづくり・社会参加に対する取り組みをすすめていくうえで、支援が必要と考えることについては、「高齢者が誰でも気軽に集まったり、活動できる施設・場所の整備」が41.2%、「高齢者が外出や社会参加しやすいような交通体系や施設の改善」が40.1%といずれも4割台となっています。次いで、「高齢者の趣味や娯楽など、サークルなどの活動への支援」が35.1%、「生涯学習環境を充実させて多くの方々が生涯を通じて学習活動を継続できるような条件の整備」が22.5%、「高齢者の働く機会の確保」が21.8%の順となっています。

【経年比較】



【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「高齢者の趣味や娯楽など、サークルなどの活動への支援」、「高齢者の働く機会の確保」、女性では「高齢者が外出や社会参加しやすいような交通体系や施設の改善」の割合が全体に対して高くなっています。

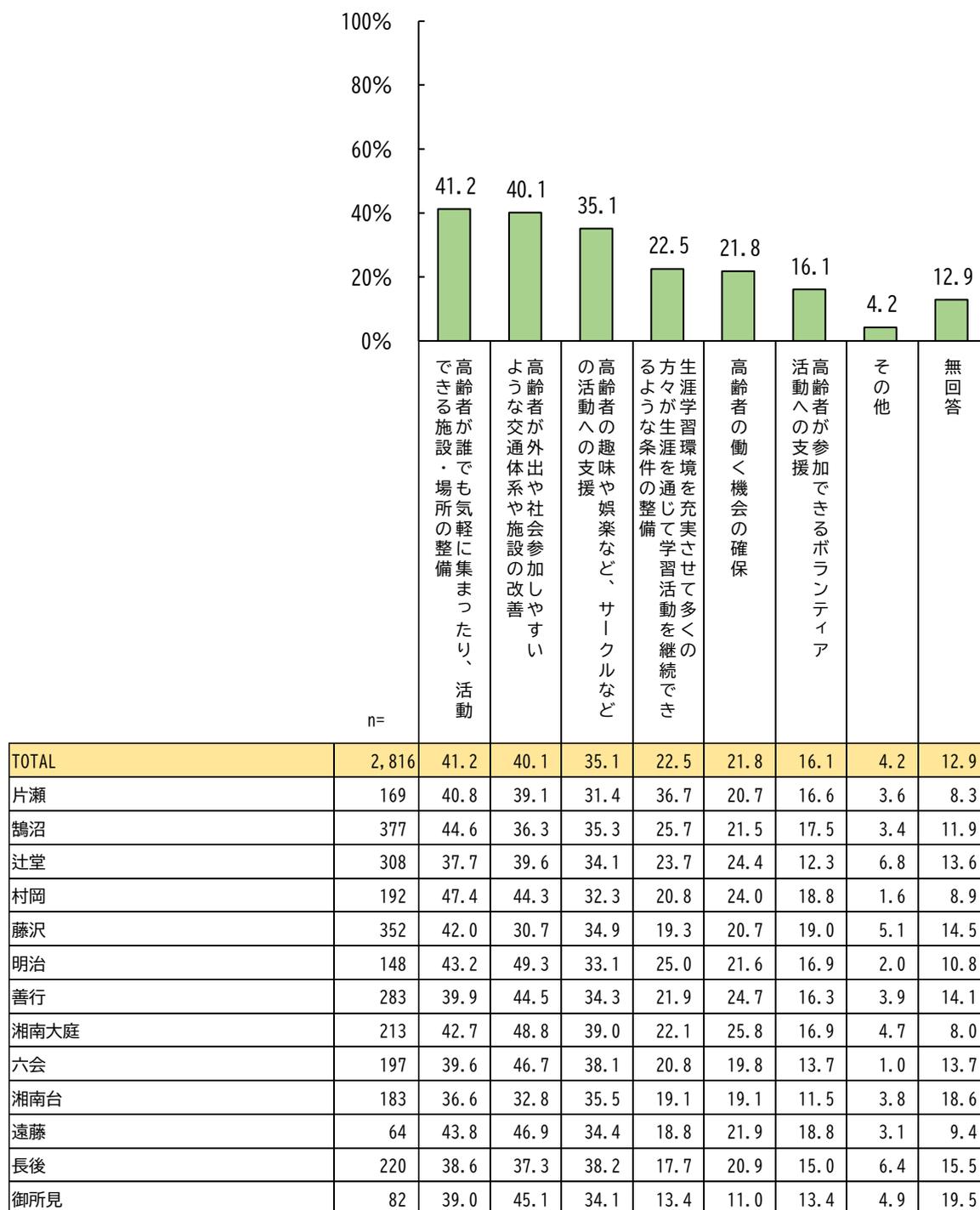
年齢別にみると、前期高齢者では「高齢者が外出や社会参加しやすいような交通体系や施設の改善」、「高齢者の働く機会の確保」、「高齢者が参加できるボランティア活動への支援」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=	高齢者が誰でも施設・気場・場所の集まったり、	高齢者が外出や社会参加しやすい	高齢者の趣味や娯楽への支援	高齢者の働く機会の確保	高齢者が参加できるボランティア	その他	無回答	上段：人数 下段：％
TOTAL	2,816 100.0	1,160 41.2	1,130 40.1	989 35.1	633 22.5	615 21.8	453 16.1	117 4.2	362 12.9
男性	1,220 100.0	490 40.2	446 36.6	451 37.0	279 22.9	321 26.3	199 16.3	56 4.6	138 11.3
女性	1,549 100.0	651 42.0	669 43.2	522 33.7	344 22.2	290 18.7	247 15.9	58 3.7	213 13.8
前期高齢者	1,368 100.0	559 40.9	608 44.4	474 34.6	321 23.5	431 31.5	263 19.2	46 3.4	109 8.0
男性 前期高齢者	644 100.0	237 36.8	258 40.1	228 35.4	154 23.9	219 34.0	125 19.4	31 4.8	49 7.6
女性 前期高齢者	718 100.0	317 44.2	347 48.3	242 33.7	167 23.3	211 29.4	137 19.1	15 2.1	60 8.4
後期高齢者	1,420 100.0	591 41.6	510 35.9	507 35.7	302 21.3	180 12.7	184 13.0	68 4.8	251 17.7
男性 後期高齢者	573 100.0	252 44.0	187 32.6	222 38.7	124 21.6	101 17.6	73 12.7	25 4.4	89 15.5
女性 後期高齢者	826 100.0	332 40.2	319 38.6	279 33.8	174 21.1	77 9.3	109 13.2	43 5.2	153 18.5
(再掲)85歳以上	288 100.0	112 38.9	86 29.9	114 39.6	47 16.3	13 4.5	31 10.8	18 6.3	68 23.6
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	43 41.7	30 29.1	54 52.4	21 20.4	9 8.7	11 10.7	4 3.9	17 16.5
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	67 37.6	54 30.3	58 32.6	26 14.6	4 2.2	20 11.2	14 7.9	47 26.4

地域別にみると、多くの地域で「高齢者がだれでも気軽に集まったり、活動できる施設・場所の整備」が4割台となっています。

【地域別】

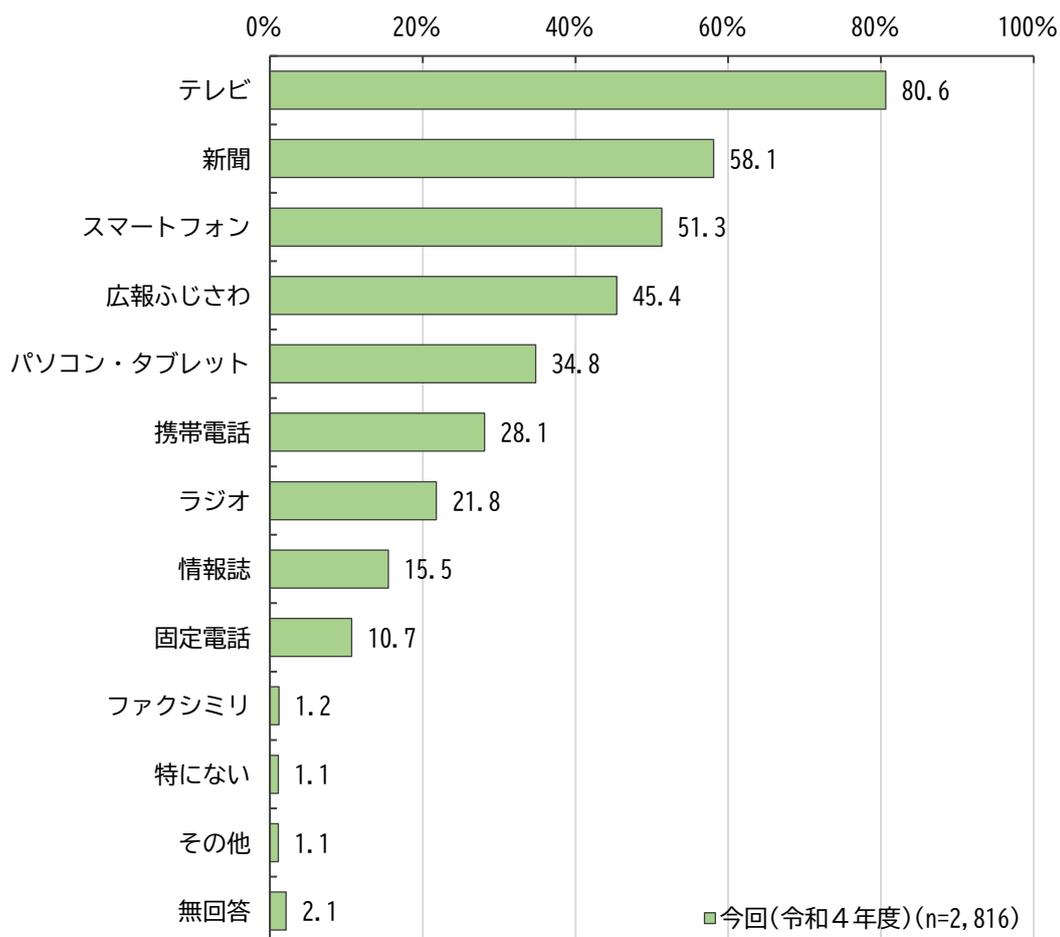


8. 情報通信機器・ICTの利用状況

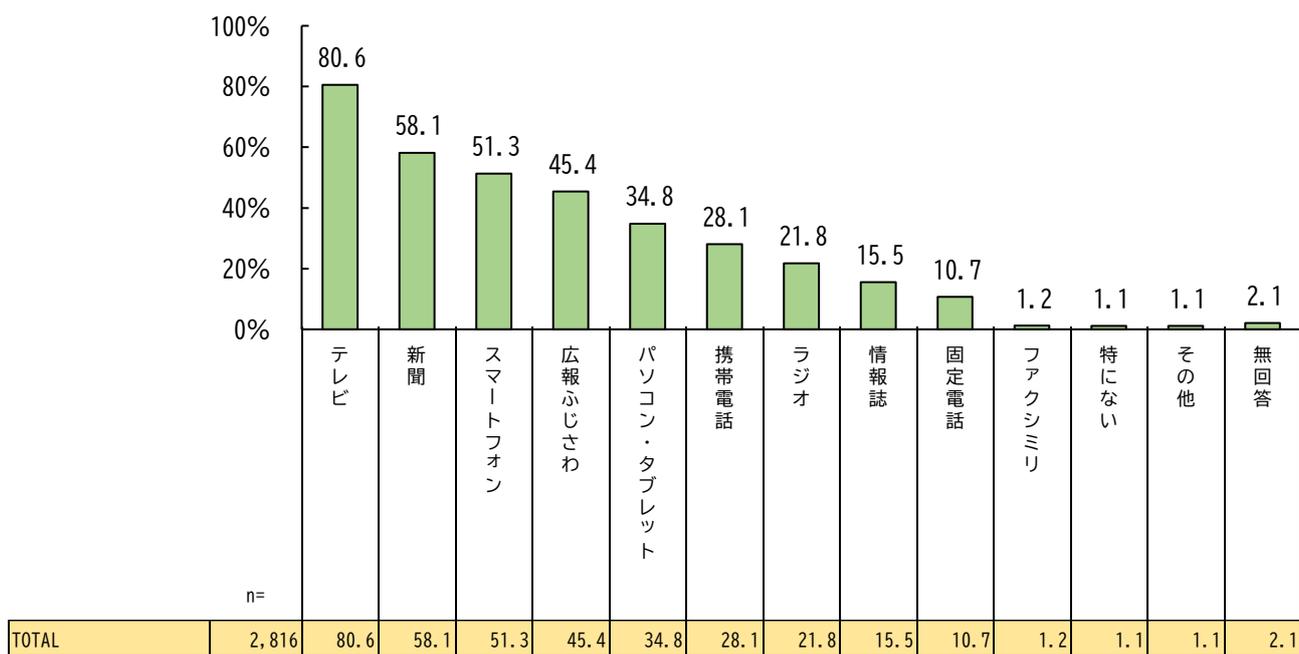
(1) 情報の入手媒体

問21 どのようなもので情報を得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

情報入手の媒体については、「テレビ」が80.6%で最も高く、次いで「新聞」(58.1%)、「スマートフォン」(51.3%)が半数を超えています。以下、「広報ふじさわ」(45.4%)、「パソコン・タブレット」(34.8%)、「携帯電話」(28.1%)、「ラジオ」(21.8%)と続いています。



【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「新聞」、「スマートフォン」、「パソコン・タブレット」、女性では「広報ふじさわ」の割合が、全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「スマートフォン」、「パソコン・タブレット」、後期高齢者では「新聞」、「固定電話」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

n=	テレビ	新聞	スマートフォン	広報ふじさわ	パソコン・タブレット	携帯電話	ラジオ	情報誌	固定電話	ファクシミリ	特にない	その他	無回答	
TOTAL	2,816 100.0	2,269 80.6	1,637 58.1	1,446 51.3	1,279 45.4	981 34.8	792 28.1	615 21.8	437 15.5	300 10.7	35 1.2	31 1.1	30 1.1	59 2.1
男性	1,220 100.0	973 79.8	740 60.7	673 55.2	459 37.6	627 51.4	318 26.1	263 21.6	165 13.5	98 8.0	17 1.4	10 0.8	12 1.0	24 2.0
女性	1,549 100.0	1,261 81.4	872 56.3	759 49.0	805 52.0	344 22.2	458 29.6	346 22.3	267 17.2	200 12.9	18 1.2	21 1.4	18 1.2	33 2.1
前期高齢者	1,368 100.0	1,116 81.6	697 51.0	893 65.3	584 42.7	602 44.0	347 25.4	286 20.9	227 16.6	99 7.2	15 1.1	13 1.0	13 1.0	21 1.5
男性 前期高齢者	644 100.0	517 80.3	338 52.5	433 67.2	221 34.3	388 60.2	151 23.4	139 21.6	94 14.6	34 5.3	7 1.1	5 0.8	7 1.1	12 1.9
女性 前期高齢者	718 100.0	594 82.7	358 49.9	458 63.8	362 50.4	211 29.4	194 27.0	147 20.5	132 18.4	65 9.1	8 1.1	8 1.1	6 0.8	9 1.3
後期高齢者	1,420 100.0	1,131 79.6	920 64.8	542 38.2	680 47.9	373 26.3	431 30.4	323 22.7	205 14.4	199 14.0	20 1.4	18 1.3	17 1.2	36 2.5
男性 後期高齢者	573 100.0	453 79.1	399 69.6	240 41.9	237 41.4	238 41.5	165 28.8	124 21.6	71 12.4	64 11.2	10 1.7	5 0.9	5 0.9	12 2.1
女性 後期高齢者	826 100.0	664 80.4	510 61.7	297 36.0	438 53.0	131 15.9	262 31.7	198 24.0	133 16.1	135 16.3	10 1.2	13 1.6	12 1.5	24 2.9
(再掲)85歳以上	288 100.0	229 79.5	206 71.5	62 21.5	140 48.6	41 14.2	70 24.3	65 22.6	39 13.5	55 19.1	6 2.1	9 3.1	2 0.7	13 4.5
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	84 81.6	82 79.6	20 19.4	45 43.7	25 24.3	23 22.3	21 20.4	15 14.6	14 13.6	2 1.9	3 2.9	0 0.0	4 3.9
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	139 78.1	120 67.4	42 23.6	93 52.2	16 9.0	46 25.8	44 24.7	24 13.5	41 23.0	4 2.2	6 3.4	2 1.1	9 5.1

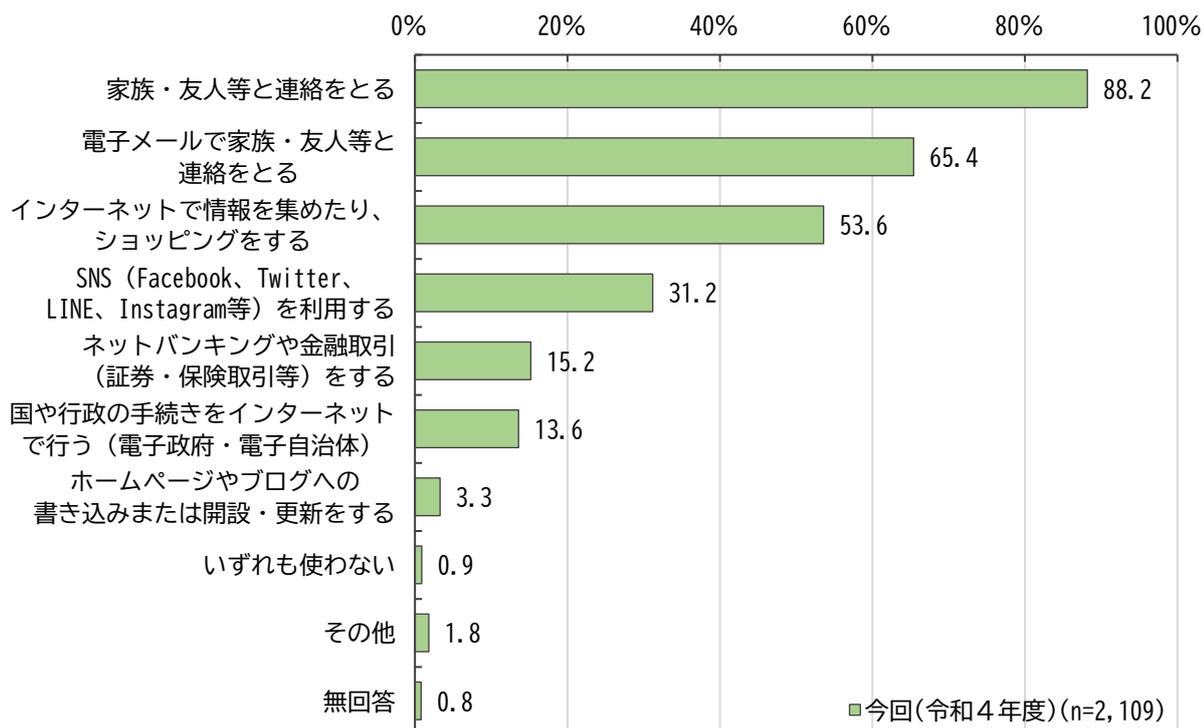
上段：人数
下段：％

(2) 情報通信機器の利用状況

問21で1から3のいずれかを1つ以上選択した方へうかがいます。

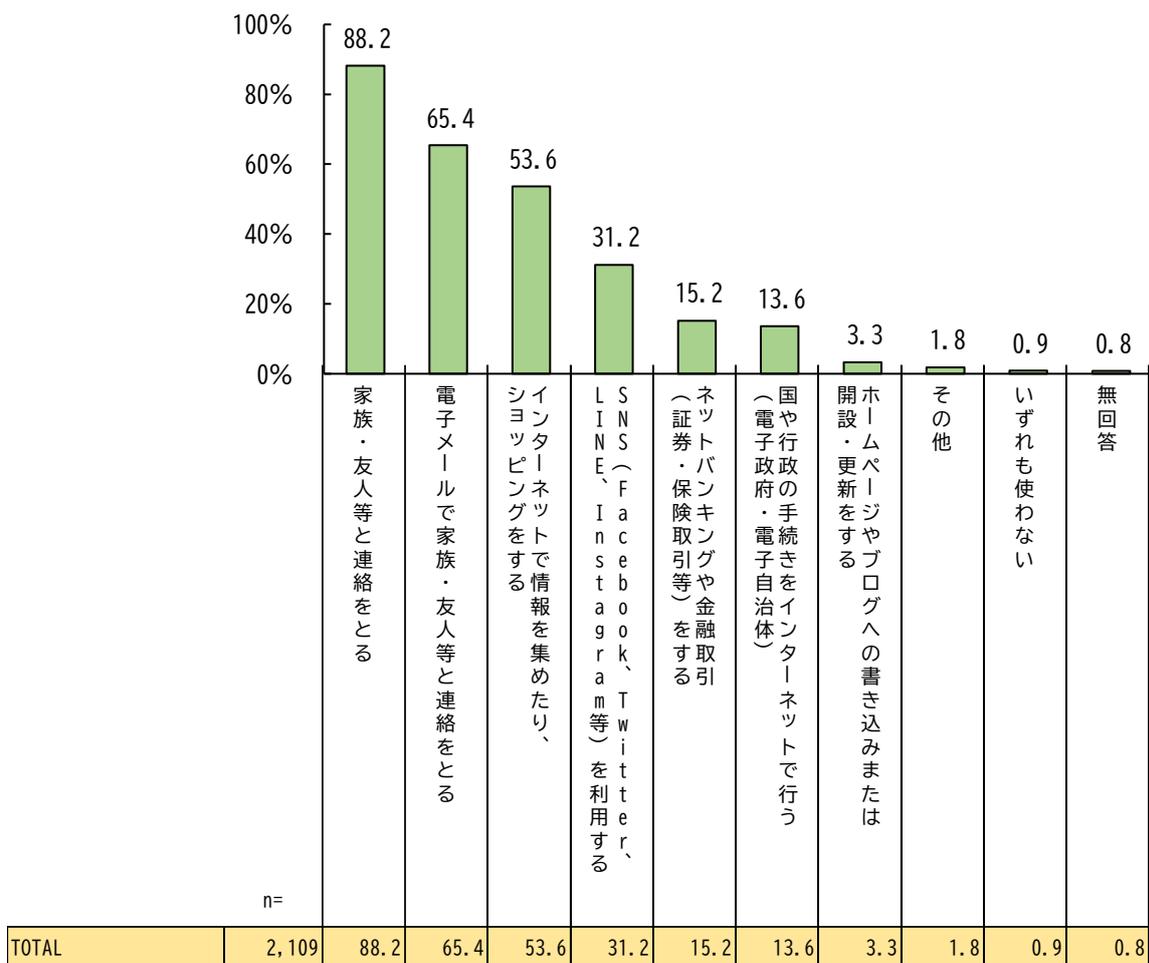
問22 情報通信機器をどのようなことに利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

情報通信機器の利用目的については、「家族・友人等と連絡をとる」が88.2%で最も高く、次いで「電子メールで家族・友人等と連絡をとる」(65.4%)、「インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする」(53.6%)、「SNS(Facebook、Twitter、LINE、Instagram等)を利用する」(31.2%)の順となっています。



第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



性別にみると、男性では「インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする」、「ネットバンキングや金融取引（証券・保険取引等）をする」、「国や行政の手続きをインターネットで行う（電子政府・電子自治体）」、女性では「家族・友人等と連絡をとる」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「電子メールで家族・友人等と連絡をとる」、「インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする」、「SNS(Facebook、Twitter、LINE、Instagram等)を利用する」、「ネットバンキングや金融取引（証券・保険取引等）をする」、「国や行政の手続きをインターネットで行う（電子政府・電子自治体）」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・%）】

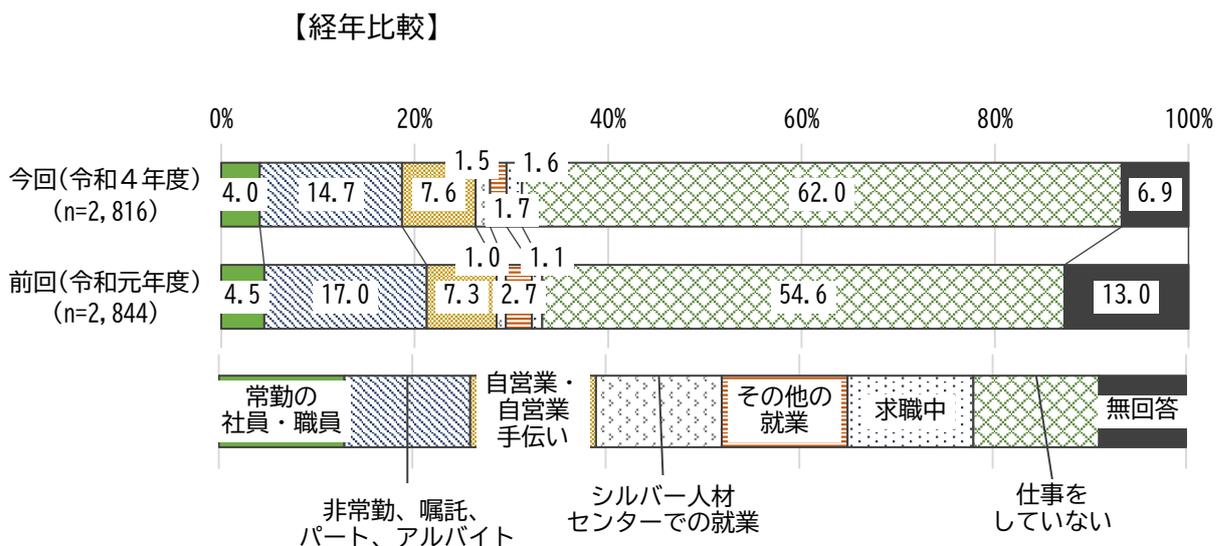
	n=	家族・友人等と連絡をとる	電子メールで家族・友人等と連絡をとる	インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする	L I N E (Facebook、Twitter、Instagram等)を利用する	ネットバンキングや金融取引（証券・保険取引等）をする	国や行政の手続きをインターネットで行う（電子政府・電子自治体）	ホームページやブログへの書き込みまたは開設・更新をする	その他	いずれも使わない	無回答	上段：人数 下段：%
TOTAL	2,109	1,860	1,380	1,130	659	320	287	69	37	18	16	
	100.0	88.2	65.4	53.6	31.2	15.2	13.6	3.3	1.8	0.9	0.8	
男性	964	796	646	651	306	229	219	45	12	10	6	
	100.0	82.6	67.0	67.5	31.7	23.8	22.7	4.7	1.2	1.0	0.6	
女性	1,115	1,039	721	468	348	85	67	23	23	8	9	
	100.0	93.2	64.7	42.0	31.2	7.6	6.0	2.1	2.1	0.7	0.8	
前期高齢者	1,159	1,018	832	769	441	235	226	50	20	7	2	
	100.0	87.8	71.8	66.4	38.1	20.3	19.5	4.3	1.7	0.6	0.2	
男性 前期高齢者	557	458	402	430	218	165	168	32	8	4	0	
	100.0	82.2	72.2	77.2	39.1	29.6	30.2	5.7	1.4	0.7	0.0	
女性 前期高齢者	597	557	428	336	223	70	57	18	11	3	2	
	100.0	93.3	71.7	56.3	37.4	11.7	9.5	3.0	1.8	0.5	0.3	
後期高齢者	929	822	536	354	212	83	61	19	16	11	14	
	100.0	88.5	57.7	38.1	22.8	8.9	6.6	2.0	1.7	1.2	1.5	
男性 後期高齢者	405	336	243	220	88	64	51	13	4	6	6	
	100.0	83.0	60.0	54.3	21.7	15.8	12.6	3.2	1.0	1.5	1.5	
女性 後期高齢者	513	478	289	130	122	15	10	5	12	5	7	
	100.0	93.2	56.3	25.3	23.8	2.9	1.9	1.0	2.3	1.0	1.4	
(再掲)85歳以上	129	113	60	36	28	7	5	1	1	4	3	
	100.0	87.6	46.5	27.9	21.7	5.4	3.9	0.8	0.8	3.1	2.3	
男性(再掲)85歳以上	47	40	24	23	11	7	3	0	0	1	1	
	100.0	85.1	51.1	48.9	23.4	14.9	6.4	0.0	0.0	2.1	2.1	
女性(再掲)85歳以上	81	72	36	13	17	0	2	1	1	3	2	
	100.0	88.9	44.4	16.0	21.0	0.0	2.5	1.2	1.2	3.7	2.5	

9. 就労の状況について

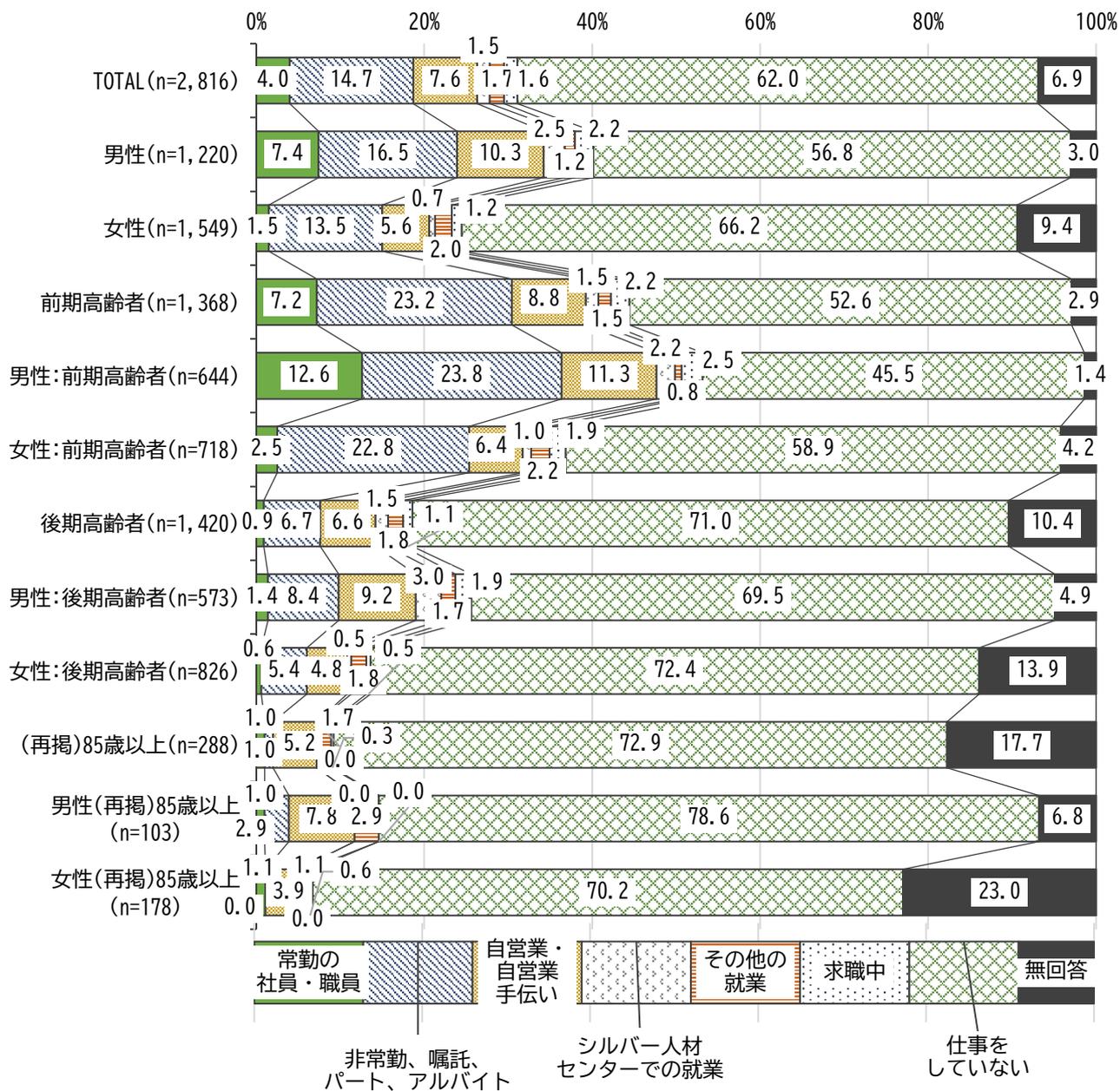
(1) 現在の就労状況

問 23 就労状況をうかがいます。(1つに○)

現在の就労状況については、31.1%が『仕事をしている』となっています。そのうち「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」が14.7%で最も高く、「自営業・自営業手伝い」が7.6%、「常勤の社員・職員」が4.0%の順となっています。



【基本属性別 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると男性で、年齢別にみると前期高齢者で就労している割合が高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

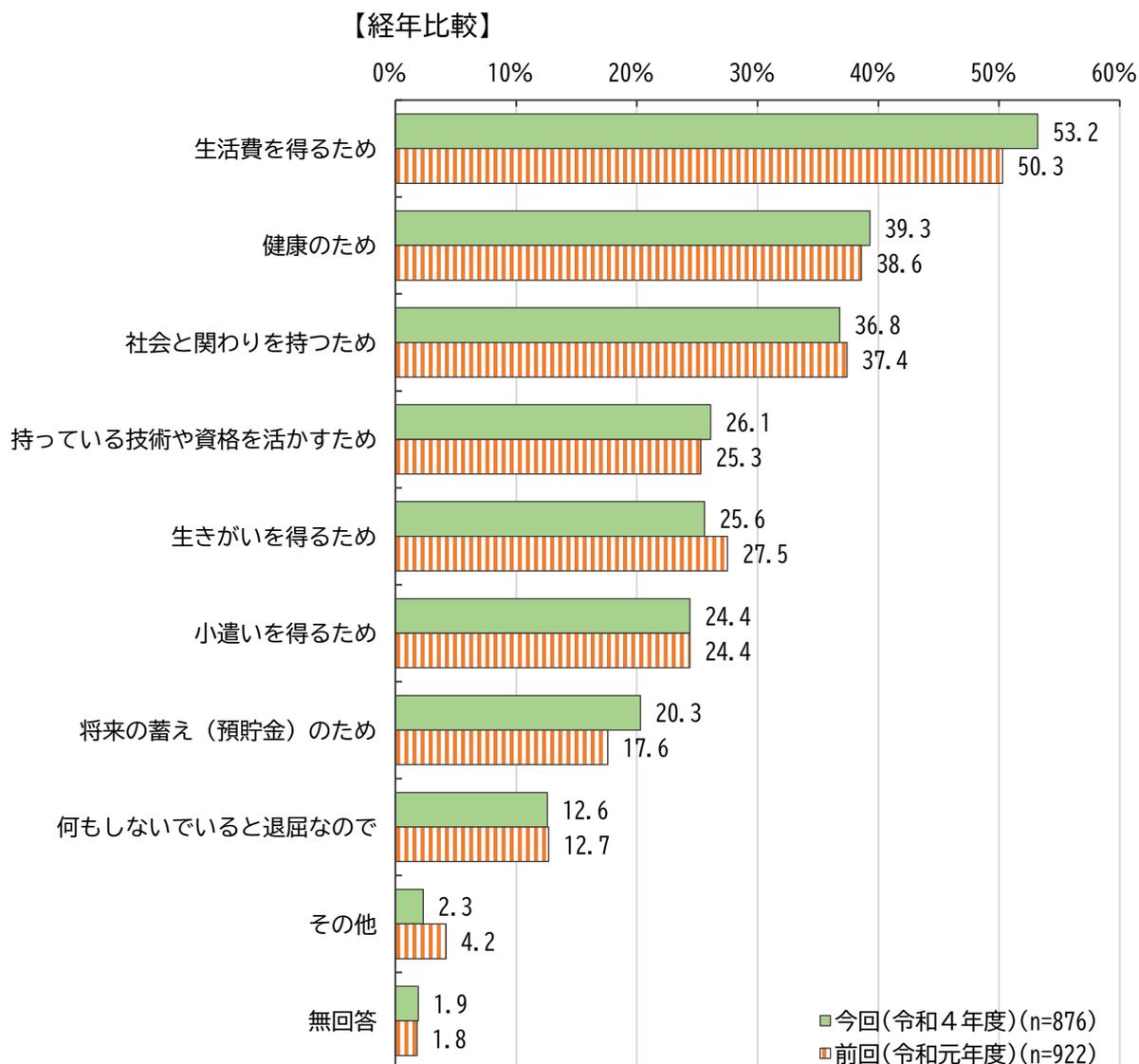
n=		常勤の社員・職員	パート、アルバイト	非常勤、嘱託、アルバイト	自営業・自営業手伝い	シルバー人材センター	その他の就業	求職中	仕事をしていない	無回答	上段：人数
											下段：％
TOTAL	2,816 100.0	113 4.0	414 14.7	215 7.6	42 1.5	47 1.7	45 1.6	1,747 62.0	193 6.9		
男性	1,220 100.0	90 7.4	201 16.5	126 10.3	31 2.5	15 1.2	27 2.2	693 56.8	37 3.0		
女性	1,549 100.0	23 1.5	209 13.5	86 5.6	11 0.7	31 2.0	18 1.2	1,026 66.2	145 9.4		
前期高齢者	1,368 100.0	99 7.2	318 23.2	120 8.8	21 1.5	21 1.5	30 2.2	719 52.6	40 2.9		
男性 前期高齢者	644 100.0	81 12.6	153 23.8	73 11.3	14 2.2	5 0.8	16 2.5	293 45.5	9 1.4		
女性 前期高齢者	718 100.0	18 2.5	164 22.8	46 6.4	7 1.0	16 2.2	14 1.9	423 58.9	30 4.2		
後期高齢者	1,420 100.0	13 0.9	95 6.7	94 6.6	21 1.5	26 1.8	15 1.1	1,008 71.0	148 10.4		
男性 後期高齢者	573 100.0	8 1.4	48 8.4	53 9.2	17 3.0	10 1.7	11 1.9	398 69.5	28 4.9		
女性 後期高齢者	826 100.0	5 0.6	45 5.4	40 4.8	4 0.5	15 1.8	4 0.5	598 72.4	115 13.9		
(再掲)85歳以上	288 100.0	3 1.0	3 1.0	15 5.2	0 0.0	5 1.7	1 0.3	210 72.9	51 17.7		
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	1 1.0	3 2.9	8 7.8	0 0.0	3 2.9	0 0.0	81 78.6	7 6.8		
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	2 1.1	0 0.0	7 3.9	0 0.0	2 1.1	1 0.6	125 70.2	41 23.0		

(2) 仕事をしている（または探している）理由

問23で「1」～「6」のいずれかを回答した方にかがいます。

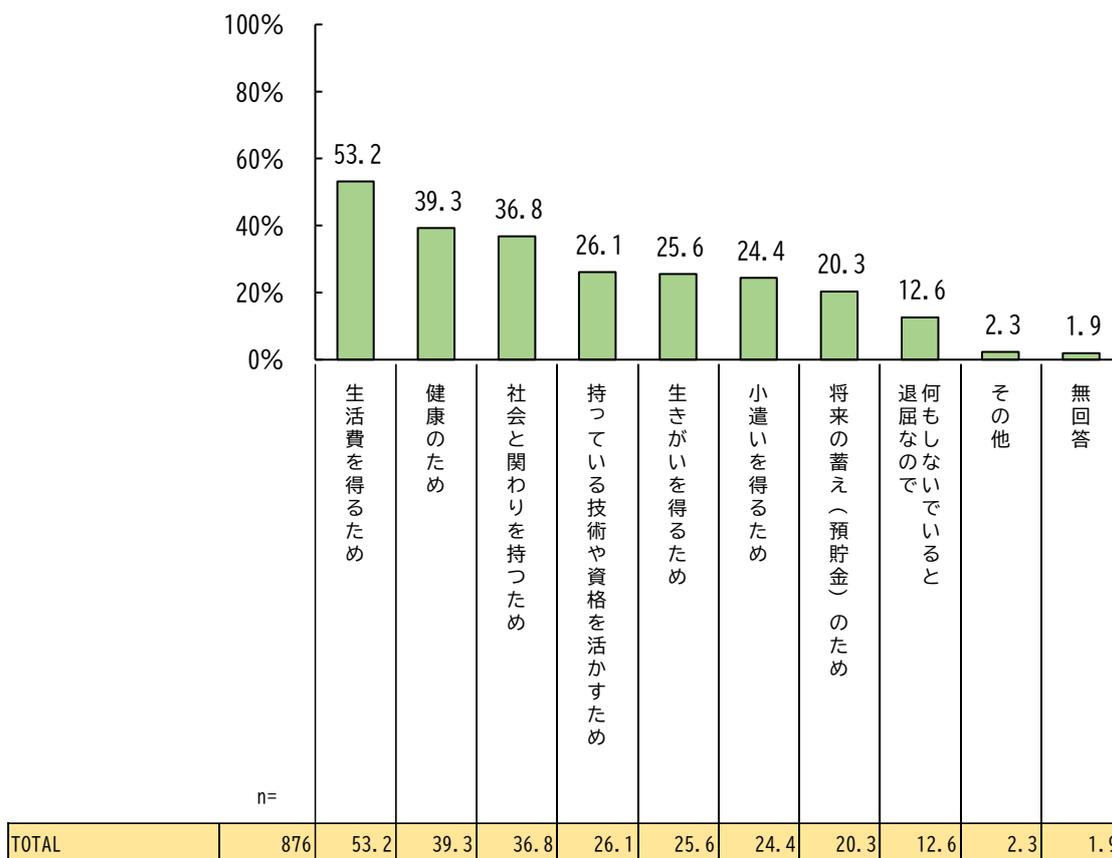
問23-1 仕事をしている（または探している）理由は何ですか。
（特にあてはまるもの3つまでに○）

現在就労している方（876人、31.1%）の働いている理由については、「生活費を得るため」が53.2%で最も高く、次いで「健康のため」が39.3%、「社会と関わりを持つため」が36.8%の順となっています。



第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



性別にみると、男性では「生活費を得るため」、女性では「生きがいを得るため」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「生活費を得るため」、「社会との関わりを持つため」、「将来の蓄え（預貯金）のため」、後期高齢者では「健康のため」、「持っている技術や資格を活かすため」、「生きがいを得るため」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

n=	生活費を得るため	健康のため	社会との関わりを持つため	資格を活かすため	生きがいを得るため	小遣いを得るため	将来の蓄え（預貯金）のため	何もしないでいると退屈しない	その他	無回答	上段：人数 下段：％
TOTAL	876 100.0	466 53.2	344 39.3	322 36.8	229 26.1	224 25.6	214 24.4	178 20.3	110 12.6	20 2.3	17 1.9
男性	490 100.0	285 58.2	190 38.8	184 37.6	128 26.1	115 23.5	125 25.5	111 22.7	69 14.1	8 1.6	3 0.6
女性	378 100.0	176 46.6	152 40.2	135 35.7	96 25.4	107 28.3	88 23.3	67 17.7	41 10.8	11 2.9	14 3.7
前期高齢者	609 100.0	359 58.9	219 36.0	232 38.1	154 25.3	134 22.0	155 25.5	152 25.0	75 12.3	15 2.5	6 1.0
男性 前期高齢者	342 100.0	215 62.9	121 35.4	129 37.7	91 26.6	69 20.2	89 26.0	94 27.5	50 14.6	7 2.0	1 0.3
女性 前期高齢者	265 100.0	143 54.0	98 37.0	102 38.5	62 23.4	65 24.5	66 24.9	58 21.9	25 9.4	7 2.6	5 1.9
後期高齢者	264 100.0	104 39.4	123 46.6	89 33.7	74 28.0	88 33.3	57 21.6	25 9.5	35 13.3	5 1.9	11 4.2
男性 後期高齢者	147 100.0	69 46.9	68 46.3	54 36.7	37 25.2	45 30.6	35 23.8	16 10.9	19 12.9	1 0.7	2 1.4
女性 後期高齢者	113 100.0	33 29.2	54 47.8	33 29.2	34 30.1	42 37.2	22 19.5	9 8.0	16 14.2	4 3.5	9 8.0
(再掲)85歳以上	27 100.0	9 33.3	13 48.1	9 33.3	9 33.3	12 44.4	1 3.7	0 0.0	4 14.8	0 0.0	1 3.7
男性(再掲)85歳以上	15 100.0	5 33.3	8 53.3	5 33.3	3 20.0	7 46.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7
女性(再掲)85歳以上	12 100.0	4 33.3	5 41.7	4 33.3	6 50.0	5 41.7	0 0.0	0 0.0	4 33.3	0 0.0	0 0.0

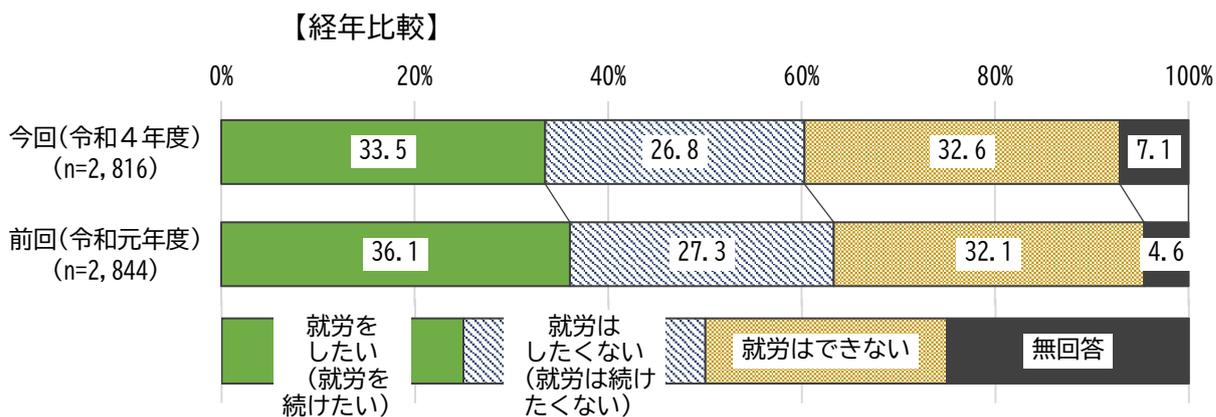
第2章 調査結果の詳細

(3) 今後の働き方

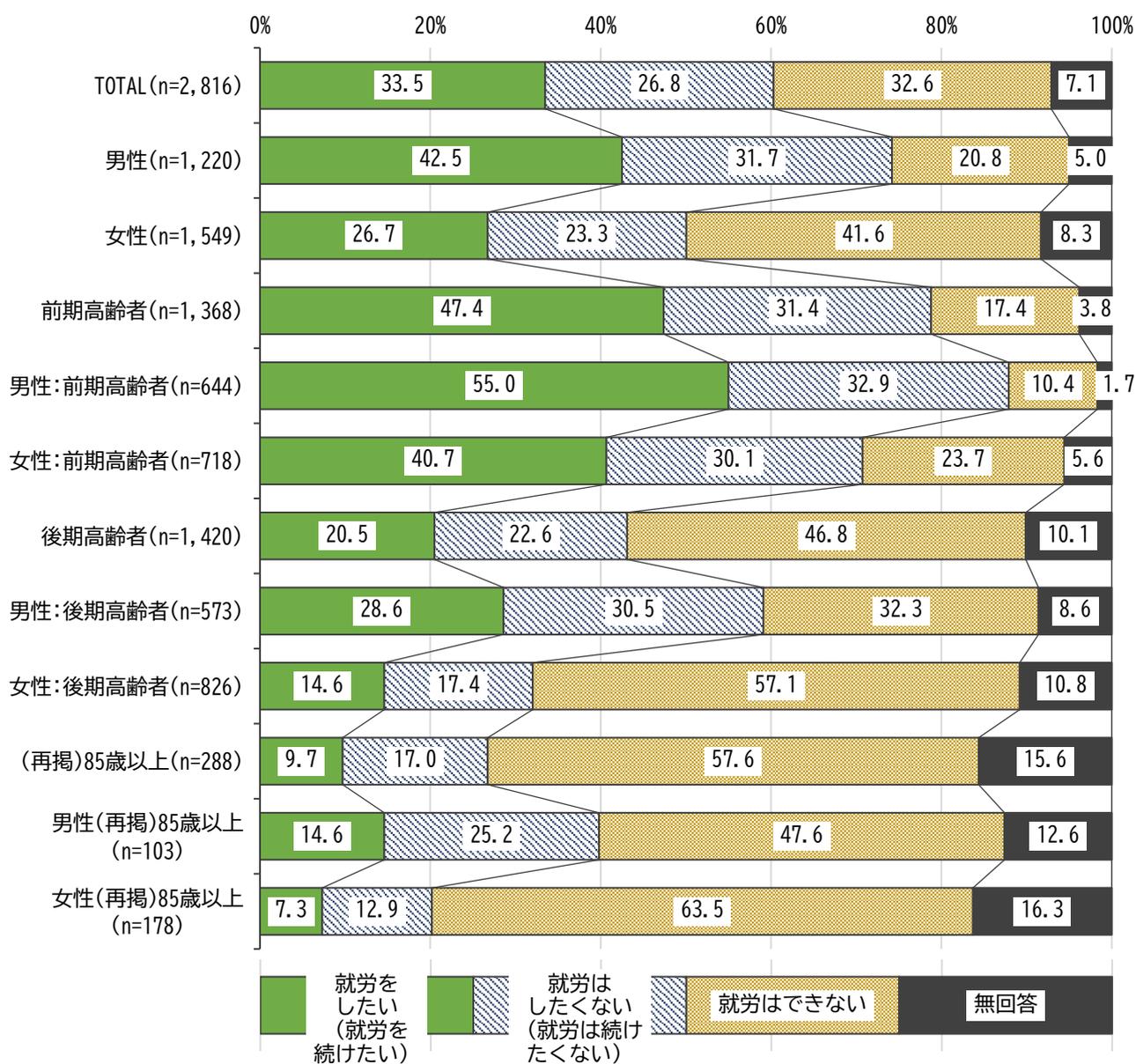
【すべての方におたずねします。】

問 24 今後、就労をしたい（就労を続けたい）と考えていますか。（1つに○）

今後の就労希望（継続含め）については、「就労をしたい（就労を続けたい）」が 33.5%、「就労はしたくない（就労は続けたくない）」が 26.8%、「就労はできない」が 32.6%となっています。



【基本属性別 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「就労をしたい（就労を続けたい）」、「就労はしたくない（就労は続けたくない）」、女性では「就労はできない」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者で「就労をしたい（就労を続けたい）」、「就労はしたくない（就労は続けたくない）」、後期高齢者で「就労はできない」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

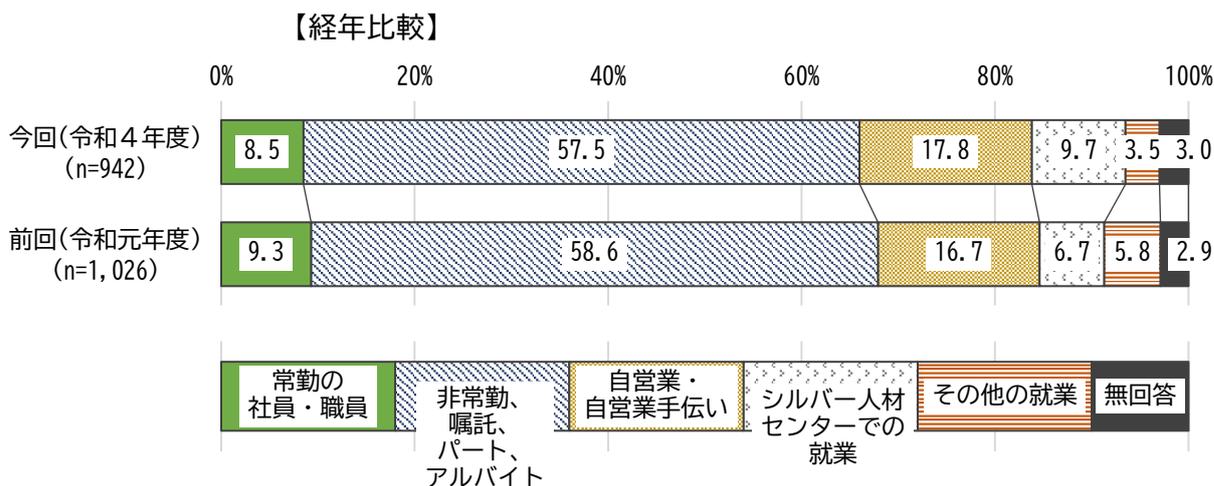
	n=	（就労を続けたい）	（就労はしたくない）	就労はできない	無回答	上段：人数 下段：％
TOTAL	2,816 100.0	942 33.5	756 26.8	918 32.6	200 7.1	
男性	1,220 100.0	518 42.5	387 31.7	254 20.8	61 5.0	
女性	1,549 100.0	414 26.7	361 23.3	645 41.6	129 8.3	
前期高齢者	1,368 100.0	648 47.4	430 31.4	238 17.4	52 3.8	
男性 前期高齢者	644 100.0	354 55.0	212 32.9	67 10.4	11 1.7	
女性 前期高齢者	718 100.0	292 40.7	216 30.1	170 23.7	40 5.6	
後期高齢者	1,420 100.0	291 20.5	321 22.6	665 46.8	143 10.1	
男性 後期高齢者	573 100.0	164 28.6	175 30.5	185 32.3	49 8.6	
女性 後期高齢者	826 100.0	121 14.6	144 17.4	472 57.1	89 10.8	
(再掲)85歳以上	288 100.0	28 9.7	49 17.0	166 57.6	45 15.6	
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	15 14.6	26 25.2	49 47.6	13 12.6	
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	13 7.3	23 12.9	113 63.5	29 16.3	

(4) 今後の就労形態の希望

問24で「1. 就労をしたい(就労を続けたい)」と回答した方にかがいます。

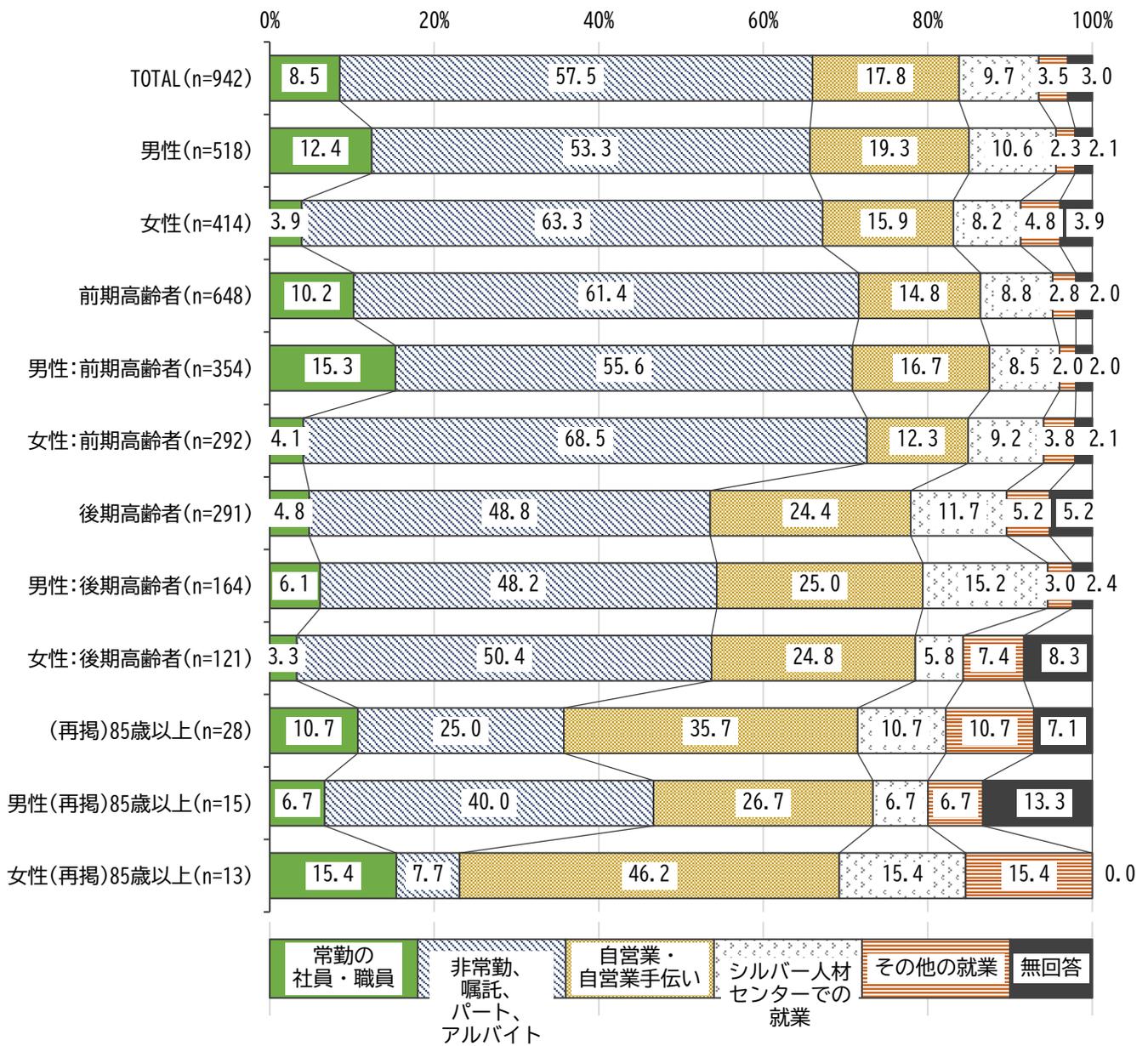
問24-1 今後、どのような形態で就労をしたいと考えますか。(1つに○)

今後就労を希望する方(942人、33.5%)の希望する就労形態については、「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」が57.5%で最も高く、次いで「自営業・自営業手伝い」が17.8%、「常勤の社員・職員」が8.5%の順となっています。



第2章 調査結果の詳細

【基本属性別 (%)】



性別にみると、男性で「常勤の社員・職員」、女性で「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者で「常勤の社員・職員」、「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」、後期高齢者で「自営業・自営業手伝い」、「シルバー人材センターでの就業」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

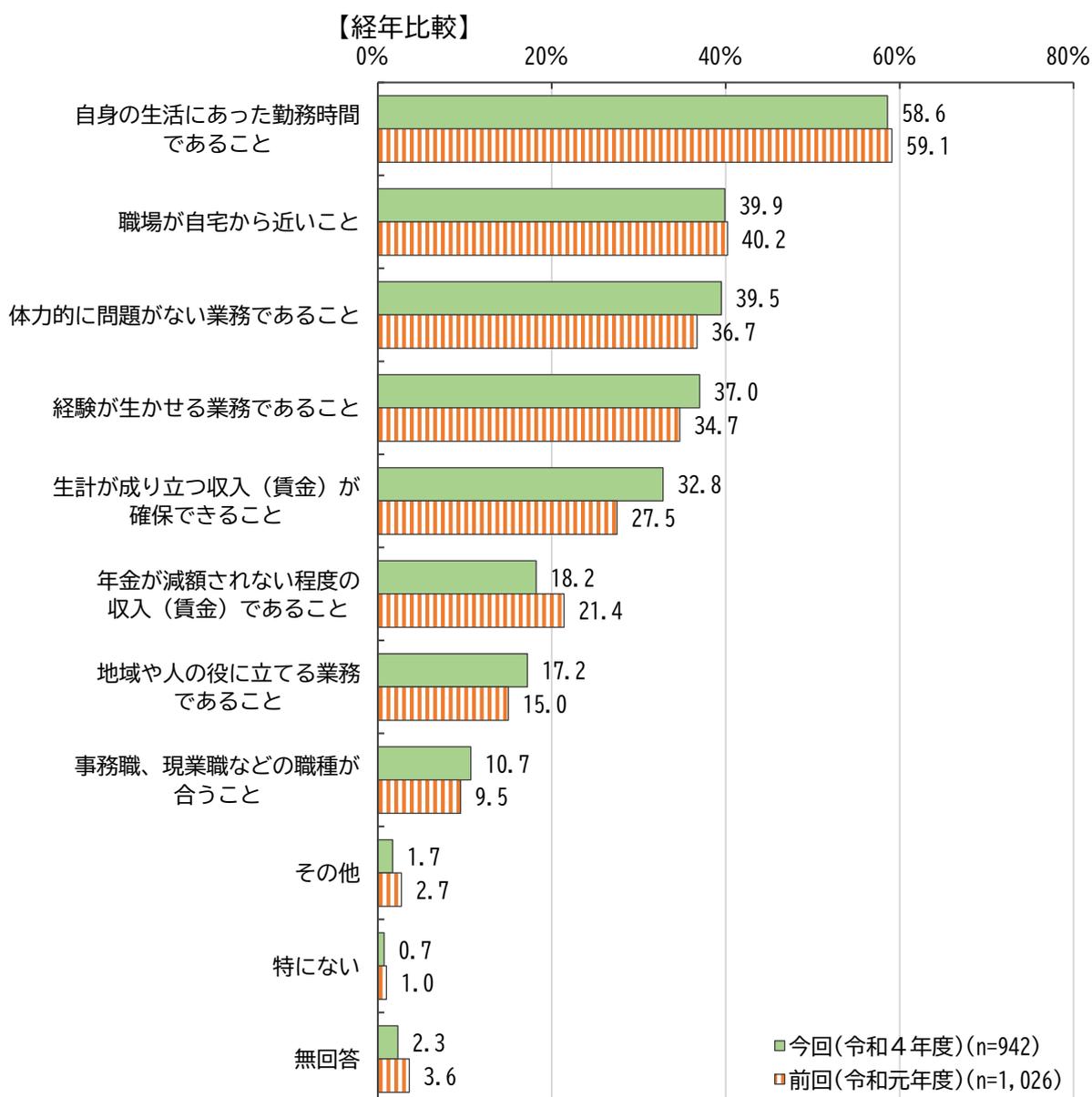
	n=	常勤の社員・職員	パート、アルバイト	非常勤、嘱託、アルバイト	自営業・自営業手伝い	シルバー人材センター	その他の就業	無回答	上段：人数
									下段：％
TOTAL	942	80	542	168	91	33	28		
	100.0	8.5	57.5	17.8	9.7	3.5	3.0		
男性	518	64	276	100	55	12	11		
	100.0	12.4	53.3	19.3	10.6	2.3	2.1		
女性	414	16	262	66	34	20	16		
	100.0	3.9	63.3	15.9	8.2	4.8	3.9		
前期高齢者	648	66	398	96	57	18	13		
	100.0	10.2	61.4	14.8	8.8	2.8	2.0		
男性 前期高齢者	354	54	197	59	30	7	7		
	100.0	15.3	55.6	16.7	8.5	2.0	2.0		
女性 前期高齢者	292	12	200	36	27	11	6		
	100.0	4.1	68.5	12.3	9.2	3.8	2.1		
後期高齢者	291	14	142	71	34	15	15		
	100.0	4.8	48.8	24.4	11.7	5.2	5.2		
男性 後期高齢者	164	10	79	41	25	5	4		
	100.0	6.1	48.2	25.0	15.2	3.0	2.4		
女性 後期高齢者	121	4	61	30	7	9	10		
	100.0	3.3	50.4	24.8	5.8	7.4	8.3		
(再掲)85歳以上	28	3	7	10	3	3	2		
	100.0	10.7	25.0	35.7	10.7	10.7	7.1		
男性(再掲)85歳以上	15	1	6	4	1	1	2		
	100.0	6.7	40.0	26.7	6.7	6.7	13.3		
女性(再掲)85歳以上	13	2	1	6	2	2	0		
	100.0	15.4	7.7	46.2	15.4	15.4	0.0		

(5) 就労するうえで重視すること

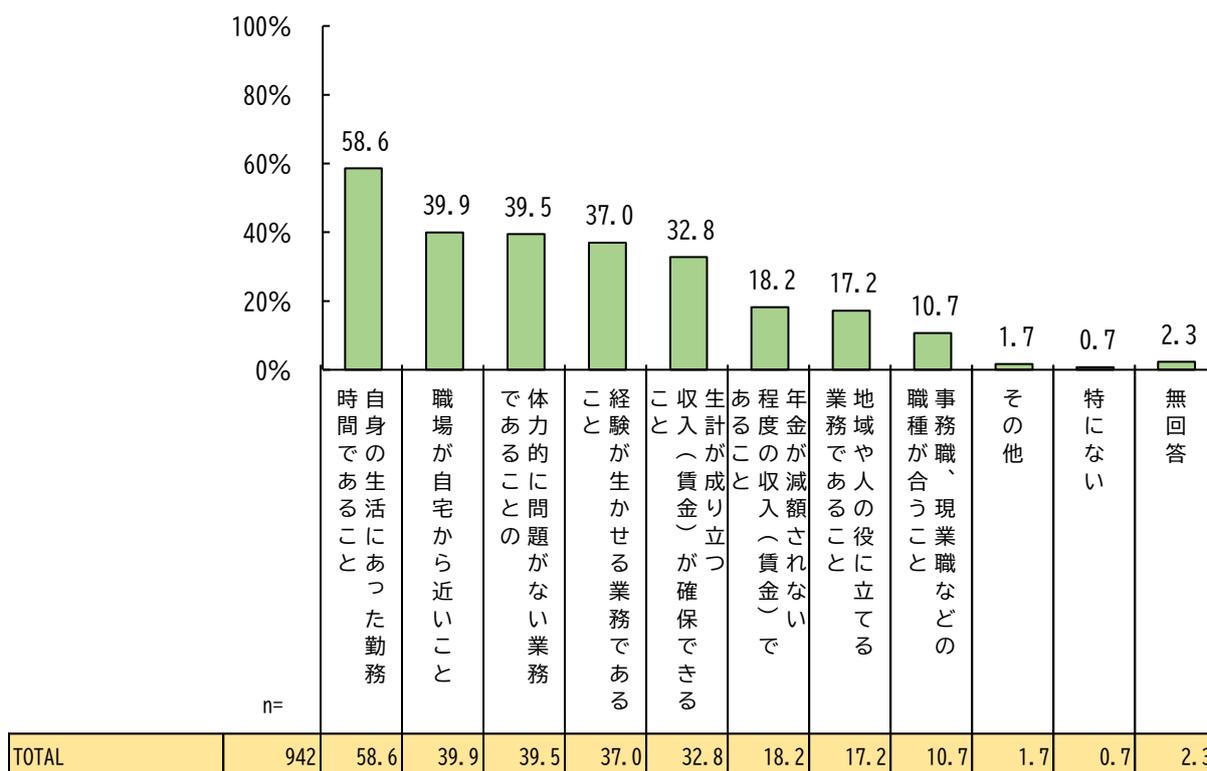
問24で「1. 就労をしたい(就労を続けたい)」と回答した方にうかがいます。

問24-2 就労するうえで、重視することは何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

今後就労を希望する方(942人、33.5%)の就労するうえで重視することについては、「自身の生活にあった勤務時間であること」が58.6%で最も高く、次いで「職場が自宅から近いこと」が39.9%、「体力的に問題がない業務であること」が39.5%、「経験が活かせる業務であること」が37.0%、「生計が成り立つ収入(賃金)が確保できること」が32.8%と続いています。



【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「経験が生かせる業務であること」、「生計が成り立つ収入（賃金）が確保できること」、「年金が減額されない程度の収入（賃金）であること」、「事務職、現業職などの職種が合うこと」、女性では「自身の生活にあった勤務時間であること」、「職場が自宅から近いこと」、「体力的に問題がない業務であること」、「経験が生かせる業務であること」、「生計が成り立つ収入（賃金）が確保できること」、「年金が減額されない程度の収入（賃金）であること」、「地域や人の役に立てる業務であること」、「事務職、現業職などの職種が合うこと」、「その他」、「特にない」、「無回答」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=	自身の生活にあった勤務時間	職場が自宅から近いこと	体力的に問題がない業務	経験が生かせる業務であること	生計が成り立つ収入（賃金）が確保できること	年金が減額されない程度の収入（賃金）であること	地域や人の役に立てる業務	事務職、現業職などの職種が合うこと	その他	特にない	無回答
TOTAL	942 100.0	552 58.6	376 39.9	372 39.5	349 37.0	309 32.8	171 18.2	162 17.2	101 10.7	16 1.7	7 0.7	22 2.3
男性	518 100.0	297 57.3	185 35.7	193 37.3	216 41.7	183 35.3	112 21.6	79 15.3	68 13.1	6 1.2	5 1.0	6 1.2
女性	414 100.0	251 60.6	187 45.2	178 43.0	129 31.2	122 29.5	59 14.3	78 18.8	33 8.0	10 2.4	2 0.5	15 3.6
前期高齢者	648 100.0	401 61.9	276 42.6	259 40.0	238 36.7	237 36.6	125 19.3	102 15.7	70 10.8	5 0.8	6 0.9	8 1.2
男性 前期高齢者	354 100.0	209 59.0	129 36.4	132 37.3	147 41.5	142 40.1	81 22.9	54 15.3	47 13.3	2 0.6	4 1.1	2 0.6
女性 前期高齢者	292 100.0	190 65.1	146 50.0	127 43.5	91 31.2	94 32.2	44 15.1	47 16.1	23 7.9	3 1.0	2 0.7	6 2.1
後期高齢者	291 100.0	149 51.2	99 34.0	112 38.5	111 38.1	72 24.7	46 15.8	58 19.9	31 10.7	11 3.8	1 0.3	14 4.8
男性 後期高齢者	164 100.0	88 53.7	56 34.1	61 37.2	69 42.1	41 25.0	31 18.9	25 15.2	21 12.8	4 2.4	1 0.6	4 2.4
女性 後期高齢者	121 100.0	60 49.6	41 33.9	50 41.3	38 31.4	28 23.1	15 12.4	30 24.8	10 8.3	7 5.8	0 0.0	9 7.4
(再掲)85歳以上	28 100.0	7 25.0	5 17.9	7 25.0	18 64.3	5 17.9	2 7.1	7 25.0	5 17.9	1 3.6	0 0.0	1 3.6
男性(再掲)85歳以上	15 100.0	5 33.3	3 20.0	5 33.3	9 60.0	1 6.7	0 0.0	2 13.3	4 26.7	1 6.7	0 0.0	1 6.7
女性(再掲)85歳以上	13 100.0	2 15.4	2 15.4	2 15.4	9 69.2	4 30.8	2 15.4	5 38.5	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

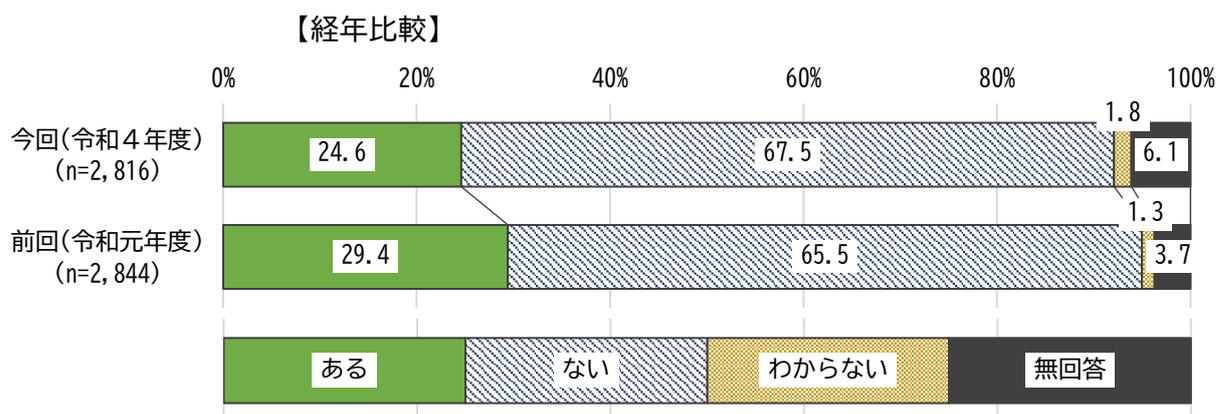
上段：人数
下段：％

10. 地域で参加している活動について

(1) 地域で参加している活動の有無

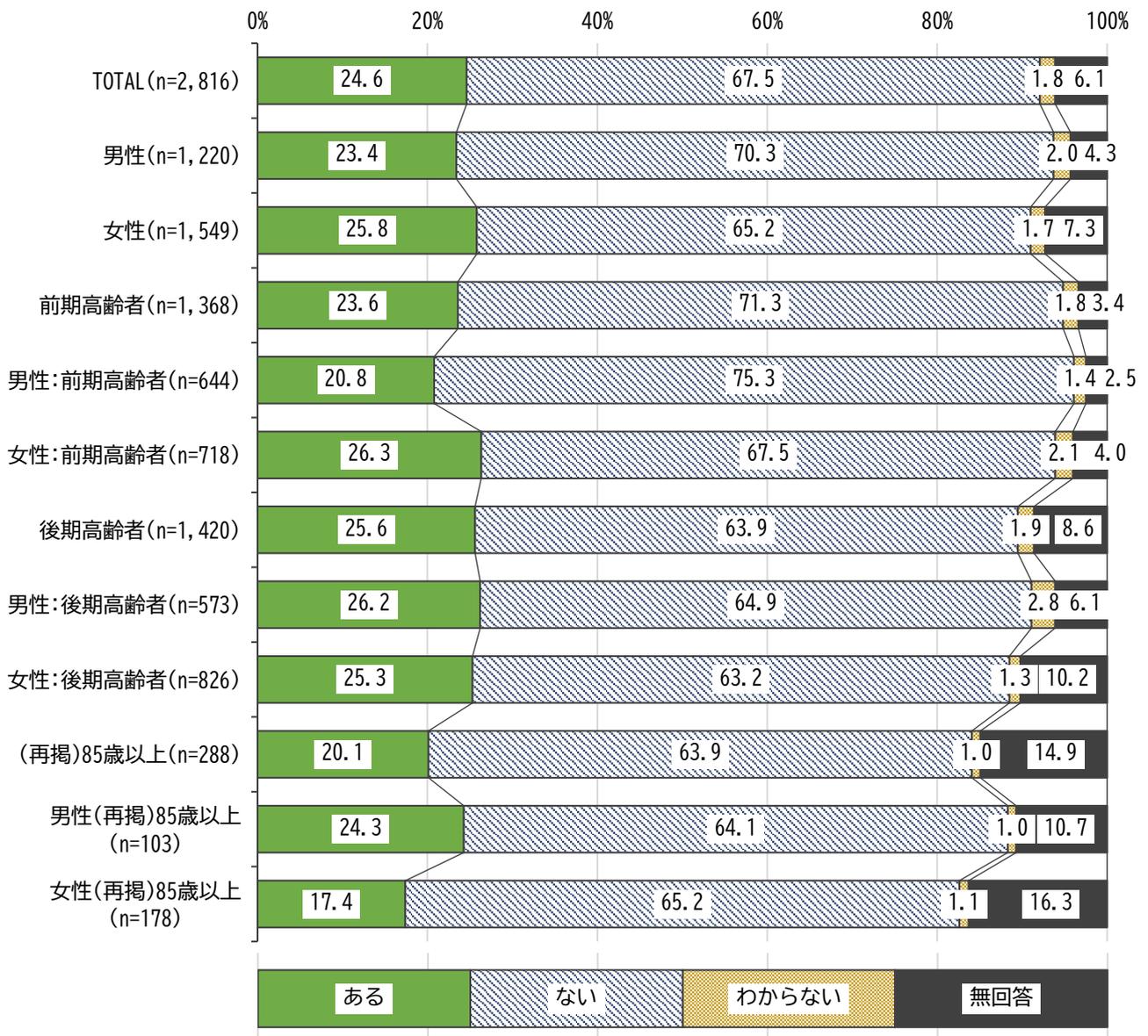
問 25 現在、地域で参加している活動がありますか。(1つに○)

現在の地域活動への参加状況については、「(参加している活動が) ある」が 24.6%、「ない」が 67.5%となっています。



第2章 調査結果の詳細

【基本属性別 (%)】



性別にみると、男性では「ない」、女性では「ある」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=	ある	ない	わからない	無回答
TOTAL	2,816 100.0	693 24.6	1,900 67.5	52 1.8	171 6.1
男性	1,220 100.0	285 23.4	858 70.3	25 2.0	52 4.3
女性	1,549 100.0	400 25.8	1,010 65.2	26 1.7	113 7.3
前期高齢者	1,368 100.0	323 23.6	975 71.3	24 1.8	46 3.4
男性 前期高齢者	644 100.0	134 20.8	485 75.3	9 1.4	16 2.5
女性 前期高齢者	718 100.0	189 26.3	485 67.5	15 2.1	29 4.0
後期高齢者	1,420 100.0	364 25.6	907 63.9	27 1.9	122 8.6
男性 後期高齢者	573 100.0	150 26.2	372 64.9	16 2.8	35 6.1
女性 後期高齢者	826 100.0	209 25.3	522 63.2	11 1.3	84 10.2
(再掲)85歳以上	288 100.0	58 20.1	184 63.9	3 1.0	43 14.9
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	25 24.3	66 64.1	1 1.0	11 10.7
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	31 17.4	116 65.2	2 1.1	29 16.3

上段：人数
下段：％

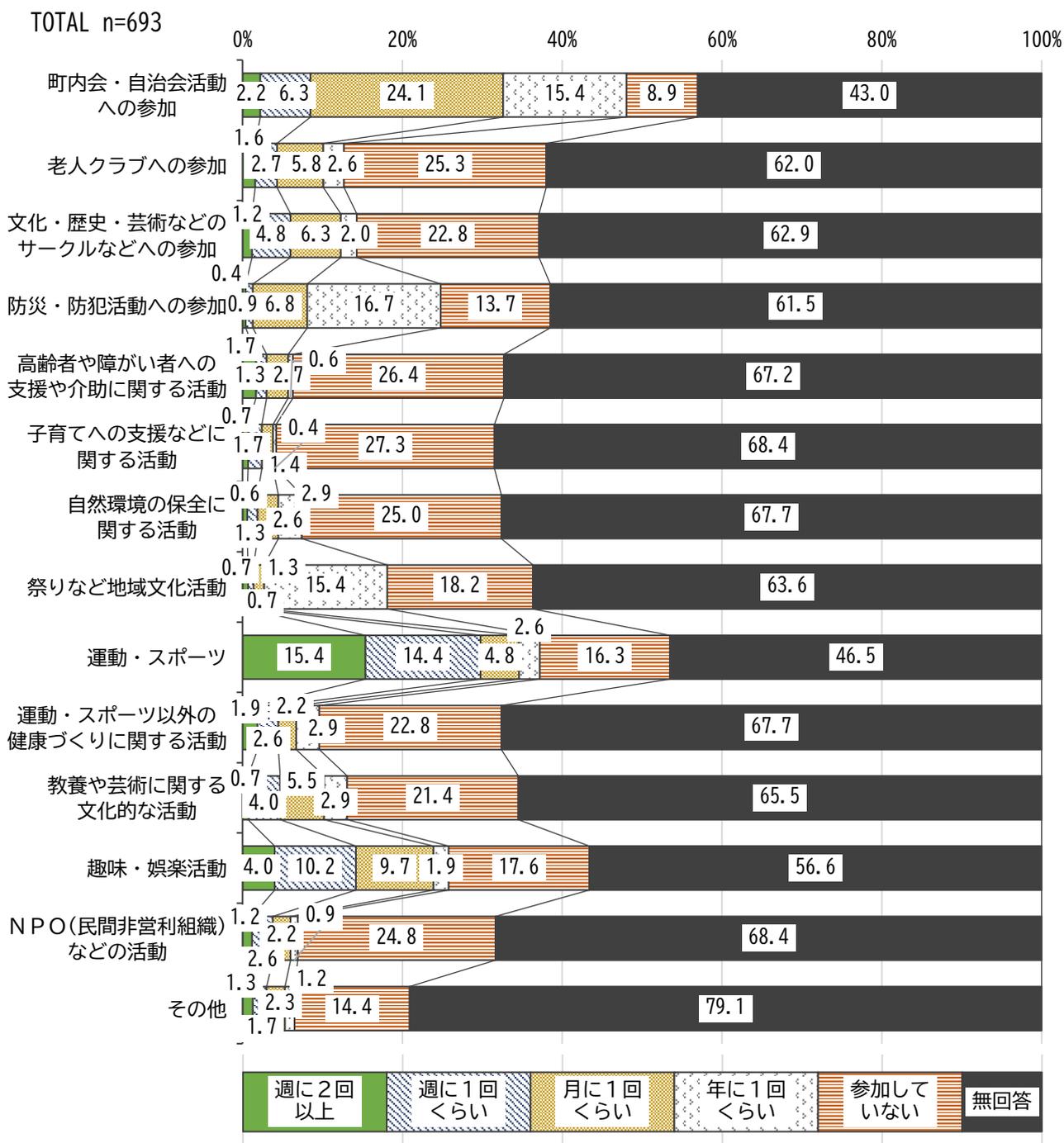
(2) 地域で参加している活動

地域で参加している活動がある方のみ（問 25 で「1. ある」と回答した方）お答えください。

問 25-1 現在、地域で参加している活動の参加状況について、ご記入ください

現在、地域活動に参加している方（693 人、24.6%）のうち、各活動への参加状況を見ると、「町内会・自治会活動への参加」が 48.0%で最も高く、次いで「運動・スポーツ」(37.2%)、「趣味・娯楽活動」(25.8%)となっています。このうち、「運動・スポーツ」は、「週に2回以上」が 15.4%と他の活動に比べて高くなっています。

【単純集計 (%)】



【単純集計（人数・％）】

	n=	週に2回 以上	週に1回 くらい	月に1回 くらい	年に1回 くらい	参加して いない	無回答	参加して いる計	上段：人数 下段：％
町内会・自治会活動への参加	693 100.0	15 2.2	44 6.3	167 24.1	107 15.4	62 8.9	298 43.0	48.0	
老人クラブへの参加	693 100.0	11 1.6	19 2.7	40 5.8	18 2.6	175 25.3	430 62.0	12.7	
文化・歴史・芸術などのサークル などへの参加	693 100.0	8 1.2	33 4.8	44 6.3	14 2.0	158 22.8	436 62.9	14.3	
防災・防犯活動への参加	693 100.0	3 0.4	6 0.9	47 6.8	116 16.7	95 13.7	426 61.5	24.8	
高齢者や障がい者への支援や 介助に関する活動	693 100.0	12 1.7	9 1.3	19 2.7	4 0.6	183 26.4	466 67.2	6.3	
子育てへの支援などに関する活動	693 100.0	5 0.7	12 1.7	10 1.4	3 0.4	189 27.3	474 68.4	4.2	
自然環境の保全に関する活動	693 100.0	4 0.6	9 1.3	18 2.6	20 2.9	173 25.0	469 67.7	7.4	
祭りなど地域文化活動	693 100.0	5 0.7	5 0.7	9 1.3	107 15.4	126 18.2	441 63.6	18.1	
運動・スポーツ	693 100.0	107 15.4	100 14.4	33 4.8	18 2.6	113 16.3	322 46.5	37.2	
運動・スポーツ以外の健康づくり に関する活動	693 100.0	13 1.9	18 2.6	15 2.2	20 2.9	158 22.8	469 67.7	9.6	
教養や芸術に関する文化的な活動	693 100.0	5 0.7	28 4.0	38 5.5	20 2.9	148 21.4	454 65.5	13.1	
趣味・娯楽活動	693 100.0	28 4.0	71 10.2	67 9.7	13 1.9	122 17.6	392 56.6	25.8	
NPO(民間非営利組織)などの活動	693 100.0	8 1.2	18 2.6	15 2.2	6 0.9	172 24.8	474 68.4	6.9	
その他	693 100.0	9 1.3	12 1.7	16 2.3	8 1.2	100 14.4	548 79.1	6.5	

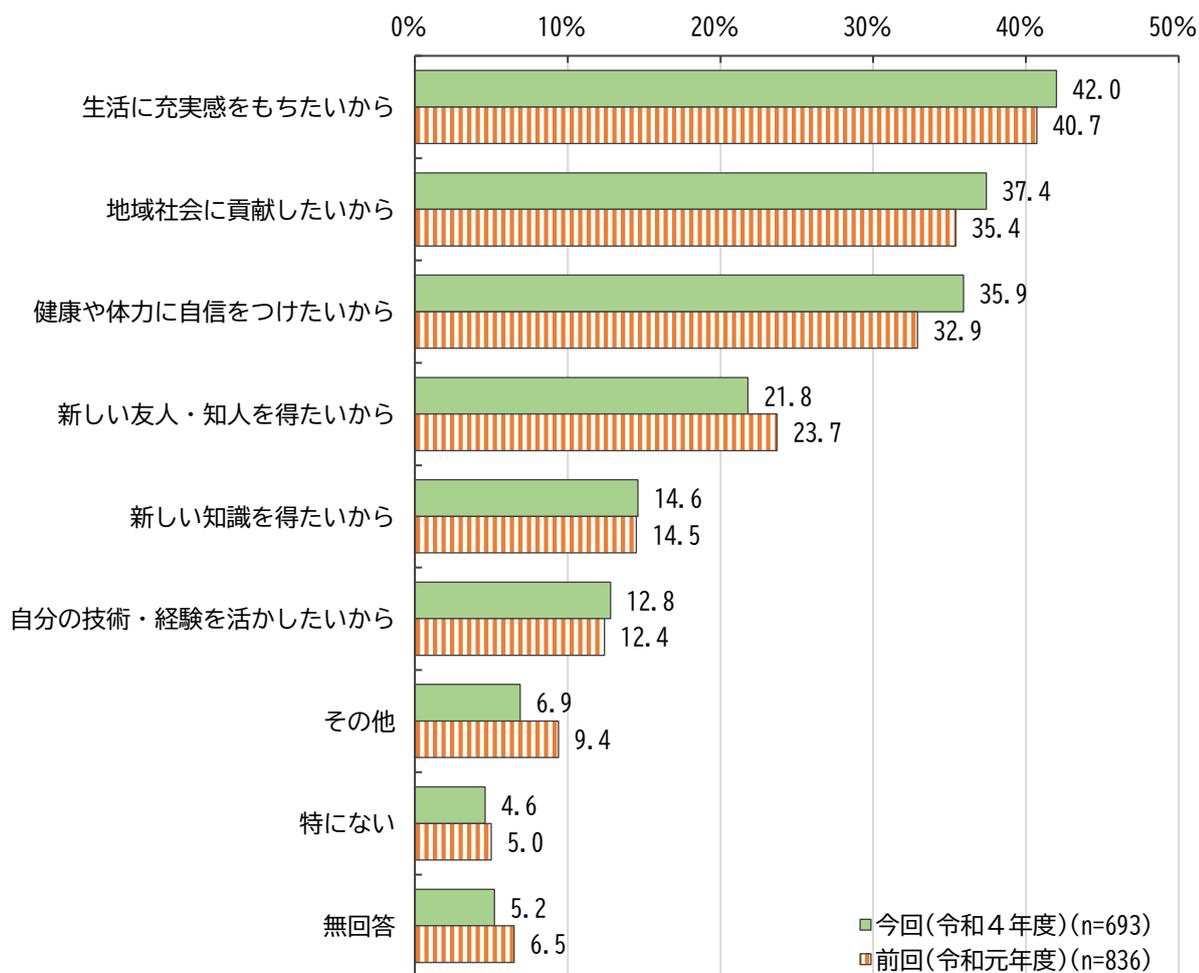
(3) 地域の活動に参加した理由

地域で参加している活動がある方のみ（問25で「1. ある」と回答した方）お答えください。

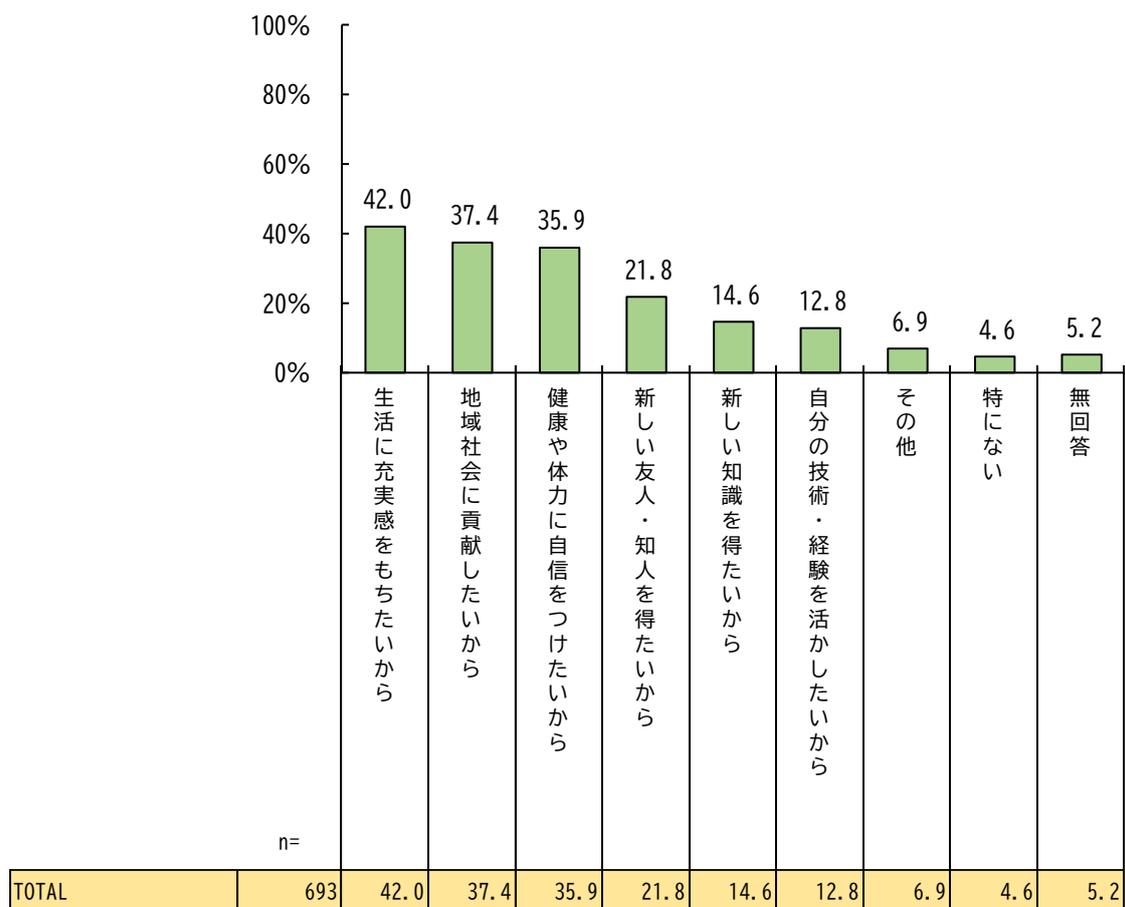
問25-2 地域の活動に参加した理由は何ですか。（特にあてはまるもの3つまでに○）

地域活動に参加した理由については、「生活に充実感をもちたいから」が42.0%で最も高く、次いで「地域社会に貢献したいから」（37.4%）、「健康や体力に自信をつけたいから」（35.9%）がいずれも3割台となっています。

【経年比較】



【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「地域社会に貢献したいから」、女性では「健康や体力に自信をつけたいから」、「新しい知識を得たいから」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

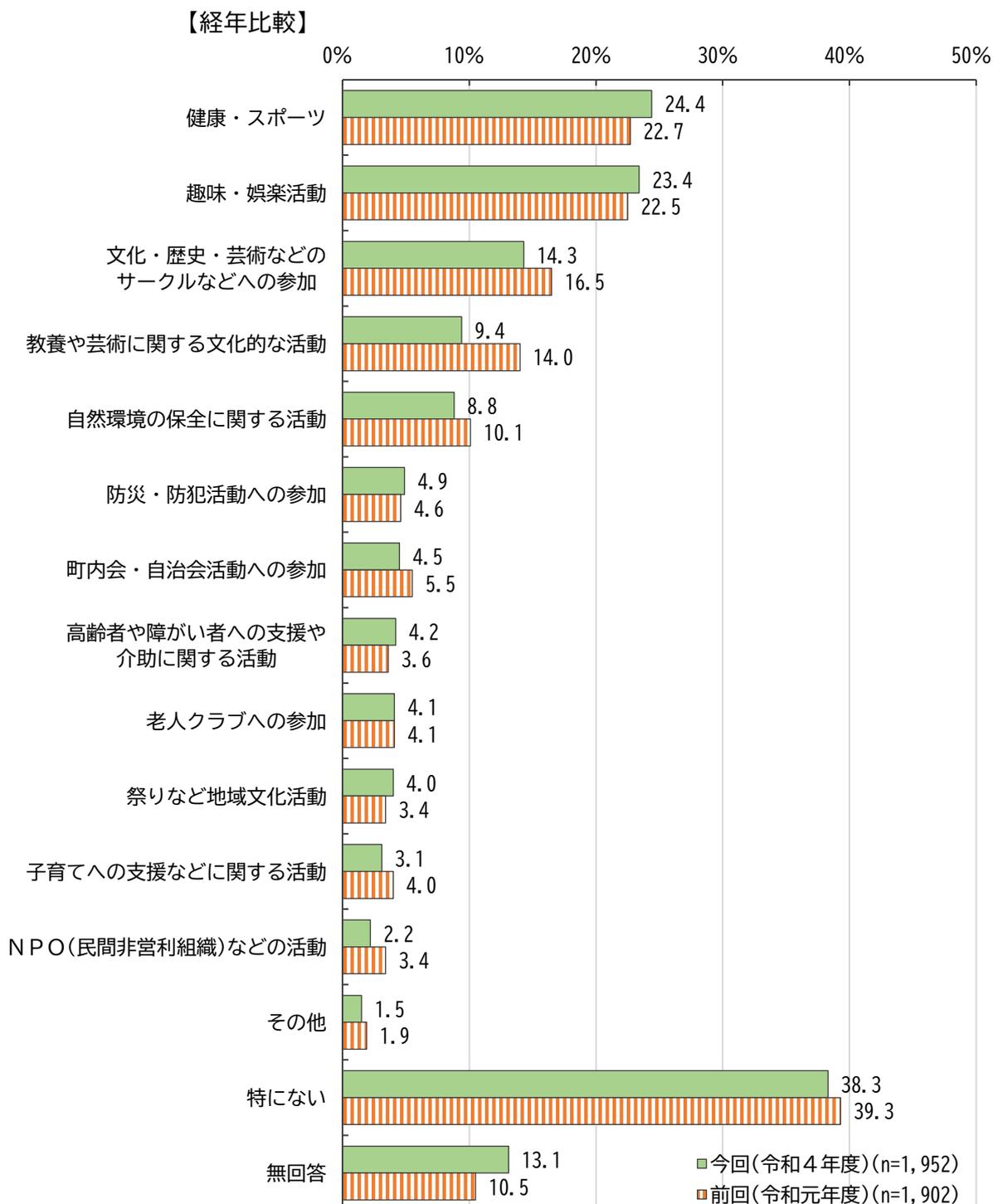
n=		も生活に充実感	した地域社会に貢献	つ健康や体力に自信	得新しい友人・知人	得新しい知識	活自分の技術から経験	その他	特にな	無回答	上段：人数 下段：％
TOTAL	693 100.0	291 42.0	259 37.4	249 35.9	151 21.8	101 14.6	89 12.8	48 6.9	32 4.6	36 5.2	
男性	285 100.0	120 42.1	134 47.0	77 27.0	65 22.8	30 10.5	39 13.7	21 7.4	16 5.6	16 5.6	
女性	400 100.0	166 41.5	121 30.3	169 42.3	84 21.0	70 17.5	49 12.3	27 6.8	16 4.0	19 4.8	
前期高齢者	323 100.0	122 37.8	136 42.1	106 32.8	71 22.0	41 12.7	43 13.3	26 8.0	18 5.6	12 3.7	
男性 前期高齢者	134 100.0	58 43.3	68 50.7	34 25.4	35 26.1	12 9.0	16 11.9	11 8.2	8 6.0	3 2.2	
女性 前期高齢者	189 100.0	64 33.9	68 36.0	72 38.1	36 19.0	29 15.3	27 14.3	15 7.9	10 5.3	9 4.8	
後期高齢者	364 100.0	164 45.1	121 33.2	140 38.5	79 21.7	59 16.2	45 12.4	22 6.0	14 3.8	23 6.3	
男性 後期高齢者	150 100.0	61 40.7	66 44.0	42 28.0	29 19.3	18 12.0	23 15.3	10 6.7	8 5.3	13 8.7	
女性 後期高齢者	209 100.0	100 47.8	53 25.4	96 45.9	48 23.0	41 19.6	22 10.5	12 5.7	6 2.9	10 4.8	
(再掲)85歳以上	58 100.0	25 43.1	19 32.8	27 46.6	9 15.5	11 19.0	7 12.1	2 3.4	3 5.2	3 5.2	
男性(再掲)85歳以上	25 100.0	12 48.0	10 40.0	9 36.0	3 12.0	4 16.0	6 24.0	0 0.0	2 8.0	2 8.0	
女性(再掲)85歳以上	31 100.0	12 38.7	8 25.8	17 54.8	5 16.1	7 22.6	1 3.2	2 6.5	1 3.2	1 3.2	

(4) 今後、地域で参加したい活動

地域で参加している活動がない方のみ（問 25 で「2. ない」または「3. わからない」と回答した方）お答えください。

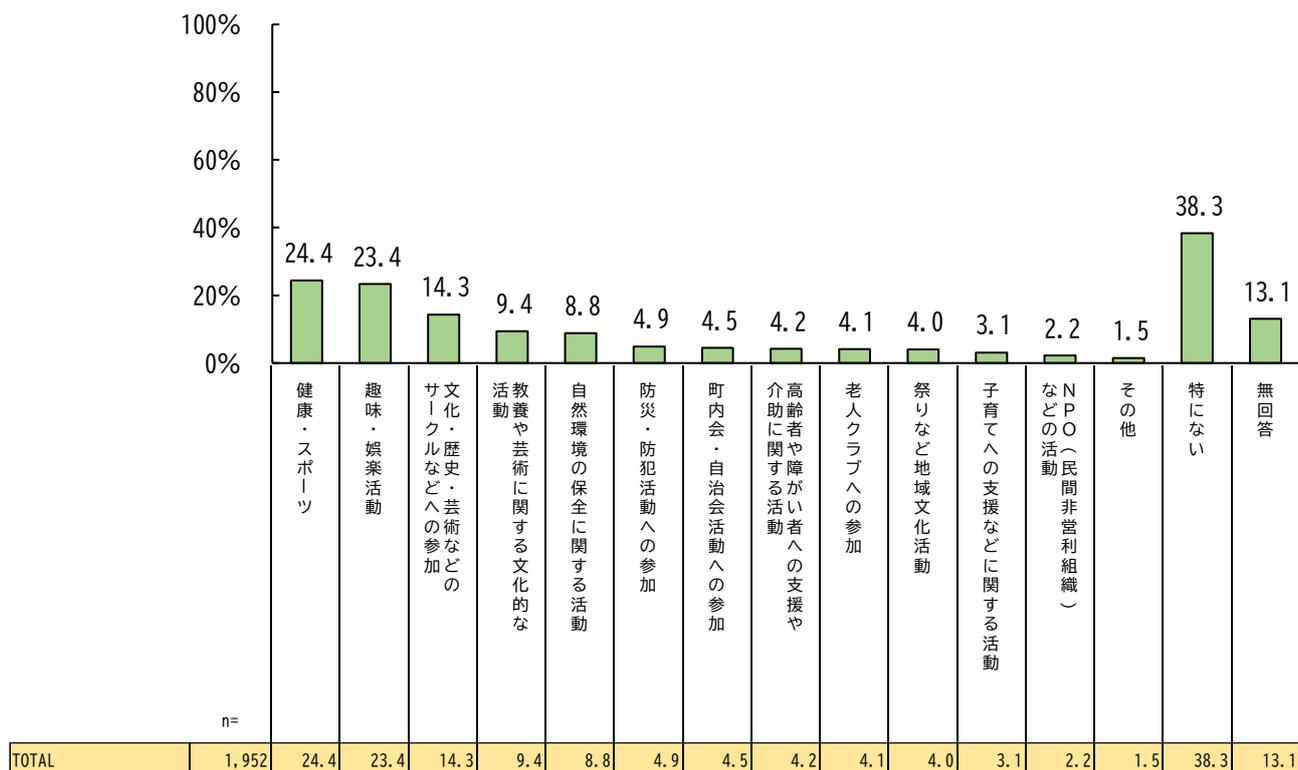
問 25-3 今後、地域で参加したい活動はありますか。（特にあてはまるもの5つまでに○）

地域で参加している活動がない方（1,952人、69.3%）の今後参加したい活動については、「健康・スポーツ」が24.4%、「趣味・娯楽活動」が23.4%とともに2割台となっています。次いで「文化・歴史・芸術などのサークルなどへの参加」が14.3%となっています。



第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



【地域別 (%)】

	n=	健康・スポーツ	趣味・娯楽活動	文化・歴史・芸術などのサークルなどへの参加	教養や芸術に関する文化的な活動	自然環境の保全に関する活動	防災・防犯活動への参加	町内会・自治会活動への参加	高齢者や障がい者への支援や介助に関する活動	老人クラブへの参加	祭りなど地域文化活動	子育てへの支援などに関する活動	NPO(民間非営利組織)などの活動	その他	特にない	無回答
TOTAL	1,952	24.4	23.4	14.3	9.4	8.8	4.9	4.5	4.2	4.1	4.0	3.1	2.2	1.5	38.3	13.1
片瀬	166	30.0	18.2	14.5	9.1	10.9	6.4	4.5	5.5	3.6	5.5	4.5	2.7	0.9	37.3	10.0
鷓沼	372	25.9	27.4	17.8	13.1	8.9	6.2	5.4	3.9	4.2	2.7	5.0	2.3	1.2	34.4	14.3
辻堂	301	26.5	22.8	16.7	7.9	7.9	3.3	4.2	3.7	2.3	2.3	4.2	4.2	2.3	38.1	11.6
村岡	192	20.5	20.5	17.4	9.1	9.1	5.3	5.3	3.0	3.8	1.5	3.0	4.5	1.5	44.7	9.1
藤沢	345	20.6	19.4	13.1	7.1	8.3	4.0	6.7	4.0	5.6	4.0	1.6	1.2	0.8	40.1	17.5
明治	145	29.6	24.5	9.2	12.2	9.2	6.1	5.1	5.1	4.1	4.1	6.1	1.0	1.0	35.7	7.1
善行	277	29.1	25.6	15.8	11.3	9.4	3.0	4.9	5.4	4.4	4.4	2.0	3.0	1.0	35.5	12.8
湘南大庭	208	26.2	26.2	16.6	11.0	11.0	8.3	4.1	9.0	3.4	6.9	4.1	0.0	2.1	37.2	11.0
六会	193	24.4	22.2	8.9	5.9	7.4	3.0	3.0	2.2	3.7	5.9	0.7	0.7	1.5	41.5	11.1
湘南台	179	26.6	25.8	15.6	9.4	4.7	5.5	0.0	3.1	7.0	3.9	3.1	0.8	1.6	36.7	15.6
遠藤	63	24.5	26.5	12.2	6.1	24.5	8.2	2.0	2.0	2.0	4.1	2.0	0.0	0.0	38.8	8.2
長後	219	12.7	20.0	8.7	9.3	5.3	5.3	4.7	2.7	2.0	5.3	1.3	3.3	2.7	41.3	16.7
御所見	80	20.0	29.1	9.1	5.5	7.3	1.8	5.5	5.5	9.1	5.5	3.6	1.8	3.6	41.8	16.4

性別にみると、男性では「健康・スポーツ」、「趣味・娯楽活動」、「自然環境の保全に関する活動」、「防災・防犯活動への参加」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「健康・スポーツ」、「趣味・娯楽活動」、「文化・歴史・芸術などのサークルなどへの参加」、「教養や芸術に関する文化的な活動」、「自然環境の保全に関する活動」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

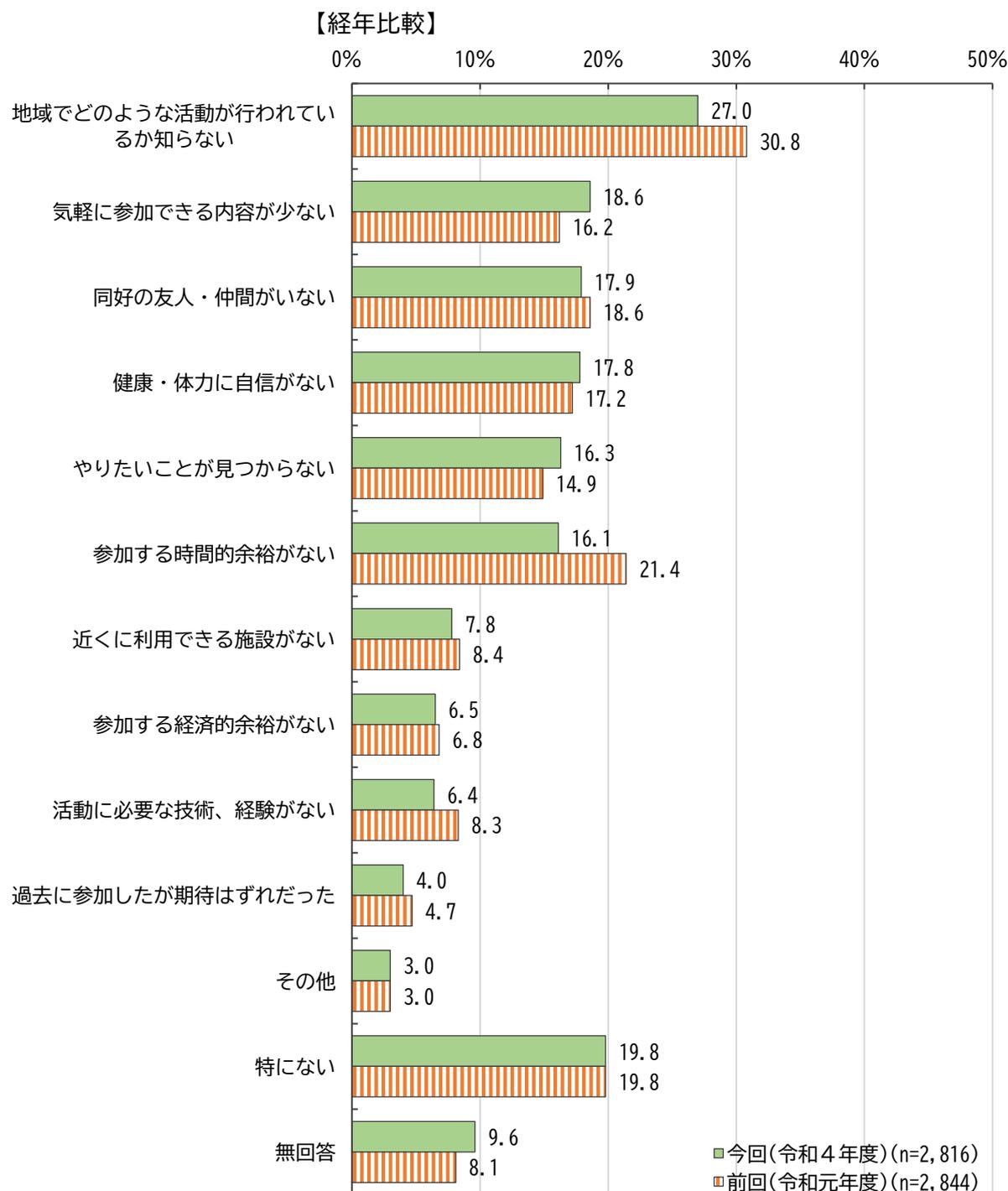
n=	健康・スポーツ	趣味・娯楽活動	文化・歴史・芸術などのサークルなどへの参加	教養や芸術に関する文化的な活動	自然環境の保全に関する活動	防災・防犯活動への参加	町内会・自治会活動への参加	高齢者や障がい者への支援や介助に関する活動	老人クラブへの参加	祭りなど地域文化活動	子育てへの支援などに関する活動	NPO（民間非営利組織）などの活動	その他	特になし	無回答	上段：人数 下段：％
TOTAL	1,952 100.0	476 24.4	457 23.4	280 14.3	184 9.4	171 8.8	95 4.9	88 4.5	82 4.2	81 4.1	79 4.0	61 3.1	42 2.2	29 1.5	747 38.3	256 13.1
男性	883 100.0	252 28.5	245 27.7	137 15.5	92 10.4	108 12.2	59 6.7	52 5.9	32 3.6	33 3.7	51 5.8	21 2.4	27 3.1	7 0.8	315 35.7	94 10.6
女性	1,036 100.0	220 21.2	202 19.5	137 13.2	91 8.8	62 6.0	35 3.4	35 3.4	49 4.7	47 4.5	28 2.7	39 3.8	14 1.4	22 2.1	420 40.5	154 14.9
前期高齢者	999 100.0	309 30.9	274 27.4	164 16.4	120 12.0	119 11.9	61 6.1	46 4.6	40 4.0	28 2.8	50 5.0	44 4.4	29 2.9	12 1.2	377 37.7	70 7.0
男性 前期高齢者	494 100.0	167 33.8	155 31.4	91 18.4	59 11.9	77 15.6	40 8.1	25 5.1	17 3.4	13 2.6	32 6.5	17 3.4	20 4.0	3 0.6	174 35.2	30 6.1
女性 前期高齢者	500 100.0	141 28.2	115 23.0	72 14.4	61 12.2	42 8.4	20 4.0	21 4.2	23 4.6	15 3.0	18 3.6	27 5.4	9 1.8	9 1.8	203 40.6	39 7.8
後期高齢者	934 100.0	163 17.5	177 19.0	112 12.0	63 6.7	51 5.5	34 3.6	42 4.5	42 4.5	53 5.7	29 3.1	17 1.8	13 1.4	17 1.8	365 39.1	180 19.3
男性 後期高齢者	388 100.0	84 21.6	90 23.2	46 11.9	33 8.5	31 8.0	19 4.9	27 7.0	15 3.9	20 5.2	19 4.9	4 1.0	7 1.8	4 1.0	141 36.3	64 16.5
女性 後期高齢者	533 100.0	78 14.6	86 16.1	65 12.2	30 5.6	20 3.8	15 2.8	14 2.6	26 4.9	32 6.0	10 1.9	12 2.3	5 0.9	13 2.4	217 40.7	113 21.2
(再掲)85歳以上	187 100.0	17 9.1	26 13.9	16 8.6	12 6.4	4 2.1	3 1.6	2 1.1	4 2.1	15 8.0	5 2.7	2 1.1	1 0.5	3 1.6	84 44.9	50 26.7
男性(再掲)85歳以上	67 100.0	8 11.9	13 19.4	10 14.9	7 10.4	4 6.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 6.0	3 4.5	0 0.0	1 1.5	1 1.5	25 37.3	14 20.9
女性(再掲)85歳以上	118 100.0	9 7.6	13 11.0	6 5.1	5 4.2	0 0.0	3 2.5	2 1.7	4 3.4	11 9.3	2 1.7	2 1.7	0 0.0	2 1.7	58 49.2	35 29.7

(5) 地域の活動に参加する上で支障となることや問題点

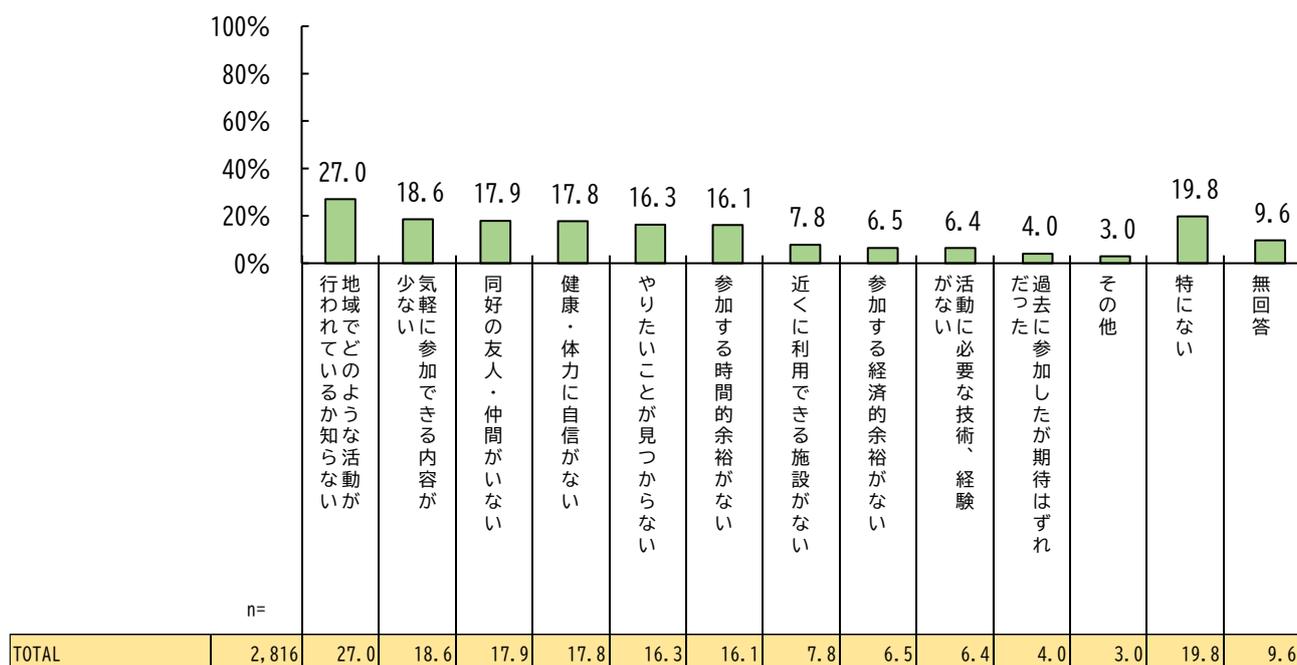
【すべての方におたずねします。】

問 26 地域の活動に参加する上で支障となることや問題点として感じているものはありますか。(特にあてはまるもの5つまでに○)

地域の活動に参加する上で支障となることや問題点と感ずることについては、「地域でどのような活動が行われているか知らない」が27.0%で最も高く、次いで「気軽に参加できる内容が少ない」が18.6%、「同好の友人・仲間がいない」が17.9%、「健康・体力に自信がない」が17.8%、「やりたいことが見つからない」が16.3%、「参加する時間的余裕がない」が16.1%の順となっています。



【単純集計 (%)】



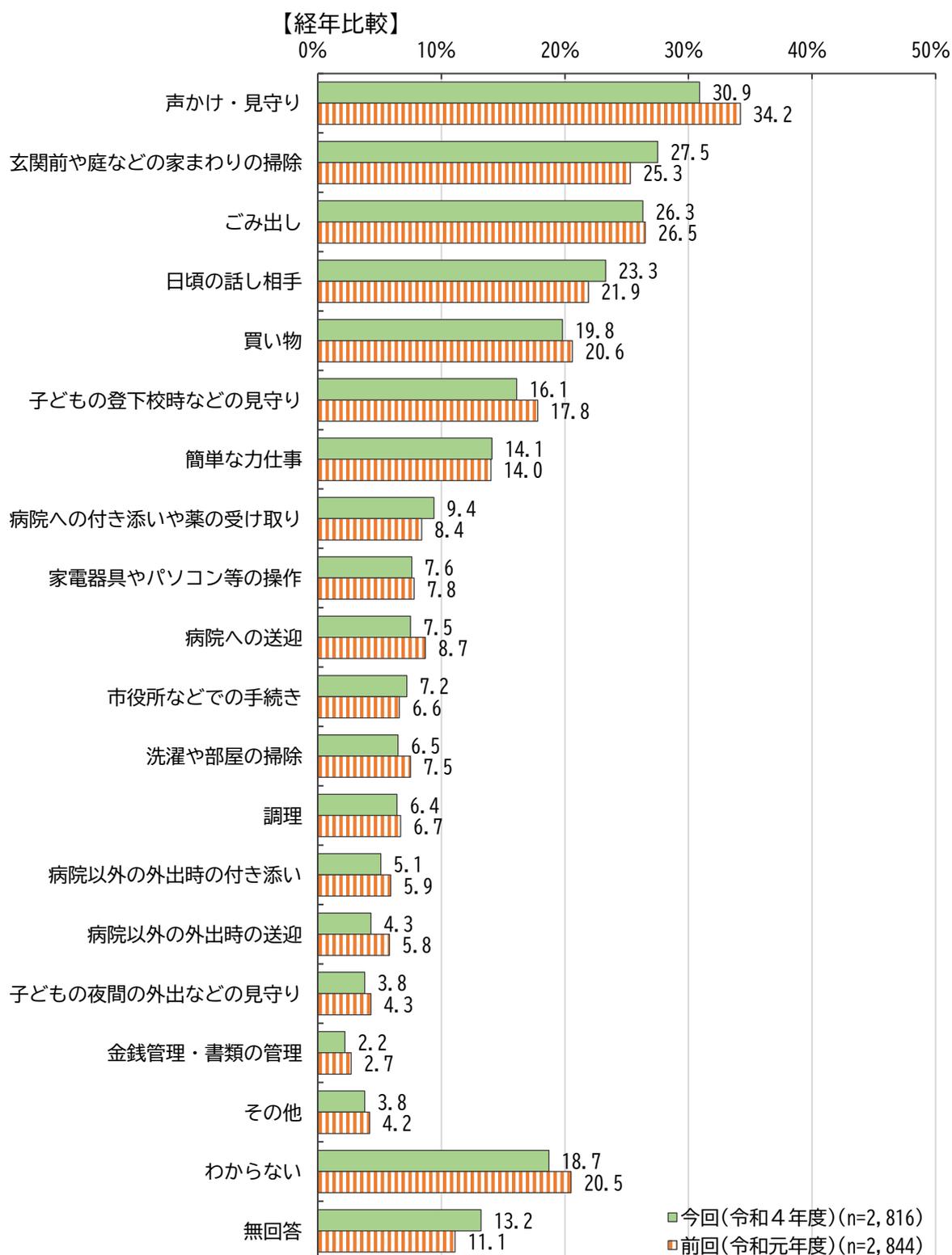
【地域別 (%)】

地域	n	地域でどのような活動が行われているか知らない	気軽に参加できる内容が少ない	同好の友人・仲間がない	健康・体力に自信がない	やりたいことが見つからない	参加する時間的余裕がない	近くに利用できる施設がない	参加する経済的余裕がない	活動に必要な技術、経験がない	過去に参加したが期待はずれだった	その他	特にない	無回答
TOTAL	2,816	27.0	18.6	17.9	17.8	16.3	16.1	7.8	6.5	6.4	4.0	3.0	19.8	9.6
片瀬	169	18.3	24.9	17.2	17.8	17.8	16.6	10.7	5.3	7.7	3.0	3.0	19.5	12.4
鵜沼	377	30.2	17.5	16.4	15.4	14.9	18.0	6.1	3.7	8.5	2.9	2.1	18.3	10.1
辻堂	308	29.5	20.1	20.1	15.9	14.0	16.2	6.2	7.5	6.5	4.2	3.6	18.5	9.4
村岡	192	20.8	21.4	18.2	19.3	14.1	20.8	10.4	4.2	3.6	6.8	4.2	16.7	6.3
藤沢	352	29.3	14.5	19.3	20.7	17.9	14.2	10.5	5.7	7.4	2.8	1.4	20.5	11.1
明治	148	26.4	19.6	18.2	15.5	21.6	11.5	6.1	4.7	4.7	4.1	2.7	22.3	4.7
善行	283	32.2	19.4	18.7	19.4	14.5	18.0	8.5	6.0	6.0	2.8	5.3	18.7	9.5
湘南大庭	213	23.0	25.8	18.3	9.4	17.4	16.0	6.1	10.8	8.5	9.4	5.2	19.7	8.9
六会	197	27.9	14.2	21.8	19.8	14.7	15.2	8.1	8.1	4.6	2.0	2.0	19.8	9.6
湘南台	183	30.1	13.1	14.8	16.9	12.6	14.8	7.1	8.2	4.4	3.8	0.5	26.8	10.4
遠藤	64	29.7	12.5	12.5	15.6	25.0	14.1	3.1	6.3	12.5	3.1	0.0	25.0	9.4
長後	220	20.9	18.6	16.4	19.5	19.5	14.5	5.9	7.3	3.6	3.6	3.2	20.9	10.5
御所見	82	23.2	19.5	12.2	29.3	13.4	13.4	12.2	11.0	4.9	4.9	4.9	17.1	7.3

(6) 手助けできること

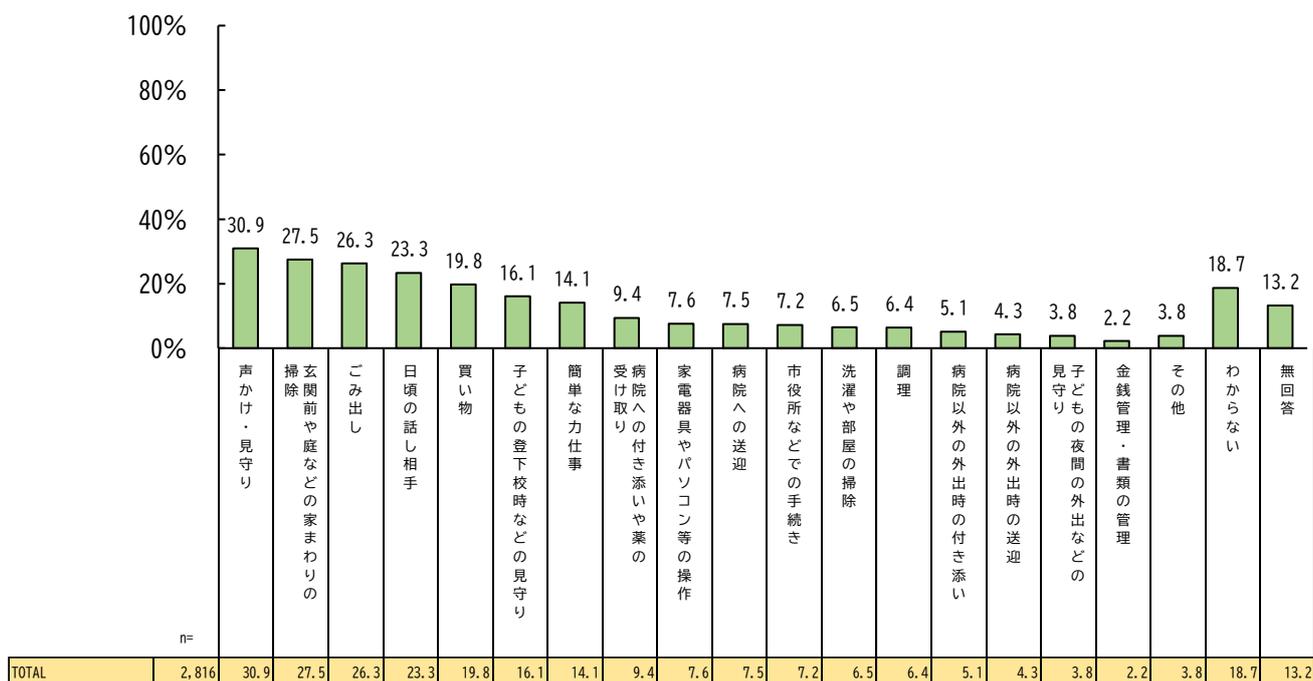
問 27 お住まいの地域で何か他の人の手助けをするとしたら、どのようなことなら可能だと思いますか。(特にあてはまるもの 10 個までに○)

住まいの地域でできると思う手助けについては、「声かけ・見守り」が 30.9%で最も高く、次いで「玄関前や庭などの家まわりの掃除」が 27.5%、「ごみ出し」が 26.3%、「日頃の話し相手」が 23.3%、「買い物」が 19.8%の順となっています。



第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



性別にみると、男性では「子どもの登下校時などの見守り」、「簡単な力仕事」、「家電機器やパソコン等の操作」、「病院への送迎」、女性では、「声かけ・見守り」、「ごみ出し」、「日頃の話し相手」、「買い物」、「洗濯や部屋の掃除」、「調理」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「声かけ・見守り」、「ごみ出し」、「買い物」、「子どもの登下校時などの見守り」、「簡単な力仕事」、「病院への付き添いや薬の受け取り」、「家電機器やパソコン等の操作」、「病院への送迎」、後期高齢者では「日頃の話し相手」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=	声かけ・見守り	玄関前や庭などの家まわりの掃除	ごみ出し	日頃の話し相手	買い物	子どもの登下校時などの見守り	簡単な力仕事	病院への付き添いや薬の受け取り	家電器具やパソコン等の操作	病院への送迎	市役所などでの手続き	洗濯や部屋の掃除	調理	病院以外の外出時の付き添い	病院以外の外出時の送迎	子どもの夜間の外出などの見守り	金銭管理・書類の管理	その他	わからない	無回答
TOTAL	2,816 100.0	871 30.9	774 27.5	742 26.3	657 23.3	557 19.8	452 16.1	396 14.1	266 9.4	214 7.6	212 7.5	203 7.2	183 6.5	181 6.4	144 5.1	121 4.3	106 3.8	61 2.2	108 3.8	526 18.7	372 13.2
男性	1,220 100.0	361 29.6	343 28.1	305 25.0	189 15.5	217 17.8	256 21.0	334 27.4	109 8.9	180 14.8	149 12.2	114 9.3	53 4.3	40 3.3	62 5.1	85 7.0	64 5.2	49 4.0	38 3.1	253 20.7	111 9.1
女性	1,549 100.0	504 32.5	422 27.2	431 27.8	459 29.6	334 21.6	191 12.3	59 3.8	156 10.1	32 2.1	62 4.0	89 5.7	129 8.3	138 8.9	80 5.2	35 2.3	40 2.6	12 0.8	69 4.5	265 17.1	245 15.8
前期高齢者	1,368 100.0	467 34.1	385 28.1	395 28.9	303 22.1	326 23.8	266 19.4	236 17.3	159 11.6	146 10.7	147 10.7	126 9.2	98 7.2	90 6.6	88 6.4	86 6.3	71 5.2	45 3.3	35 2.6	285 20.8	101 7.4
男性 前期高齢者	644 100.0	194 30.1	182 28.3	166 25.8	84 13.0	128 19.9	151 23.4	200 31.1	71 11.0	71 10.7	124 16.8	69 10.7	24 3.7	22 3.4	40 6.2	62 9.6	43 6.7	34 5.3	18 2.8	139 21.6	34 5.3
女性 前期高齢者	718 100.0	272 37.9	203 28.3	228 31.8	218 30.4	197 27.4	114 15.9	36 5.0	88 12.3	22 3.1	39 5.4	57 7.9	74 10.3	68 9.5	47 6.5	24 3.3	27 3.8	11 1.5	17 2.4	144 20.1	66 9.2
後期高齢者	1,420 100.0	395 27.8	382 26.9	340 23.9	351 24.7	227 16.0	180 12.7	159 11.2	106 7.5	67 4.7	63 4.4	76 5.4	84 5.9	89 6.3	56 3.9	34 2.4	34 2.4	16 1.1	73 5.1	239 16.8	263 18.5
男性 後期高齢者	573 100.0	165 28.8	160 27.9	139 24.3	105 18.3	89 15.5	103 18.0	134 23.4	38 6.6	55 9.6	40 7.0	45 7.9	29 5.1	18 3.1	22 3.8	23 4.0	21 3.7	15 2.6	20 3.5	114 19.9	77 13.4
女性 後期高齢者	826 100.0	229 27.7	219 26.5	201 24.3	241 29.2	136 16.5	76 9.2	23 2.8	67 8.1	10 1.2	23 2.8	31 3.8	55 6.7	70 8.5	33 4.0	11 1.3	13 1.6	1 0.1	52 6.3	121 14.6	177 21.4
(再掲)85歳以上	288 100.0	54 18.8	46 16.0	41 14.2	60 20.8	25 8.7	22 7.6	11 3.8	9 3.1	6 2.1	5 1.7	9 3.1	6 2.1	8 2.8	4 1.4	3 1.0	2 0.7	2 0.7	29 10.1	51 17.7	89 30.9
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	23 22.3	23 22.3	17 16.5	22 21.4	12 11.7	15 14.6	10 9.7	3 2.9	5 4.9	4 3.9	6 5.8	3 2.9	0 0.0	2 1.9	2 1.9	2 1.9	2 1.9	7 6.8	17 16.5	23 22.3
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	31 17.4	22 12.4	24 13.5	36 20.2	12 6.7	7 3.9	1 0.6	6 3.4	1 0.6	1 0.6	3 1.7	3 1.7	8 4.5	2 1.1	1 0.6	0 0.0	0 0.0	22 12.4	34 19.1	61 34.3

上段：人数
下段：%

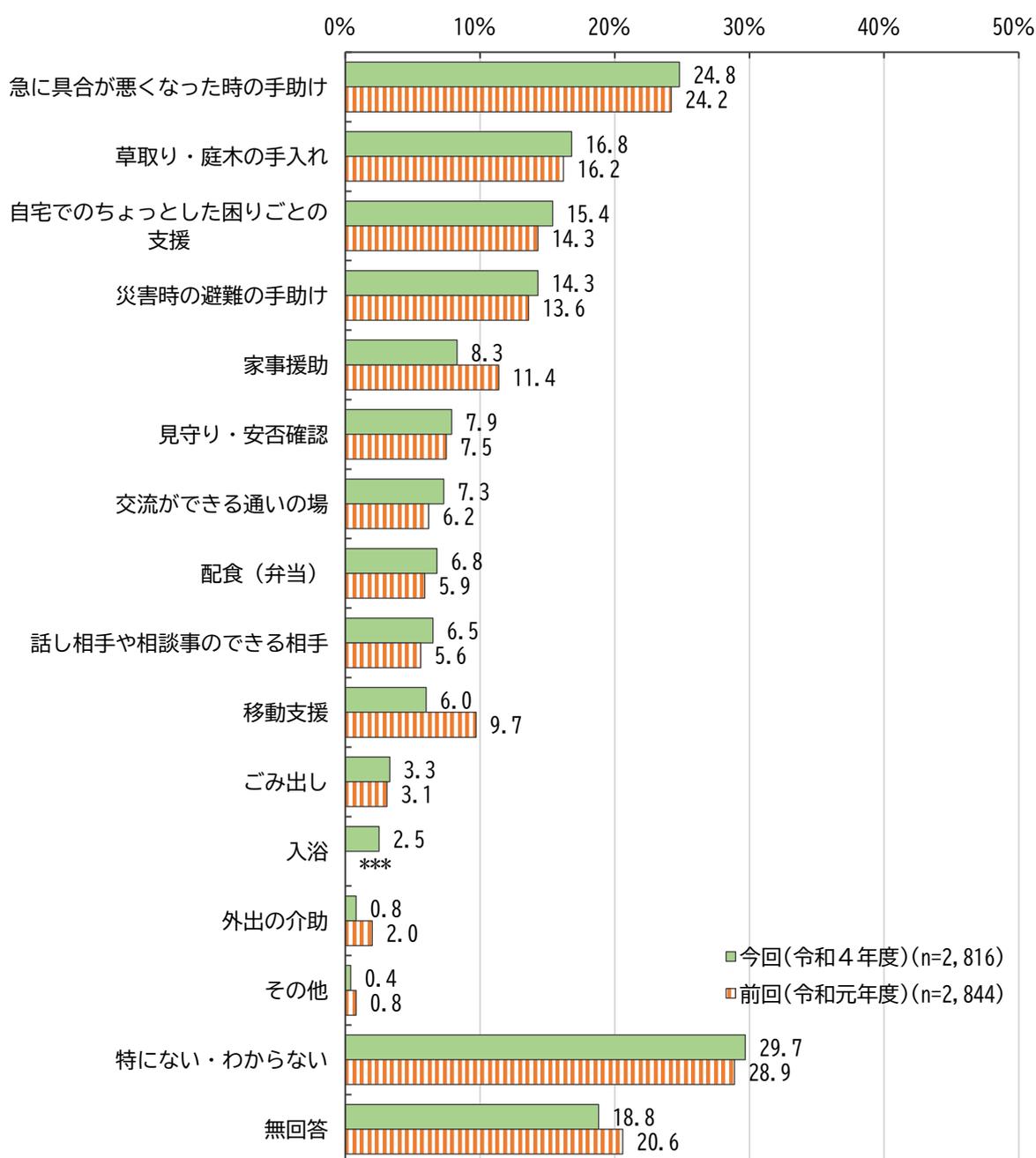
11. 普段の生活の中での不安や心配ごとについて

(1) 現在のお住まいで生活を続けていく上で、あれば助かる地域の手助け

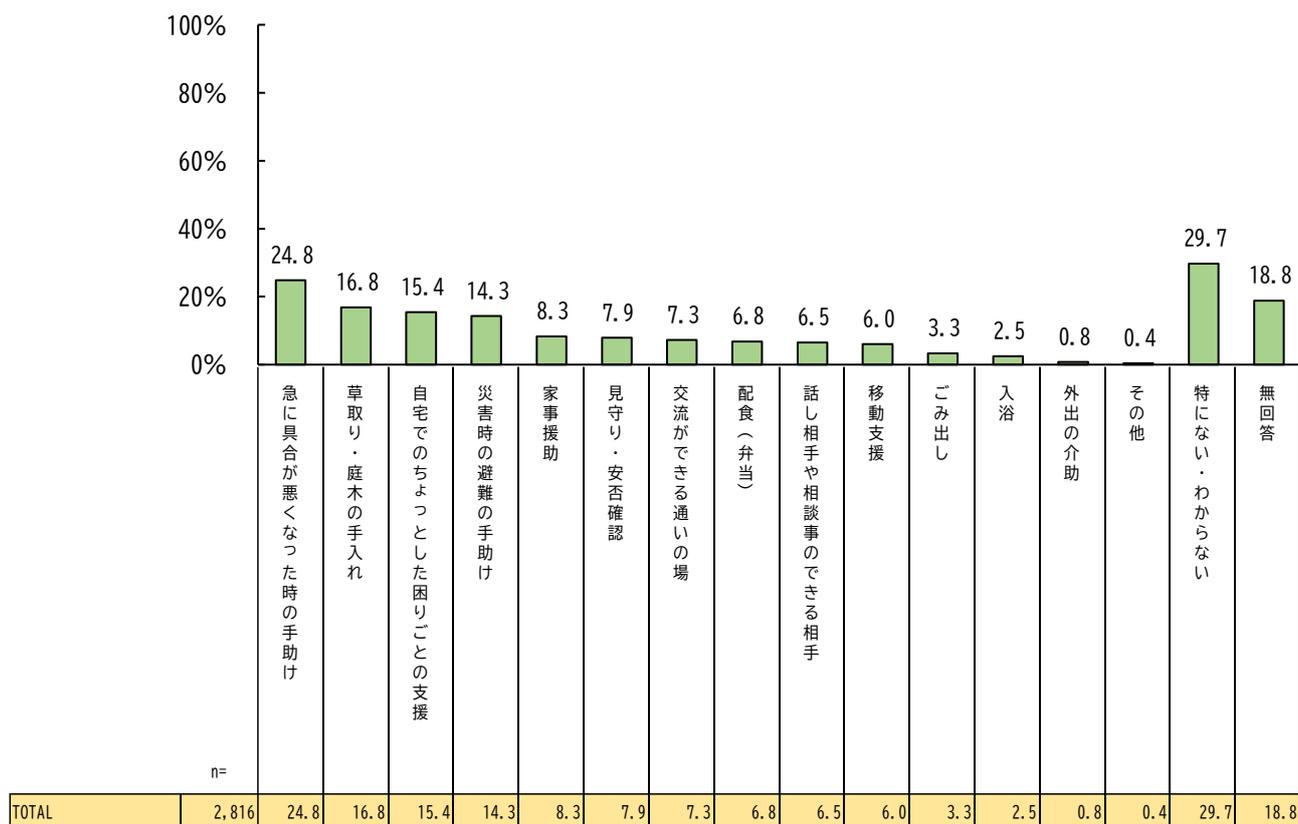
問 28 現在のお住まいで生活を続けていく上で、地域にどのような手助けがあれば助かると思いますか。「1. 家事援助」または「6. 移動支援」「8. 入浴」と回答した方は、それぞれの具体的内容にもお答えください。(特にあてはまるもの5つまでに○)

現在の住まいでの生活を継続する上で、地域にあると助かる「手助け」については、「急に具合が悪くなった時の手助け」が 24.8%で最も高く、次いで「草取り・庭木の手入れ」が 16.8%、「自宅でのちょっとした困りごとの支援」が 15.4%、「災害時の避難の手助け」が 14.3%と続いています。

【経年比較】



【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「草取り・庭木の手入れ」、女性では「自宅でのちょっとした困りごとの支援」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「急に具合が悪くなった時の手助け」、「災害時の避難の手助け」、「見守り・安否確認」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

n=	基本属性別（人数・％）																
	急に 具合が 悪くな った時 の手助 け	草取 り・庭 木の 手入 れ	自 宅で のち よつ とし た困 りご と の支 援	災 害時 の避 難の 手助 け	家 事援 助	見 守り ・安 否確 認	交 流が でき る通 いの 場	配 食（ 弁当 ）	話 し相 手や 相談 事ので きる 相手	移 動支 援	ご み出 し	入 浴	外 出の 介助	そ の他	特 に な い・ わ か ら な い	無 回 答	
TOTAL	2,816 100.0	698 24.8	472 16.8	433 15.4	404 14.3	235 8.3	222 7.9	205 7.3	191 6.8	182 6.5	168 6.0	93 3.3	70 2.5	22 0.8	12 0.4	837 29.7	528 18.8
男性	1,220 100.0	298 24.4	218 17.9	147 12.0	186 15.2	97 8.0	103 8.4	102 8.4	87 7.1	87 7.1	62 5.1	40 3.3	26 2.1	10 0.8	6 0.5	417 34.2	175 14.3
女性	1,549 100.0	389 25.1	245 15.8	281 18.1	211 13.6	134 8.7	118 7.6	99 6.4	102 6.6	93 6.0	103 6.6	53 3.4	44 2.8	12 0.8	6 0.4	414 26.7	339 21.9
前期高齢者	1,368 100.0	377 27.6	226 16.5	225 16.4	229 16.7	124 9.1	132 9.6	113 8.3	112 8.2	100 7.3	86 6.3	43 3.1	26 1.9	11 0.8	5 0.4	473 34.6	167 12.2
男性 前期高齢者	644 100.0	174 27.0	115 17.9	86 13.4	119 18.5	55 8.5	66 10.2	61 9.5	52 8.1	50 7.8	34 5.3	21 3.3	9 1.4	3 0.5	3 0.5	233 36.2	60 9.3
女性 前期高齢者	718 100.0	200 27.9	109 15.2	136 18.9	109 15.2	68 9.5	66 9.2	50 7.0	59 8.2	50 7.0	51 7.1	22 3.1	17 2.4	8 1.1	2 0.3	240 33.4	107 14.9
後期高齢者	1,420 100.0	316 22.3	242 17.0	204 14.4	172 12.1	108 7.6	88 6.2	88 6.2	76 5.4	80 5.6	81 5.7	50 3.5	44 3.1	11 0.8	7 0.5	358 25.2	354 24.9
男性 後期高齢者	573 100.0	124 21.6	102 17.8	60 10.5	67 11.7	42 7.3	37 6.5	41 7.2	34 5.9	37 6.5	28 4.9	19 3.3	17 3.0	7 1.2	3 0.5	183 31.9	114 19.9
女性 後期高齢者	826 100.0	187 22.6	134 16.2	144 17.4	101 12.2	65 7.9	51 6.2	47 5.7	42 5.1	43 5.2	52 6.3	31 3.8	27 3.3	4 0.5	4 0.5	174 21.1	231 28.0
(再掲)85歳以上	288 100.0	59 20.5	54 18.8	29 10.1	42 14.6	13 4.5	14 4.9	12 4.2	13 4.5	12 4.2	20 6.9	9 3.1	13 4.5	3 1.0	2 0.7	64 22.2	86 29.9
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	24 23.3	26 25.2	7 6.8	14 13.6	6 5.8	5 4.9	5 4.9	6 5.8	6 5.8	8 7.8	4 3.9	5 4.9	2 1.9	1 1.0	25 24.3	25 24.3
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	34 19.1	26 14.6	22 12.4	28 15.7	7 3.9	9 5.1	7 3.9	7 3.9	6 3.4	11 6.2	5 2.8	8 4.5	1 0.6	1 0.6	39 21.9	56 31.5

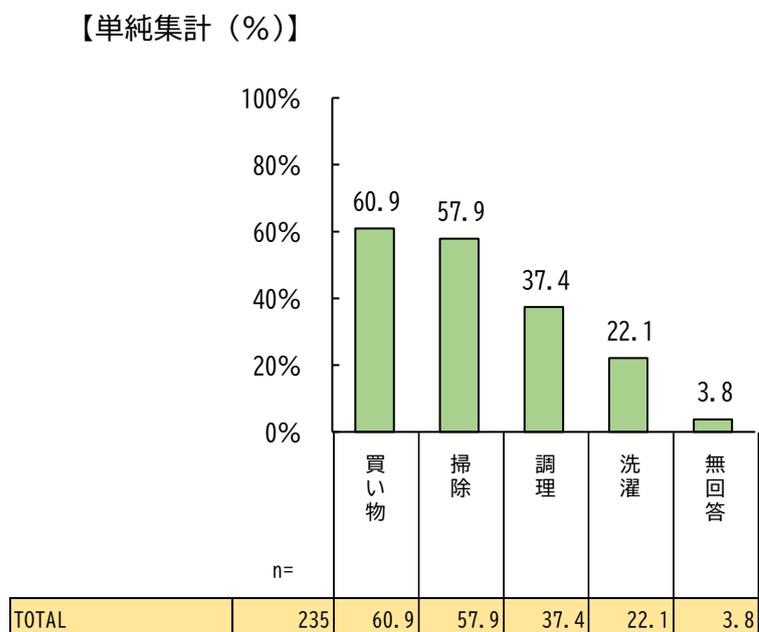
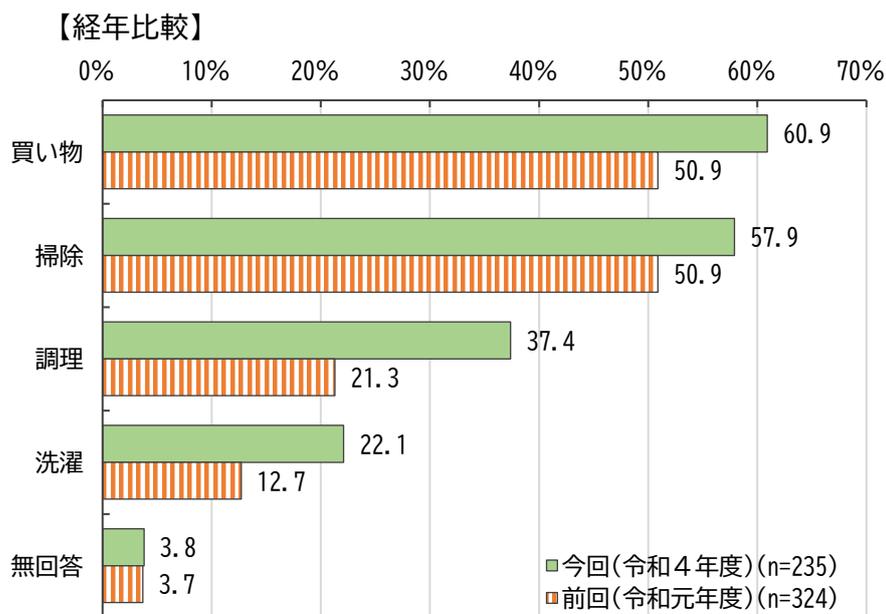
上段：人数
下段：％

(2) 家事援助の具体的な内容

「1. 家事援助」と回答した方のみ

問 28-1 具体的な援助内容は（あてはまるものすべてに○）

地域にあると助かる「手助け」のうち、「家事援助」と回答した（235人、8.3%）具体的な内訳は、「買い物」が60.9%と最も高く、次いで「掃除」が57.9%、「調理」が37.4%、「洗濯」が22.1%の順となっています。



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男女ともに「買い物」、「掃除」が5割を超えています。また、男性では「調理」、「洗濯」、女性では「買い物」、「掃除」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「掃除」、「調理」、「洗濯」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=	買 い 物	掃 除	調 理	洗 濯	無 回 答	上段：人数
							下段：％
TOTAL	235 100.0	143 60.9	136 57.9	88 37.4	52 22.1	9 3.8	
男性	97 100.0	57 58.8	49 50.5	42 43.3	25 25.8	3 3.1	
女性	134 100.0	84 62.7	84 62.7	45 33.6	26 19.4	6 4.5	
前期高齢者	124 100.0	74 59.7	77 62.1	50 40.3	35 28.2	2 1.6	
男性 前期高齢者	55 100.0	29 52.7	30 54.5	20 36.4	15 27.3	1 1.8	
女性 前期高齢者	68 100.0	45 66.2	46 67.6	30 44.1	20 29.4	1 1.5	
後期高齢者	108 100.0	66 61.1	58 53.7	37 34.3	16 14.8	7 6.5	
男性 後期高齢者	42 100.0	28 66.7	19 45.2	22 52.4	10 23.8	2 4.8	
女性 後期高齢者	65 100.0	38 58.5	38 58.5	15 23.1	6 9.2	5 7.7	
(再掲)85歳以上	13 100.0	8 61.5	6 46.2	5 38.5	3 23.1	1 7.7	
男性(再掲)85歳以上	6 100.0	3 50.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7	1 16.7	
女性(再掲)85歳以上	7 100.0	5 71.4	4 57.1	2 28.6	2 28.6	0 0.0	

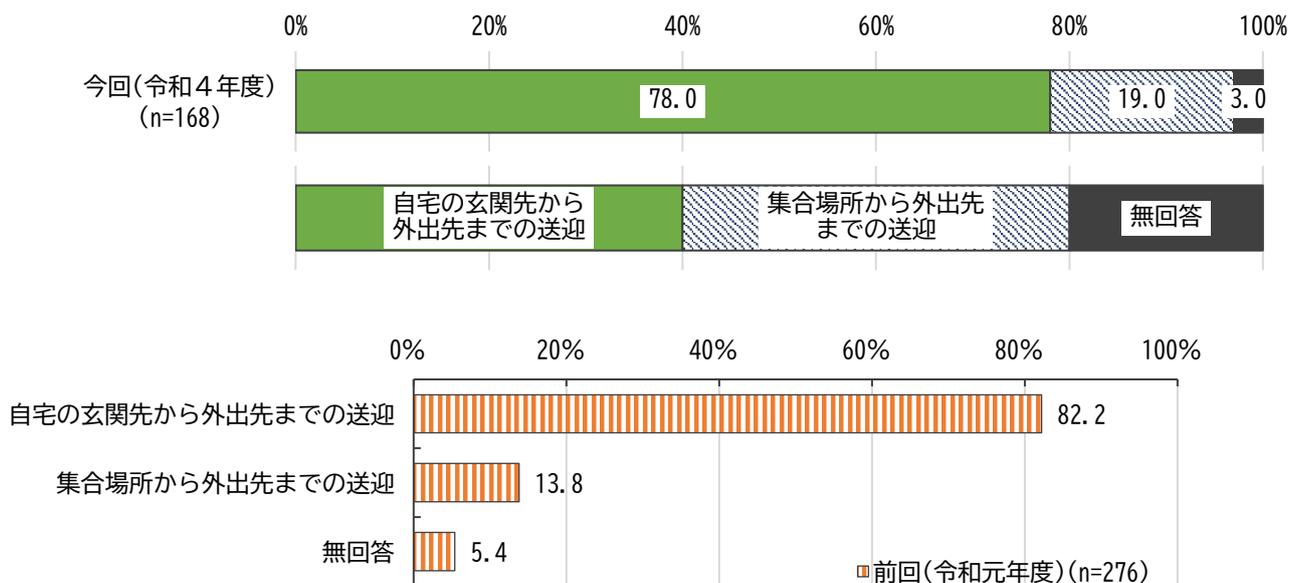
(3) 移動支援の具体的な内容

「6. 移動支援」と回答した方のみ

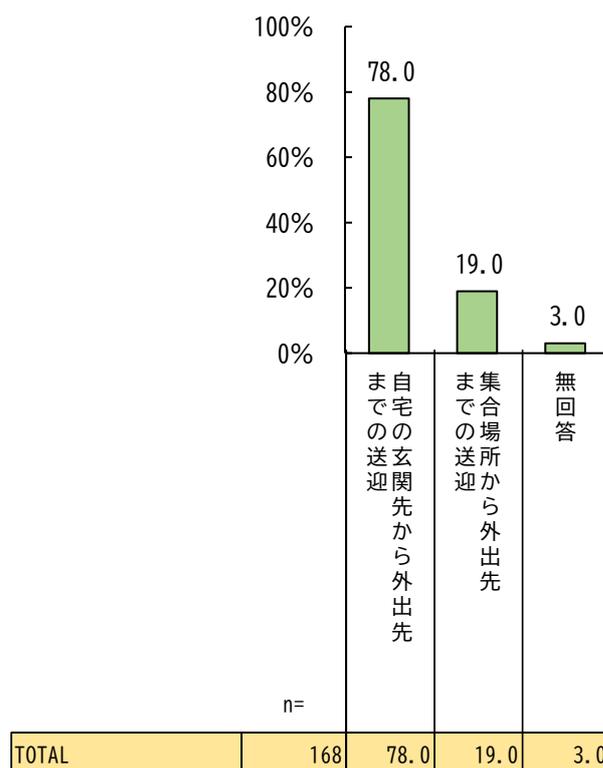
問 28-2 具体的な援助内容は（○は1つ）

地域にあると助かる「手助け」のうち「移動支援」と回答した（168人、6.0%）具体的な内訳は、「自宅の玄関先から外出先までの送迎」が78.0%、「集合場所から外出先までの送迎」が19.0%となっています。

【経年比較】

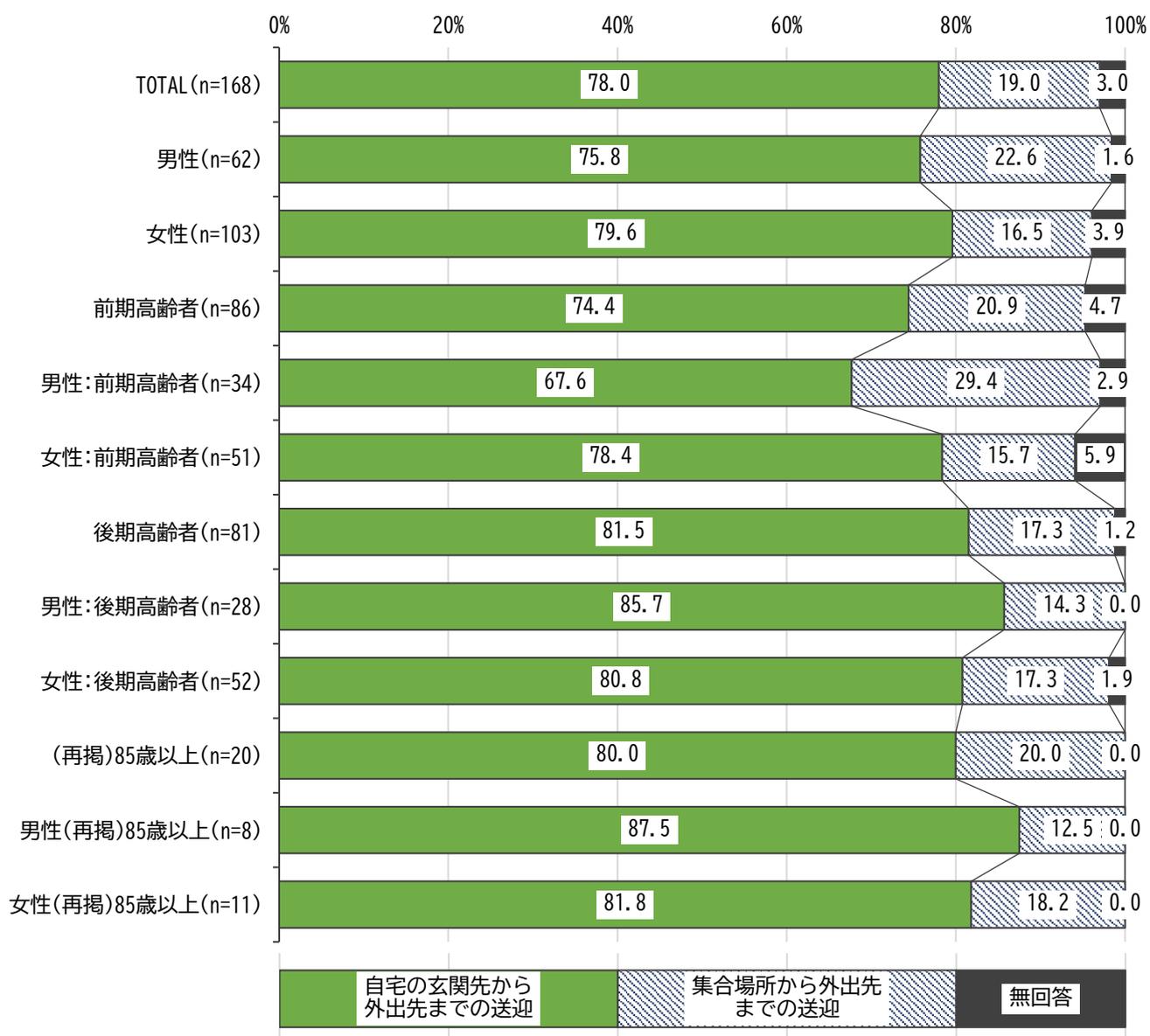


【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

【基本属性別 (%)】



性別にみると、男性では「集合場所から外出先までの送迎」、女性では「自宅の玄関先から外出先までの送迎」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、後期高齢者では「自宅の玄関先から外出先までの送迎」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=	ま 自 宅 の 送 迎 先 か ら 外 出 先	ま 集 合 場 所 か ら 外 出 先	無 回 答	上段：人数
					下段：％
TOTAL	168	131	32	5	
	100.0	78.0	19.0	3.0	
男性	62	47	14	1	
	100.0	75.8	22.6	1.6	
女性	103	82	17	4	
	100.0	79.6	16.5	3.9	
前期高齢者	86	64	18	4	
	100.0	74.4	20.9	4.7	
男性 前期高齢者	34	23	10	1	
	100.0	67.6	29.4	2.9	
女性 前期高齢者	51	40	8	3	
	100.0	78.4	15.7	5.9	
後期高齢者	81	66	14	1	
	100.0	81.5	17.3	1.2	
男性 後期高齢者	28	24	4	0	
	100.0	85.7	14.3	0.0	
女性 後期高齢者	52	42	9	1	
	100.0	80.8	17.3	1.9	
(再掲)85歳以上	20	16	4	0	
	100.0	80.0	20.0	0.0	
男性(再掲)85歳以上	8	7	1	0	
	100.0	87.5	12.5	0.0	
女性(再掲)85歳以上	11	9	2	0	
	100.0	81.8	18.2	0.0	

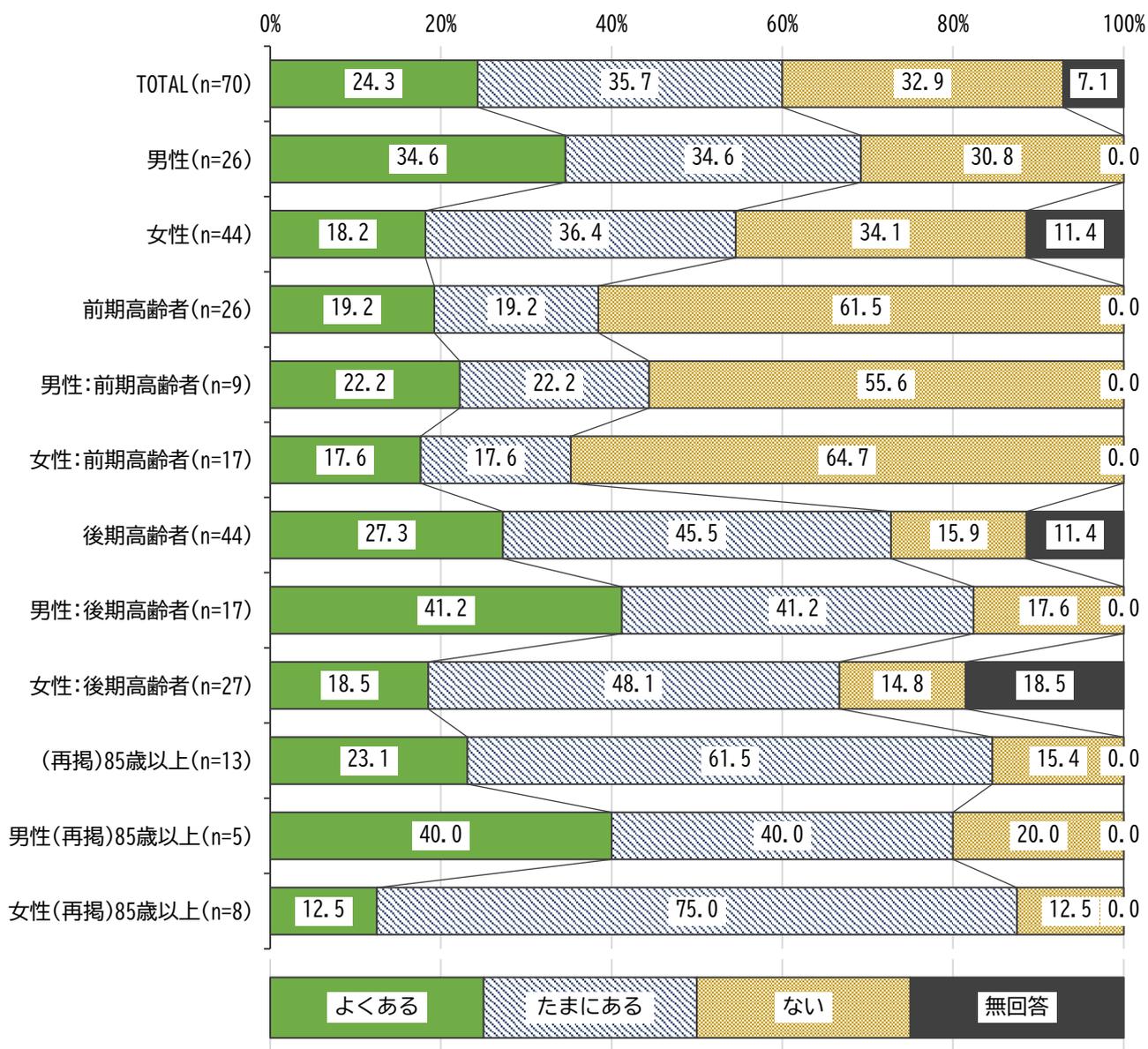
(4) 入浴についての具体的な内容

「8.入浴」と回答した方のみ

問 28-3 普段、入浴が「たいへん」、「おっくうである」と感じることはありますか。
(○は1つ)

入浴がたいへん、おっくうと覚えることがあるかについては、「よくある」が24.3%、「たまにある」が35.7%、「ない」が32.9%となっています。

【基本属性別 (%)】



性別にみると、男性では「よくある」、女性では「たまにある」、「ない」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「ない」、後期高齢者では「よくある」、「たまにある」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=	よくある	たまにある	ない	無回答
TOTAL	70 100.0	17 24.3	25 35.7	23 32.9	5 7.1
男性	26 100.0	9 34.6	9 34.6	8 30.8	0 0.0
女性	44 100.0	8 18.2	16 36.4	15 34.1	5 11.4
前期高齢者	26 100.0	5 19.2	5 19.2	16 61.5	0 0.0
男性 前期高齢者	9 100.0	2 22.2	2 22.2	5 55.6	0 0.0
女性 前期高齢者	17 100.0	3 17.6	3 17.6	11 64.7	0 0.0
後期高齢者	44 100.0	12 27.3	20 45.5	7 15.9	5 11.4
男性 後期高齢者	17 100.0	7 41.2	7 41.2	3 17.6	0 0.0
女性 後期高齢者	27 100.0	5 18.5	13 48.1	4 14.8	5 18.5
(再掲)85歳以上	13 100.0	3 23.1	8 61.5	2 15.4	0 0.0
男性(再掲)85歳以上	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0
女性(再掲)85歳以上	8 100.0	1 12.5	6 75.0	1 12.5	0 0.0

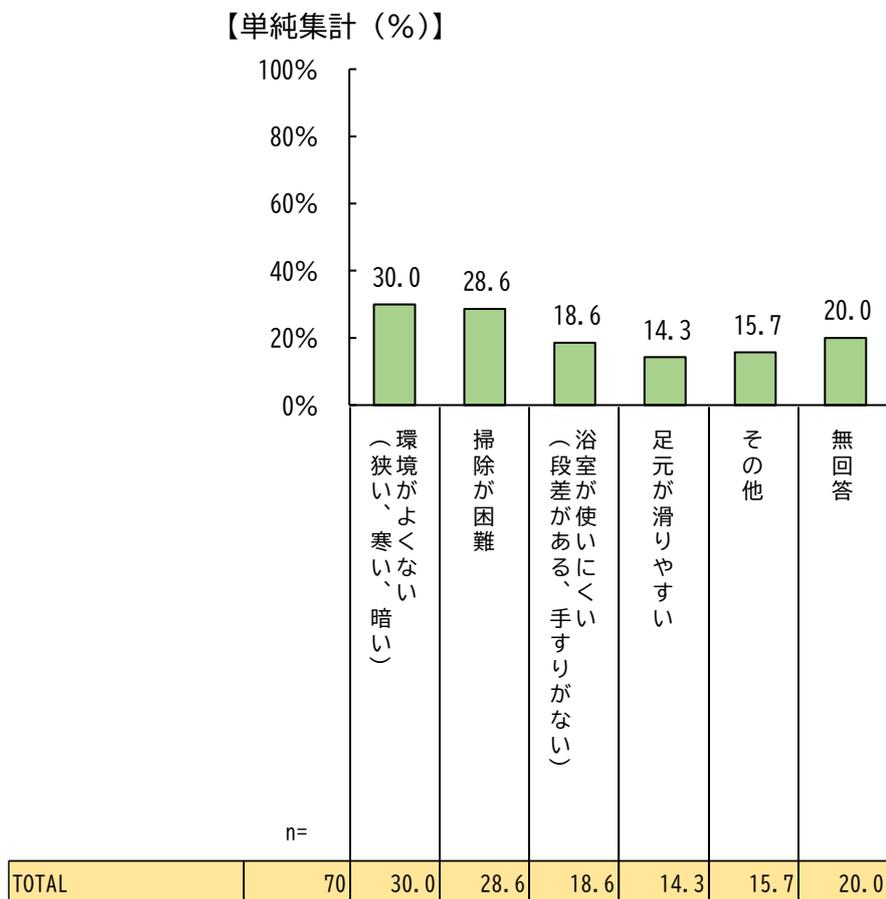
上段：人数
下段：％

第2章 調査結果の詳細

「8.入浴」と回答した方のみ

問 28-4 入浴に際して、何か支障となっているものはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

入浴に際して支障になっているものについては、「環境がよくない（狭い、寒い、暗い）」が30.0%、「掃除が困難」が28.6%などとなっています。



性別にみると、男性では「環境がよくない（狭い、寒い、暗い）」、「足元が滑りやすい」、女性では「掃除が困難」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、後期高齢者では「掃除が困難」、「浴室が使いにくい（段差がある、手すりがない）」の割合が全体に対して高くなっています。

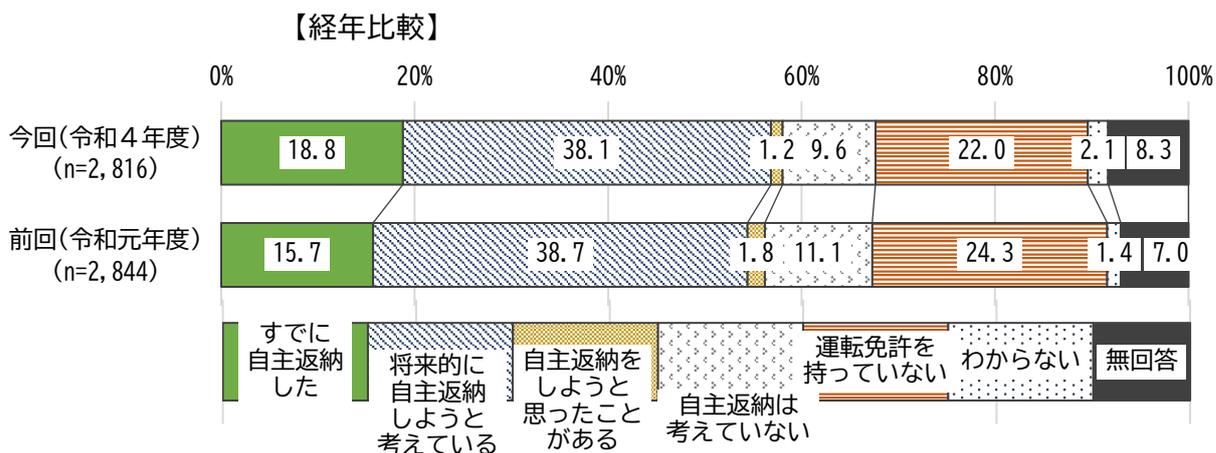
【基本属性別（人数・％）】

	n=	（環境がよくない、狭い、寒い、暗い）	掃除が困難	浴室が使いにくい（段差がある）	足元が滑りやすい	その他	無回答	上段：人数
								下段：％
TOTAL	70	21	20	13	10	11	14	
	100.0	30.0	28.6	18.6	14.3	15.7	20.0	
男性	26	10	5	5	6	3	6	
	100.0	38.5	19.2	19.2	23.1	11.5	23.1	
女性	44	11	15	8	4	8	8	
	100.0	25.0	34.1	18.2	9.1	18.2	18.2	
前期高齢者	26	8	4	3	4	6	9	
	100.0	30.8	15.4	11.5	15.4	23.1	34.6	
男性 前期高齢者	9	4	0	0	2	1	4	
	100.0	44.4	0.0	0.0	22.2	11.1	44.4	
女性 前期高齢者	17	4	4	3	2	5	5	
	100.0	23.5	23.5	17.6	11.8	29.4	29.4	
後期高齢者	44	13	16	10	6	5	5	
	100.0	29.5	36.4	22.7	13.6	11.4	11.4	
男性 後期高齢者	17	6	5	5	4	2	2	
	100.0	35.3	29.4	29.4	23.5	11.8	11.8	
女性 後期高齢者	27	7	11	5	2	3	3	
	100.0	25.9	40.7	18.5	7.4	11.1	11.1	
(再掲)85歳以上	13	3	4	4	4	1	2	
	100.0	23.1	30.8	30.8	30.8	7.7	15.4	
男性(再掲)85歳以上	5	1	2	2	3	0	1	
	100.0	20.0	40.0	40.0	60.0	0.0	20.0	
女性(再掲)85歳以上	8	2	2	2	1	1	1	
	100.0	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	

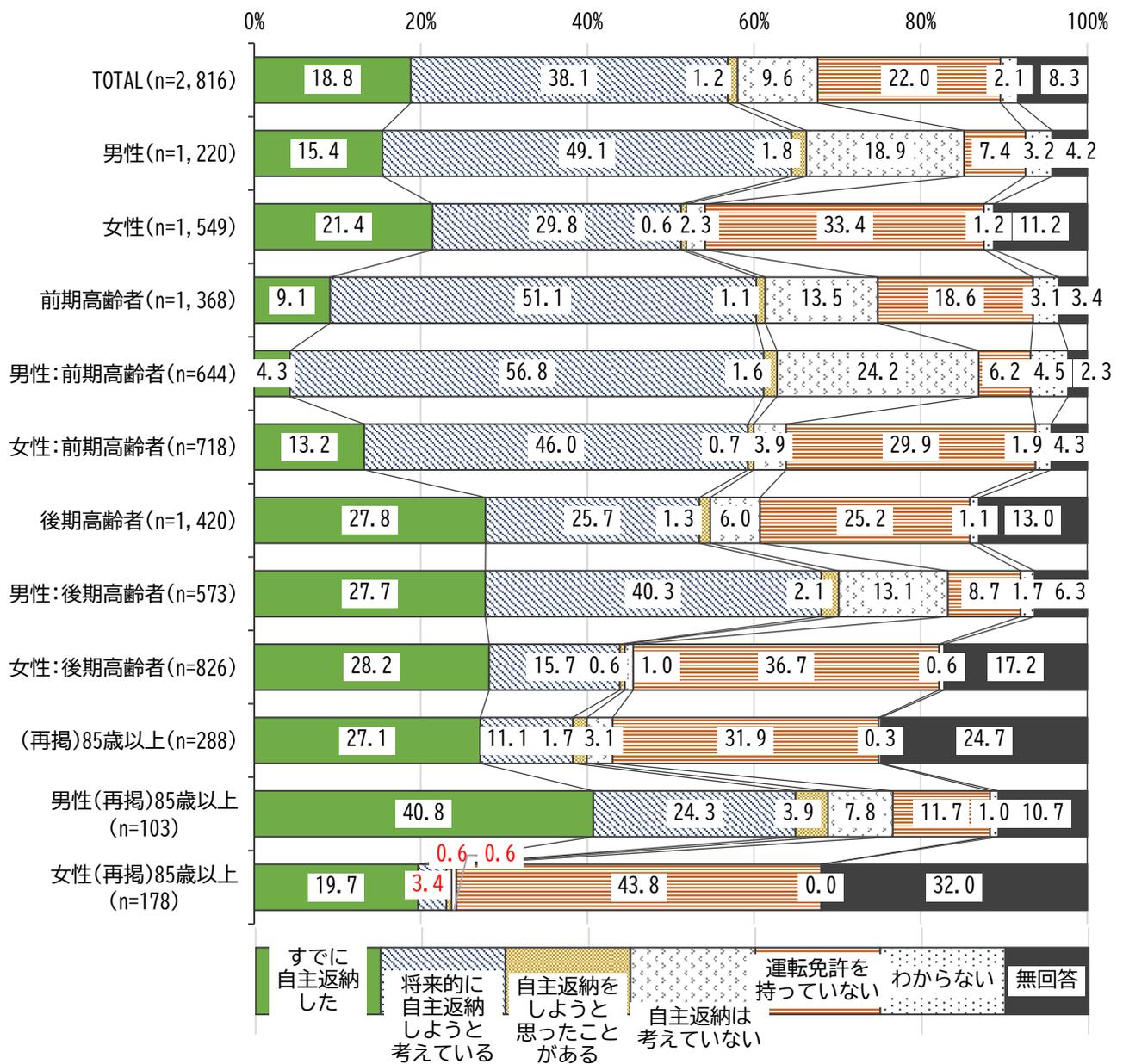
(5) 運転免許証の自主返納について

問 29 運転免許証の自主返納について、どのようにお考えですか。(1つに○)

運転免許証の自主返納については、「将来的に自主返納しようと考えている」が 38.1%で最も高く、次いで「すでに自主返納した」が 18.8%、「自主返納をしようと思ったことがある」が 1.2%となっています。一方、「自主返納は考えていない」が 9.6%と約1割は返納しない意向となっています。なお、「運転免許を持っていない」は 22.0%となっています。



【基本属性別 (%)】



第2章 調査結果の詳細

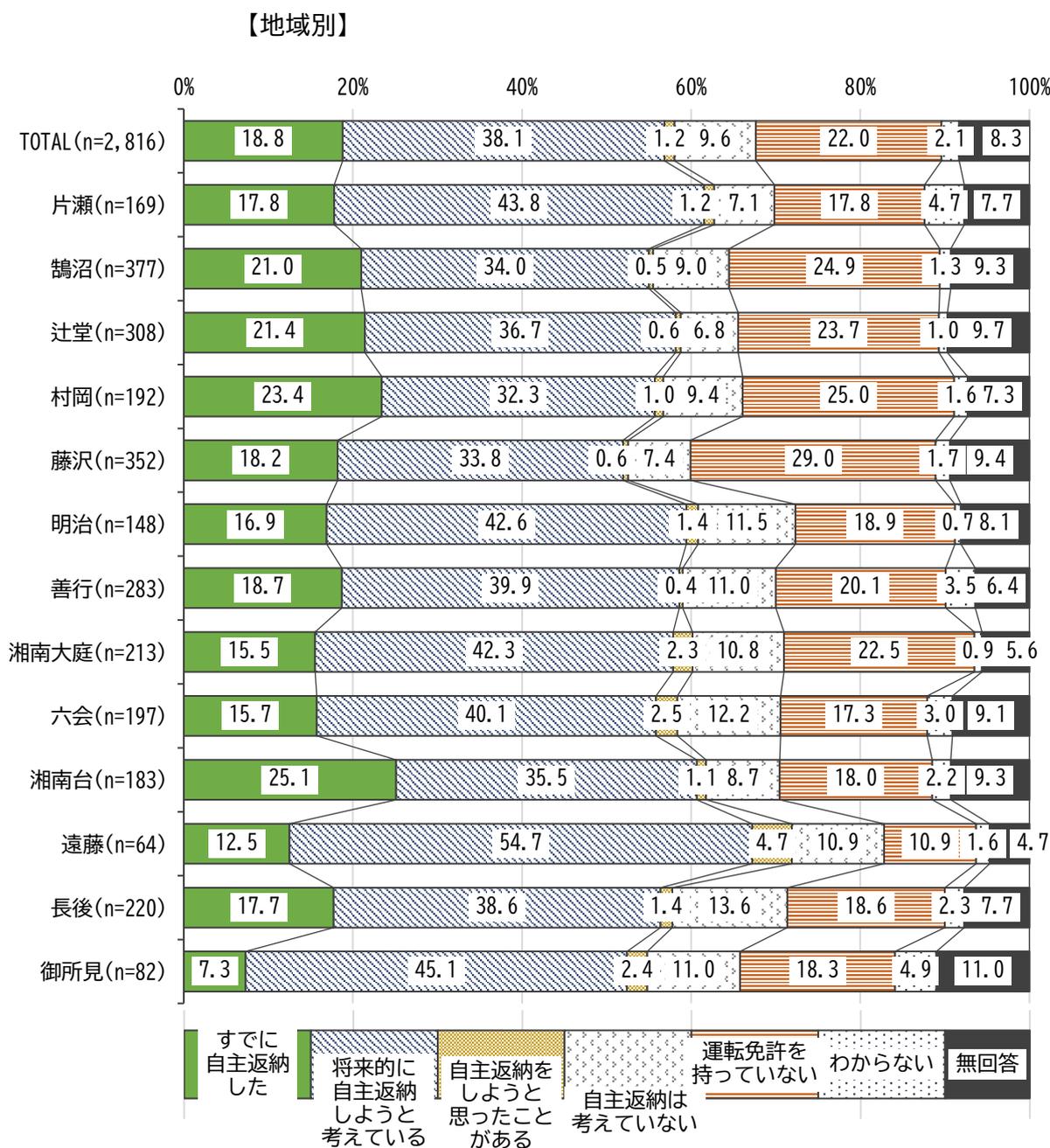
性別にみると、男性では「将来的に自主返納しようと考えている」、「自主返納は考えていない」、女性では「すでに自主返納した」、「運転免許を持っていない」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「将来的に自主返納しようと考えている」、後期高齢者では「すでに自主返納した」が全体の割合に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

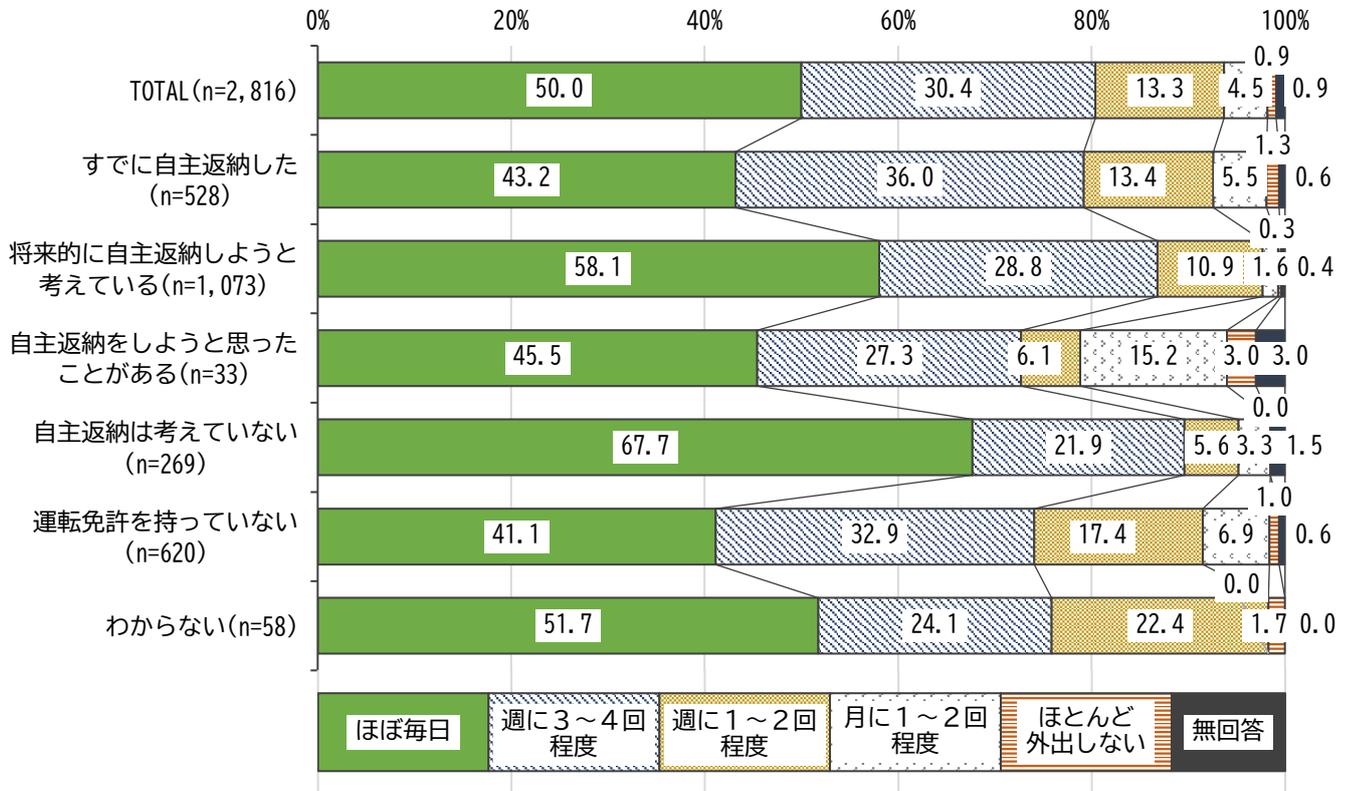
n=	すでに自主返納した	将来的に自主返納しようと考えている	自主返納をしようと思ったことがある	自主返納は考えていない	運転免許を持っていない	わからない	無回答	上段：人数
								下段：％
TOTAL	2,816 100.0	528 18.8	1,073 38.1	33 1.2	269 9.6	620 22.0	58 2.1	235 8.3
男性	1,220 100.0	188 15.4	599 49.1	22 1.8	231 18.9	90 7.4	39 3.2	51 4.2
女性	1,549 100.0	332 21.4	461 29.8	10 0.6	36 2.3	518 33.4	19 1.2	173 11.2
前期高齢者	1,368 100.0	125 9.1	699 51.1	15 1.1	184 13.5	255 18.6	43 3.1	47 3.4
男性 前期高齢者	644 100.0	28 4.3	366 56.8	10 1.6	156 24.2	40 6.2	29 4.5	15 2.3
女性 前期高齢者	718 100.0	95 13.2	330 46.0	5 0.7	28 3.9	215 29.9	14 1.9	31 4.3
後期高齢者	1,420 100.0	395 27.8	365 25.7	18 1.3	85 6.0	358 25.2	15 1.1	184 13.0
男性 後期高齢者	573 100.0	159 27.7	231 40.3	12 2.1	75 13.1	50 8.7	10 1.7	36 6.3
女性 後期高齢者	826 100.0	233 28.2	130 15.7	5 0.6	8 1.0	303 36.7	5 0.6	142 17.2
(再掲)85歳以上	288 100.0	78 27.1	32 11.1	5 1.7	9 3.1	92 31.9	1 0.3	71 24.7
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	42 40.8	25 24.3	4 3.9	8 7.8	12 11.7	1 1.0	11 10.7
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	35 19.7	6 3.4	1 0.6	1 0.6	78 43.8	0 0.0	57 32.0

地域別にみると、湘南台では「すでに自主返納した」(25.1%)が他の地域に比べて高く、次いで、村岡、辻堂、鶴沼の順で2割台となっています。片瀬、明治、湘南大庭、六会、遠藤、御所見では「将来的に自主返納しようと考えている」が4割を超えています。



第2章 調査結果の詳細

【外出頻度別】



【移動手段別(%)】

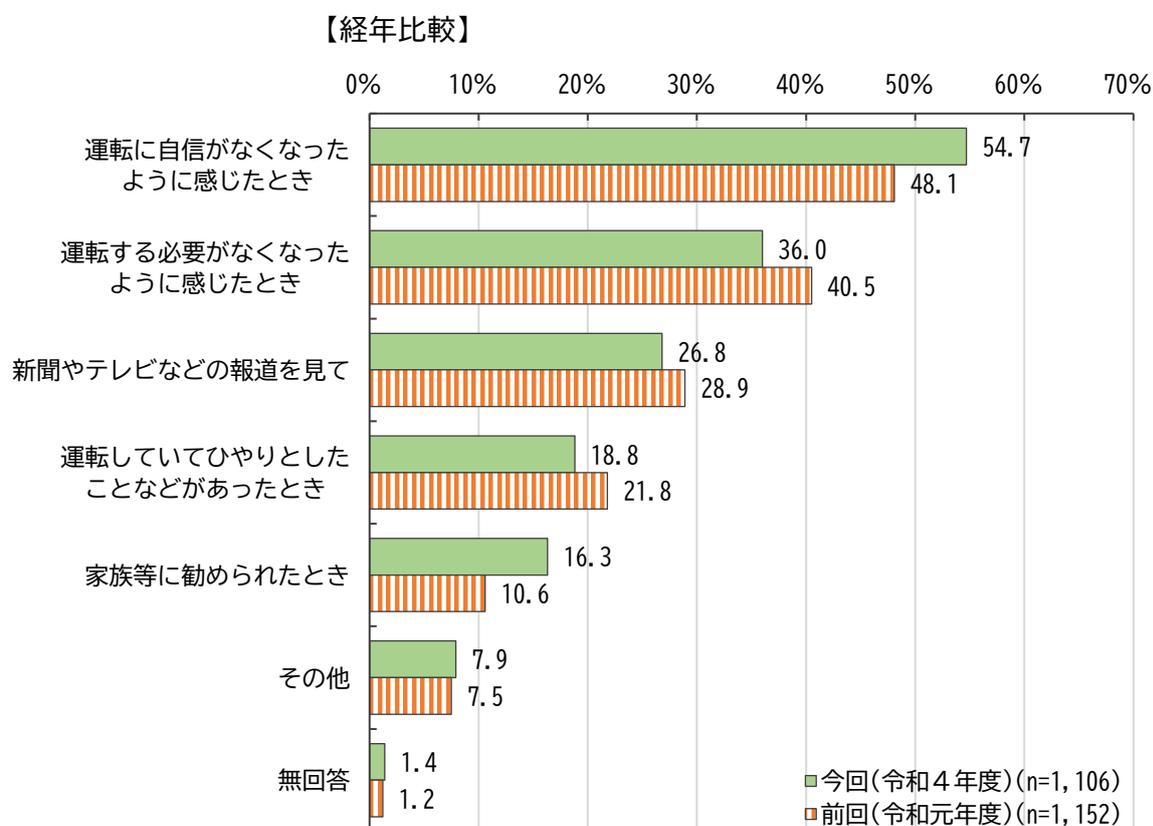
	n=	徒歩	バス、電車	車(自分で運転)	自転車	車(家族や友人などが運転)	タクシー	送迎バスなどが運行する病院などが運行する	その他	無回答
TOTAL	2,765	77.4	52.9	34.7	27.0	16.2	8.3	1.5	2.1	1.2
すでに自主返納した	518	84.4	64.9	0.2	34.0	17.8	13.1	3.3	1.0	0.4
将来的に自主返納しようと考えている	1,066	76.1	47.6	64.0	26.4	12.9	4.0	0.3	3.4	1.1
自主返納をしようと思ったことがある	31	71.0	45.2	41.9	25.8	22.6	12.9	0.0	3.2	0.0
自主返納は考えていない	265	69.4	37.4	76.6	24.5	5.3	2.3	0.0	3.8	1.1
運転免許を持っていない	610	80.5	61.5	0.3	26.2	26.7	11.1	2.5	0.7	1.5
わからない	57	64.9	26.3	63.2	17.5	5.3	1.8	0.0	5.3	1.8

(6) 自主返納を考えた理由

問 29 で「2. 将来的に自主返納しようと考えている」「3. 自主返納をしようと思ったことがある」と回答した方にうかがいます。

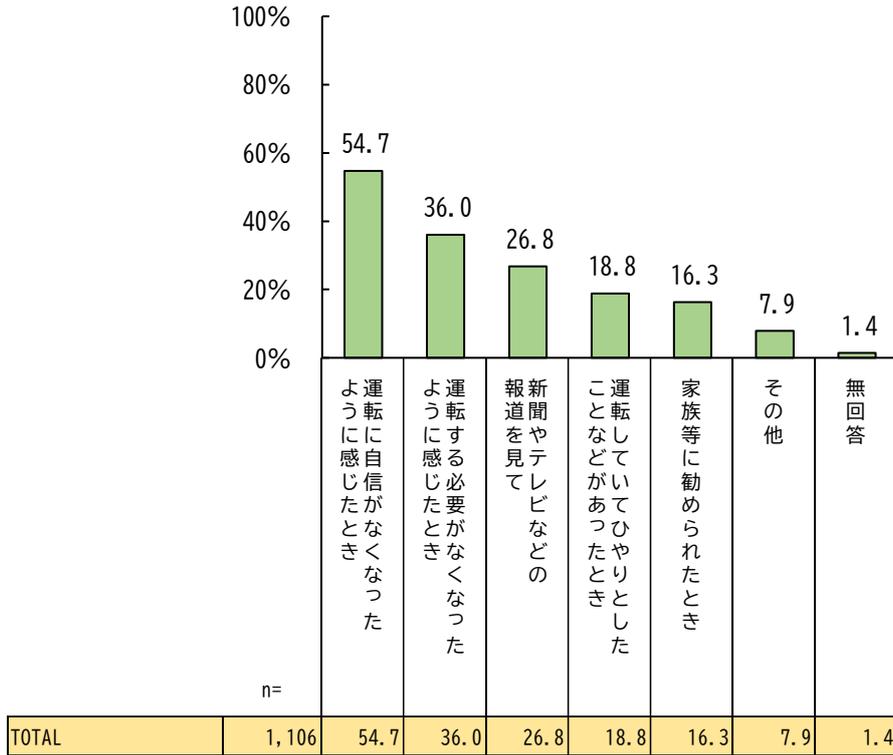
問 29-1 自主返納をしようと思ったのは、どのようなときですか。
(あてはまるものすべてに○)

「2. 将来的に自主返納しようと考えている」「3. 自主返納をしようと思ったことがある」と回答した方(1,106人、39.3%)が自主返納を考えた理由については、「運転に自信がなくなったように感じたとき」(54.7%)が5割を超え、次いで「運転する必要がなくなったように感じたとき」(36.0%)、「新聞やテレビなどの報道を見て」(26.8%)、「運転していてひやりとしたことなどがあったとき」が18.8%、「家族等に勧められたとき」(16.3%)と続いています。



第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



【基本属性別 (人数・%)】

	n=	よ運転に自信がなくなった	よ運転する必要がなくなった	報道やテレビなどの	ことなどがあつたとき	家族等に勧められたとき	その他	無回答	上段：人数 下段：%
TOTAL	1,106	605	398	296	208	180	87	15	
		100.0	54.7	36.0	26.8	18.8	16.3	7.9	1.4
男性	621	353	238	143	137	111	37	7	
	100.0	56.8	38.3	23.0	22.1	17.9	6.0	1.1	
女性	471	245	159	146	68	64	49	8	
	100.0	52.0	33.8	31.0	14.4	13.6	10.4	1.7	
前期高齢者	714	395	259	191	132	97	60	8	
	100.0	55.3	36.3	26.8	18.5	13.6	8.4	1.1	
男性 前期高齢者	376	220	135	90	87	58	21	4	
	100.0	58.5	35.9	23.9	23.1	15.4	5.6	1.1	
女性 前期高齢者	335	172	124	101	45	39	39	4	
	100.0	51.3	37.0	30.1	13.4	11.6	11.6	1.2	
後期高齢者	383	207	137	101	74	80	24	7	
	100.0	54.0	35.8	26.4	19.3	20.9	6.3	1.8	
男性 後期高齢者	243	133	102	53	50	53	15	3	
	100.0	54.7	42.0	21.8	20.6	21.8	6.2	1.2	
女性 後期高齢者	135	73	35	45	23	25	9	4	
	100.0	54.1	25.9	33.3	17.0	18.5	6.7	3.0	
(再掲)85歳以上	37	18	16	7	6	8	1	1	
	100.0	48.6	43.2	18.9	16.2	21.6	2.7	2.7	
男性(再掲)85歳以上	29	15	14	5	5	6	0	1	
	100.0	51.7	48.3	17.2	17.2	20.7	0.0	3.4	
女性(再掲)85歳以上	7	3	2	1	0	1	1	0	
	100.0	42.9	28.6	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	

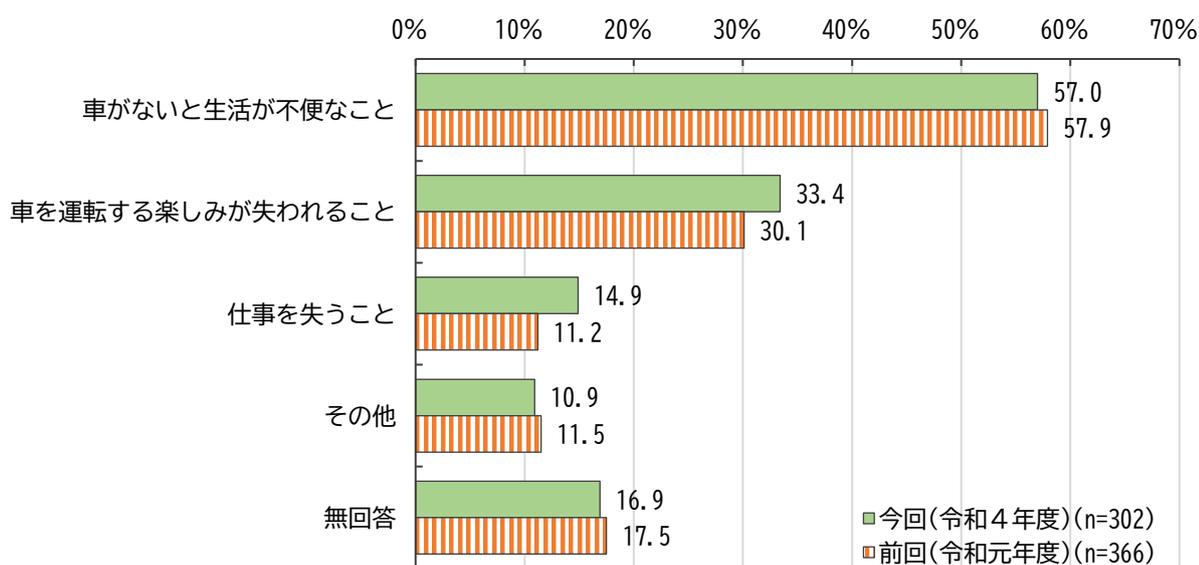
(7) 自主返納をためらう理由

問 29 で「3. 自主返納をしようと思ったことがある」「4. 自主返納は考えていない」と回答した方にうかがいます。

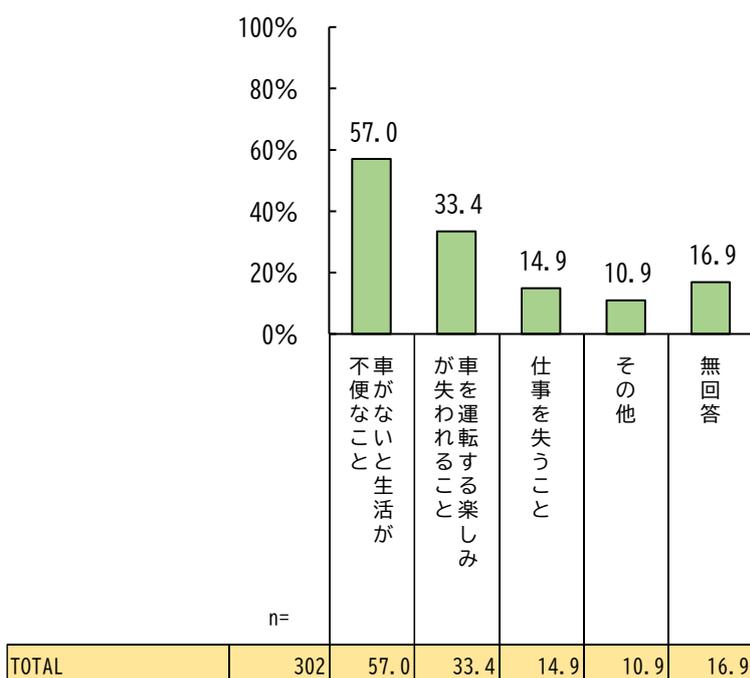
問 29-2 自主返納をためらう理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「3. 自主返納をしようと思ったことがある」、「4. 自主返納は考えていない」と回答した方(302人、10.8%)の、自主返納をためらう理由については、「車がないと生活が不便なこと」が57.0%で最も高く半数以上となっています。次いで「車を運転する楽しみが失われること」が33.4%、「仕事を失うこと」が14.9%となっています。

【経年比較】



【単純集計(%)】



第2章 調査結果の詳細

【基本属性別（人数・％）】

	n=	不 便 が な い と 生 活 が	車 を 運 転 す る 楽 し み が	失 車 を 運 転 す る 楽 し み が	仕 事 を 失 う こ と	そ の 他	無 回 答
TOTAL	302 100.0	172 57.0	101 33.4	45 14.9	33 10.9	51 16.9	
男性	253 100.0	144 56.9	87 34.4	38 15.0	26 10.3	42 16.6	
女性	46 100.0	25 54.3	14 30.4	5 10.9	7 15.2	9 19.6	
前期高齢者	199 100.0	117 58.8	76 38.2	30 15.1	25 12.6	27 13.6	
男性 前期高齢者	166 100.0	100 60.2	65 39.2	28 16.9	18 10.8	22 13.3	
女性 前期高齢者	33 100.0	17 51.5	11 33.3	2 6.1	7 21.2	5 15.2	
後期高齢者	103 100.0	55 53.4	25 24.3	15 14.6	8 7.8	24 23.3	
男性 後期高齢者	87 100.0	44 50.6	22 25.3	10 11.5	8 9.2	20 23.0	
女性 後期高齢者	13 100.0	8 61.5	3 23.1	3 23.1	0 0.0	4 30.8	
(再掲)85歳以上	14 100.0	6 42.9	2 14.3	1 7.1	1 7.1	6 42.9	
男性(再掲)85歳以上	12 100.0	5 41.7	2 16.7	1 8.3	1 8.3	5 41.7	
女性(再掲)85歳以上	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	

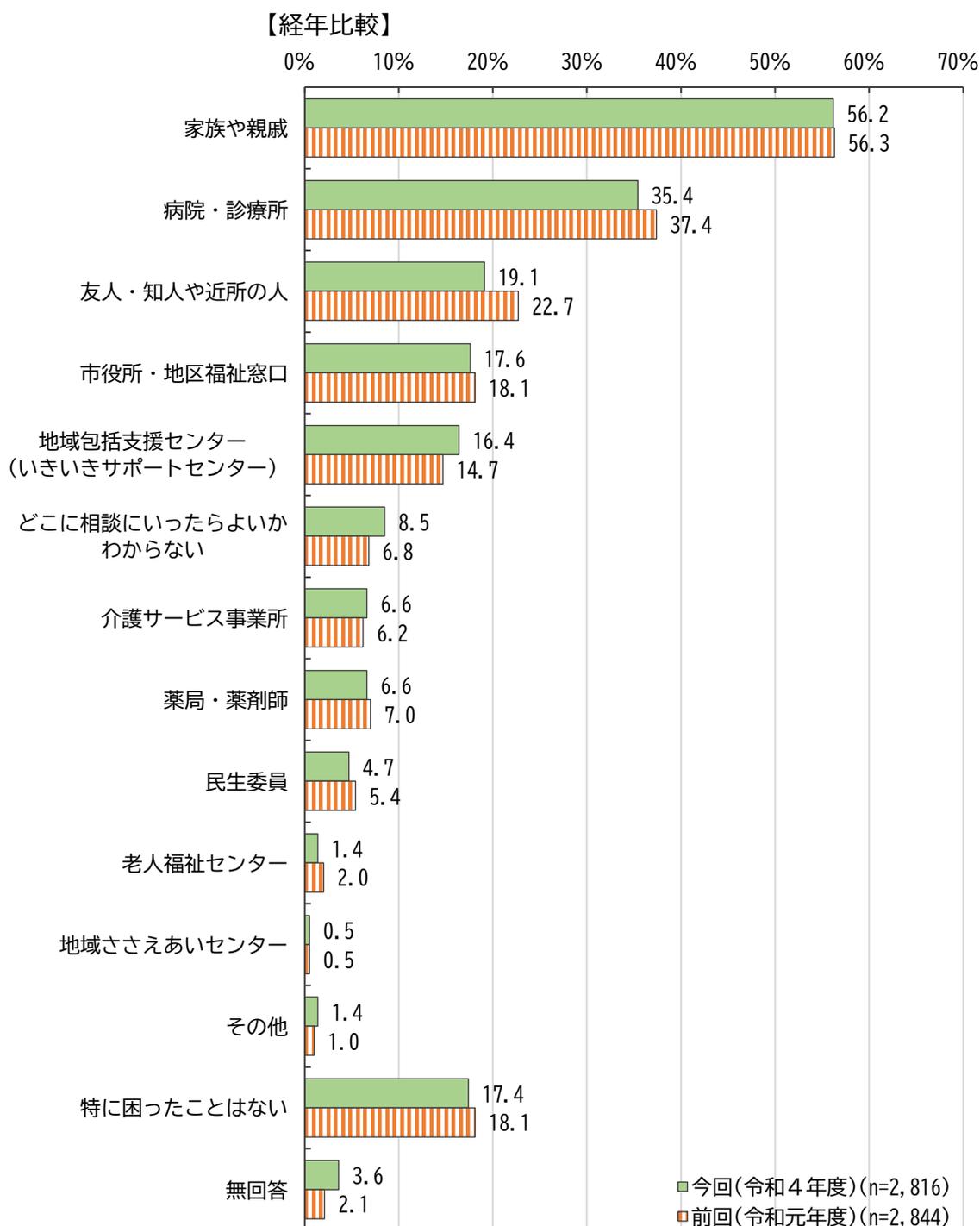
上段：人数
下段：％

12. 相談先について

(1) 健康や福祉、介護のことなどで困った時の相談先

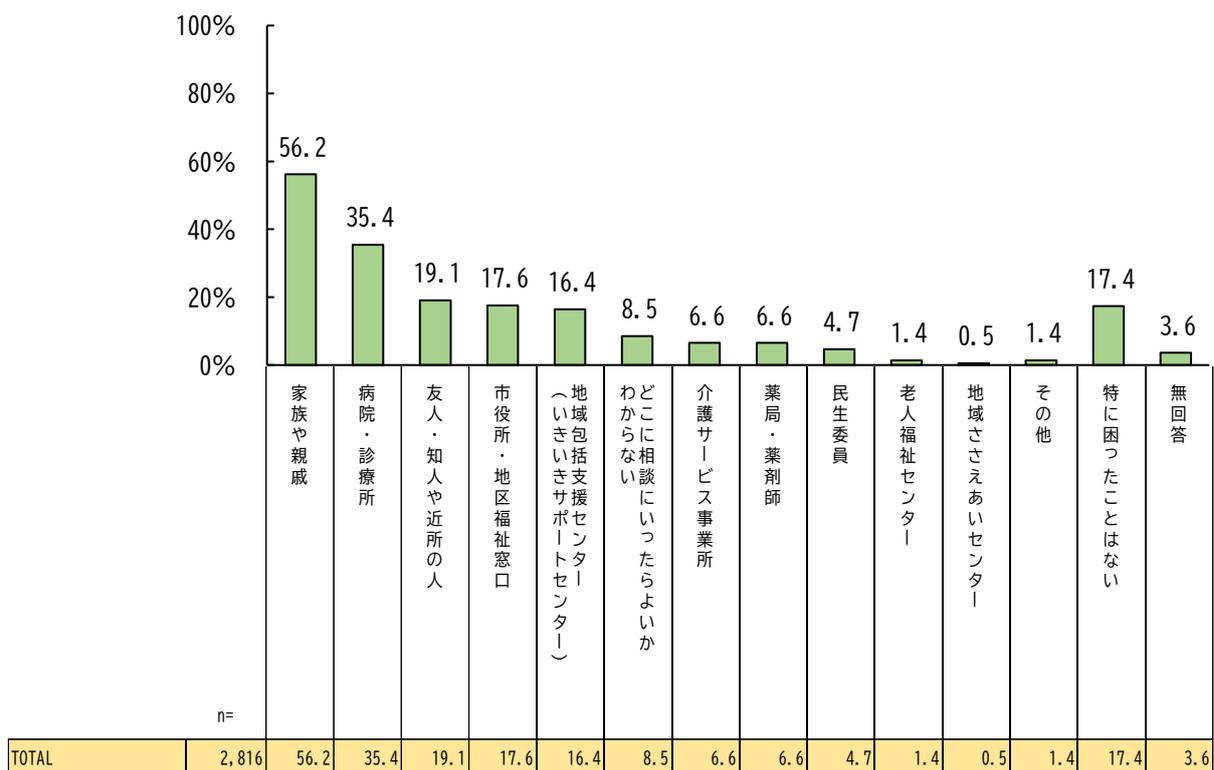
問30 健康や福祉、介護のことなどで困った時は、どちらに相談していますか。
(特にあてはまるもの5つまでに○)

健康や福祉、介護のことなどで困った時の相談先については、「家族や親戚」が56.2%で最も高く、次いで「病院・診療所」が35.4%、「友人・知人や近所の人」が19.1%となっています。また、「市役所・地区福祉窓口」が17.6%、「地域包括支援センター（いきいきサポートセンター）」が16.4%と続いています。



第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



性別にみると、男性では「病院・診療所」、「市役所・地区福祉窓口」、「どこに相談にいったらよいかわからない」、女性では「家族や親戚」、「友人・知人や近所の人」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「市役所・地区福祉窓口」、後期高齢者では「家族や親戚」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

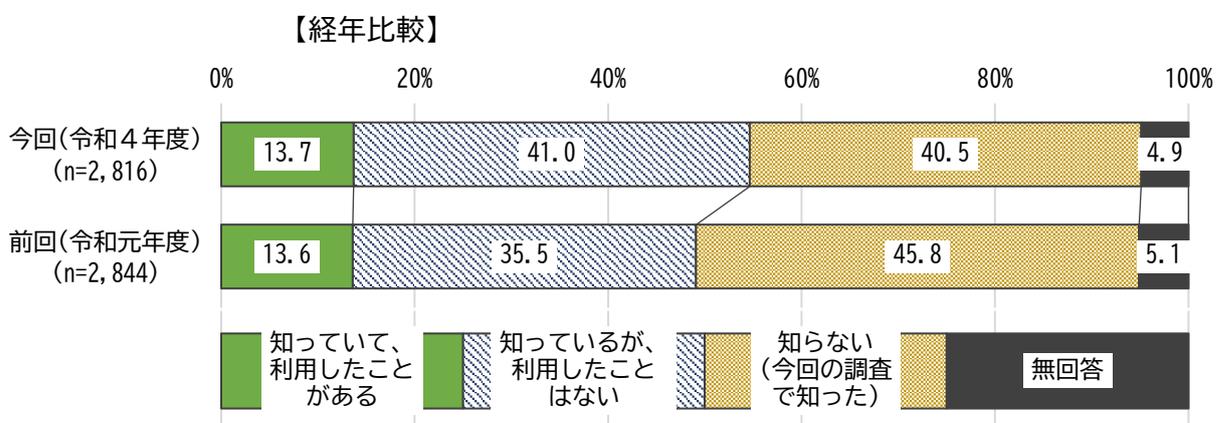
n=	家族や親戚	病院・診療所	友人・知人や近所の人	市役所・地区福祉窓口	地域包括支援センター（いきいきサポートセンター）	どこに相談にいったらよいかわからない	介護サービス事業所	薬局・薬剤師	民生委員	老人福祉センター	地域ささえあいセンター	その他	特に困ったことはない	無回答	上段：人数 下段：％
	TOTAL	2,816 100.0	1,582 56.2	996 35.4	538 19.1	496 17.6	462 16.4	240 8.5	185 6.6	185 6.6	131 4.7	40 1.4	15 0.5	40 1.4	
男性	1,220 100.0	658 53.9	471 38.6	186 15.2	233 19.1	168 13.8	127 10.4	67 5.5	76 6.2	53 4.3	24 2.0	11 0.9	13 1.1	235 19.3	37 3.0
女性	1,549 100.0	902 58.2	509 32.9	342 22.1	259 16.7	284 18.3	107 6.9	114 7.4	106 6.8	76 4.9	16 1.0	4 0.3	27 1.7	249 16.1	58 3.7
前期高齢者	1,368 100.0	703 51.4	482 35.2	262 19.2	265 19.4	205 15.0	126 9.2	98 7.2	83 6.1	40 2.9	16 1.2	9 0.7	21 1.5	308 22.5	33 2.4
男性 前期高齢者	644 100.0	328 50.9	246 38.2	89 13.8	129 20.0	78 12.1	73 11.3	39 6.1	40 6.2	21 3.3	10 1.6	7 1.1	8 1.2	151 23.4	15 2.3
女性 前期高齢者	718 100.0	373 51.9	233 32.5	171 23.8	135 18.8	126 17.5	53 7.4	57 7.9	43 6.0	19 2.6	6 0.8	2 0.3	13 1.8	157 21.9	17 2.4
後期高齢者	1,420 100.0	862 60.7	501 35.3	269 18.9	229 16.1	252 17.7	111 7.8	84 5.9	101 7.1	90 6.3	24 1.7	6 0.4	19 1.3	179 12.6	66 4.6
男性 後期高齢者	573 100.0	327 57.1	223 38.9	97 16.9	104 18.2	90 15.7	54 9.4	28 4.9	36 6.3	32 5.6	14 2.4	4 0.7	5 0.9	84 14.7	22 3.8
女性 後期高齢者	826 100.0	525 63.6	273 33.1	169 20.5	123 14.9	157 19.0	53 6.4	56 6.8	63 7.6	57 6.9	10 1.2	2 0.2	14 1.7	92 11.1	41 5.0
(再掲)85歳以上	288 100.0	189 65.6	119 41.3	53 18.4	40 13.9	54 18.8	20 6.9	22 7.6	29 10.1	31 10.8	6 2.1	0 0.0	4 1.4	22 7.6	14 4.9
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	65 63.1	50 48.5	20 19.4	24 23.3	18 17.5	9 8.7	7 6.8	10 9.7	11 10.7	3 2.9	0 0.0	0 0.0	9 8.7	3 2.9
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	121 68.0	68 38.2	33 18.5	15 8.4	35 19.7	9 5.1	15 8.4	18 10.1	20 11.2	3 1.7	0 0.0	4 2.2	12 6.7	9 5.1

(2) 地域包括支援センターの認知度

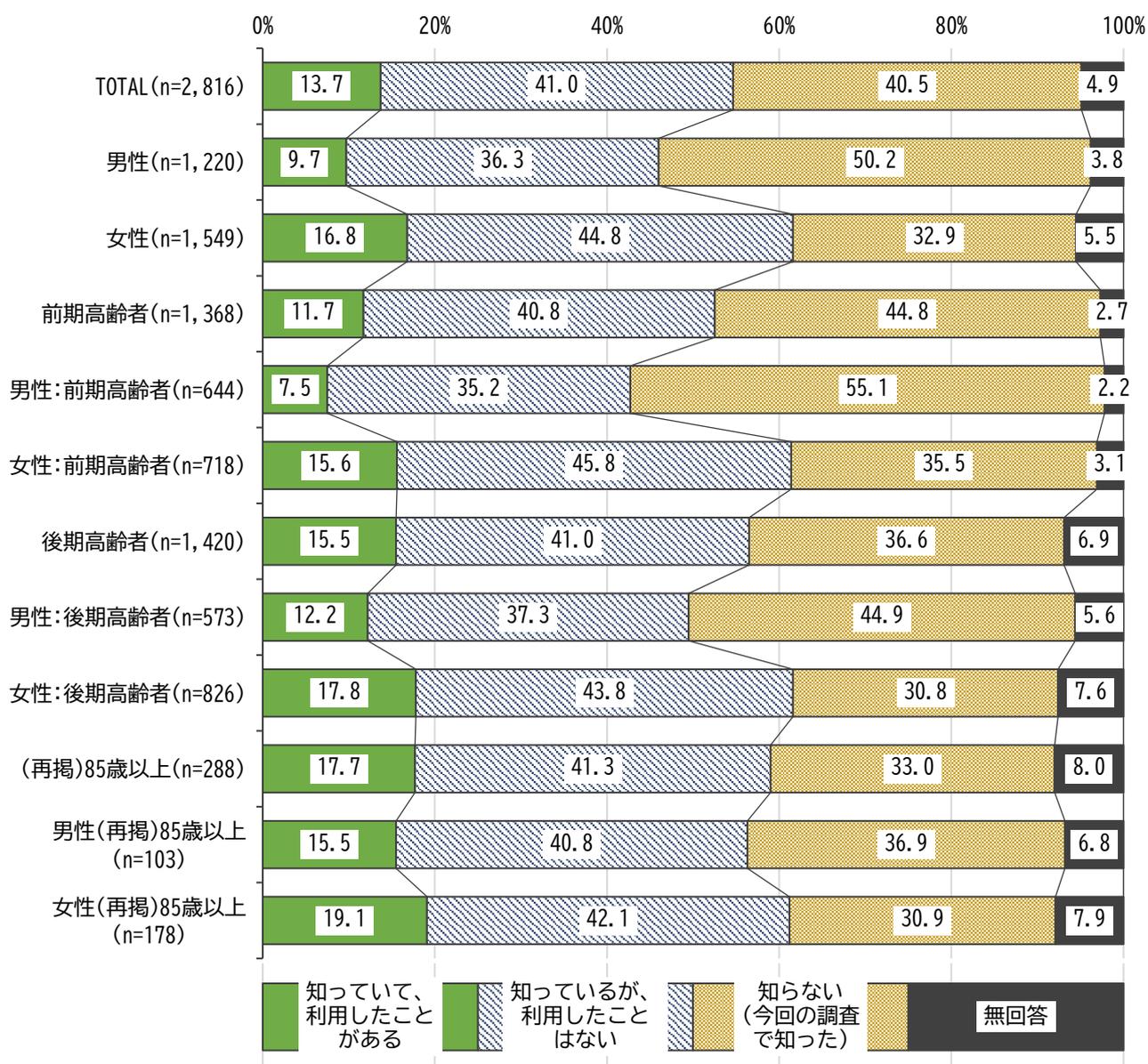
問 31 市内 19 か所に設置している地域包括支援センター（いきいきサポートセンター）※1
 をご存じですか。（1つに○）

※1 地域包括支援センター（いきいきサポートセンター）は、住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう、様々な方面から高齢者の方を支える機関です。主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師などが配置されており、高齢者の日常生活に関する相談を受けるとともに、必要な保健福祉サービスの利用調整など、地域の関係機関と連携し、安心して暮らせるための支援を行っています。

「地域包括支援センター（いきいきサポートセンター）」の認知状況については、「知っている、利用したことがある」（13.7%）、「知っているが、利用したことはない」（41.0%）を合わせて、半数を超える 54.7%が『知っている』となっています。一方、「知らない(今回の調査で知った)」が 40.5%となっています。



【基本属性別 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「知らない(今回の調査で知った)」、女性では「知っていて、利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「知らない(今回の調査で知った)」、後期高齢者では「知っていて、利用したことがある」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=	こ 知 つ が あ い て 、 利 用 し た	こ 知 つ は て は な い る が 、 利 用 し た	（ 知 ら な い の 調 査 で 知 つ た ）	無 回 答
TOTAL	2,816 100.0	385 13.7	1,154 41.0	1,140 40.5	137 4.9
男性	1,220 100.0	118 9.7	443 36.3	613 50.2	46 3.8
女性	1,549 100.0	260 16.8	694 44.8	510 32.9	85 5.5
前期高齢者	1,368 100.0	160 11.7	558 40.8	613 44.8	37 2.7
男性 前期高齢者	644 100.0	48 7.5	227 35.2	355 55.1	14 2.2
女性 前期高齢者	718 100.0	112 15.6	329 45.8	255 35.5	22 3.1
後期高齢者	1,420 100.0	220 15.5	582 41.0	520 36.6	98 6.9
男性 後期高齢者	573 100.0	70 12.2	214 37.3	257 44.9	32 5.6
女性 後期高齢者	826 100.0	147 17.8	362 43.8	254 30.8	63 7.6
(再掲)85歳以上	288 100.0	51 17.7	119 41.3	95 33.0	23 8.0
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	16 15.5	42 40.8	38 36.9	7 6.8
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	34 19.1	75 42.1	55 30.9	14 7.9

上段：人数
下段：％

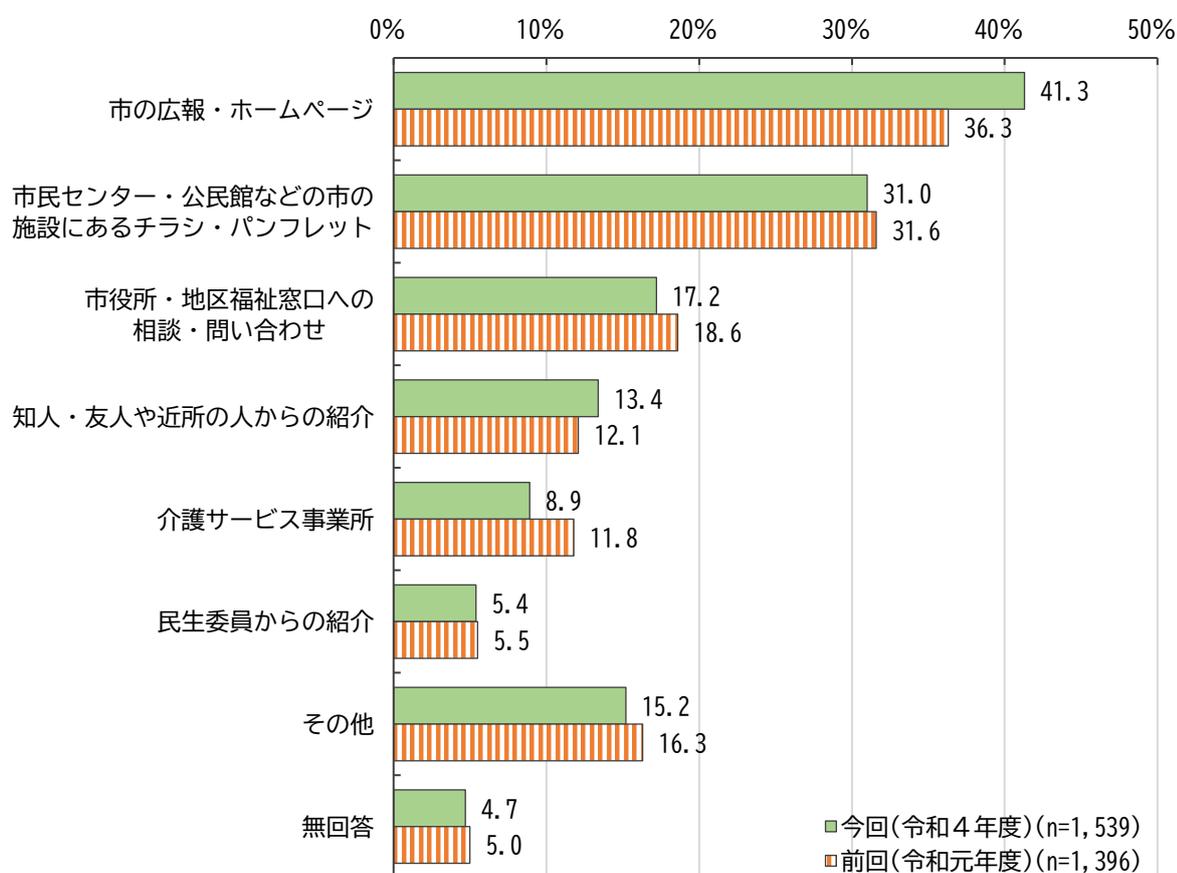
(3) 地域包括支援センターを知ったきっかけ

地域包括支援センターを知っている方のみ（問31で「1. 知っていて、利用したことがある」または「2. 知っているが、利用したことはない」と回答した方）お答えください。

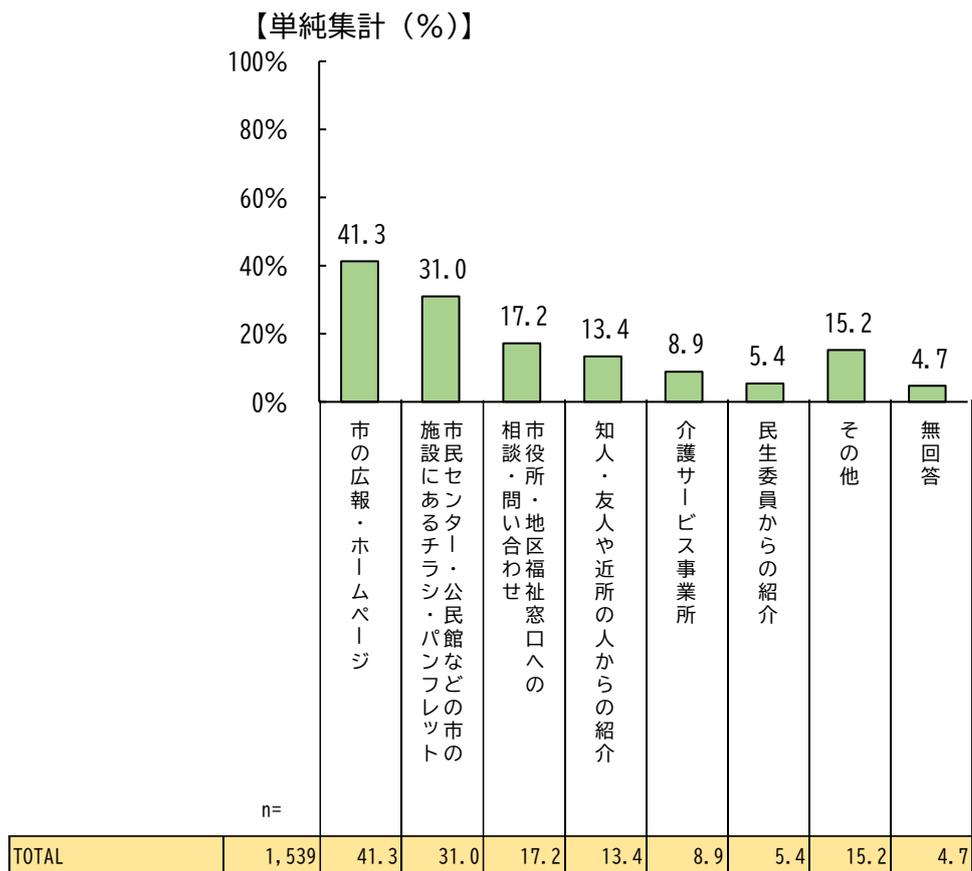
問31-1 地域包括支援センターを何で知りましたか。（特にあてはまるもの3つまでに○）

地域包括支援センターを知っている方（1,539人、54.7%）が、知ったきっかけについては、「市の広報・ホームページ」（41.3%）、「市民センター・公民館などの市の施設にあるチラシ・パンフレット」（31.0%）と、いずれも3割台となっています。次いで、「市役所・地区福祉窓口への相談・問い合わせ」が17.2%、「知人・友人や近所の人からの紹介」が13.4%、「介護サービス事業所」が8.9%となっています。

【経年比較】



第2章 調査結果の詳細



性別にみると、男性では「市の広報・ホームページ」、「市民センター・公民館などの市の施設にあるチラシ・パンフレット」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、後期高齢者では「知人・友人や近所の人からの紹介」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=	市の広報・ホームページ	市民センター・公民館などの市の施設にあるチラシ・パンフレット	市役所・地区福祉窓口への相談・問い合わせ	知人・友人や近所の人からの紹介	介護サービス事業所	民生委員からの紹介	その他	無回答	上段：人数
										下段：％
TOTAL	1,539 100.0	635 41.3	477 31.0	265 17.2	206 13.4	137 8.9	83 5.4	234 15.2	72 4.7	
男性	561 100.0	266 47.4	190 33.9	103 18.4	75 13.4	48 8.6	25 4.5	69 12.3	16 2.9	
女性	954 100.0	357 37.4	283 29.7	158 16.6	131 13.7	86 9.0	56 5.9	163 17.1	53 5.6	
前期高齢者	718 100.0	303 42.2	217 30.2	129 18.0	80 11.1	67 9.3	24 3.3	127 17.7	21 2.9	
男性 前期高齢者	275 100.0	128 46.5	94 34.2	53 19.3	34 12.4	26 9.5	10 3.6	36 13.1	5 1.8	
女性 前期高齢者	441 100.0	174 39.5	123 27.9	76 17.2	46 10.4	40 9.1	14 3.2	91 20.6	16 3.6	
後期高齢者	802 100.0	325 40.5	255 31.8	133 16.6	126 15.7	69 8.6	57 7.1	104 13.0	49 6.1	
男性 後期高齢者	284 100.0	137 48.2	96 33.8	50 17.6	41 14.4	22 7.7	15 5.3	32 11.3	11 3.9	
女性 後期高齢者	509 100.0	182 35.8	158 31.0	81 15.9	85 16.7	46 9.0	42 8.3	72 14.1	37 7.3	
(再掲)85歳以上	170 100.0	71 41.8	39 22.9	28 16.5	29 17.1	15 8.8	17 10.0	25 14.7	14 8.2	
男性(再掲)85歳以上	58 100.0	29 50.0	15 25.9	13 22.4	9 15.5	4 6.9	2 3.4	5 8.6	4 6.9	
女性(再掲)85歳以上	109 100.0	40 36.7	23 21.1	13 11.9	20 18.3	11 10.1	15 13.8	20 18.3	10 9.2	

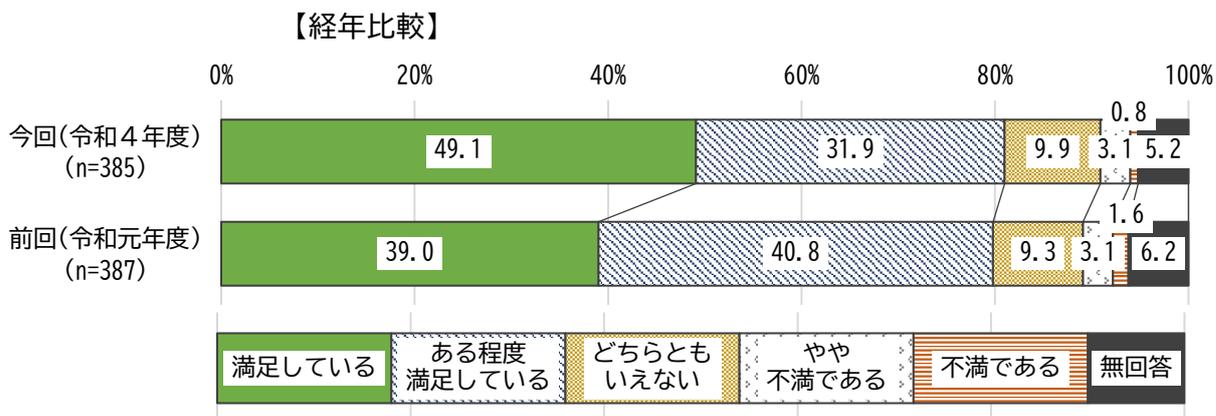
第2章 調査結果の詳細

(4) 地域包括支援センターの利用満足度

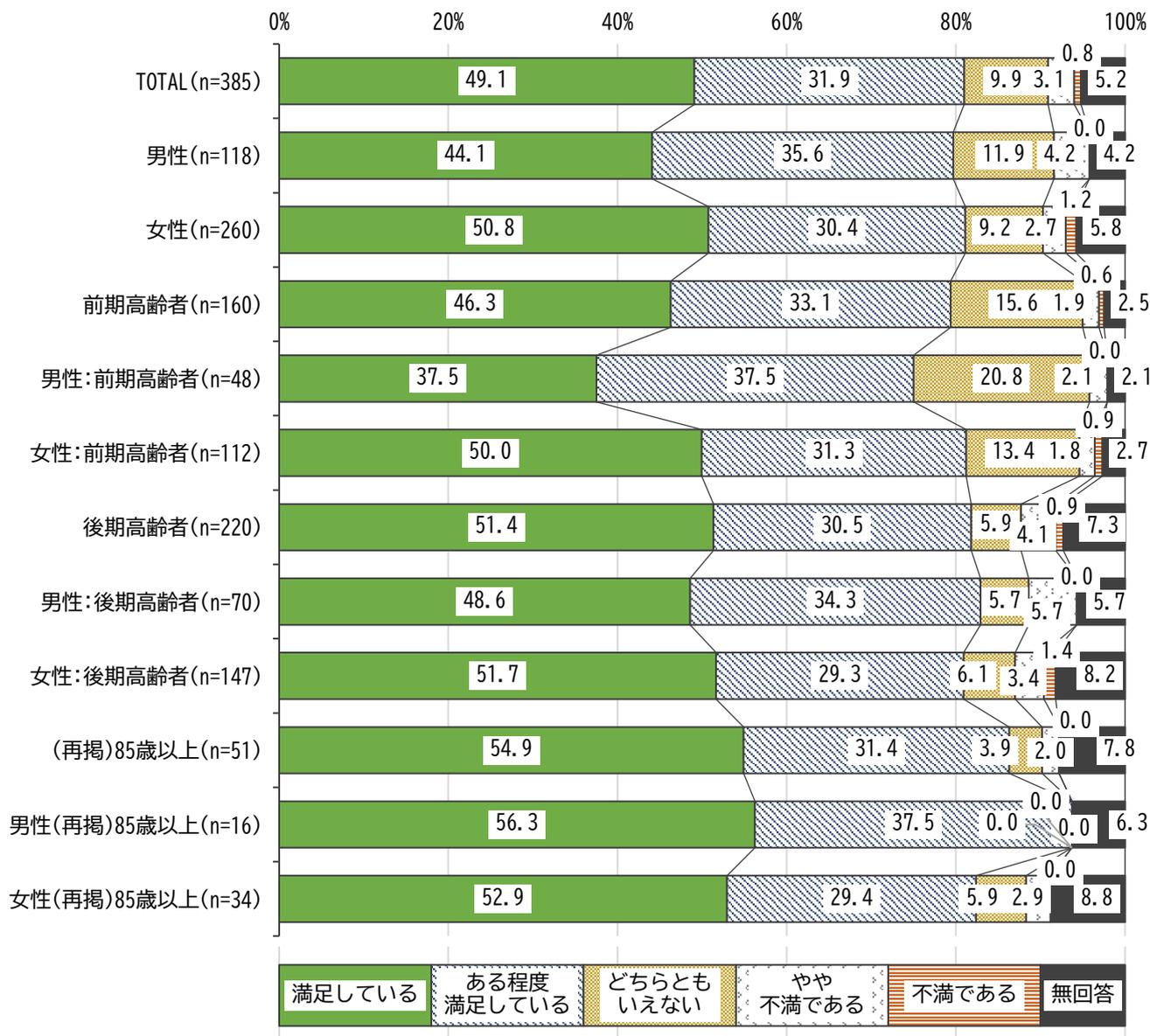
問 31 で「1. 知っていて、利用したことがある」と回答した方のみ、お答えください。

問 31-2 利用した結果に満足しましたか。(1つに○)

地域包括支援センターの利用満足度については、「満足している」(49.1%)、「ある程度満足している」(31.9%)を合わせて、81.0%が『満足している』となっています。



【基本属性別 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「ある程度満足している」、「どちらともいえない」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「ある程度満足している」、「どちらともいえない」、後期高齢者では「満足している」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

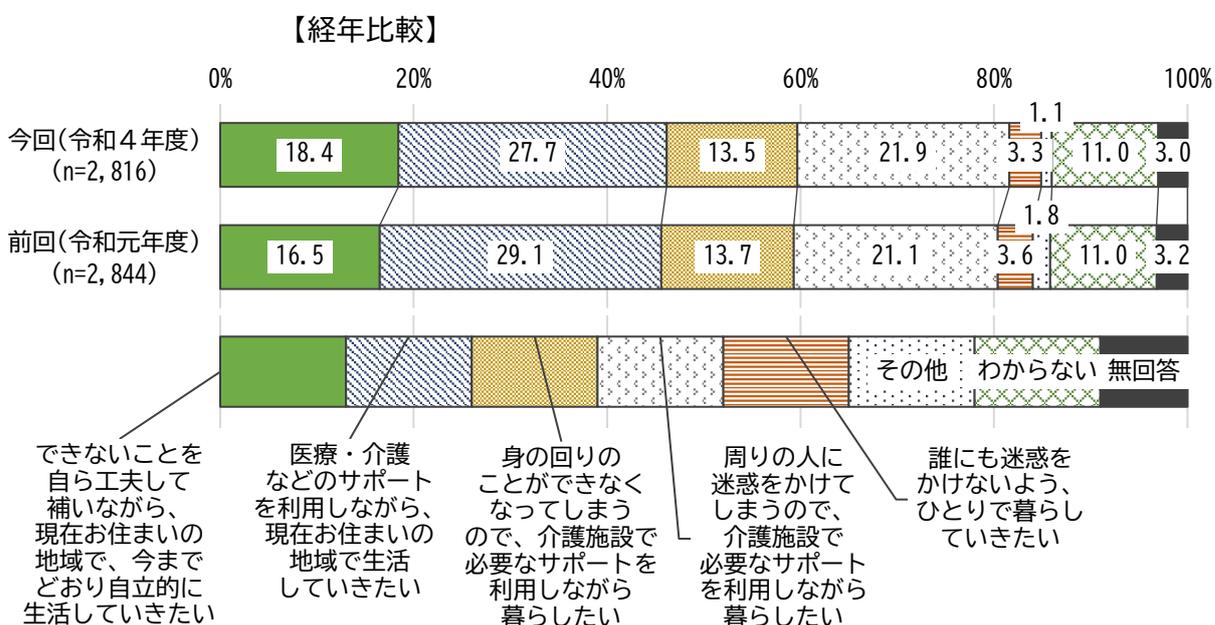
n=		満足している	ある程度満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答	上段：人数
								下段：％
TOTAL	385 100.0	189 49.1	123 31.9	38 9.9	12 3.1	3 0.8	20 5.2	
男性	118 100.0	52 44.1	42 35.6	14 11.9	5 4.2	0 0.0	5 4.2	
女性	260 100.0	132 50.8	79 30.4	24 9.2	7 2.7	3 1.2	15 5.8	
前期高齢者	160 100.0	74 46.3	53 33.1	25 15.6	3 1.9	1 0.6	4 2.5	
男性 前期高齢者	48 100.0	18 37.5	18 37.5	10 20.8	1 2.1	0 0.0	1 2.1	
女性 前期高齢者	112 100.0	56 50.0	35 31.3	15 13.4	2 1.8	1 0.9	3 2.7	
後期高齢者	220 100.0	113 51.4	67 30.5	13 5.9	9 4.1	2 0.9	16 7.3	
男性 後期高齢者	70 100.0	34 48.6	24 34.3	4 5.7	4 5.7	0 0.0	4 5.7	
女性 後期高齢者	147 100.0	76 51.7	43 29.3	9 6.1	5 3.4	2 1.4	12 8.2	
(再掲)85歳以上	51 100.0	28 54.9	16 31.4	2 3.9	1 2.0	0 0.0	4 7.8	
男性(再掲)85歳以上	16 100.0	9 56.3	6 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	
女性(再掲)85歳以上	34 100.0	18 52.9	10 29.4	2 5.9	1 2.9	0 0.0	3 8.8	

13. 認知症について

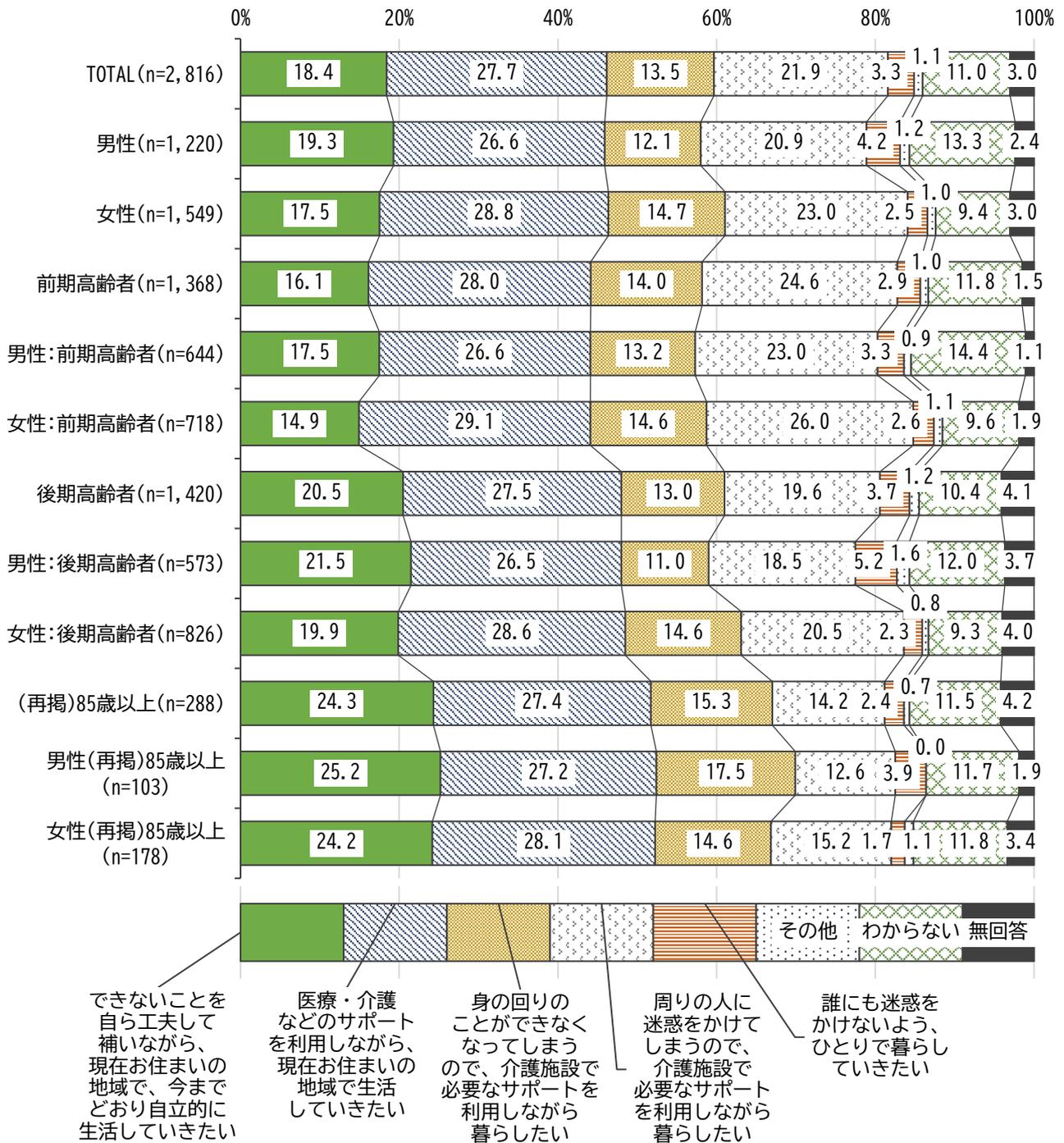
(1) 認知症になった場合の暮らし方

問 32 もし、認知症になったら、どのように暮らしたいと思いますか。(1つに○)

認知症になった場合の暮らし方については、「医療・介護などのサポートを利用しながら、現在お住まいの地域で生活していきたい」が 27.7%で最も高く、次いで「周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」が 21.9%、「できないことを自ら工夫して補いながら、現在（お住まい）の地域で、今までどおり自立的に生活していきたい」が 18.4%、「身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」が 13.5%となっています。



【基本属性別 (%)】



【基本属性別（人数・％）】

	自立的に住まいを生活していきたい	現在お住まいの地域で、今までどおり、	できないことを自ら工夫して補いながら、	医療・介護などの地域サービスを利用していきながら、	介護施設で必要なサービスを利用しながら	身の回りのことができなくなってしまうので、	周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい	暮らしに迷惑をかけないよう、ひとりで暮らしていきたい	その他	わからない	無回答
	n=										
TOTAL	2,816 100.0	517 18.4	781 27.7	380 13.5	618 21.9	93 3.3	32 1.1	311 11.0	84 3.0		
男性	1,220 100.0	236 19.3	324 26.6	148 12.1	255 20.9	51 4.2	15 1.2	162 13.3	29 2.4		
女性	1,549 100.0	271 17.5	446 28.8	228 14.7	357 23.0	38 2.5	16 1.0	146 9.4	47 3.0		
前期高齢者	1,368 100.0	220 16.1	383 28.0	192 14.0	336 24.6	40 2.9	14 1.0	162 11.8	21 1.5		
男性 前期高齢者	644 100.0	113 17.5	171 26.6	85 13.2	148 23.0	21 3.3	6 0.9	93 14.4	7 1.1		
女性 前期高齢者	718 100.0	107 14.9	209 29.1	105 14.6	187 26.0	19 2.6	8 1.1	69 9.6	14 1.9		
後期高齢者	1,420 100.0	291 20.5	390 27.5	185 13.0	279 19.6	53 3.7	17 1.2	147 10.4	58 4.1		
男性 後期高齢者	573 100.0	123 21.5	152 26.5	63 11.0	106 18.5	30 5.2	9 1.6	69 12.0	21 3.7		
女性 後期高齢者	826 100.0	164 19.9	236 28.6	121 14.6	169 20.5	19 2.3	7 0.8	77 9.3	33 4.0		
(再掲)85歳以上	288 100.0	70 24.3	79 27.4	44 15.3	41 14.2	7 2.4	2 0.7	33 11.5	12 4.2		
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	26 25.2	28 27.2	18 17.5	13 12.6	4 3.9	0 0.0	12 11.7	2 1.9		
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	43 24.2	50 28.1	26 14.6	27 15.2	3 1.7	2 1.1	21 11.8	6 3.4		

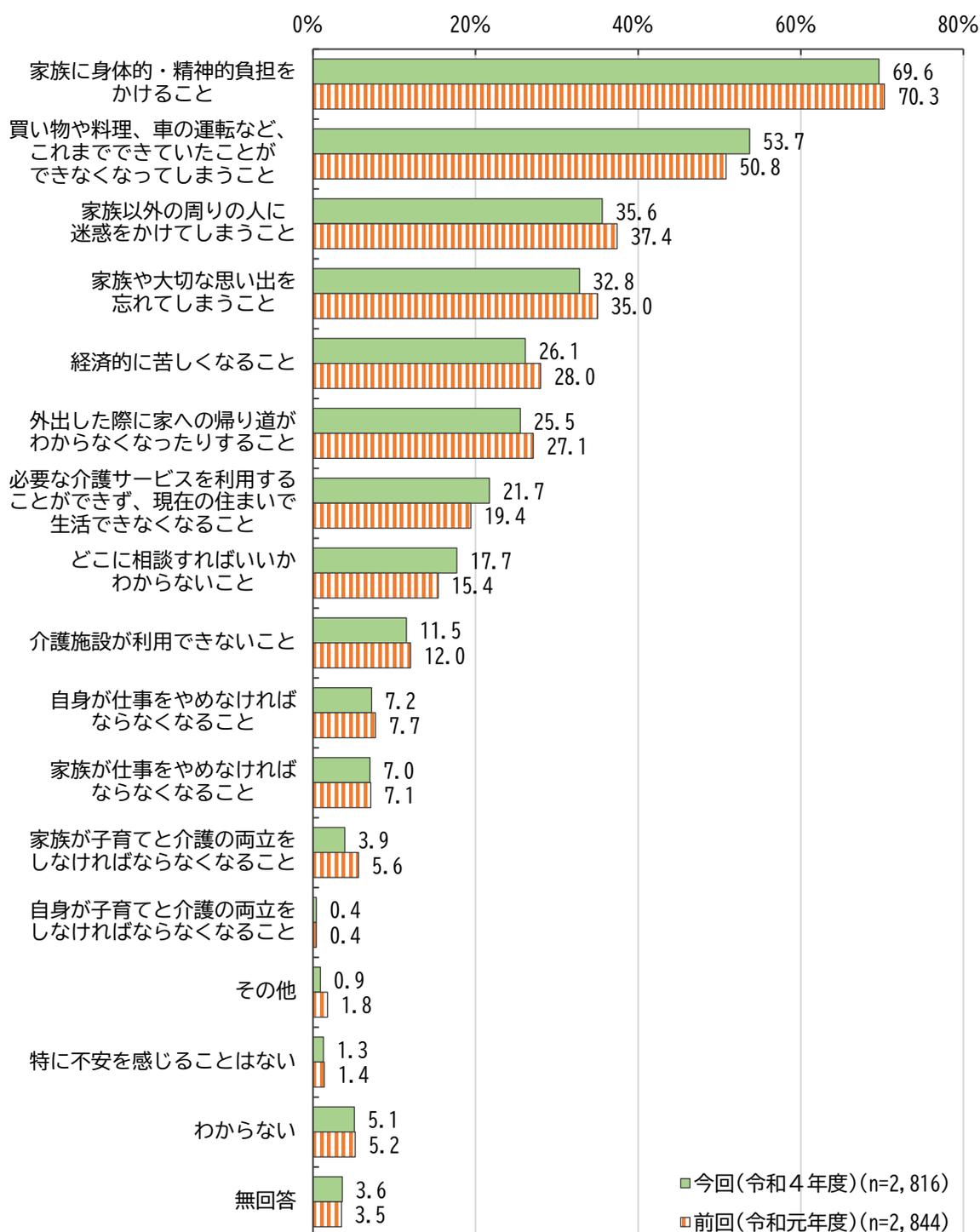
上段：人数
下段：％

(2) ご自身またはご家族が認知症になった場合、不安に感じること

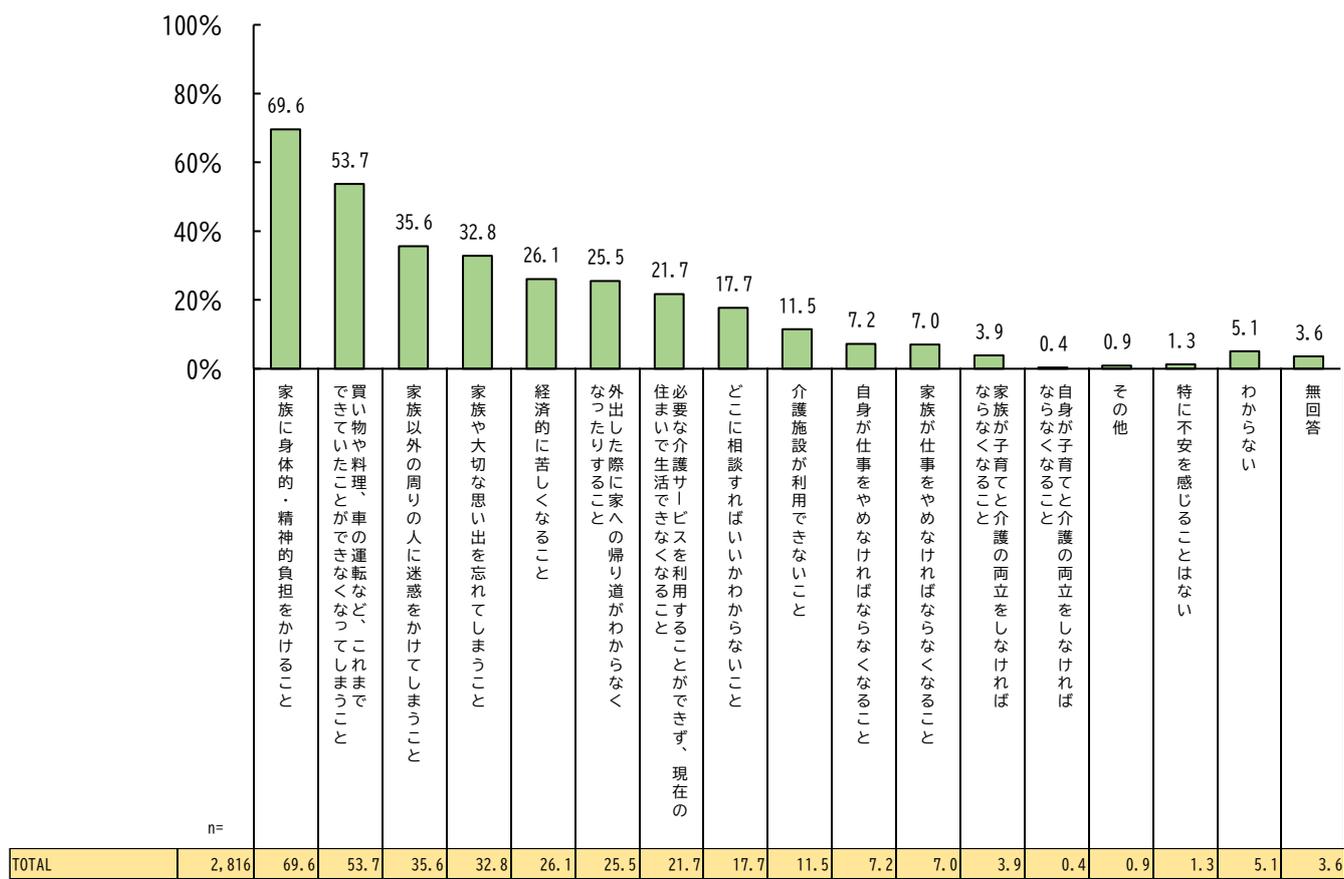
問 33 もし、ご自身またはご家族が認知症になったとしたら、どのようなことに不安を感じるとお考えですか。(特にあてはまるもの5つまでに○)

もし自身や家族が認知症になった場合に不安なことについては、「家族に身体的・精神的負担をかけること」が 69.6%で最も高く、次いで「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうこと」が 53.7%、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうこと」が 35.6%、「家族や大切な思い出を忘れてしまうこと」が 32.8%の順となっています。

【経年比較】



【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「どこに相談すればいいかわからないこと」、「自身が仕事をやめなければならなくなること」、女性では「家族に身体的・精神的負担をかけること」、「外出した際に家への帰り道がわからなくなったりすること」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「家族に身体的・精神的負担をかけること」、「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうこと」、「経済的に苦しくなること」、「自身が仕事をやめなければならなくなること」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	家族に身体的・精神的負担をかけること	買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうこと	家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうこと	家族や大切な思い出を忘れてしまうこと	家族や大切な思い出を忘れてしまうこと	経済的に苦しくなること	外出した際に家への帰り道がわからなくなったりすること	必要な介護サービスを利用することができず、現在の住まいで生活できなくなること	どこに相談すればいいかわからないこと	介護施設が利用できないこと	自身が仕事をやめなければならなくなること	家族が仕事をやめなければならなくなること	家族が子育てと介護の両立をしなければならなくなること	自身が子育てと介護の両立をしなければならなくなること	その他	特に不安を感じることはない	わからない	無回答
n=																		
TOTAL	2,816 100.0	1,960 69.6	1,511 53.7	1,002 35.6	924 32.8	736 26.1	717 25.5	612 21.7	498 17.7	324 11.5	202 7.2	197 7.0	111 3.9	11 0.4	24 0.9	36 1.3	143 5.1	102 3.6
男性	1,220 100.0	805 66.0	676 55.4	436 35.7	384 31.5	323 26.5	275 22.5	253 20.7	239 19.6	123 10.1	127 10.4	58 4.8	34 2.8	2 0.2	12 1.0	12 1.0	78 6.4	40 3.3
女性	1,549 100.0	1,127 72.8	815 52.6	557 36.0	526 34.0	407 26.3	438 28.3	348 22.5	251 16.2	199 12.8	74 4.8	138 8.9	73 4.7	9 0.6	12 0.8	22 1.4	64 4.1	54 3.5
前期高齢者	1,368 100.0	990 72.4	788 57.6	482 35.2	460 33.6	414 30.3	342 25.0	286 20.9	237 17.3	169 12.4	143 10.5	84 6.1	68 5.0	8 0.6	6 0.4	14 1.0	63 4.6	22 1.6
男性 前期高齢者	644 100.0	437 67.9	371 57.6	250 38.8	220 34.2	182 28.3	153 23.8	124 19.3	125 19.4	65 10.1	87 13.5	33 5.1	18 2.8	1 0.2	2 0.3	7 1.1	41 6.4	9 1.4
女性 前期高齢者	718 100.0	547 76.2	415 57.8	232 32.3	238 33.1	232 32.3	189 26.3	159 22.1	111 15.5	103 14.3	56 7.8	51 7.1	48 6.7	7 1.0	4 0.6	7 1.0	22 3.1	13 1.8
後期高齢者	1,420 100.0	951 67.0	709 49.9	512 36.1	453 31.9	316 22.3	370 26.1	320 22.5	256 18.0	154 10.8	59 4.2	113 8.0	42 3.0	3 0.2	17 1.2	21 1.5	79 5.6	75 5.3
男性 後期高齢者	573 100.0	366 63.9	303 52.9	184 32.1	162 28.3	140 24.4	122 21.3	129 22.5	114 19.9	58 10.1	40 7.0	25 4.4	16 2.8	1 0.2	10 1.7	5 0.9	37 6.5	30 5.2
女性 後期高齢者	826 100.0	576 69.7	396 47.9	324 39.2	285 34.5	173 20.9	246 29.8	187 22.6	139 16.8	95 11.5	18 2.2	87 10.5	25 3.0	2 0.2	7 0.8	15 1.8	42 5.1	41 5.0
(再掲)85歳以上	288 100.0	177 61.5	122 42.4	89 30.9	91 31.6	49 17.0	67 23.3	60 20.8	47 16.3	17 5.9	6 2.1	24 8.3	4 1.4	1 0.3	3 1.0	5 1.7	24 8.3	17 5.9
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	56 54.4	45 43.7	27 26.2	25 24.3	20 19.4	18 17.5	20 19.4	18 17.5	8 7.8	4 3.9	6 5.8	2 1.9	1 1.0	1 1.0	1 1.0	8 7.8	8 7.8
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	119 66.9	75 42.1	60 33.7	64 36.0	29 16.3	49 27.5	38 21.3	28 15.7	9 5.1	2 1.1	18 10.1	2 1.1	0 0.0	2 1.1	3 1.7	16 9.0	6 3.4

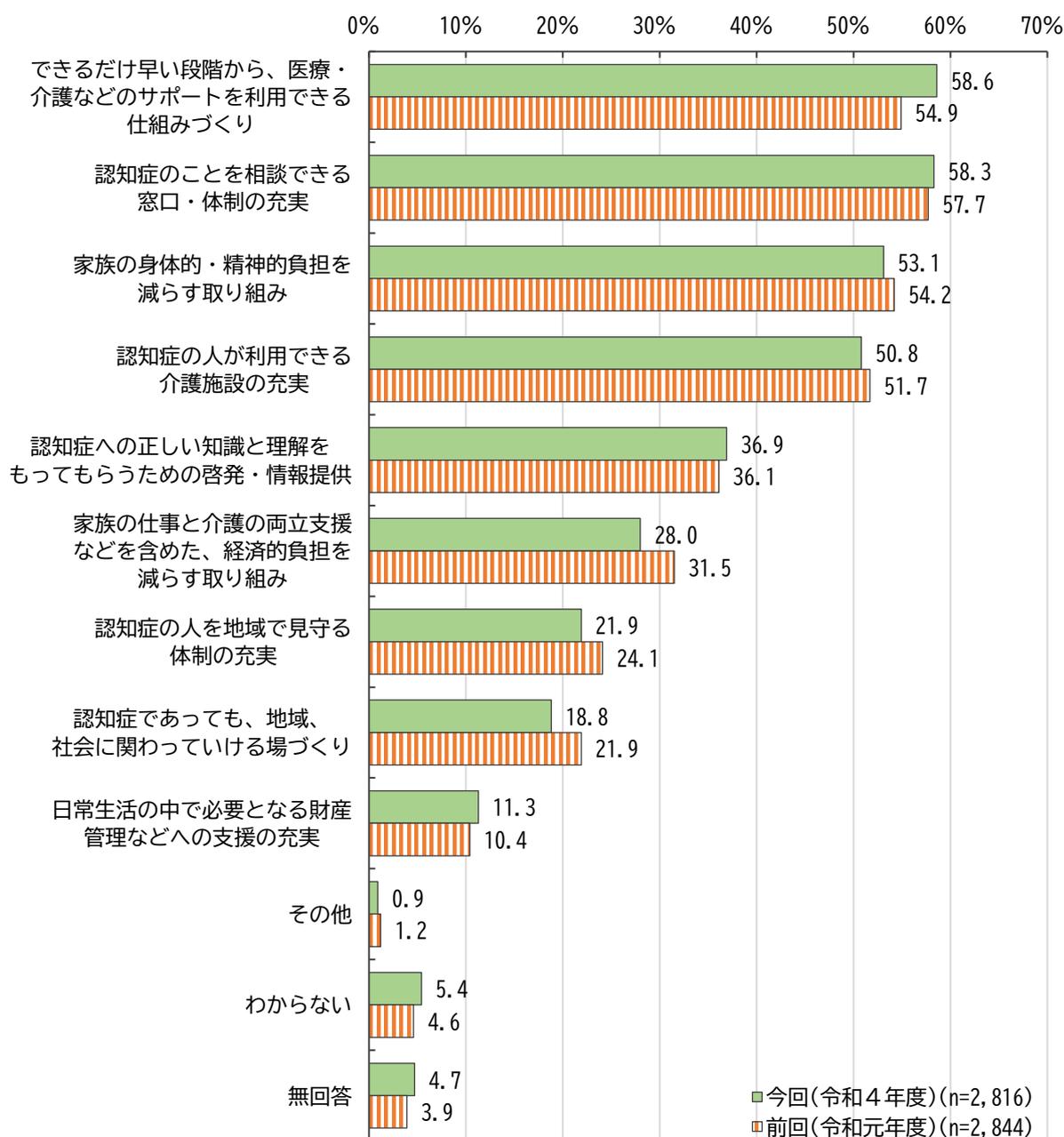
上段：人数
下段：%

(3) 市が重点を置くべき認知症施策

問 34 今後、増加が予想される認知症の方への取り組みとして、市はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。(特にあてはまるもの5つまでに○)

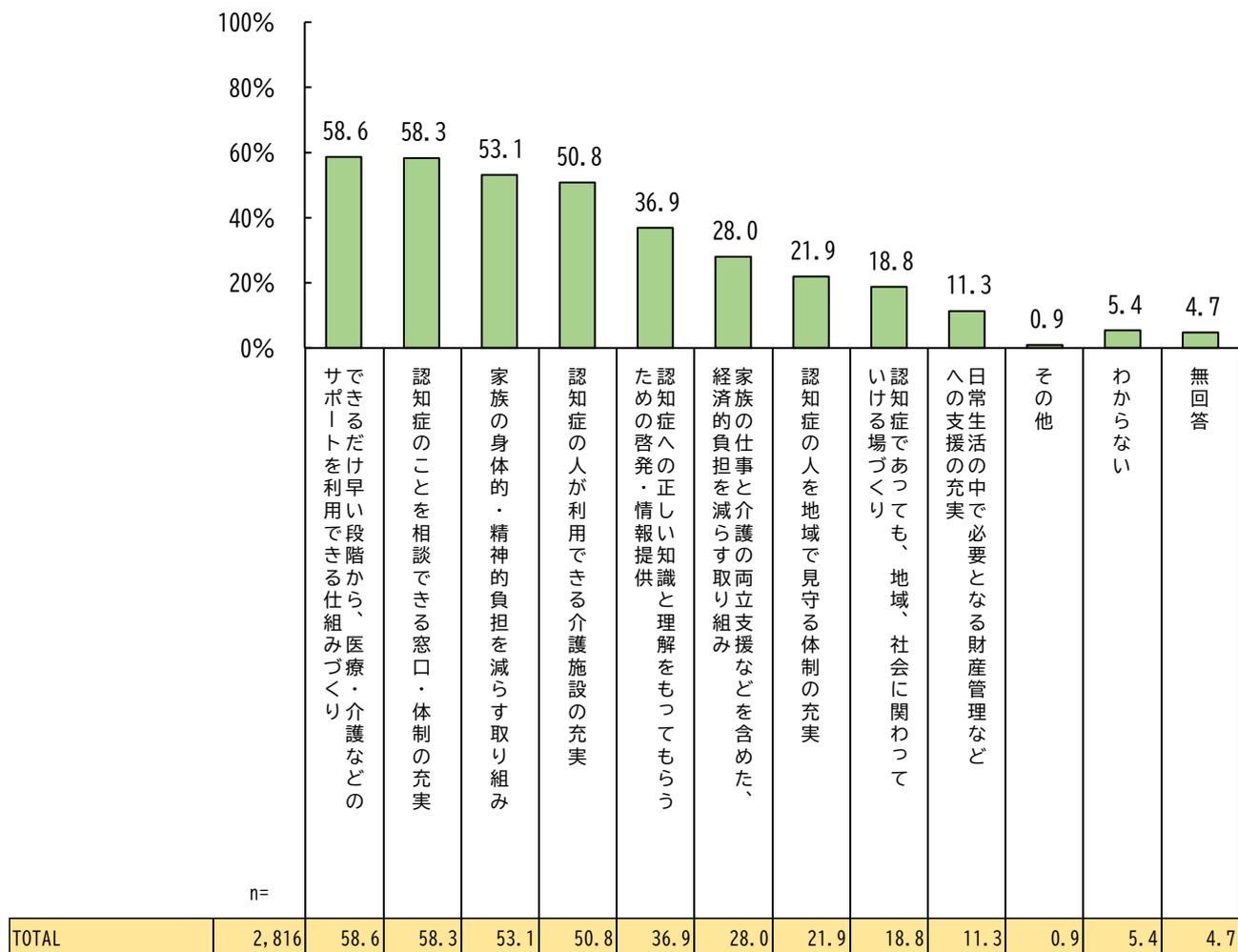
市が重点を置くべき今後の施策については、「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」(58.6%)、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」(58.3%)、「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」(53.1%)、「認知症の人が利用できる介護施設の充実」(50.8%)がいずれも5割台となっています。

【経年比較】



第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



性別にみると、男性では「日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実」、女性では「認知症の人が利用できる介護施設の充実」、「認知症の人を地域で見守る体制の充実」、「認知症であっても、地域、社会に関わっていける場づくり」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」、「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」、「家族の仕事と介護の両立支援などを含めた、経済的負担を減らす取り組み」などの割合が全体に対して比較的高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=	サポートだけ早い段階から、医療・介護などの	認知症のことを相談できる窓口・体制の充実	家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み	認知症の人が利用できる介護施設の充実	認知症への正しい知識と理解をもってもら	経済的負担を減らす取り組み	家族の仕事と介護の両立支援などを含めた、	認知症の人を地域で見守る体制の充実	認知症であっても、地域、社会に関わって	日常生活の中で必要となる財産管理など	その他	わからない	無回答	上段：人数 下段：％
TOTAL	2,816 100.0	1,651 58.6	1,641 58.3	1,494 53.1	1,430 50.8	1,038 36.9	789 28.0	617 21.9	530 18.8	319 11.3	24 0.9	151 5.4	133 4.7		
男性	1,220 100.0	716 58.7	713 58.4	634 52.0	534 43.8	468 38.4	329 27.0	232 19.0	200 16.4	174 14.3	13 1.1	88 7.2	46 3.8		
女性	1,549 100.0	918 59.3	904 58.4	841 54.3	880 56.8	556 35.9	454 29.3	373 24.1	325 21.0	143 9.2	11 0.7	59 3.8	78 5.0		
前期高齢者	1,368 100.0	839 61.3	840 61.4	786 57.5	697 51.0	509 37.2	446 32.6	298 21.8	269 19.7	185 13.5	13 1.0	69 5.0	33 2.4		
男性 前期高齢者	644 100.0	398 61.8	390 60.6	360 55.9	272 42.2	245 38.0	208 32.3	120 18.6	109 16.9	97 15.1	10 1.6	46 7.1	10 1.6		
女性 前期高齢者	718 100.0	436 60.7	444 61.8	423 58.9	420 58.5	263 36.6	237 33.0	177 24.7	160 22.3	88 12.3	3 0.4	23 3.2	23 3.2		
後期高齢者	1,420 100.0	800 56.3	783 55.1	694 48.9	724 51.0	519 36.5	340 23.9	312 22.0	254 17.9	133 9.4	11 0.8	80 5.6	95 6.7		
男性 後期高齢者	573 100.0	317 55.3	321 56.0	272 47.5	261 45.5	222 38.7	121 21.1	112 19.5	90 15.7	77 13.4	3 0.5	42 7.3	35 6.1		
女性 後期高齢者	826 100.0	477 57.7	455 55.1	415 50.2	456 55.2	290 35.1	216 26.2	195 23.6	163 19.7	55 6.7	8 1.0	36 4.4	55 6.7		
(再掲)85歳以上	288 100.0	136 47.2	151 52.4	128 44.4	142 49.3	111 38.5	64 22.2	56 19.4	40 13.9	23 8.0	2 0.7	22 7.6	28 9.7		
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	52 50.5	52 50.5	39 37.9	40 38.8	44 42.7	24 23.3	20 19.4	15 14.6	11 10.7	0 0.0	9 8.7	11 10.7		
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	83 46.6	97 54.5	88 49.4	100 56.2	65 36.5	39 21.9	35 19.7	24 13.5	12 6.7	2 1.1	13 7.3	13 7.3		

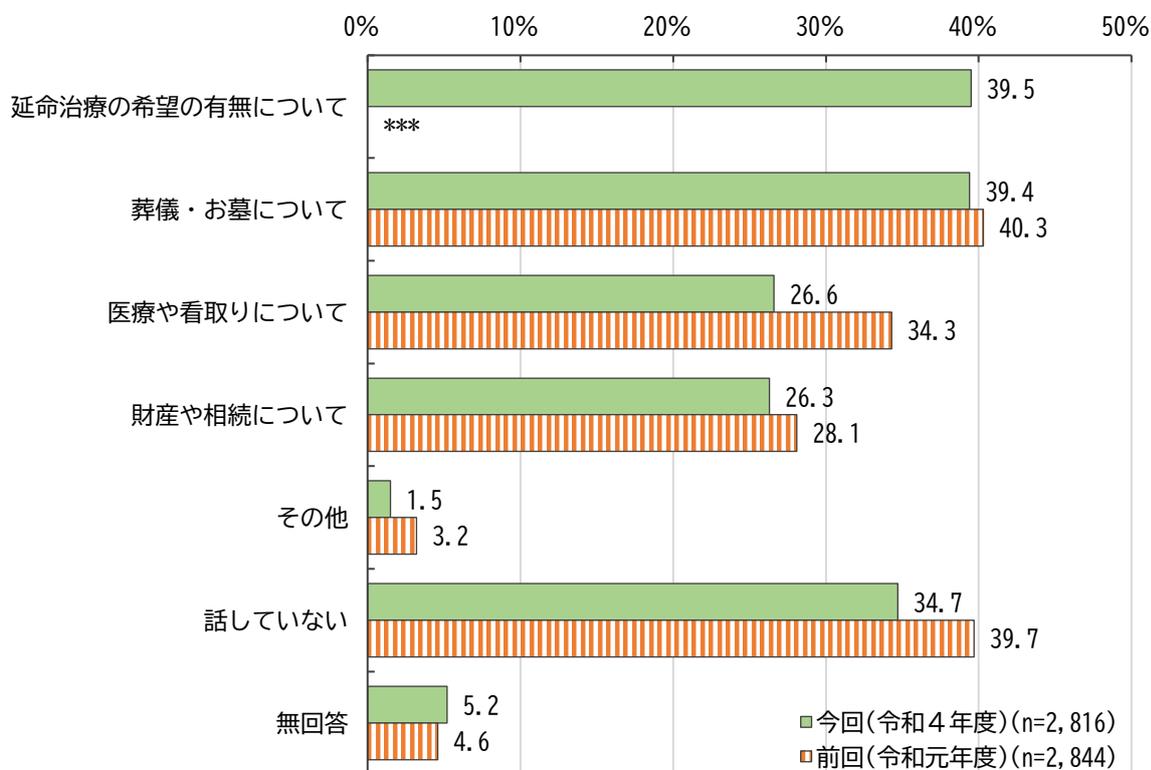
14. 人生最期のとき（終活）について

（1）ご自身の人生最期のとき（終活）について家族との共有状況

問 35 ご自身の人生最期のとき（終活）について、次のようなことをご家族と話していますか。（あてはまるものすべてに○）

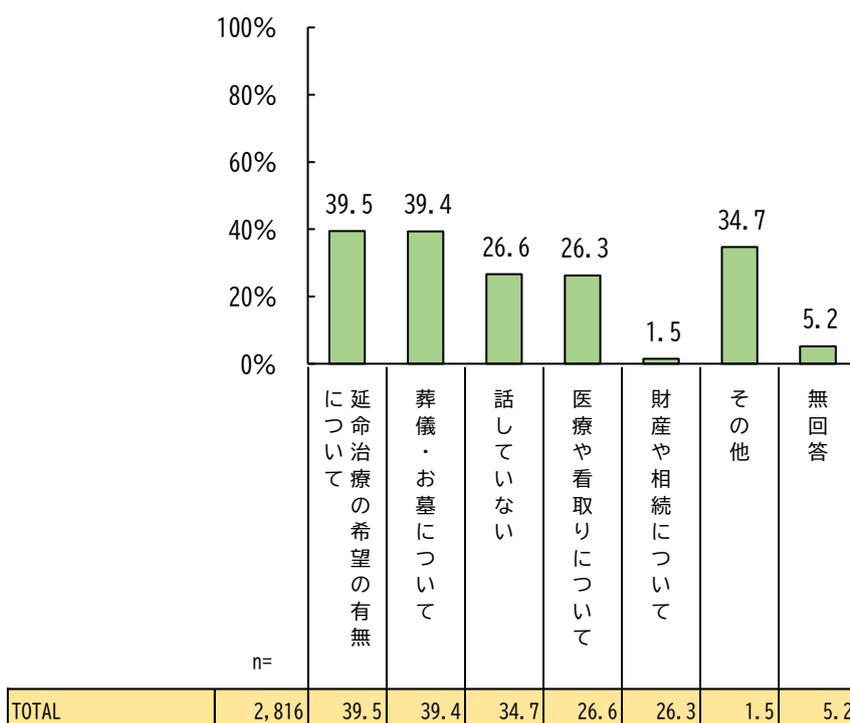
人生最期のとき（終活）について家族と話していることは、「延命治療の希望の有無について」が39.5%で最も高く、次いで「葬儀・お墓について」が39.4%、「医療や看取りについて」が26.6%、「財産や相続について」が26.3%の順となっています。また、「話していない」と「無回答」を除いた「家族と話していることがある」割合は60.1%となっています。

【経年比較】



※令和元年度では「延命治療の希望の有無について」という選択肢がないため、***表記としている。

【単純集計 (%)】



【基本属性別 (人数・%)】

属性	n	属性別集計						
		延命治療の希望の有無	葬儀・お墓について	医療や看取りについて	財産や相続について	その他	話していない	無回答
TOTAL	2,816	1,113	1,109	749	741	41	977	147
	100.0	39.5	39.4	26.6	26.3	1.5	34.7	5.2
男性	1,220	374	451	302	341	11	492	54
	100.0	30.7	37.0	24.8	28.0	0.9	40.3	4.4
女性	1,549	720	642	434	386	29	472	86
	100.0	46.5	41.4	28.0	24.9	1.9	30.5	5.6
前期高齢者	1,368	526	542	316	357	15	541	33
	100.0	38.5	39.6	23.1	26.1	1.1	39.5	2.4
男性 前期高齢者	644	200	232	138	180	6	287	13
	100.0	31.1	36.0	21.4	28.0	0.9	44.6	2.0
女性 前期高齢者	718	323	308	176	175	9	251	20
	100.0	45.0	42.9	24.5	24.4	1.3	35.0	2.8
後期高齢者	1,420	576	558	425	375	25	427	110
	100.0	40.6	39.3	29.9	26.4	1.8	30.1	7.7
男性 後期高齢者	573	173	217	163	159	5	205	40
	100.0	30.2	37.9	28.4	27.7	0.9	35.8	7.0
女性 後期高齢者	826	394	332	255	210	20	220	65
	100.0	47.7	40.2	30.9	25.4	2.4	26.6	7.9
(再掲)85歳以上	288	126	118	102	80	7	64	31
	100.0	43.8	41.0	35.4	27.8	2.4	22.2	10.8
男性(再掲)85歳以上	103	36	37	37	33	2	27	10
	100.0	35.0	35.9	35.9	32.0	1.9	26.2	9.7
女性(再掲)85歳以上	178	87	80	63	46	5	37	17
	100.0	48.9	44.9	35.4	25.8	2.8	20.8	9.6

上段：人数
下段：%

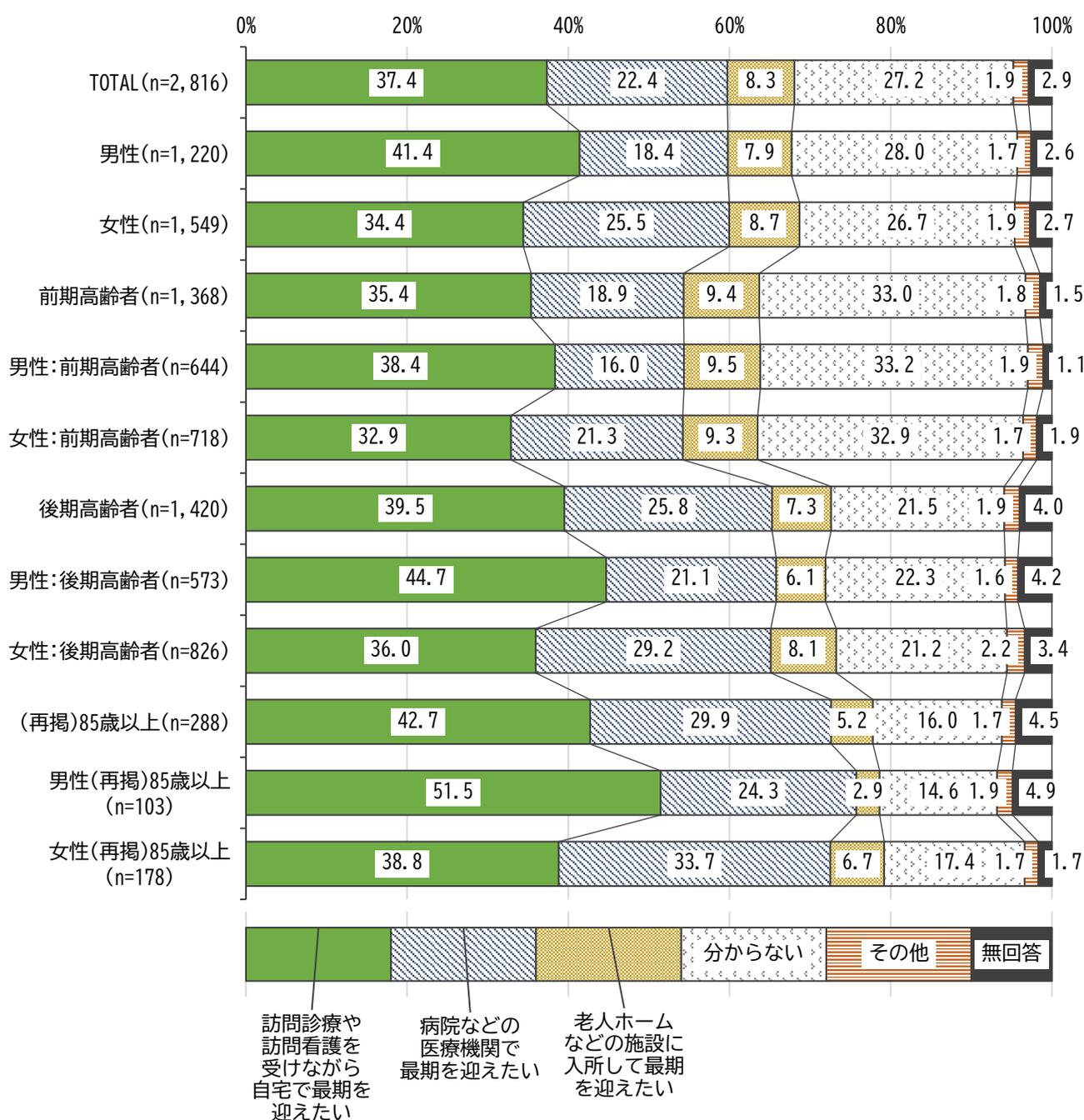
(2) ご自身の人生最期を迎えたい場所

問 36 ご自分の人生最期のときをどこで迎えたいですか。(1つに○)

人生の最期を迎えたい場所では、「訪問診療や訪問看護を受けながら自宅で最期を迎えたい」が37.4%で最も高く、次いで、「病院など医療機関で最期を迎えたい」が22.4%、「老人ホームなどの施設に入所して最期を迎えたい」が8.3%となっています。また、27.2%が「分からない」と回答しています。

男女別で「訪問診療や訪問看護を受けながら自宅で最期を迎えたい」をみると、男性は41.4%に対して、女性は34.4%と男性の割合が7.0ポイント高くなっています。

【基本属性別 (%)】



性別にみると、男性では「訪問診療や訪問看護を受けながら自宅で最期を迎えたい」、女性では「病院などの医療機関で最期を迎えたい」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「分からない」、後期高齢者では「訪問診療や訪問看護を受けながら自宅で最期を迎えたい」、「病院などの医療機関で最期を迎えたい」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=	自 宅 訪 問 診 療 や 最 期 を 訪 問 看 護 を 受 け な が ら	最 期 を 迎 え た い 医 療 機 関 で	最 期 を 迎 え た い 老 人 ホ ー ム な ど の 施 設 に 入 所 し て	分 か ら な い	そ の 他	無 回 答	上段：人数 下段：％
TOTAL	2,816 100.0	1,052 37.4	630 22.4	233 8.3	766 27.2	53 1.9	82 2.9	
男性	1,220 100.0	505 41.4	224 18.4	96 7.9	342 28.0	21 1.7	32 2.6	
女性	1,549 100.0	533 34.4	395 25.5	135 8.7	414 26.7	30 1.9	42 2.7	
前期高齢者	1,368 100.0	484 35.4	259 18.9	129 9.4	451 33.0	24 1.8	21 1.5	
男性 前期高齢者	644 100.0	247 38.4	103 16.0	61 9.5	214 33.2	12 1.9	7 1.1	
女性 前期高齢者	718 100.0	236 32.9	153 21.3	67 9.3	236 32.9	12 1.7	14 1.9	
後期高齢者	1,420 100.0	561 39.5	366 25.8	103 7.3	306 21.5	27 1.9	57 4.0	
男性 後期高齢者	573 100.0	256 44.7	121 21.1	35 6.1	128 22.3	9 1.6	24 4.2	
女性 後期高齢者	826 100.0	297 36.0	241 29.2	67 8.1	175 21.2	18 2.2	28 3.4	
(再掲)85歳以上	288 100.0	123 42.7	86 29.9	15 5.2	46 16.0	5 1.7	13 4.5	
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	53 51.5	25 24.3	3 2.9	15 14.6	2 1.9	5 4.9	
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	69 38.8	60 33.7	12 6.7	31 17.4	3 1.7	3 1.7	

15. 権利擁護について

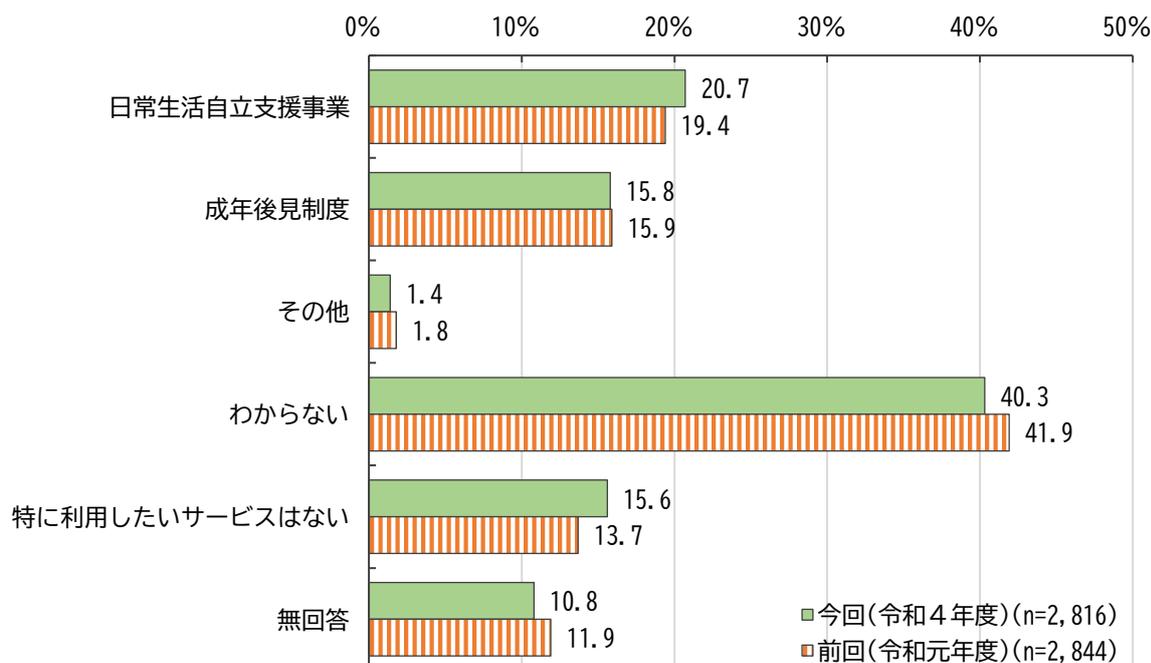
(1) 判断能力が不安になったときに利用したい支援やサービス

問 37 今後、認知症など、判断能力が不安になり何らかの支援が必要になった時、利用したい支援やサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

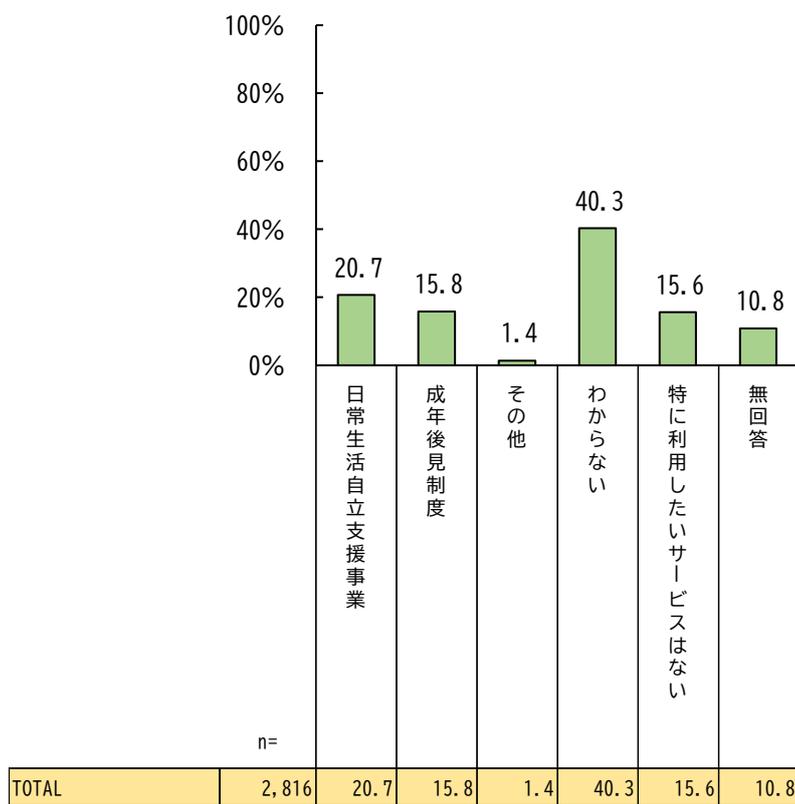
- ※2 成年後見制度とは、認知症などの理由により判断能力が不十分な方の財産の管理、入院や施設への入所などの生活に関する契約などを、成年後見人が代理して行う制度です。なお、成年後見制度には、家庭裁判所に申し立てることにより成年後見人を選任する法定後見制度と、まだ判断能力が十分なうちに、あらかじめ後見人を決めておく任意後見制度があります。
- ※3 日常生活自立支援事業とは、高齢者などが安心して自立した生活が送れるように、預貯金の引き出しなどの金銭管理や福祉サービスの利用手続き、重要書類等の管理などについて、本人と社会福祉協議会との契約により行われる事業です。

今後、認知症など、判断能力が不安になり何らかの支援が必要になった時、利用したいサービスについては、「日常生活自立支援事業」が20.7%で最も高く、次いで「成年後見制度」が15.8%となっています。一方、「わからない」が40.3%となっています。

【経年比較】



【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「日常生活自立支援事業」、「成年後見制度」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「日常生活自立支援事業」、「成年後見制度」、「わからない」、後期高齢者では「特に利用したいサービスはない」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=	日常生活自立支援事業	成年後見制度	その他	わからない	特に利用したいサービスはない	無回答
TOTAL	2,816 100.0	584 20.7	444 15.8	39 1.4	1,136 40.3	438 15.6	304 10.8
男性	1,220 100.0	270 22.1	228 18.7	8 0.7	523 42.9	184 15.1	75 6.1
女性	1,549 100.0	301 19.4	210 13.6	30 1.9	604 39.0	247 15.9	218 14.1
前期高齢者	1,368 100.0	314 23.0	255 18.6	14 1.0	597 43.6	204 14.9	67 4.9
男性 前期高齢者	644 100.0	150 23.3	132 20.5	2 0.3	295 45.8	88 13.7	20 3.1
女性 前期高齢者	718 100.0	160 22.3	121 16.9	12 1.7	302 42.1	116 16.2	47 6.5
後期高齢者	1,420 100.0	265 18.7	185 13.0	25 1.8	533 37.5	231 16.3	226 15.9
男性 後期高齢者	573 100.0	119 20.8	96 16.8	6 1.0	228 39.8	96 16.8	53 9.2
女性 後期高齢者	826 100.0	140 16.9	87 10.5	18 2.2	300 36.3	131 15.9	170 20.6
(再掲)85歳以上	288 100.0	42 14.6	34 11.8	7 2.4	103 35.8	48 16.7	62 21.5
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	21 20.4	18 17.5	1 1.0	35 34.0	17 16.5	18 17.5
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	20 11.2	15 8.4	6 3.4	67 37.6	30 16.9	41 23.0

上段：人数
下段：％

(2) 成年後見人の希望

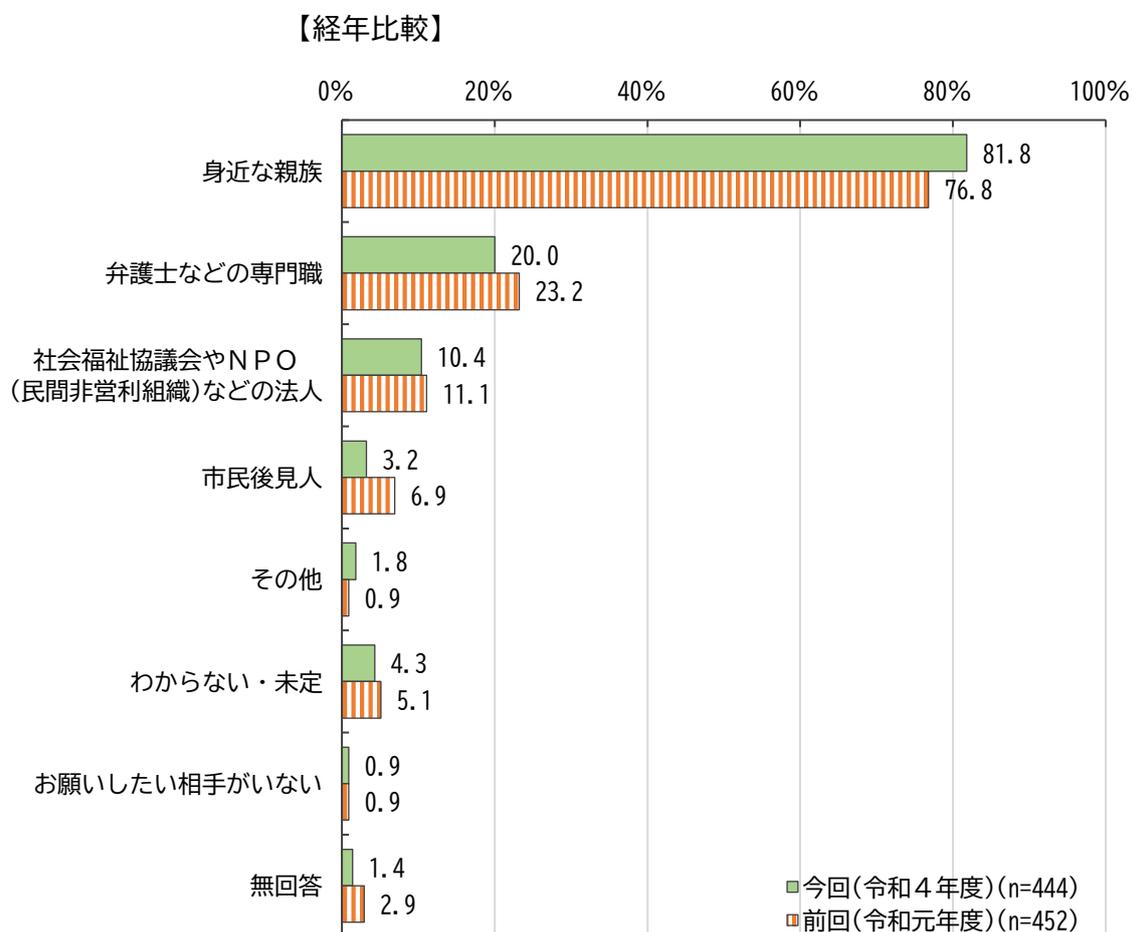
成年後見制度を利用したい方のみ（問37で「1. 成年後見制度」と回答した方）

お答えください。

問37-1 成年後見制度を利用する場合、どなたに成年後見人をお願いしたいですか。
（特にあてはまるもの2つまでに○）

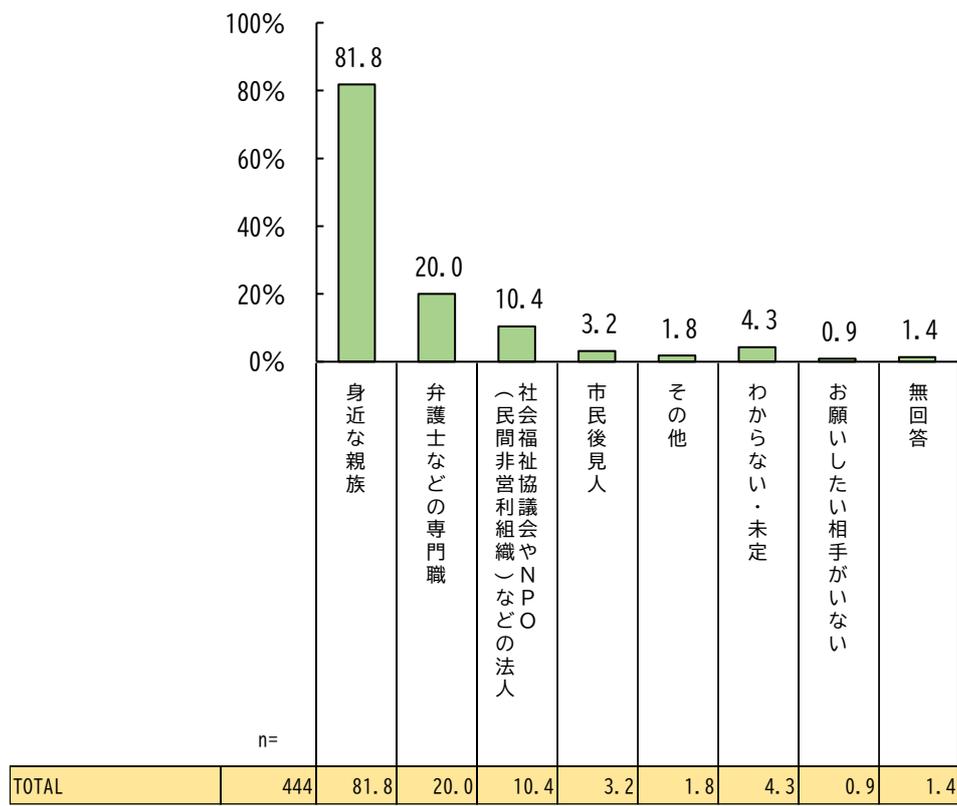
※4 市民後見人とは、事前に自治体などが行う養成研修を修了した同じ地域に住む市民で、家庭裁判所に選任された成年後見人のことです。

成年後見制度の利用希望者（444人、15.8%）について、制度利用の際に成年後見人を依頼したいのは、「身近な親族」が81.8%で最も高く、次いで「弁護士などの専門職」が20.0%、「社会福祉協議会やNPO（民間非営利組織）などの法人」が10.4%、「市民後見人」が3.2%の順となっています。



第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



性別にみると、男性では「弁護士などの専門職」、「市民後見人」、女性では「身近な親族」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「弁護士などの専門職」、「社会福祉協議会やNPO(民間非営利組織)などの法人」、「市民後見人」、後期高齢者では「身近な親族」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

n=		身近な親族	弁護士などの専門職	（社会福祉協議会やNPOなどの法人）	市民後見人	その他	わからない・未定	お願いしたい相手がない	無回答	上段：人数
										下段：％
TOTAL	444	363	89	46	14	8	19	4	6	
	100.0	81.8	20.0	10.4	3.2	1.8	4.3	0.9	1.4	
男性	228	184	53	24	11	6	8	3	3	
	100.0	80.7	23.2	10.5	4.8	2.6	3.5	1.3	1.3	
女性	210	173	34	22	3	2	11	1	3	
	100.0	82.4	16.2	10.5	1.4	1.0	5.2	0.5	1.4	
前期高齢者	255	197	65	30	12	6	10	3	2	
	100.0	77.3	25.5	11.8	4.7	2.4	3.9	1.2	0.8	
男性 前期高齢者	132	101	37	16	10	4	3	3	1	
	100.0	76.5	28.0	12.1	7.6	3.0	2.3	2.3	0.8	
女性 前期高齢者	121	94	27	14	2	2	7	0	1	
	100.0	77.7	22.3	11.6	1.7	1.7	5.8	0.0	0.8	
後期高齢者	185	162	23	15	2	2	9	1	4	
	100.0	87.6	12.4	8.1	1.1	1.1	4.9	0.5	2.2	
男性 後期高齢者	96	83	16	8	1	2	5	0	2	
	100.0	86.5	16.7	8.3	1.0	2.1	5.2	0.0	2.1	
女性 後期高齢者	87	77	7	7	1	0	4	1	2	
	100.0	88.5	8.0	8.0	1.1	0.0	4.6	1.1	2.3	
(再掲)85歳以上	34	32	3	3	1	0	0	1	0	
	100.0	94.1	8.8	8.8	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	
男性(再掲)85歳以上	18	17	2	2	0	0	0	0	0	
	100.0	94.4	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
女性(再掲)85歳以上	15	14	1	1	1	0	0	1	0	
	100.0	93.3	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	

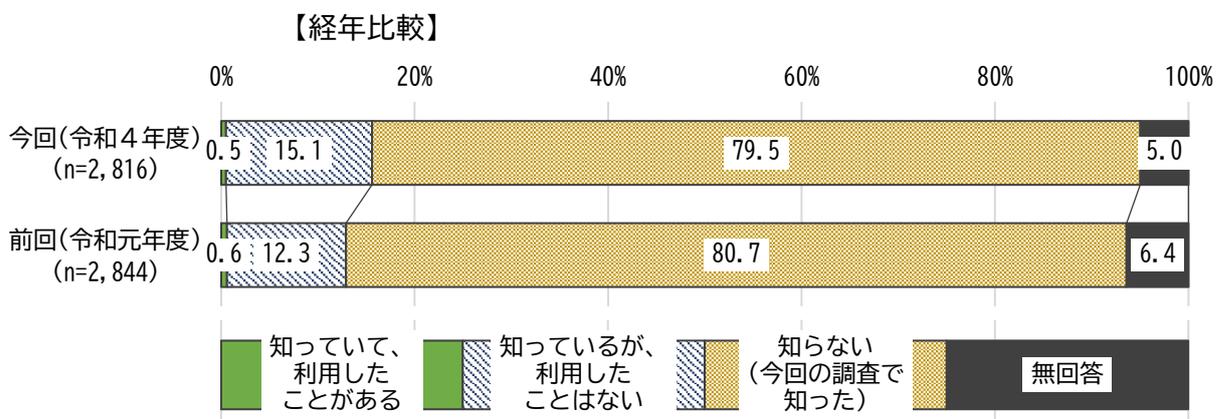
第2章 調査結果の詳細

(3) 「ふじさわ あんしんセンター」の認知度

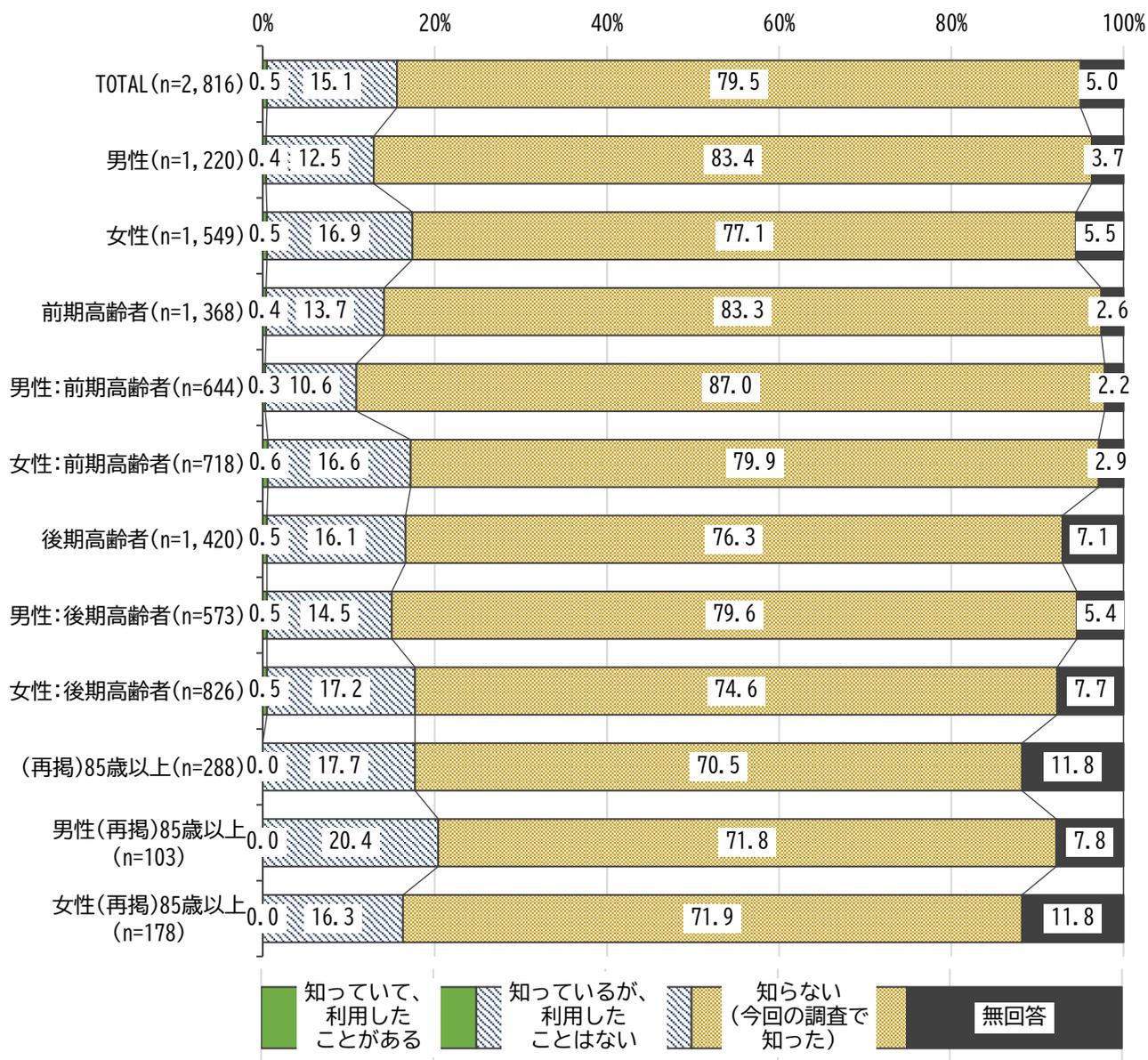
問 38 成年後見制度や権利擁護に関する相談支援機関である「ふじさわ あんしんセンター※5」をご存じですか。(1つに○)

※5 ふじさわ あんしんセンターは、藤沢市社会福祉協議会が運営する、高齢者や障がい者の方などの成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用など、総合的な権利擁護に関する相談機関です。電話や窓口、訪問などによる相談のほか、毎月4回(第1～4水曜日)、弁護士、行政書士、司法書士、社会福祉士、税理士などによる専門相談も行っています。

ふじさわあんしんセンターの認知状況については、「知っている、利用したことがある」(0.5%)、「知っているが、利用したことはない」(15.1%)を合わせて、『知っている』が15.6%となっています。一方、「知らない(今回の調査で知った)」は79.5%となっています。



【基本属性別 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「知らない(今回の調査で知った)」、女性では「知っているが、利用したことはない」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「知らない(今回の調査で知った)」、後期高齢者では「知っているが、利用したことはない」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=	利 用 し て い たい こ と が あ る	利 用 し て い る こ と は な い	（ 知 ら な い の い 調 査 で 知 っ た ）	無 回 答
TOTAL	2,816 100.0	13 0.5	425 15.1	2,238 79.5	140 5.0
男性	1,220 100.0	5 0.4	152 12.5	1,018 83.4	45 3.7
女性	1,549 100.0	8 0.5	262 16.9	1,194 77.1	85 5.5
前期高齢者	1,368 100.0	6 0.4	188 13.7	1,139 83.3	35 2.6
男性 前期高齢者	644 100.0	2 0.3	68 10.6	560 87.0	14 2.2
女性 前期高齢者	718 100.0	4 0.6	119 16.6	574 79.9	21 2.9
後期高齢者	1,420 100.0	7 0.5	229 16.1	1,083 76.3	101 7.1
男性 後期高齢者	573 100.0	3 0.5	83 14.5	456 79.6	31 5.4
女性 後期高齢者	826 100.0	4 0.5	142 17.2	616 74.6	64 7.7
(再掲)85歳以上	288 100.0	0 0.0	51 17.7	203 70.5	34 11.8
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	0 0.0	21 20.4	74 71.8	8 7.8
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	0 0.0	29 16.3	128 71.9	21 11.8

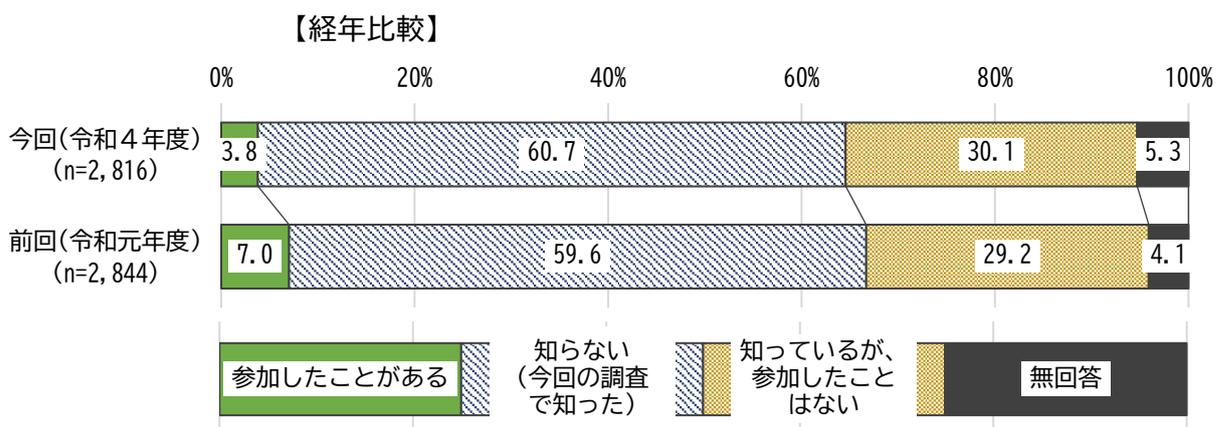
上段：人数
下段：％

16. 65歳からの健康づくり事業(介護予防事業)等について

(1) 介護予防実施の場の参加経験

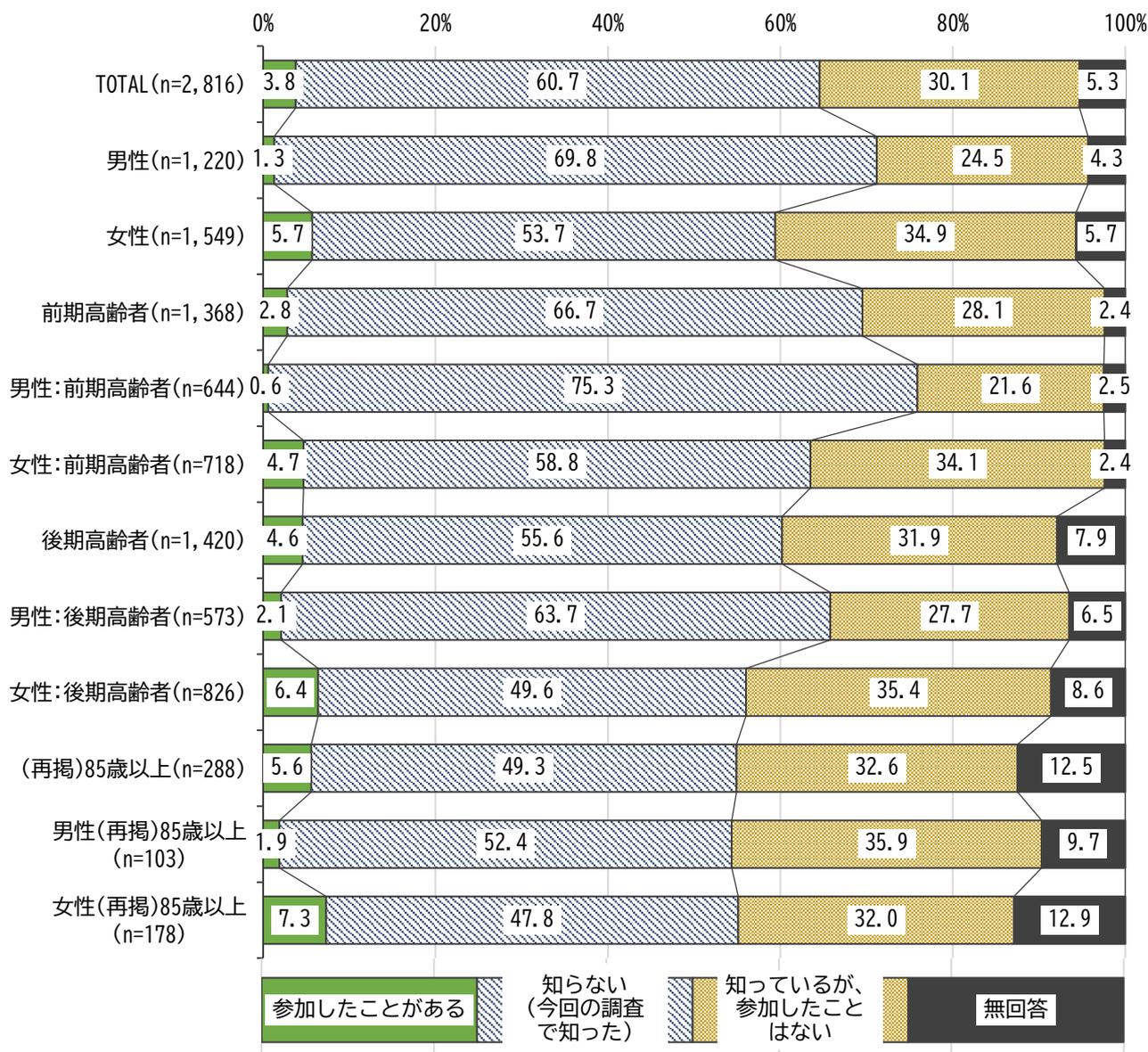
問 39 市で実施している介護予防に関する講演会・講座や地域での住民主体の介護予防実施の場に参加したことがありますか。(1つに○)

市で実施している介護予防に関する講演会・講座や地域での住民主体の介護予防実施の場への参加については、「参加したことがある」が3.8%、「知っているが、参加したことはない」が30.1%となっています。一方、「知らない(今回の調査で知った)」は60.7%となっています。



第2章 調査結果の詳細

【基本属性別 (%)】



性別にみると、男性では「知らない(今回の調査で知った)」、女性では「知っているが、参加したことはない」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「知らない(今回の調査で知った)」、後期高齢者では「参加したことがある」、「知っているが、参加したことはない」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=	参加したことがある	（知らない 今回の調査で知った）	知っているが、 参加していない	無回答	上段：人数 下段：％
TOTAL	2,816 100.0	107 3.8	1,710 60.7	849 30.1	150 5.3	
男性	1,220 100.0	16 1.3	852 69.8	299 24.5	53 4.3	
女性	1,549 100.0	88 5.7	832 53.7	540 34.9	89 5.7	
前期高齢者	1,368 100.0	38 2.8	912 66.7	385 28.1	33 2.4	
男性 前期高齢者	644 100.0	4 0.6	485 75.3	139 21.6	16 2.5	
女性 前期高齢者	718 100.0	34 4.7	422 58.8	245 34.1	17 2.4	
後期高齢者	1,420 100.0	66 4.6	789 55.6	453 31.9	112 7.9	
男性 後期高齢者	573 100.0	12 2.1	365 63.7	159 27.7	37 6.5	
女性 後期高齢者	826 100.0	53 6.4	410 49.6	292 35.4	71 8.6	
(再掲)85歳以上	288 100.0	16 5.6	142 49.3	94 32.6	36 12.5	
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	2 1.9	54 52.4	37 35.9	10 9.7	
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	13 7.3	85 47.8	57 32.0	23 12.9	

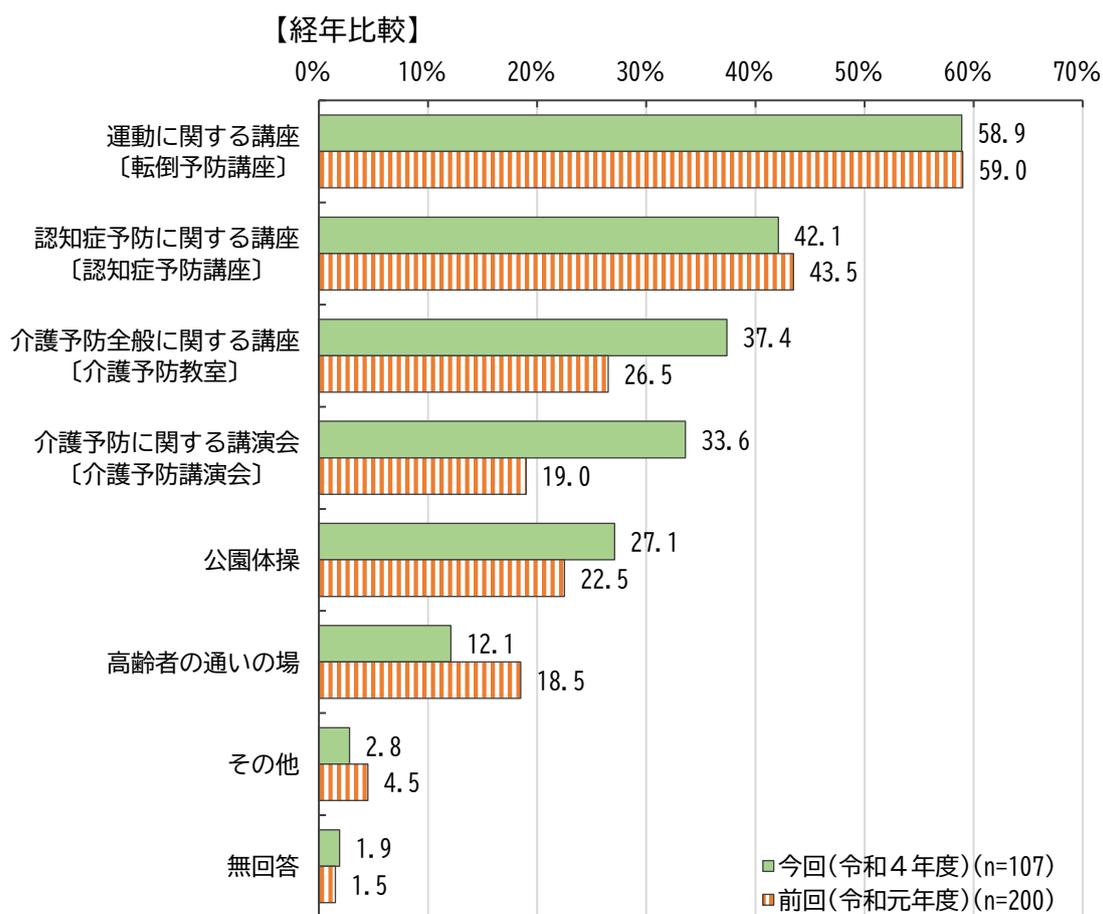
第2章 調査結果の詳細

(2) 参加したことがある介護予防に関する講座や講演会、事業

参加したことがある方(問39で「1. 参加したことがある」と回答した方)のみお答えください。

問39-1 次のうち、参加したことがある講座や講演会、事業は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

介護予防に関する事業に参加したことがある方で、参加した講座や講演会は「運動に関する講座(転倒予防講座)」が58.9%で最も高く、次いで「認知症予防に関する講座(認知症予防講座)」が42.1%、「介護予防全般に関する講座(介護予防教室)」が37.4%、「介護予防に関する講演会(介護予防講演会)」が33.6%の順で3割を超えています。



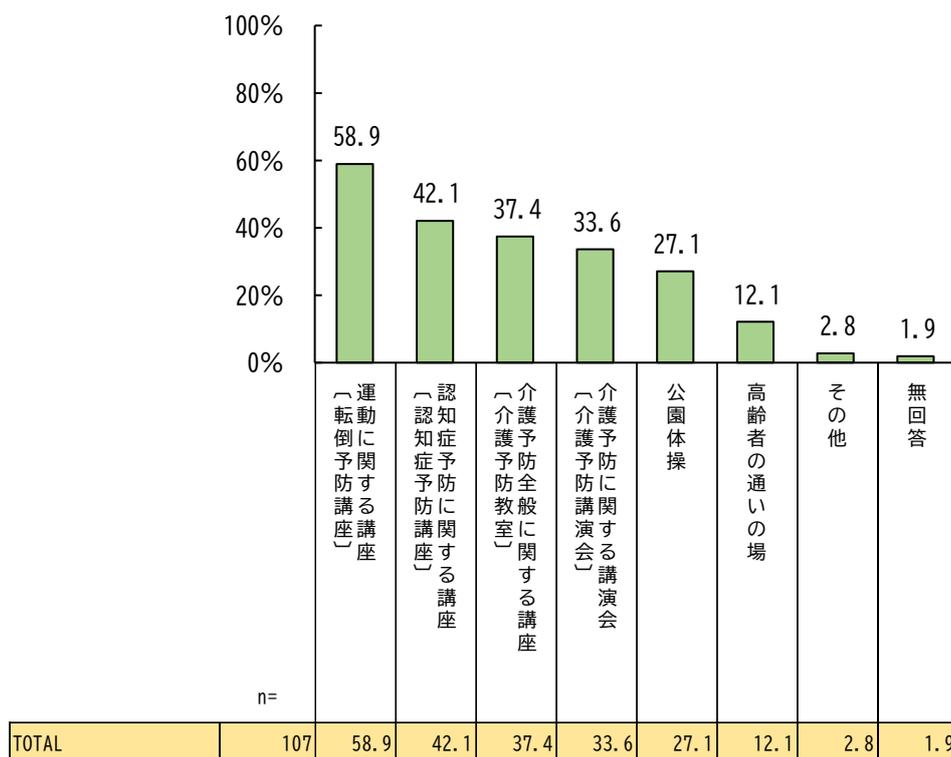
※令和4年度と令和元年度では名称が変わった介護予防教室がありますが、内容は同じと想定して比較しています。

R1〔ロコモ予防チャレンジ教室〕→R4〔転倒予防講座〕

R1〔認知症予防講座、認知機能アップ教室〕→R4〔認知症予防講座〕

R1〔元気はつらつ健康講座〕→R4〔介護予防教室〕

【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

【基本属性別（人数・％）】

	n=	運動に関する講座 〔転倒予防する講座〕	認知症予防に関する講座 〔認知症予防に関する講座〕	介護予防全般に関する講座 〔介護予防教室〕	介護予防に関する講演会 〔介護予防に関する講演会〕	公園体操	高齢者の通いの場	その他	無回答
TOTAL	107 100.0	63 58.9	45 42.1	40 37.4	36 33.6	29 27.1	13 12.1	3 2.8	2 1.9
男性	16 100.0	9 56.3	5 31.3	4 25.0	5 31.3	3 18.8	1 6.3	0 0.0	1 6.3
女性	88 100.0	52 59.1	40 45.5	36 40.9	30 34.1	24 27.3	12 13.6	3 3.4	1 1.1
前期高齢者	38 100.0	20 52.6	17 44.7	17 44.7	11 28.9	12 31.6	4 10.5	2 5.3	0 0.0
男性 前期高齢者	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
女性 前期高齢者	34 100.0	18 52.9	16 47.1	16 47.1	9 26.5	11 32.4	4 11.8	2 5.9	0 0.0
後期高齢者	66 100.0	41 62.1	27 40.9	23 34.8	25 37.9	15 22.7	9 13.6	1 1.5	2 3.0
男性 後期高齢者	12 100.0	7 58.3	4 33.3	3 25.0	3 25.0	2 16.7	1 8.3	0 0.0	1 8.3
女性 後期高齢者	53 100.0	33 62.3	23 43.4	20 37.7	21 39.6	13 24.5	8 15.1	1 1.9	1 1.9
(再掲)85歳以上	16 100.0	11 68.8	4 25.0	3 18.8	6 37.5	4 25.0	2 12.5	0 0.0	0 0.0
男性(再掲)85歳以上	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
女性(再掲)85歳以上	13 100.0	8 61.5	4 30.8	3 23.1	5 38.5	2 15.4	2 15.4	0 0.0	0 0.0

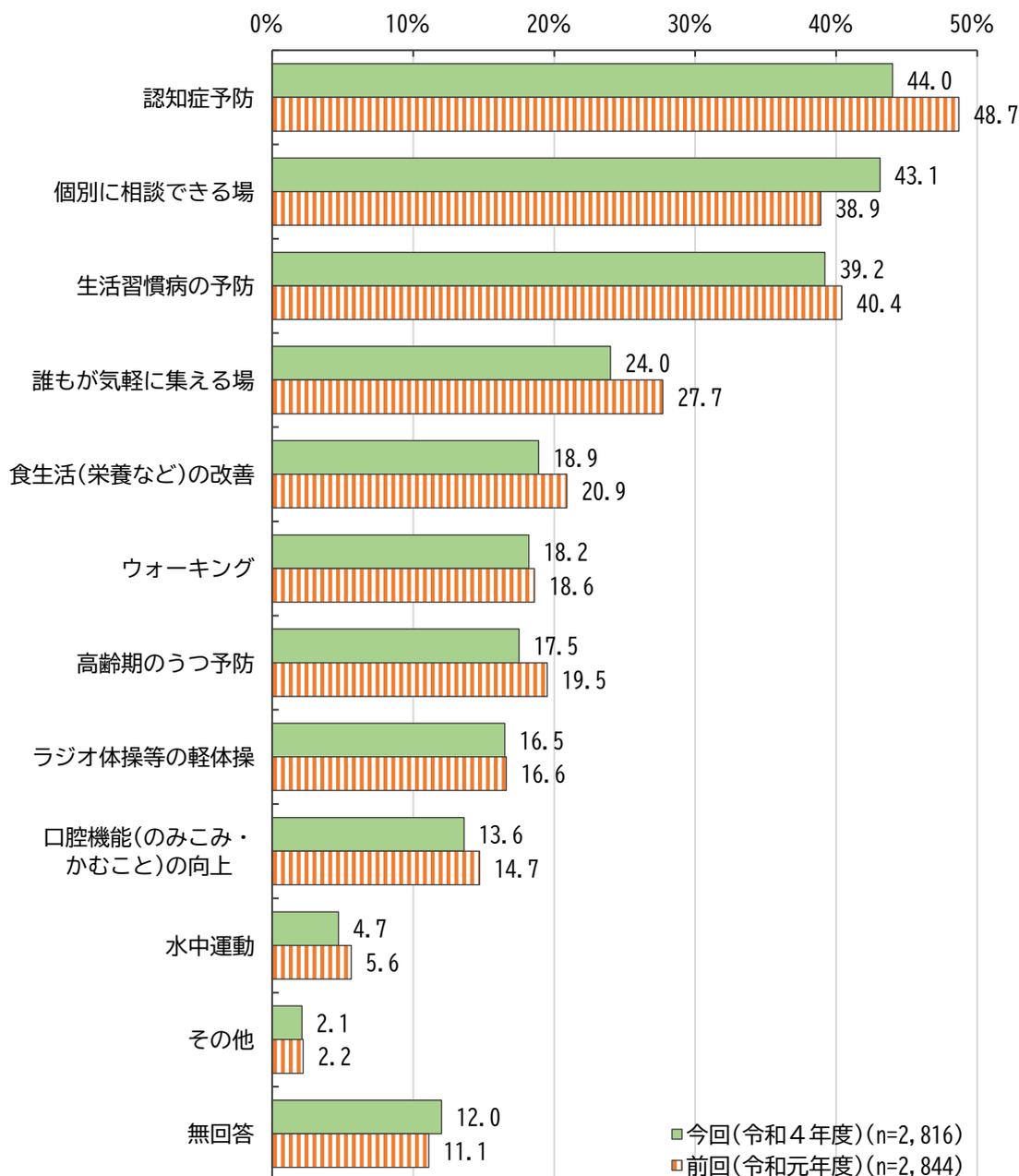
上段：人数
下段：％

(3) 介護予防に関して、力を入れてほしいこと

問 40 介護予防に関して、今後、市に力を入れてほしいことは何ですか。
(特にあてはまるもの5つまでに○)

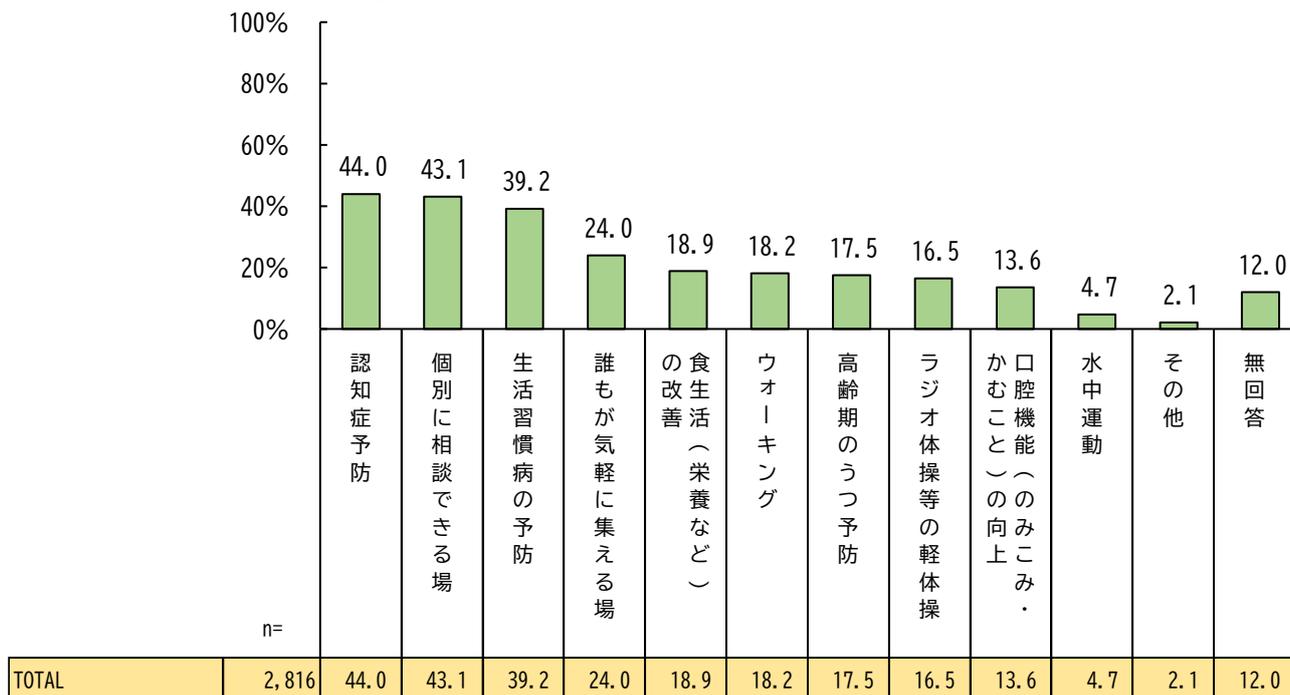
介護予防に関して、今後、市に力を入れてほしいことは、「認知症予防」が44.0%と最も高く、次いで「個別に相談できる場」が43.1%、「生活習慣病の予防」が39.2%の順となっています。

【経年比較】



第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



性別にみると、男性では「認知症予防」、「生活習慣病の予防」、女性では「誰もが気軽に集える場」、「ラジオ体操等の軽体操」などの割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「認知症予防」、「個別に相談できる場」、「生活習慣病の予防」、「ウォーキング」、「高齢期のうつ予防」などの割合が全体に対して高くなっています。

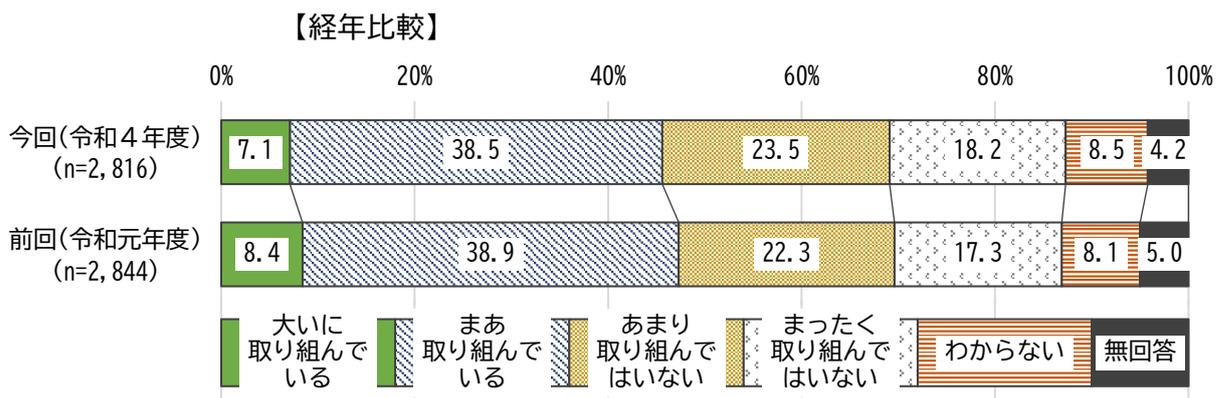
【基本属性別（人数・％）】

	認知症予防	個別に相談できる場	生活習慣病の予防	誰もが気軽に集える場	善食生活（栄養など）の改	ウォーキング	高齢期のうつ予防	ラジオ体操等の軽体操	かむこと（のみこみ・口腔機能）の向上	水中運動	その他	無回答	上段：人数 下段：％
n=													
TOTAL	2,816 100.0	1,240 44.0	1,213 43.1	1,103 39.2	676 24.0	532 18.9	513 18.2	494 17.5	464 16.5	383 13.6	133 4.7	58 2.1	337 12.0
男性	1,220 100.0	584 47.9	533 43.7	564 46.2	251 20.6	227 18.6	264 21.6	199 16.3	158 13.0	155 12.7	51 4.2	33 2.7	116 9.5
女性	1,549 100.0	644 41.6	665 42.9	528 34.1	407 26.3	298 19.2	242 15.6	288 18.6	296 19.1	222 14.3	79 5.1	25 1.6	211 13.6
前期高齢者	1,368 100.0	659 48.2	658 48.1	563 41.2	327 23.9	257 18.8	273 20.0	258 18.9	232 17.0	185 13.5	75 5.5	28 2.0	105 7.7
男性 前期高齢者	644 100.0	338 52.5	302 46.9	330 51.2	130 20.2	119 18.5	153 23.8	110 17.1	81 12.6	83 12.9	27 4.2	17 2.6	39 6.1
女性 前期高齢者	718 100.0	320 44.6	353 49.2	231 32.2	193 26.9	138 19.2	120 16.7	147 20.5	151 21.0	101 14.1	48 6.7	11 1.5	66 9.2
後期高齢者	1,420 100.0	572 40.3	547 38.5	531 37.4	341 24.0	270 19.0	236 16.6	231 16.3	224 15.8	192 13.5	55 3.9	30 2.1	228 16.1
男性 後期高齢者	573 100.0	246 42.9	231 40.3	234 40.8	121 21.1	107 18.7	111 19.4	89 15.5	77 13.4	72 12.6	23 4.0	16 2.8	76 13.3
女性 後期高齢者	826 100.0	320 38.7	310 37.5	294 35.6	213 25.8	159 19.2	122 14.8	140 16.9	143 17.3	120 14.5	31 3.8	14 1.7	145 17.6
(再掲)85歳以上	288 100.0	88 30.6	98 34.0	96 33.3	74 25.7	44 15.3	41 14.2	37 12.8	34 11.8	35 12.2	11 3.8	4 1.4	62 21.5
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	39 37.9	43 41.7	40 38.8	24 23.3	17 16.5	21 20.4	14 13.6	12 11.7	15 14.6	1 1.0	1 1.0	17 16.5
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	48 27.0	54 30.3	56 31.5	47 26.4	26 14.6	19 10.7	23 12.9	21 11.8	20 11.2	9 5.1	3 1.7	42 23.6

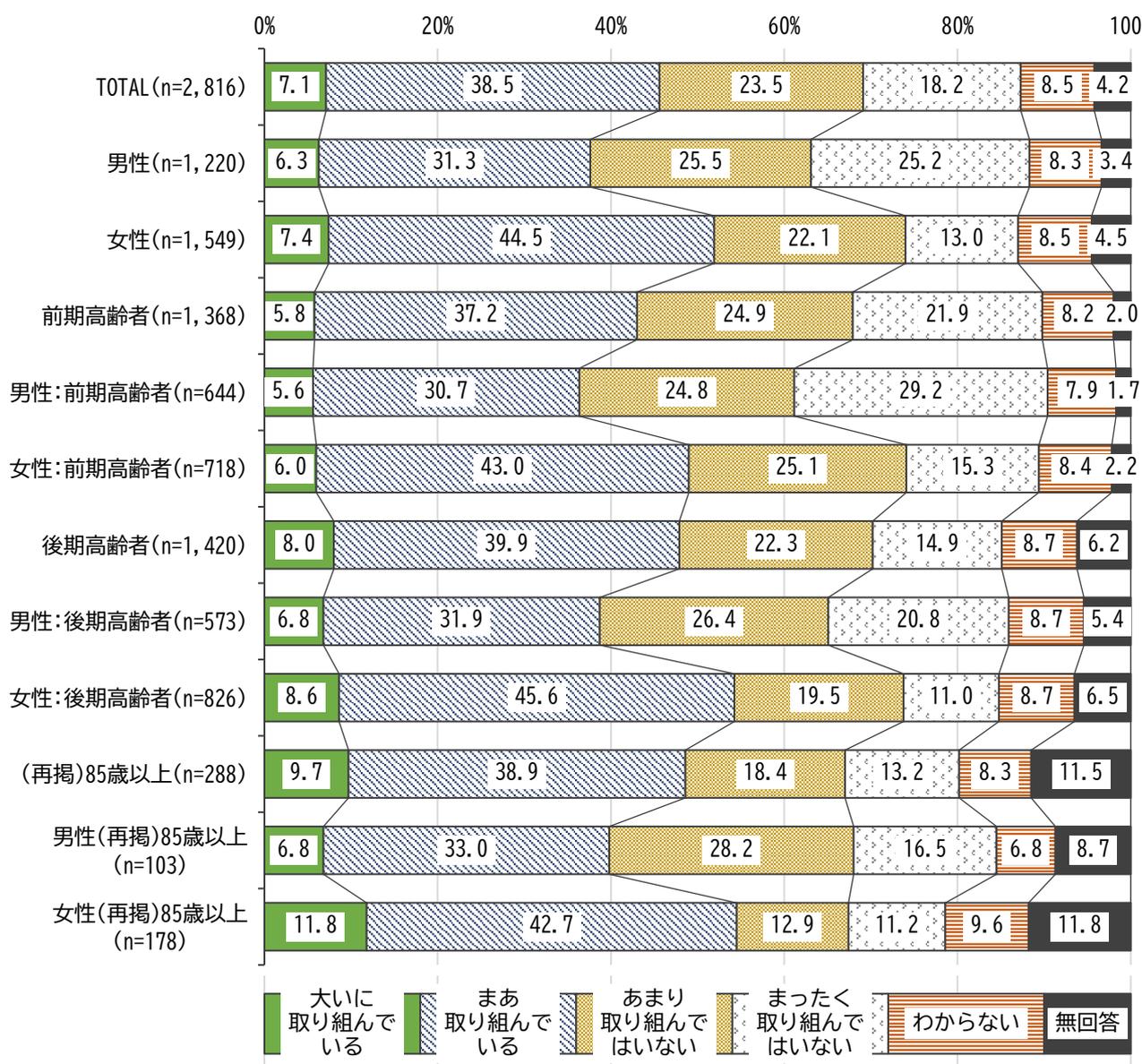
(4) 普段の介護予防の取り組み状況

問 41 あなたは普段、介護予防にどのくらい取り組んでいますか。(1つに○)

普段の介護予防の取り組み状況は、「大いに取り組んでいる」が 7.1%、「まあ取り組んでいる」が 38.5% 「あまり取り組んではない」が 23.5%、「まったく取り組んではない」が 18.2%となっています。「大いに取り組んでいる」「まあ取り組んでいる」を合わせた『取り組んでいる』が 45.6%、「あまり取り組んではない」と「まったく取り組んではない」を合わせた『取り組んでいない』が 41.7%となっています。



【基本属性別 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では『取り組んでいない』、女性では『取り組んでいる』の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者で『取り組んでいない』、後期高齢者で『取り組んでいる』の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=							上段：人数 下段：％
	大いに取り組んでいる	まあ取り組んでいる	あまり取り組んではいない	まったく取り組んではいない	わからない	無回答		
TOTAL	2,816 100.0	199 7.1	1,085 38.5	662 23.5	513 18.2	239 8.5	118 4.2	
男性	1,220 100.0	77 6.3	382 31.3	311 25.5	307 25.2	101 8.3	42 3.4	
女性	1,549 100.0	115 7.4	689 44.5	342 22.1	201 13.0	132 8.5	70 4.5	
前期高齢者	1,368 100.0	80 5.8	509 37.2	341 24.9	299 21.9	112 8.2	27 2.0	
男性 前期高齢者	644 100.0	36 5.6	198 30.7	160 24.8	188 29.2	51 7.9	11 1.7	
女性 前期高齢者	718 100.0	43 6.0	309 43.0	180 25.1	110 15.3	60 8.4	16 2.2	
後期高齢者	1,420 100.0	113 8.0	566 39.9	317 22.3	212 14.9	124 8.7	88 6.2	
男性 後期高齢者	573 100.0	39 6.8	183 31.9	151 26.4	119 20.8	50 8.7	31 5.4	
女性 後期高齢者	826 100.0	71 8.6	377 45.6	161 19.5	91 11.0	72 8.7	54 6.5	
(再掲)85歳以上	288 100.0	28 9.7	112 38.9	53 18.4	38 13.2	24 8.3	33 11.5	
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	7 6.8	34 33.0	29 28.2	17 16.5	7 6.8	9 8.7	
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	21 11.8	76 42.7	23 12.9	20 11.2	17 9.6	21 11.8	

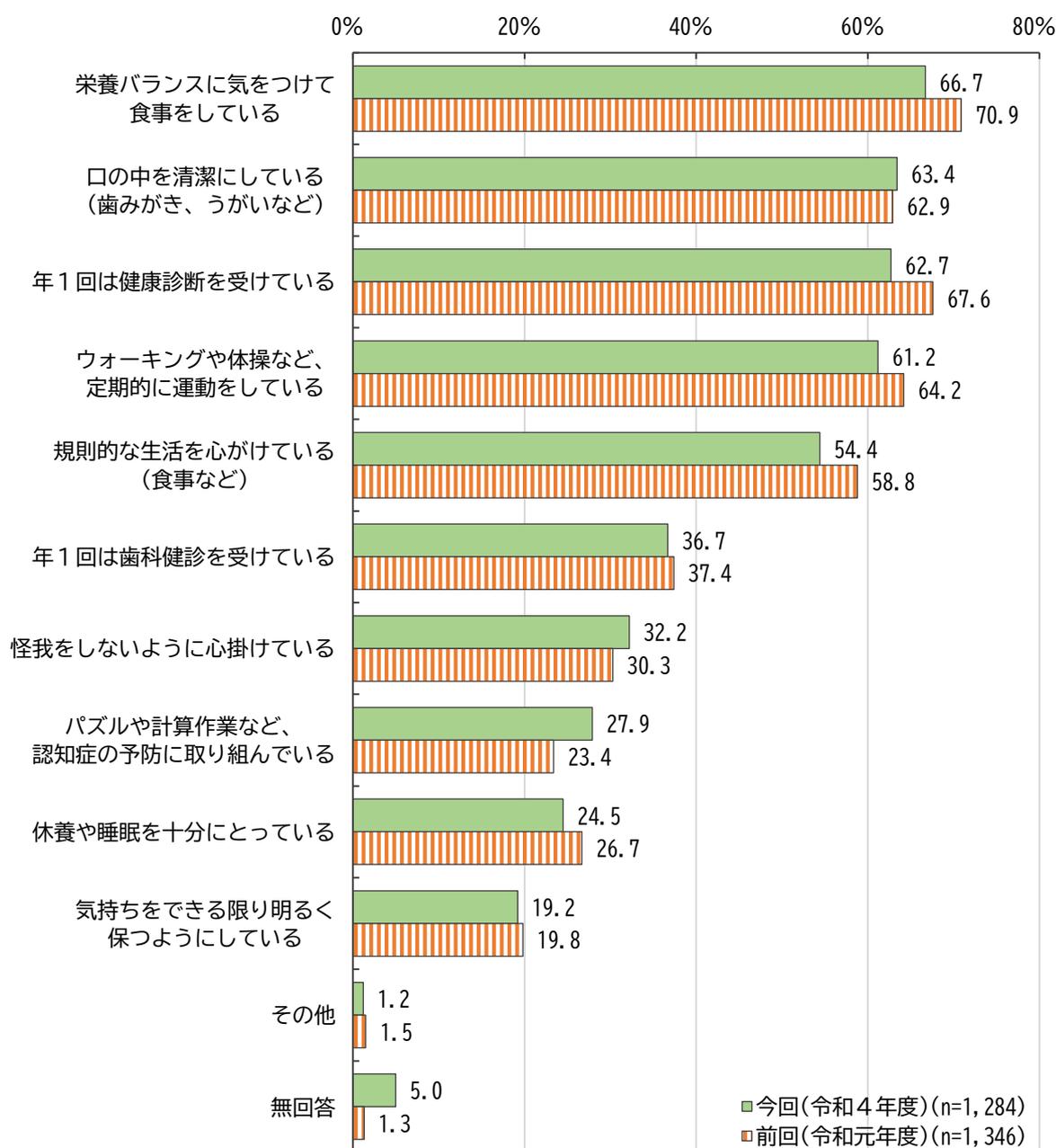
(5) 介護予防の具体的な取り組み

問41で「1. 大いに取り組んでいる」「2. まあ取り組んでいる」と回答した方にうかがいます。

問41-1 あなたは普段、介護予防としてどのようなことに取り組んでいますか。
(特にあてはまるもの5つまでに○)

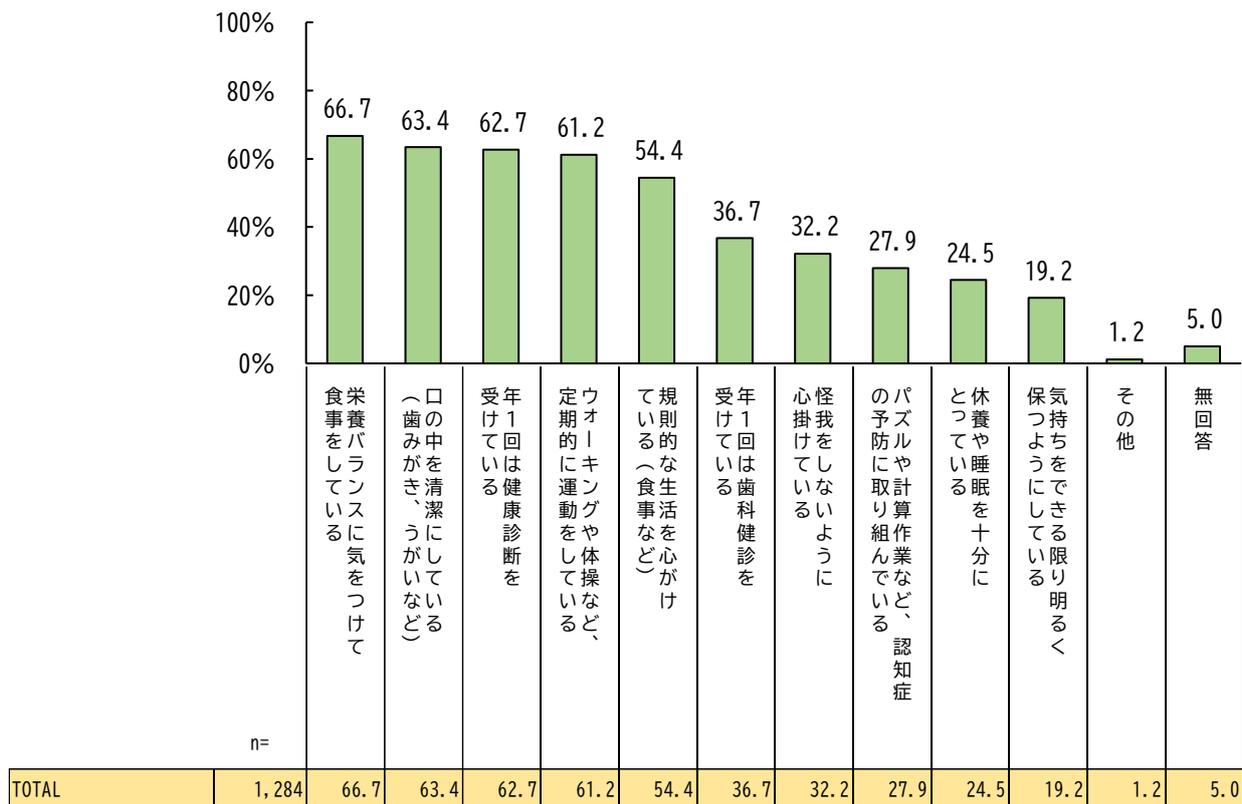
介護予防に取り組んでいる方の具体的な取り組みは、「栄養バランスに気をつけて食事をしている」が66.7%、次いで「口の中を清潔にしている(歯みがき、うがいなど)」が63.4%、「年1回は健康診断を受けている」が62.7%、「ウォーキングや体操など、定期的に運動をしている」が61.2%、「規則的な生活を心がけている(食事など)」が54.4%の順となっています。

【経年比較】



第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



性別にみると、男性では「年1回は健康診断を受けている」、「ウォーキングや体操など、定期的に運動をしている」、「休養や睡眠を十分にとっている」、女性では「栄養バランスに気をつけて食事をしている」、「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」、「年1回は歯科健診を受けている」、「怪我をしないように心掛けている」、「パズルや計算作業など、認知症の予防に取り組んでいる」の割合が全体に対して比較的高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者で「ウォーキングや体操など、定期的に運動をしている」、後期高齢者では「怪我をしないように心掛けている」、「パズルや計算作業など、認知症の予防に取り組んでいる」、「休養や睡眠を十分にとっている」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

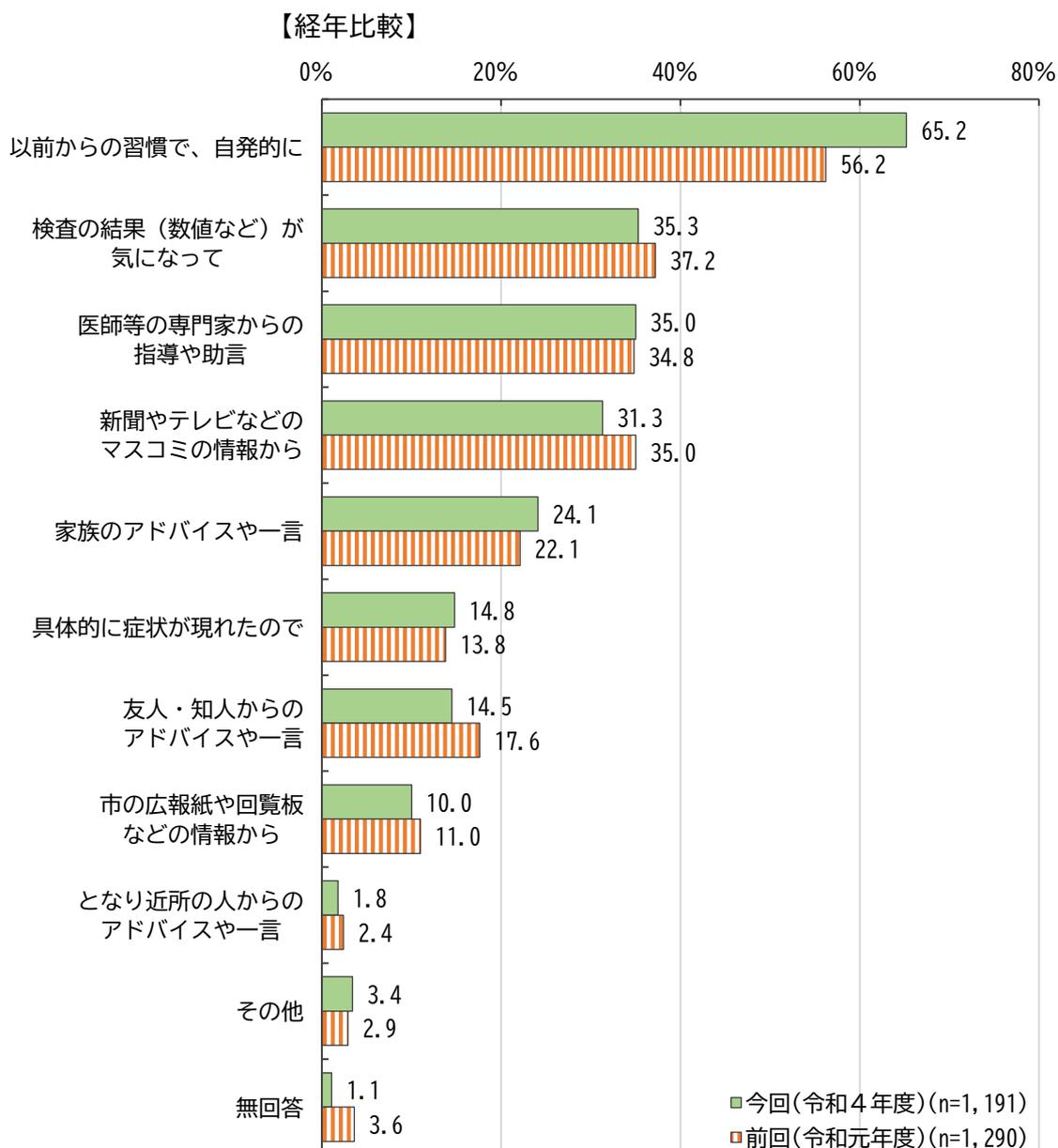
n=	栄養バランスに気をつけて	（口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど））	年1回は健康診断を受けている	定期的にウォーキングや体操など、	（規則的な生活（食事など））を心がけている	年1回は歯科健診を受けている	怪我をしないように心掛けている	パズルや計算作業など、認知症	休養や睡眠を十分にとっている	気持ちよさをできる限り明るく保つよう	その他	無回答	上段：人数 下段：％
	TOTAL	1,284 100.0	857 66.7	814 63.4	805 62.7	786 61.2	699 54.4	471 36.7	414 32.2	358 27.9	314 24.5	246 19.2	16 1.2
男性	459 100.0	274 59.7	260 56.6	295 64.3	315 68.6	243 52.9	141 30.7	108 23.5	105 22.9	125 27.2	61 13.3	4 0.9	31 6.8
女性	804 100.0	569 70.8	543 67.5	499 62.1	454 56.5	444 55.2	323 40.2	296 36.8	248 30.8	181 22.5	180 22.4	11 1.4	32 4.0
前期高齢者	589 100.0	391 66.4	367 62.3	366 62.1	384 65.2	312 53.0	211 35.8	150 25.5	150 25.5	125 21.2	103 17.5	9 1.5	21 3.6
男性 前期高齢者	234 100.0	142 60.7	130 55.6	157 67.1	178 76.1	125 53.4	80 34.2	44 18.8	48 20.5	55 23.5	25 10.7	3 1.3	10 4.3
女性 前期高齢者	352 100.0	246 69.9	237 67.3	209 59.4	203 57.7	184 52.3	130 36.9	105 29.8	102 29.0	69 19.6	76 21.6	6 1.7	11 3.1
後期高齢者	679 100.0	456 67.2	435 64.1	431 63.5	388 57.1	377 55.5	255 37.6	257 37.8	203 29.9	183 27.0	141 20.8	6 0.9	43 6.3
男性 後期高齢者	222 100.0	130 58.6	128 57.7	137 61.7	134 60.4	117 52.7	59 26.6	64 28.8	56 25.2	68 30.6	35 15.8	1 0.5	21 9.5
女性 後期高齢者	448 100.0	320 71.4	303 67.6	288 64.3	247 55.1	256 57.1	193 43.1	189 42.2	144 32.1	112 25.0	103 23.0	5 1.1	21 4.7
(再掲)85歳以上	140 100.0	98 70.0	90 64.3	98 70.0	71 50.7	87 62.1	54 38.6	61 43.6	39 27.9	43 30.7	38 27.1	0 0.0	9 6.4
男性(再掲)85歳以上	41 100.0	23 56.1	24 58.5	30 73.2	24 58.5	23 56.1	13 31.7	9 22.0	7 17.1	14 34.1	8 19.5	0 0.0	4 9.8
女性(再掲)85歳以上	97 100.0	74 76.3	64 66.0	66 68.0	45 46.4	63 64.9	39 40.2	51 52.6	32 33.0	29 29.9	29 29.9	0 0.0	5 5.2

(6) 介護予防に取り組むことになった主なきっかけ

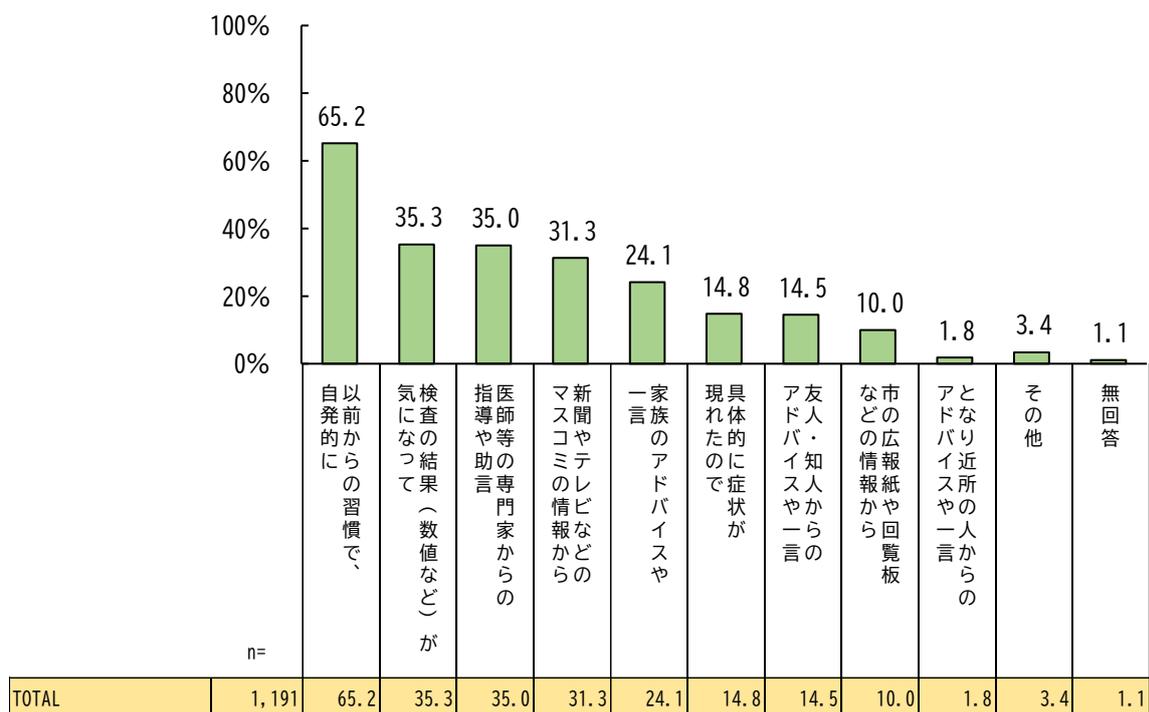
問 41-1 で「1」～「5」のいずれかを1つ以上選択した方にうかがいます。

問 41-2 取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。
(特にあてはまるもの5つまでに○)

介護予防に取り組むことになった主なきっかけは、「以前からの習慣で、自発的に」が65.2%と最も高く、次いで「検査の結果(数値など)が気になって」が35.3%、「医師等の専門家からの指導や助言」が35.0%、「新聞やテレビなどのマスコミの情報から」が31.3%の順となっています。



【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「検査の結果（数値など）が気になって」、「医師等の専門家からの指導や助言」、「家族のアドバイスや一言」、「具体的に症状が現れたので」、女性では「以前からの習慣で、自発的に」、「新聞やテレビなどのマスコミの情報から」、「友人・知人からのアドバイスや一言」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者で「検査の結果（数値など）が気になって」、「具体的に症状が現れたので」、後期高齢者では「以前からの習慣で、自発的に」、「新聞やテレビなどのマスコミの情報から」、「友人・知人からのアドバイスや一言」、「市の広報紙や回覧板などの情報から」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

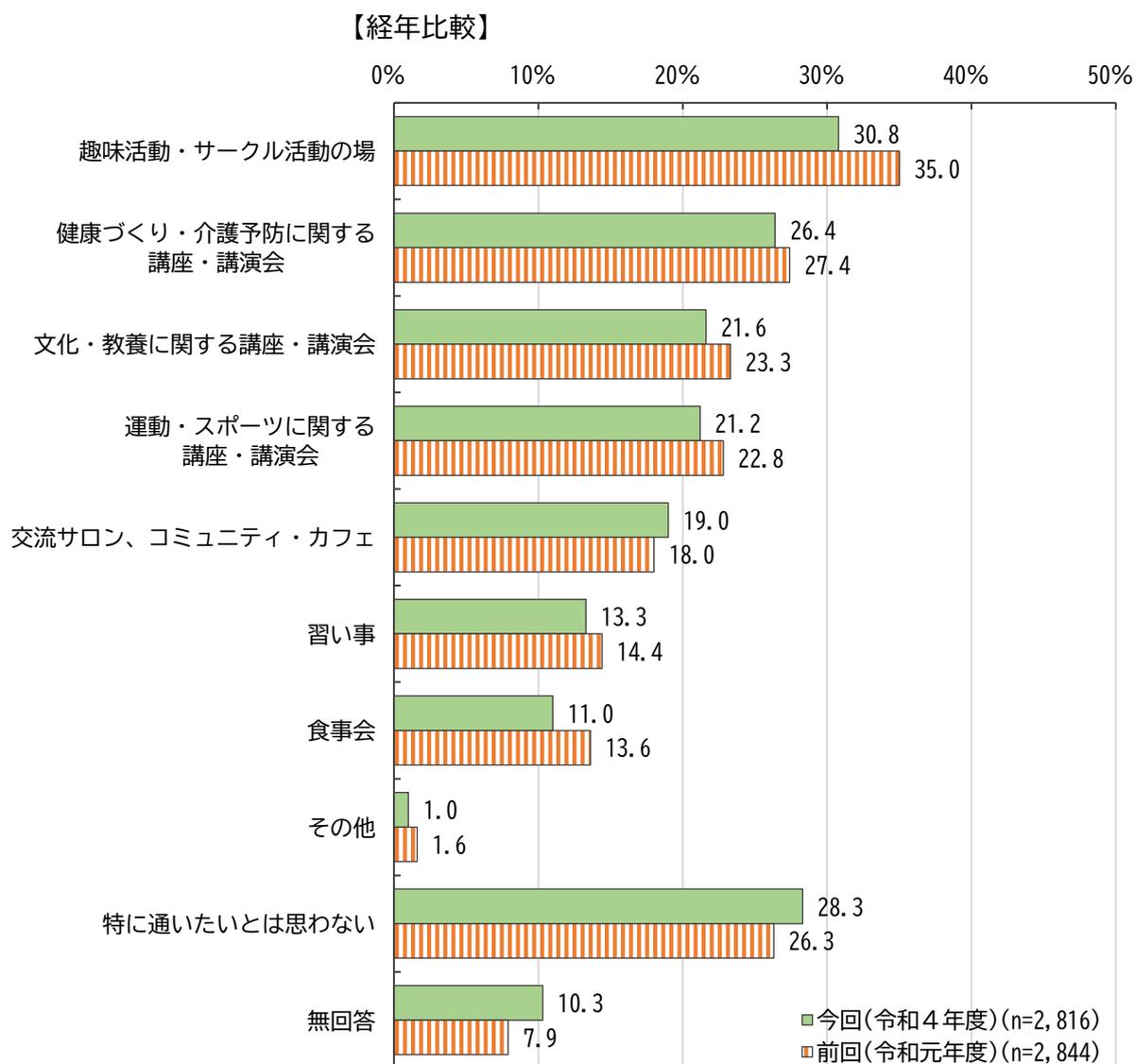
	n=	自発的に以前からの習慣で、	が検査の結果（数値など）	指 導 師 等 の 助 言 専 門 家 からの	マ 新 ス コ ヤ コ ミ の テ レ ビ 情 報 などの	一 家 族 の ア ド バ イ ス や	現 具 体 的 に 症 状 が	ア 友 人 バ ・ 知 人 か ら の	な 市 の 広 情 報 紙 か ら 回 覧 板	ア と なる バ イ 近 所 の 一 人 からの	そ の 他	無 回 答	上段：人数 下段：％
TOTAL	1,191 100.0	776 65.2	420 35.3	417 35.0	373 31.3	287 24.1	176 14.8	173 14.5	119 10.0	21 1.8	40 3.4	13 1.1	
男性	419 100.0	244 58.2	196 46.8	172 41.1	106 25.3	143 34.1	77 18.4	50 11.9	34 8.1	3 0.7	7 1.7	4 1.0	
女性	752 100.0	521 69.3	219 29.1	235 31.3	261 34.7	140 18.6	95 12.6	118 15.7	82 10.9	17 2.3	32 4.3	8 1.1	
前期高齢者	558 100.0	345 61.8	217 38.9	193 34.6	163 29.2	131 23.5	93 16.7	69 12.4	43 7.7	7 1.3	25 4.5	4 0.7	
男性 前期高齢者	220 100.0	123 55.9	110 50.0	90 40.9	50 22.7	76 34.5	47 21.4	22 10.0	12 5.5	0 0.0	6 2.7	1 0.5	
女性 前期高齢者	335 100.0	221 66.0	106 31.6	102 30.4	112 33.4	55 16.4	45 13.4	47 14.0	31 9.3	7 2.1	18 5.4	3 0.9	
後期高齢者	617 100.0	422 68.4	197 31.9	217 35.2	207 33.5	151 24.5	77 12.5	101 16.4	75 12.2	14 2.3	15 2.4	9 1.5	
男性 後期高齢者	196 100.0	119 60.7	85 43.4	82 41.8	56 28.6	65 33.2	29 14.8	27 13.8	22 11.2	3 1.5	1 0.5	3 1.5	
女性 後期高齢者	413 100.0	298 72.2	110 26.6	131 31.7	148 35.8	84 20.3	48 11.6	70 16.9	51 12.3	10 2.4	14 3.4	5 1.2	
(再掲)85歳以上	128 100.0	84 65.6	37 28.9	48 37.5	38 29.7	33 25.8	15 11.7	20 15.6	18 14.1	2 1.6	4 3.1	2 1.6	
男性(再掲)85歳以上	37 100.0	20 54.1	14 37.8	16 43.2	7 18.9	12 32.4	3 8.1	4 10.8	2 5.4	0 0.0	0 0.0	1 2.7	
女性(再掲)85歳以上	89 100.0	64 71.9	22 24.7	31 34.8	31 34.8	20 22.5	12 13.5	15 16.9	15 16.9	2 2.2	4 4.5	0 0.0	

17. 介護予防・日常生活支援総合事業について

(1) 交流できる通いの場として通いたいもの

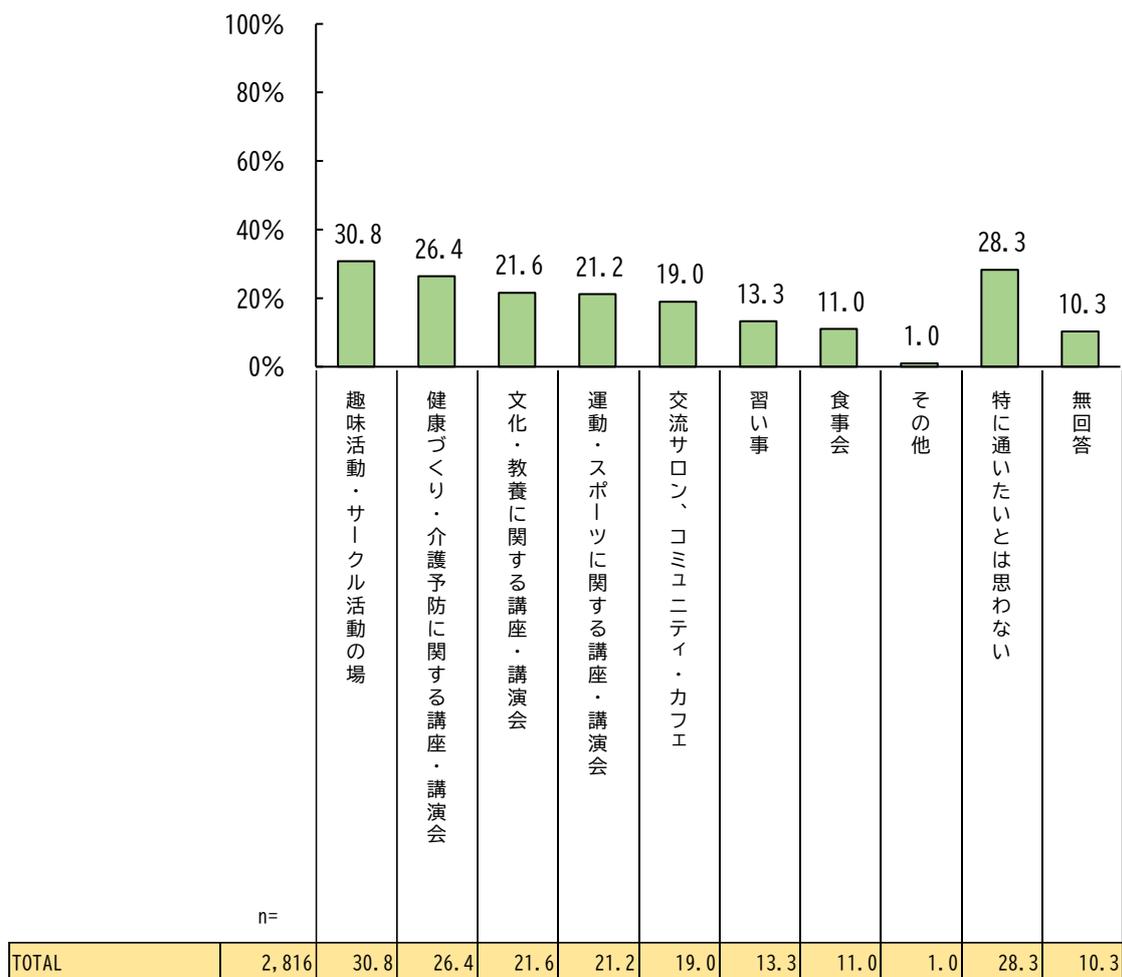
問42 交流できる通いの場として、どのようなものがあれば通いたいと思いますか。
現在通っているものも含めてお答えください。(特にあてはまるもの5つまでに○)

交流できる通いの場として通いたいものは、「趣味活動・サークル活動の場」が30.8%で最も高く、次いで「健康づくり・介護予防に関する講座・講演会」が26.4%、「文化・教養に関する講座・講演会」が21.6%、「運動・スポーツに関する講座・講演会」が21.2%の順となっています。



第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



性別にみると、男性では「趣味活動・サークル活動の場」、「健康づくり・介護予防に関する講座・講演会」、「文化・教養に関する講座・講演会」、「運動・スポーツに関する講座・講演会」、女性では「交流サロン、コミュニティ・カフェ」、「習い事」、「食事会」の割合が全体に対して高くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者で「趣味活動・サークル活動の場」、「健康づくり・介護予防に関する講座・講演会」、「文化・教養に関する講座・講演会」、「運動・スポーツに関する講座・講演会」、「習い事」、後期高齢者では「食事会」の割合が全体に対して高くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

n=	趣味活動・サークル	健康づくり・介護予防に	講座・講演会に関する	運動・スポーツに関する	交流サロン、コミュニティ・カフェ	習い事	食事会	その他	思わにないとは	無回答	上段：人数	下段：％
TOTAL	2,816 100.0	868 30.8	743 26.4	608 21.6	597 21.2	536 19.0	375 13.3	311 11.0	29 1.0	797 28.3	290 10.3	
男性	1,220 100.0	395 32.4	333 27.3	297 24.3	286 23.4	197 16.1	107 8.8	95 7.8	9 0.7	375 30.7	99 8.1	
女性	1,549 100.0	463 29.9	398 25.7	300 19.4	302 19.5	330 21.3	265 17.1	209 13.5	20 1.3	411 26.5	180 11.6	
前期高齢者	1,368 100.0	457 33.4	375 27.4	334 24.4	344 25.1	268 19.6	218 15.9	126 9.2	8 0.6	405 29.6	84 6.1	
男性 前期高齢者	644 100.0	231 35.9	186 28.9	178 27.6	179 27.8	101 15.7	72 11.2	40 6.2	2 0.3	200 31.1	28 4.3	
女性 前期高齢者	718 100.0	223 31.1	188 26.2	154 21.4	164 22.8	164 22.8	146 20.3	85 11.8	6 0.8	204 28.4	56 7.8	
後期高齢者	1,420 100.0	403 28.4	358 25.2	264 18.6	243 17.1	265 18.7	154 10.8	183 12.9	21 1.5	385 27.1	202 14.2	
男性 後期高齢者	573 100.0	162 28.3	145 25.3	118 20.6	104 18.2	95 16.6	34 5.9	55 9.6	7 1.2	175 30.5	71 12.4	
女性 後期高齢者	826 100.0	237 28.7	208 25.2	142 17.2	135 16.3	166 20.1	117 14.2	124 15.0	14 1.7	206 24.9	124 15.0	
(再掲)85歳以上	288 100.0	69 24.0	68 23.6	46 16.0	32 11.1	51 17.7	27 9.4	48 16.7	4 1.4	81 28.1	47 16.3	
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	29 28.2	24 23.3	19 18.4	12 11.7	20 19.4	3 2.9	14 13.6	1 1.0	29 28.2	13 12.6	
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	38 21.3	43 24.2	26 14.6	19 10.7	30 16.9	22 12.4	32 18.0	3 1.7	52 29.2	30 16.9	

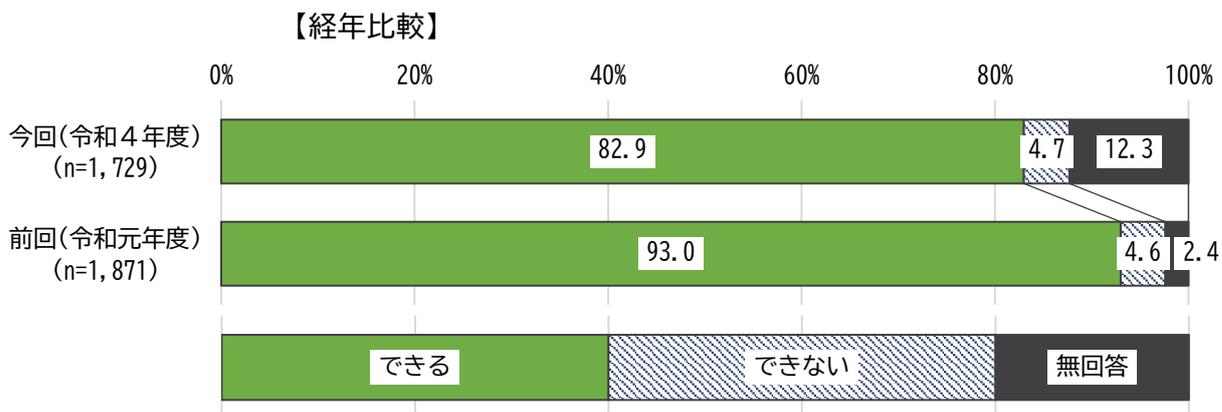
第2章 調査結果の詳細

(2) 自宅から通いの場へ通うことができるか

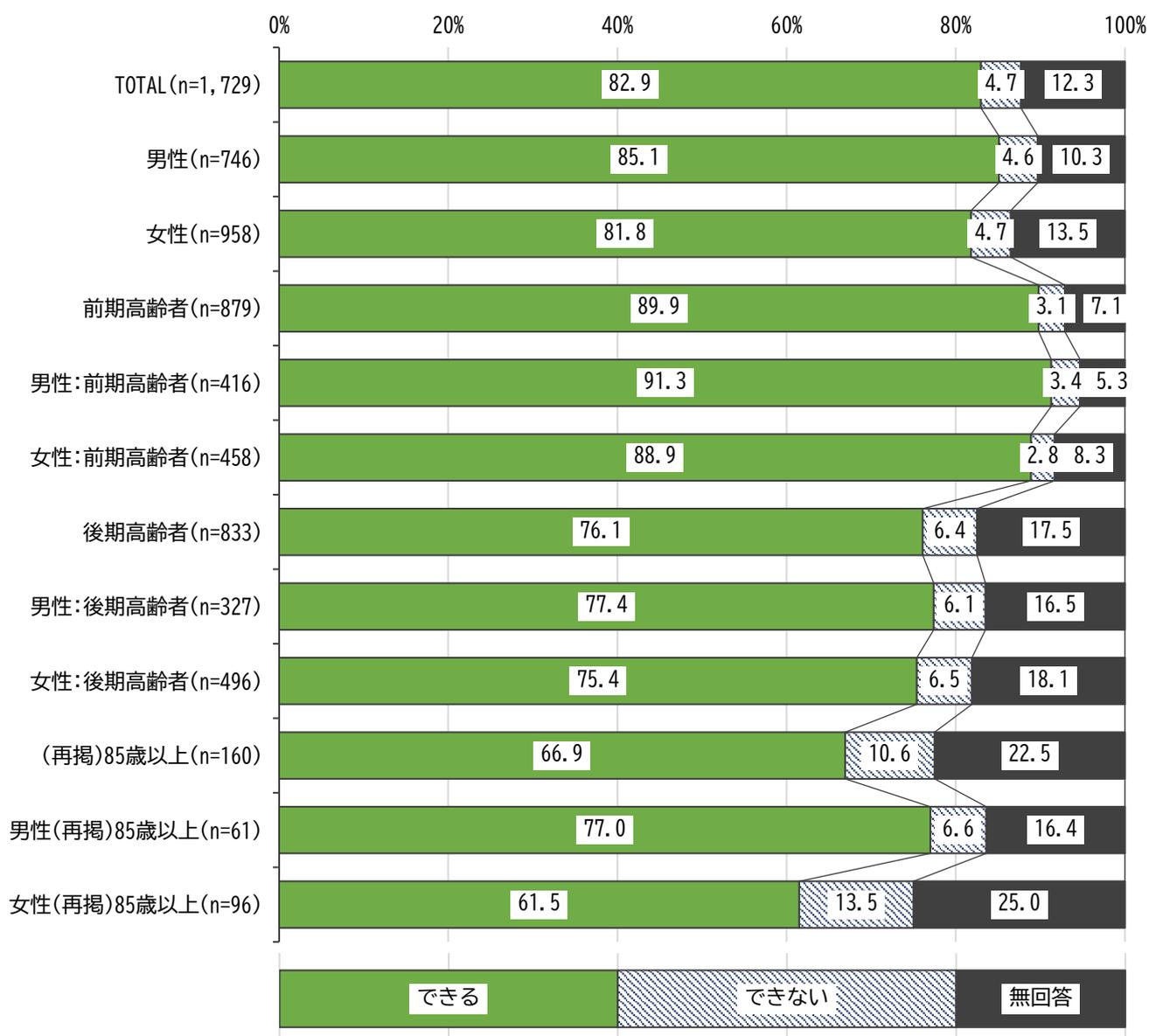
問 42 で「1」～「8」のいずれかを1つ以上選択した方にかがいます。

問 42-1 上記のような通いの場に、自宅からご自身で通うことはできますか。(1つに○)

通いの場へ自宅から自身で通うことが「できる」のは 82.9%、「できない」は 4.7%となっています。



【基本属性別 (%)】



第2章 調査結果の詳細

【基本属性別（人数・％）】

	n=	で き る	で き な い	無 回 答	上段：人数 下段：％
TOTAL	1,729 100.0	1,434 82.9	82 4.7	213 12.3	
男性	746 100.0	635 85.1	34 4.6	77 10.3	
女性	958 100.0	784 81.8	45 4.7	129 13.5	
前期高齢者	879 100.0	790 89.9	27 3.1	62 7.1	
男性 前期高齢者	416 100.0	380 91.3	14 3.4	22 5.3	
女性 前期高齢者	458 100.0	407 88.9	13 2.8	38 8.3	
後期高齢者	833 100.0	634 76.1	53 6.4	146 17.5	
男性 後期高齢者	327 100.0	253 77.4	20 6.1	54 16.5	
女性 後期高齢者	496 100.0	374 75.4	32 6.5	90 18.1	
(再掲)85歳以上	160 100.0	107 66.9	17 10.6	36 22.5	
男性(再掲)85歳以上	61 100.0	47 77.0	4 6.6	10 16.4	
女性(再掲)85歳以上	96 100.0	59 61.5	13 13.5	24 25.0	

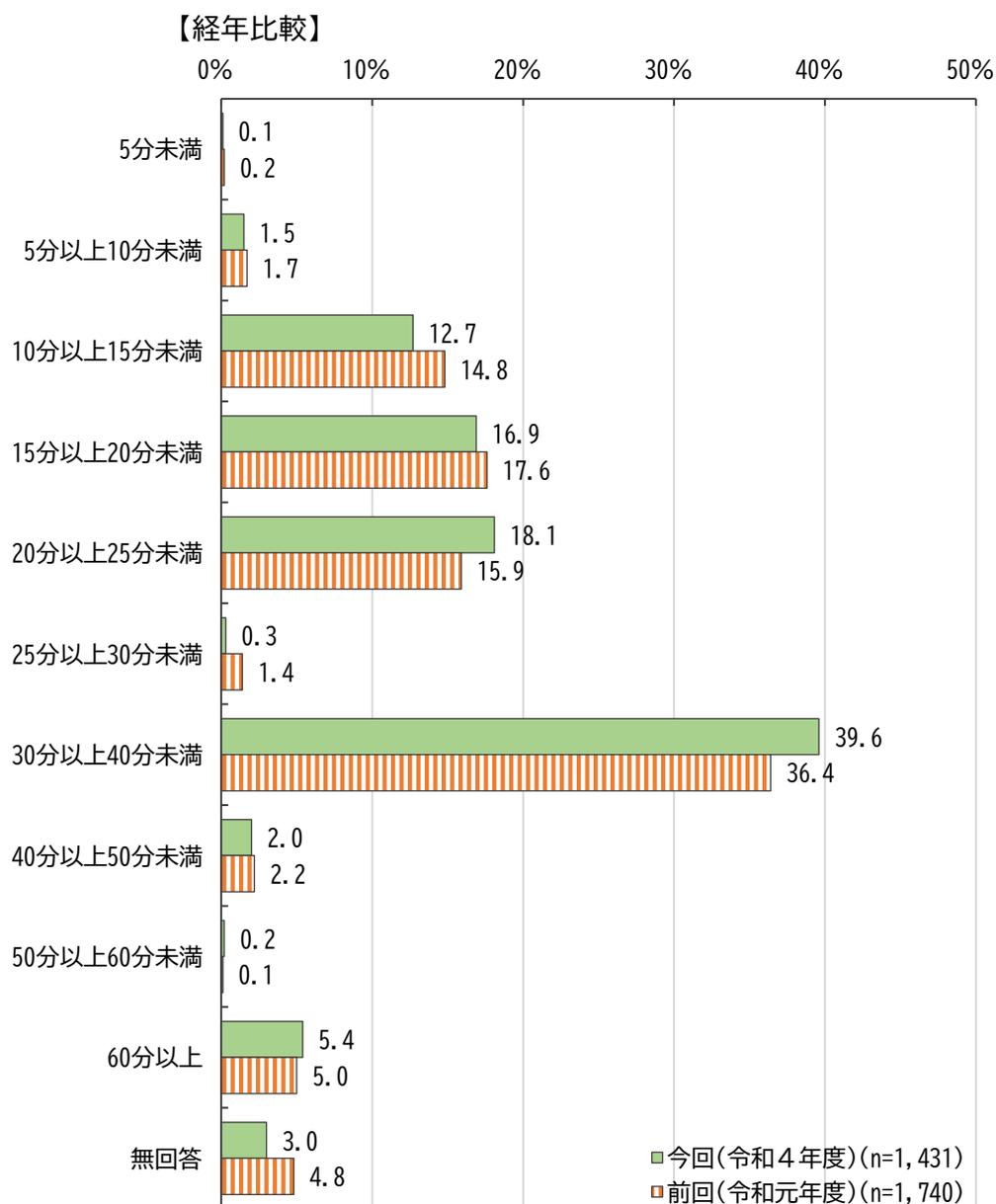
(3) 通いの場への移動時間・移動手段の希望

問 42-1 で「1. できる」と回答した方

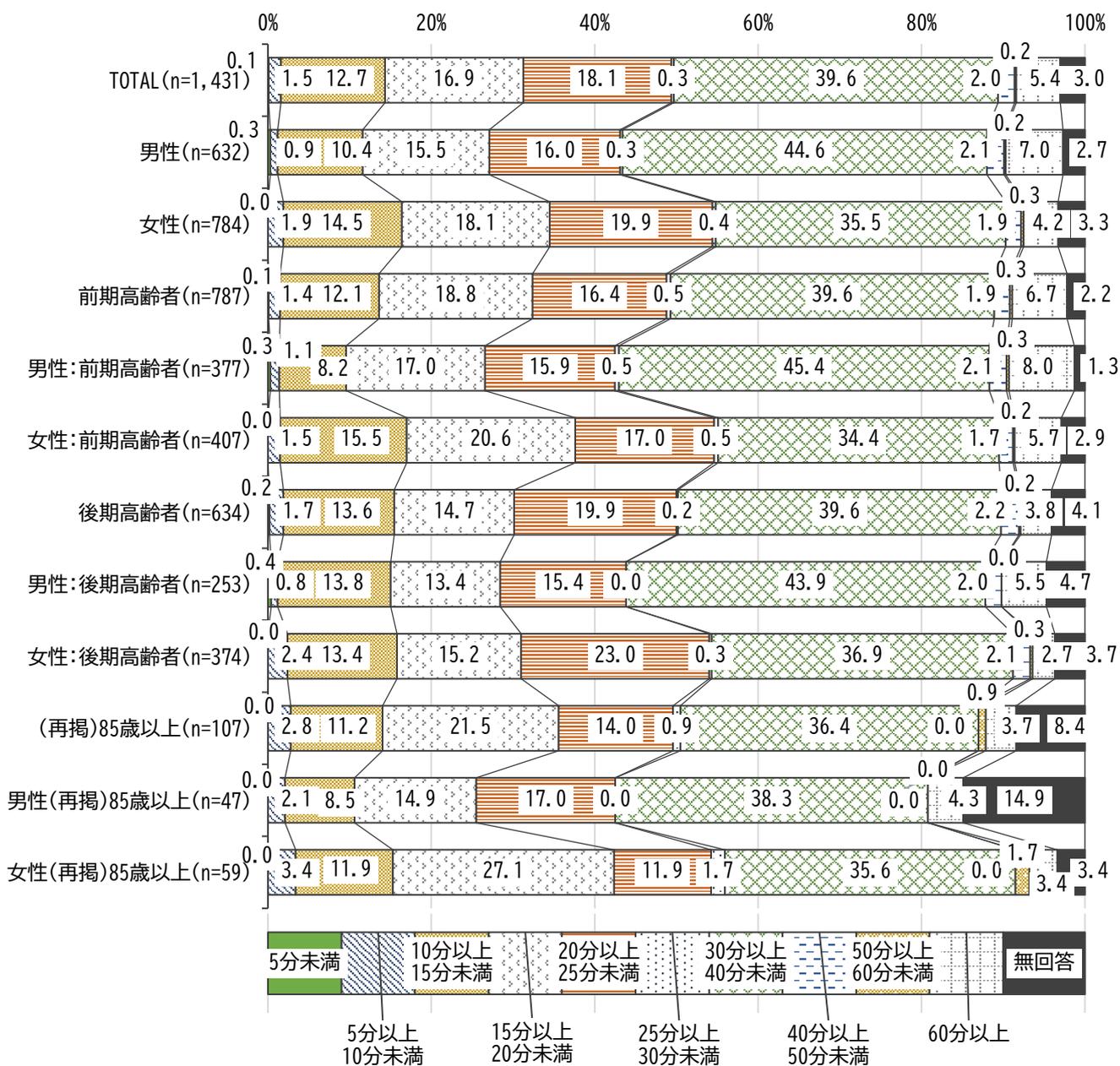
問 42-1-1 自宅から通いの場まで、どのくらいの移動時間なら通いたいと思いますか。
また、その際の主な移動手段もお答えください。

通いの場への移動時間の希望は、「30分以上40分未満」が39.6%と最も高く、次いで「20分以上25分未満」が18.1%、「15分以上20分未満」が16.9%、「10分以上15分未満」が12.7%の順となっています。

(1) 移動時間



【基本属性別 (%)】



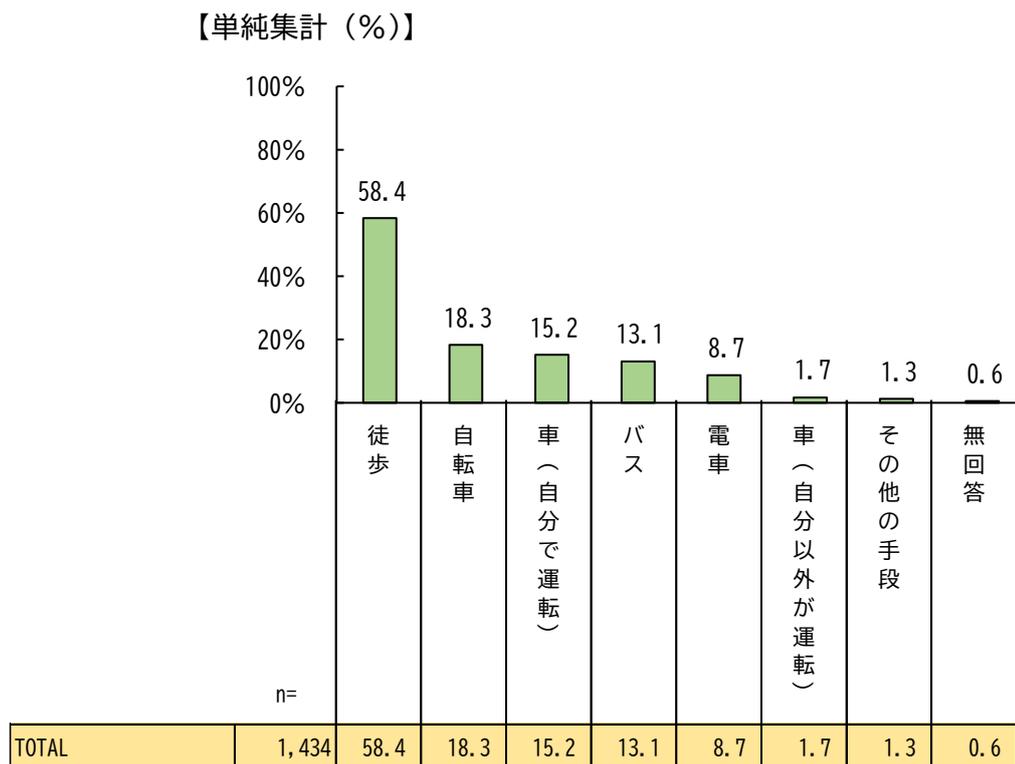
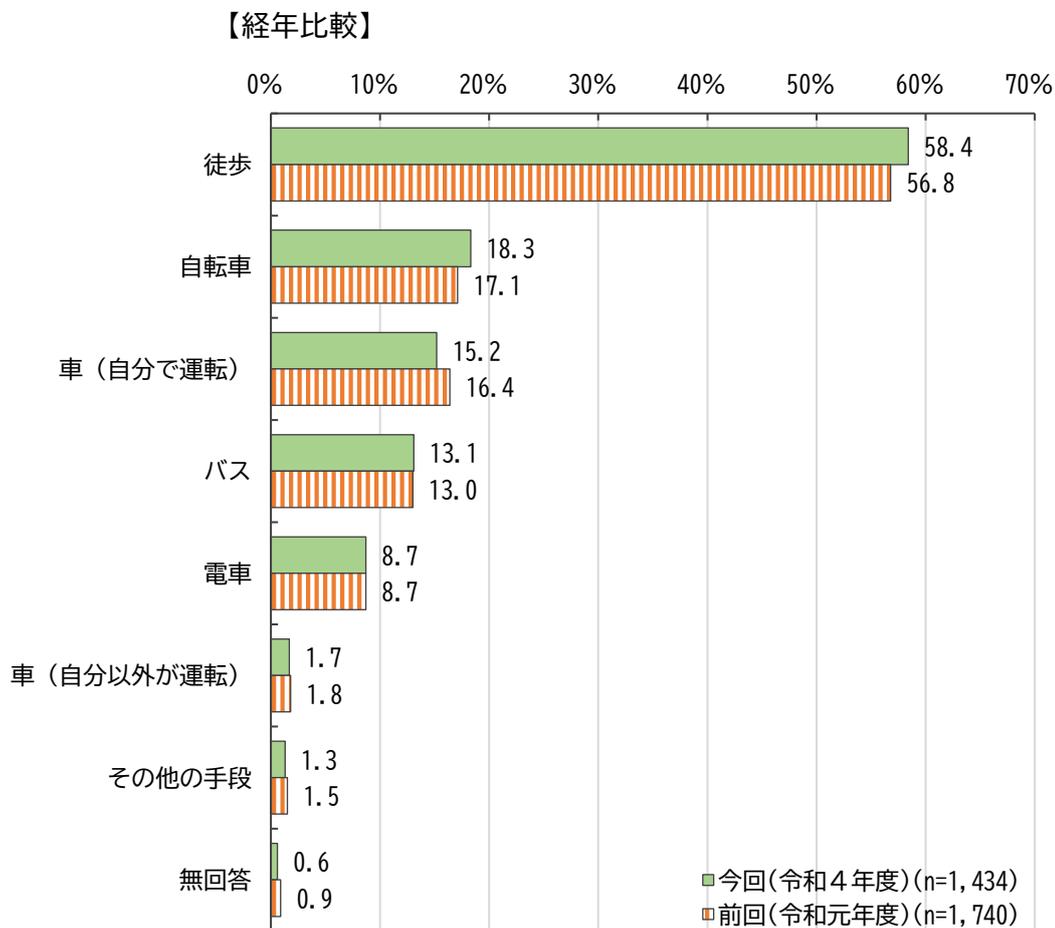
【基本属性別（人数・％）】

	n=	5	5	1	1	2	2	3	4	5	6	無 回 答	上段：人数 下段：％
		分 未 満	分 以 上 1 0 分 未 満	0 分 以 上 1 5 分 未 満	1 5 分 以 上 2 0 分 未 満	2 0 分 以 上 2 5 分 未 満	2 5 分 以 上 3 0 分 未 満	3 0 分 以 上 4 0 分 未 満	4 0 分 以 上 5 0 分 未 満	5 0 分 以 上 6 0 分 未 満	6 0 分 以 上		
TOTAL	1,431	2	22	182	242	259	5	567	29	3	77	43	
	100.0	0.1	1.5	12.7	16.9	18.1	0.3	39.6	2.0	0.2	5.4	3.0	
男性	632	2	6	66	98	101	2	282	13	1	44	17	
	100.0	0.3	0.9	10.4	15.5	16.0	0.3	44.6	2.1	0.2	7.0	2.7	
女性	784	0	15	114	142	156	3	278	15	2	33	26	
	100.0	0.0	1.9	14.5	18.1	19.9	0.4	35.5	1.9	0.3	4.2	3.3	
前期高齢者	787	1	11	95	148	129	4	312	15	2	53	17	
	100.0	0.1	1.4	12.1	18.8	16.4	0.5	39.6	1.9	0.3	6.7	2.2	
男性 前期高齢者	377	1	4	31	64	60	2	171	8	1	30	5	
	100.0	0.3	1.1	8.2	17.0	15.9	0.5	45.4	2.1	0.3	8.0	1.3	
女性 前期高齢者	407	0	6	63	84	69	2	140	7	1	23	12	
	100.0	0.0	1.5	15.5	20.6	17.0	0.5	34.4	1.7	0.2	5.7	2.9	
後期高齢者	634	1	11	86	93	126	1	251	14	1	24	26	
	100.0	0.2	1.7	13.6	14.7	19.9	0.2	39.6	2.2	0.2	3.8	4.1	
男性 後期高齢者	253	1	2	35	34	39	0	111	5	0	14	12	
	100.0	0.4	0.8	13.8	13.4	15.4	0.0	43.9	2.0	0.0	5.5	4.7	
女性 後期高齢者	374	0	9	50	57	86	1	138	8	1	10	14	
	100.0	0.0	2.4	13.4	15.2	23.0	0.3	36.9	2.1	0.3	2.7	3.7	
(再掲)85歳以上	107	0	3	12	23	15	1	39	0	1	4	9	
	100.0	0.0	2.8	11.2	21.5	14.0	0.9	36.4	0.0	0.9	3.7	8.4	
男性(再掲)85歳以上	47	0	1	4	7	8	0	18	0	0	2	7	
	100.0	0.0	2.1	8.5	14.9	17.0	0.0	38.3	0.0	0.0	4.3	14.9	
女性(再掲)85歳以上	59	0	2	7	16	7	1	21	0	1	2	2	
	100.0	0.0	3.4	11.9	27.1	11.9	1.7	35.6	0.0	1.7	3.4	3.4	

第2章 調査結果の詳細

(2) 主な移動手段

通いの場への移動手段は、「徒歩」が58.4%と最も高く、次いで「自転車」が18.3%、「車（自分で運転）」が15.2%の順となっています。



【基本属性別（人数・％）】

	n=	徒歩	自転車	車（自分で運転）	バス	電車	車（自分以外が運転）	その他の手段	無回答
TOTAL	1,434	838	262	218	188	125	24	19	8
	100.0	58.4	18.3	15.2	13.1	8.7	1.7	1.3	0.6
男性	635	335	135	145	60	54	10	7	3
	100.0	52.8	21.3	22.8	9.4	8.5	1.6	1.1	0.5
女性	784	498	123	70	125	69	14	11	5
	100.0	63.5	15.7	8.9	15.9	8.8	1.8	1.4	0.6
前期高齢者	790	431	146	149	85	70	13	11	4
	100.0	54.6	18.5	18.9	10.8	8.9	1.6	1.4	0.5
男性 前期高齢者	380	193	69	95	28	31	6	6	1
	100.0	50.8	18.2	25.0	7.4	8.2	1.6	1.6	0.3
女性 前期高齢者	407	237	76	52	57	39	7	5	3
	100.0	58.2	18.7	12.8	14.0	9.6	1.7	1.2	0.7
後期高齢者	634	403	113	69	102	54	10	7	4
	100.0	63.6	17.8	10.9	16.1	8.5	1.6	1.1	0.6
男性 後期高齢者	253	141	65	50	32	23	4	1	2
	100.0	55.7	25.7	19.8	12.6	9.1	1.6	0.4	0.8
女性 後期高齢者	374	260	46	18	68	30	6	6	2
	100.0	69.5	12.3	4.8	18.2	8.0	1.6	1.6	0.5
(再掲)85歳以上	107	68	14	9	22	9	5	1	1
	100.0	63.6	13.1	8.4	20.6	8.4	4.7	0.9	0.9
男性(再掲)85歳以上	47	23	12	9	7	4	1	0	0
	100.0	48.9	25.5	19.1	14.9	8.5	2.1	0.0	0.0
女性(再掲)85歳以上	59	44	2	0	15	5	4	1	1
	100.0	74.6	3.4	0.0	25.4	8.5	6.8	1.7	1.7

上段：人数
下段：％

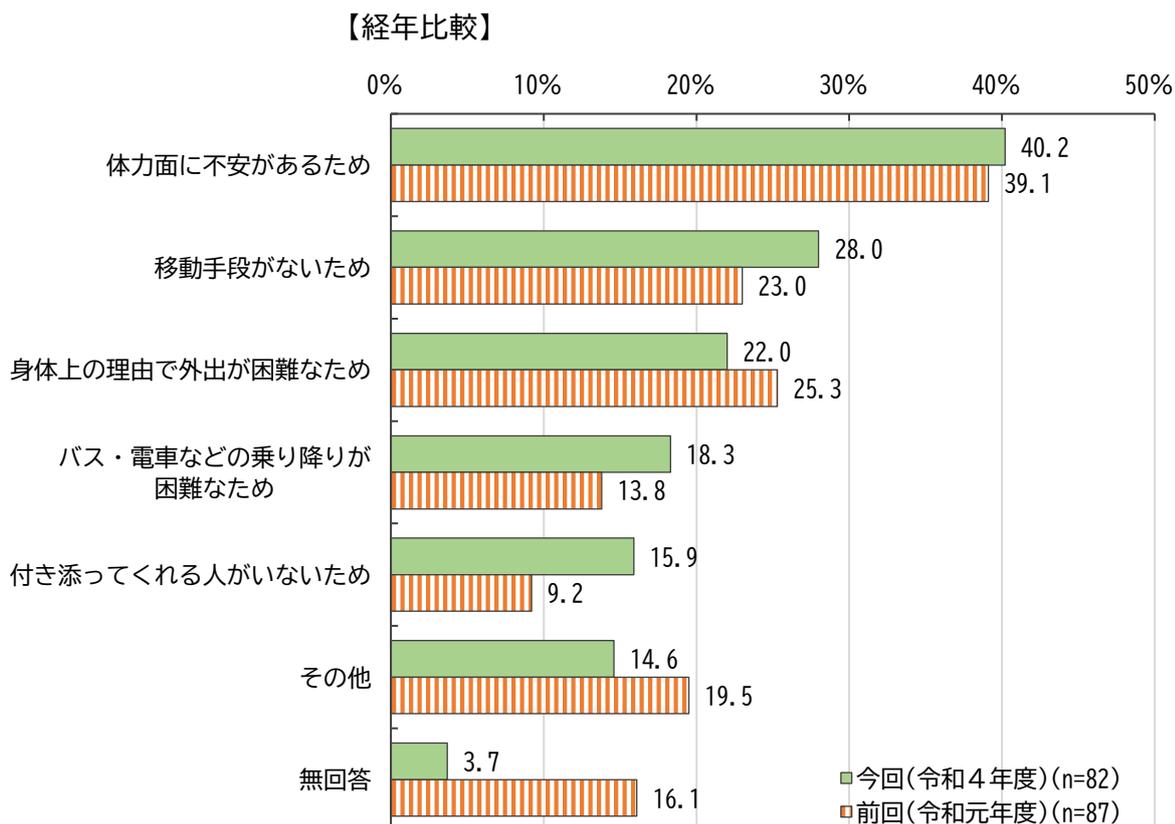
第2章 調査結果の詳細

(4) ご自身で通いの場へ通えない理由

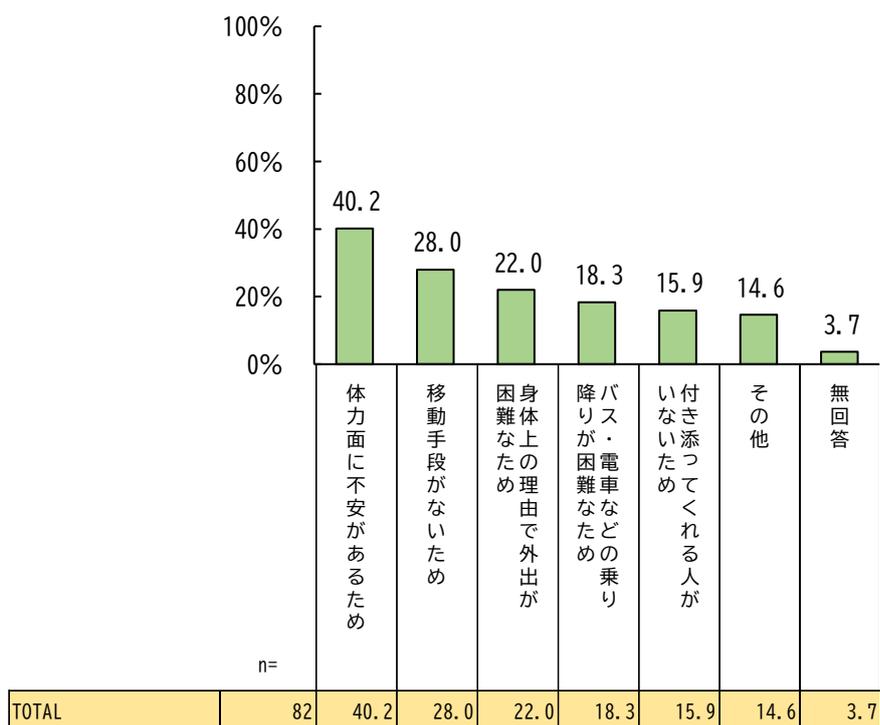
問 42-1 で「2. できない」と回答した方

問 42-2 ご自身で通えない理由は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

ご自身で通いの場へ通えない理由は、「体力面に不安があるため」が 40.2%で最も高く、次いで「移動手段がないため」が 28.0%、「身体上の理由で外出が困難なため」が 22.0%の順となっています。



【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

【基本属性別（人数・％）】

	n=	体力面に不安があるため	移動手段がないため	困身難体上の理由で外出が	困難なため	バス・電車などの乗り降りが	付かないため	その他	無回答	上段：人数 下段：％
TOTAL	82	33	23	18	15	13	12	3		
	100.0	40.2	28.0	22.0	18.3	15.9	14.6	3.7		
男性	34	13	12	5	6	6	5	0		
	100.0	38.2	35.3	14.7	17.6	17.6	14.7	0.0		
女性	45	20	11	13	9	7	6	1		
	100.0	44.4	24.4	28.9	20.0	15.6	13.3	2.2		
前期高齢者	27	10	6	8	6	4	6	0		
	100.0	37.0	22.2	29.6	22.2	14.8	22.2	0.0		
男性 前期高齢者	14	5	3	3	3	3	3	0		
	100.0	35.7	21.4	21.4	21.4	21.4	21.4	0.0		
女性 前期高齢者	13	5	3	5	3	1	3	0		
	100.0	38.5	23.1	38.5	23.1	7.7	23.1	0.0		
後期高齢者	53	23	17	10	9	9	6	1		
	100.0	43.4	32.1	18.9	17.0	17.0	11.3	1.9		
男性 後期高齢者	20	8	9	2	3	3	2	0		
	100.0	40.0	45.0	10.0	15.0	15.0	10.0	0.0		
女性 後期高齢者	32	15	8	8	6	6	3	1		
	100.0	46.9	25.0	25.0	18.8	18.8	9.4	3.1		
(再掲)85歳以上	17	10	8	4	3	6	0	0		
	100.0	58.8	47.1	23.5	17.6	35.3	0.0	0.0		
男性(再掲)85歳以上	4	3	3	0	1	3	0	0		
	100.0	75.0	75.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0		
女性(再掲)85歳以上	13	7	5	4	2	3	0	0		
	100.0	53.8	38.5	30.8	15.4	23.1	0.0	0.0		

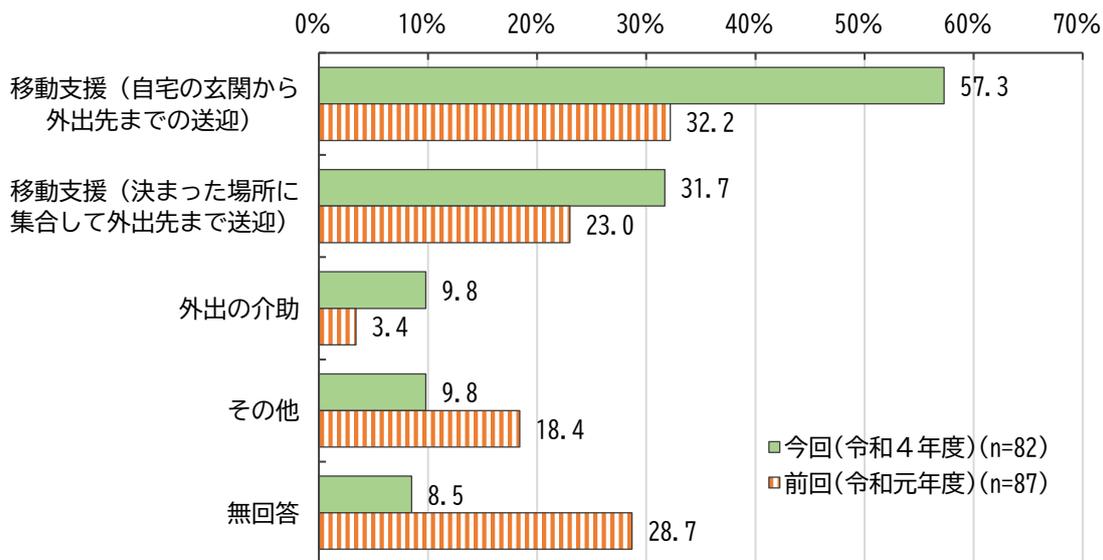
(5) 通いの場に通うための支援

問 42-1 で「2. できない」と回答した方

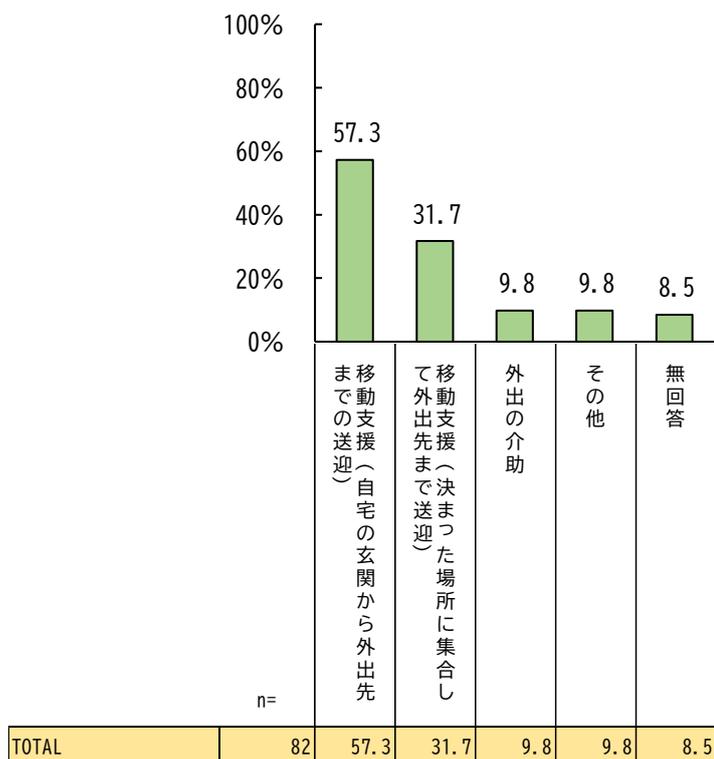
問 42-3 どのような支援があれば通えると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

通いの場に通うために必要な支援は、「移動支援（自宅の玄関から外出先までの送迎）」が 57.3%と最も高く、次いで「移動支援（決まった場所に集合して外出先まで送迎）」が 31.7%、「外出の介助」が 9.8%の順となっています。

【経年比較】



【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

【基本属性別（人数・％）】

	n=	外 移 出 動 先 支 ま 援 ま で の（自 宅の 玄 関 か ら）	集 移 合 動 し て 支 て 援 外（決 ま つ た 送 場 所 に）	外 出 の 介 助	そ の 他	無 回 答	上段：人数 下段：％
TOTAL	82 100.0	47 57.3	26 31.7	8 9.8	8 9.8	7 8.5	
男性	34 100.0	19 55.9	11 32.4	5 14.7	5 14.7	2 5.9	
女性	45 100.0	26 57.8	14 31.1	3 6.7	3 6.7	5 11.1	
前期高齢者	27 100.0	15 55.6	6 22.2	2 7.4	5 18.5	2 7.4	
男性 前期高齢者	14 100.0	5 35.7	5 35.7	2 14.3	3 21.4	1 7.1	
女性 前期高齢者	13 100.0	10 76.9	1 7.7	0 0.0	2 15.4	1 7.7	
後期高齢者	53 100.0	31 58.5	19 35.8	6 11.3	3 5.7	5 9.4	
男性 後期高齢者	20 100.0	14 70.0	6 30.0	3 15.0	2 10.0	1 5.0	
女性 後期高齢者	32 100.0	16 50.0	13 40.6	3 9.4	1 3.1	4 12.5	
(再掲)85歳以上	17 100.0	14 82.4	6 35.3	2 11.8	0 0.0	2 11.8	
男性(再掲)85歳以上	4 100.0	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	
女性(再掲)85歳以上	13 100.0	10 76.9	4 30.8	0 0.0	0 0.0	2 15.4	

18. 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券について

(1) 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券の利用状況

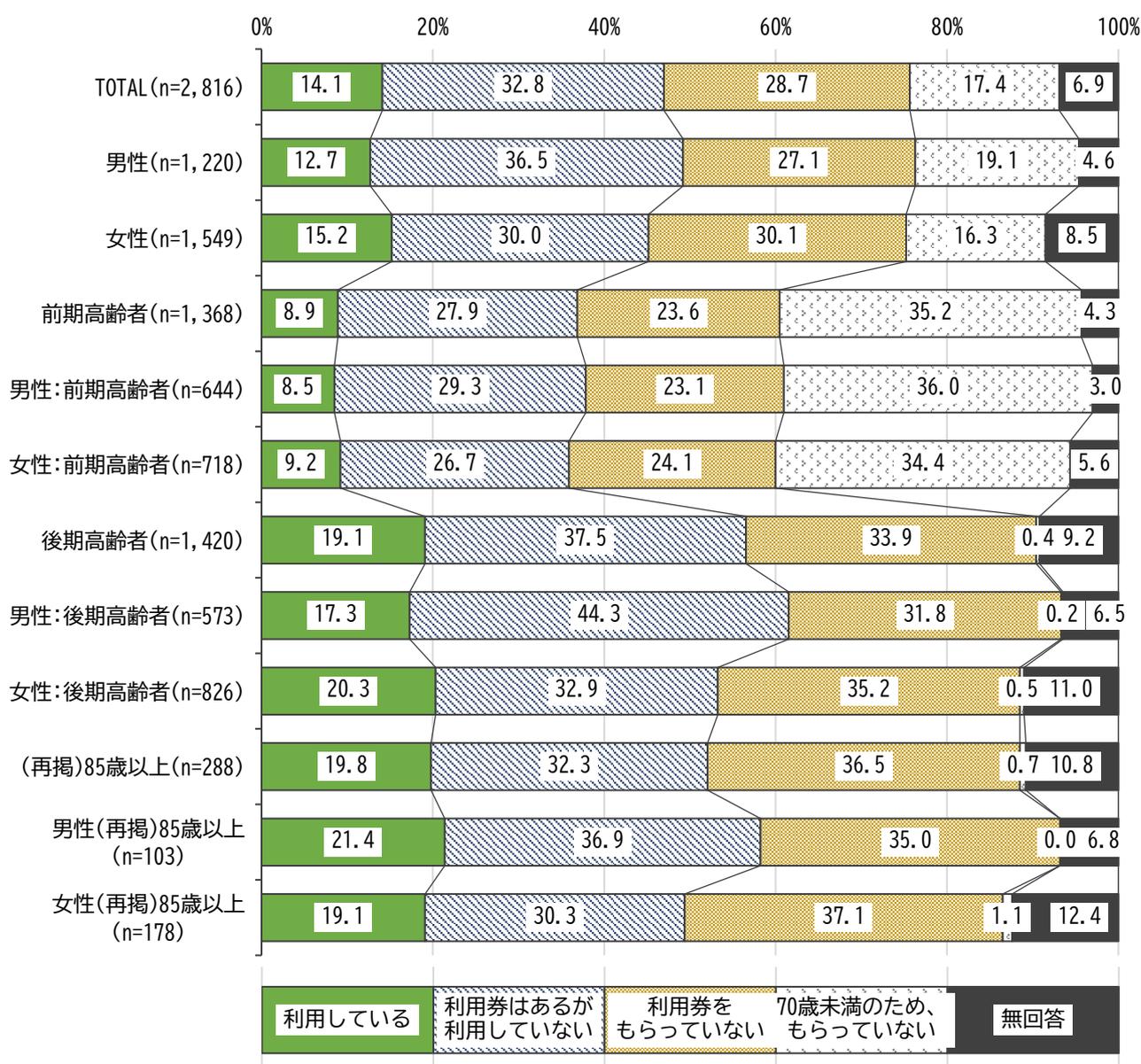
問 43 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券※7を利用されていますか。(1つに○)

※7 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券とは、市内在住の70歳以上の方を対象に、高齢者の健康増進と介護予防を図るために交付している利用券で、市内指定のはり・きゅう・マッサージ施設約150施設で利用できます。

高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券の利用状況は、「利用券はあるが利用していない」が32.8%と最も多く、次いで「助成券をもらっていない」が28.7%、「70歳未満のため、もらっていない」が17.4%、「利用している」が14.1%の順となっています。

年齢別にみると、後期高齢者では「利用している」が全体の割合に対して多くなっています。

【基本属性別 (%)】



第2章 調査結果の詳細

【基本属性別（人数・％）】

	n=	利用している	利用し券はいあるが	利用券をもらっていない	も70歳未満のため、	無回答
TOTAL	2,816 100.0	398 14.1	924 32.8	809 28.7	490 17.4	195 6.9
男性	1,220 100.0	155 12.7	445 36.5	331 27.1	233 19.1	56 4.6
女性	1,549 100.0	235 15.2	464 30.0	466 30.1	252 16.3	132 8.5
前期高齢者	1,368 100.0	122 8.9	382 27.9	323 23.6	482 35.2	59 4.3
男性 前期高齢者	644 100.0	55 8.5	189 29.3	149 23.1	232 36.0	19 3.0
女性 前期高齢者	718 100.0	66 9.2	192 26.7	173 24.1	247 34.4	40 5.6
後期高齢者	1,420 100.0	271 19.1	533 37.5	481 33.9	5 0.4	130 9.2
男性 後期高齢者	573 100.0	99 17.3	254 44.3	182 31.8	1 0.2	37 6.5
女性 後期高齢者	826 100.0	168 20.3	272 32.9	291 35.2	4 0.5	91 11.0
(再掲)85歳以上	288 100.0	57 19.8	93 32.3	105 36.5	2 0.7	31 10.8
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	22 21.4	38 36.9	36 35.0	0 0.0	7 6.8
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	34 19.1	54 30.3	66 37.1	2 1.1	22 12.4

上段：人数
下段：％

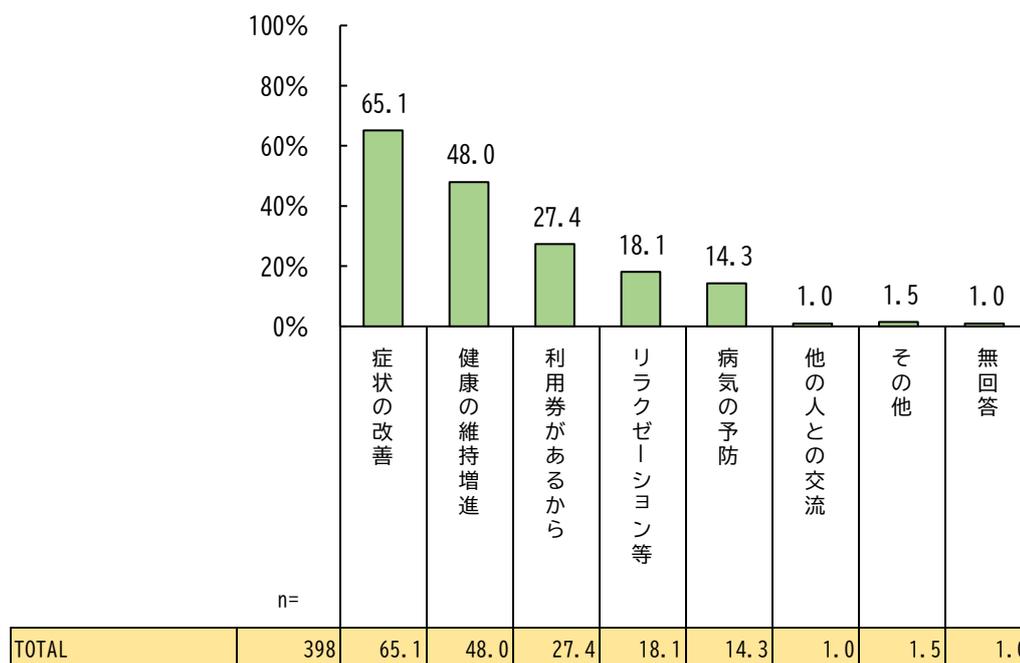
(2) 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券の利用目的

問43で「1. 利用している」と回答した方のみ、お答えください。

問43-1 どのような目的で利用されていますか。(あてはまるものすべてに○)

高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券を利用している方の利用目的は、「症状の改善」が65.1%と最も多く、次いで「健康の維持増進」が48.0%、「利用券があるから」が27.4%の順となっています。

【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「利用券があるから」、女性では「症状の改善」が全体の割合に対して比較的多くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

n=		症状の改善	健康の維持増進	利用券があるから	リラクゼーション等	病気の予防	他の人との交流	その他	無回答	上段：人数	下段：％
TOTAL	398	259	191	109	72	57	4	6	4		
	100.0	65.1	48.0	27.4	18.1	14.3	1.0	1.5	1.0		
男性	155	93	75	44	27	17	0	2	1		
	100.0	60.0	48.4	28.4	17.4	11.0	0.0	1.3	0.6		
女性	235	159	115	65	44	39	4	4	2		
	100.0	67.7	48.9	27.7	18.7	16.6	1.7	1.7	0.9		
前期高齢者	122	80	49	45	33	15	0	1	1		
	100.0	65.6	40.2	36.9	27.0	12.3	0.0	0.8	0.8		
男性 前期高齢者	55	37	20	19	14	4	0	0	0		
	100.0	67.3	36.4	34.5	25.5	7.3	0.0	0.0	0.0		
女性 前期高齢者	66	42	29	26	18	11	0	1	1		
	100.0	63.6	43.9	39.4	27.3	16.7	0.0	1.5	1.5		
後期高齢者	271	175	141	63	39	41	4	5	2		
	100.0	64.6	52.0	23.2	14.4	15.1	1.5	1.8	0.7		
男性 後期高齢者	99	55	54	24	13	12	0	2	1		
	100.0	55.6	54.5	24.2	13.1	12.1	0.0	2.0	1.0		
女性 後期高齢者	168	116	86	39	26	28	4	3	1		
	100.0	69.0	51.2	23.2	15.5	16.7	2.4	1.8	0.6		
(再掲)85歳以上	57	35	30	14	11	8	3	1	0		
	100.0	61.4	52.6	24.6	19.3	14.0	5.3	1.8	0.0		
男性(再掲)85歳以上	22	14	12	5	2	0	0	0	0		
	100.0	63.6	54.5	22.7	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0		
女性(再掲)85歳以上	34	20	17	9	9	7	3	1	0		
	100.0	58.8	50.0	26.5	26.5	20.6	8.8	2.9	0.0		

(3) 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券利用による健康維持や

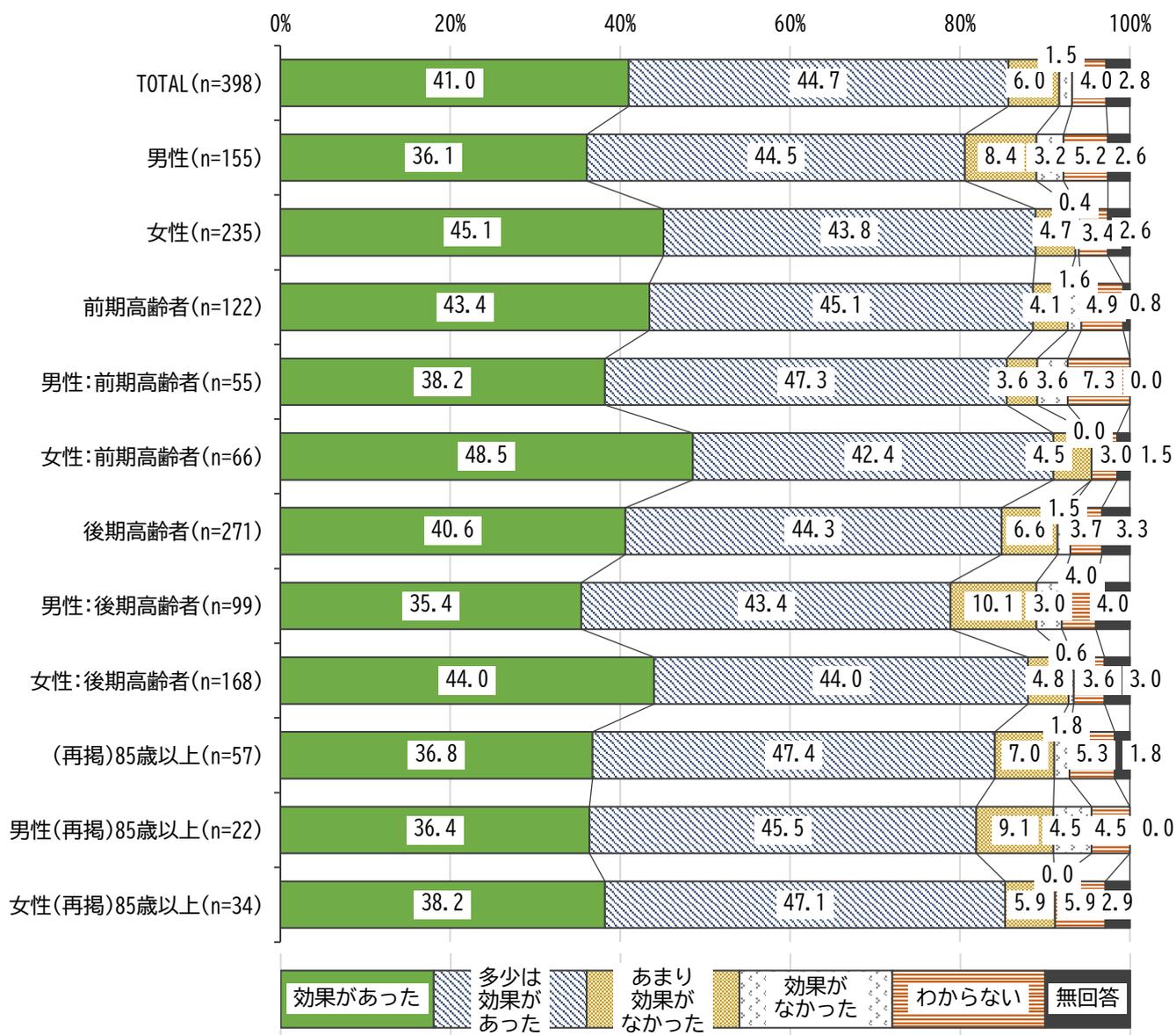
介護予防効果の実感

問 43で「1. 利用している」と回答した方のみ、お答えください。

問 43-2 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券を利用して、健康維持や介護予防効果について実感されていますか。(1つに○)

高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券による健康維持や介護予防効果の実感について、「効果があった」、「多少は効果があった」と回答したのは、合計で 85.7%となっています。

【基本属性別 (%)】



第2章 調査結果の詳細

【基本属性別（人数・％）】

n=	効果があつた	多少は効果があつた	あまり効果がなかつた	効果がなかつた	わからない	無回答	上段：人数 下段：％
	TOTAL	398 100.0	163 41.0	178 44.7	24 6.0	6 1.5	16 4.0
男性	155 100.0	56 36.1	69 44.5	13 8.4	5 3.2	8 5.2	4 2.6
女性	235 100.0	106 45.1	103 43.8	11 4.7	1 0.4	8 3.4	6 2.6
前期高齢者	122 100.0	53 43.4	55 45.1	5 4.1	2 1.6	6 4.9	1 0.8
男性 前期高齢者	55 100.0	21 38.2	26 47.3	2 3.6	2 3.6	4 7.3	0 0.0
女性 前期高齢者	66 100.0	32 48.5	28 42.4	3 4.5	0 0.0	2 3.0	1 1.5
後期高齢者	271 100.0	110 40.6	120 44.3	18 6.6	4 1.5	10 3.7	9 3.3
男性 後期高齢者	99 100.0	35 35.4	43 43.4	10 10.1	3 3.0	4 4.0	4 4.0
女性 後期高齢者	168 100.0	74 44.0	74 44.0	8 4.8	1 0.6	6 3.6	5 3.0
(再掲)85歳以上	57 100.0	21 36.8	27 47.4	4 7.0	1 1.8	3 5.3	1 1.8
男性(再掲)85歳以上	22 100.0	8 36.4	10 45.5	2 9.1	1 4.5	1 4.5	0 0.0
女性(再掲)85歳以上	34 100.0	13 38.2	16 47.1	2 5.9	0 0.0	2 5.9	1 2.9

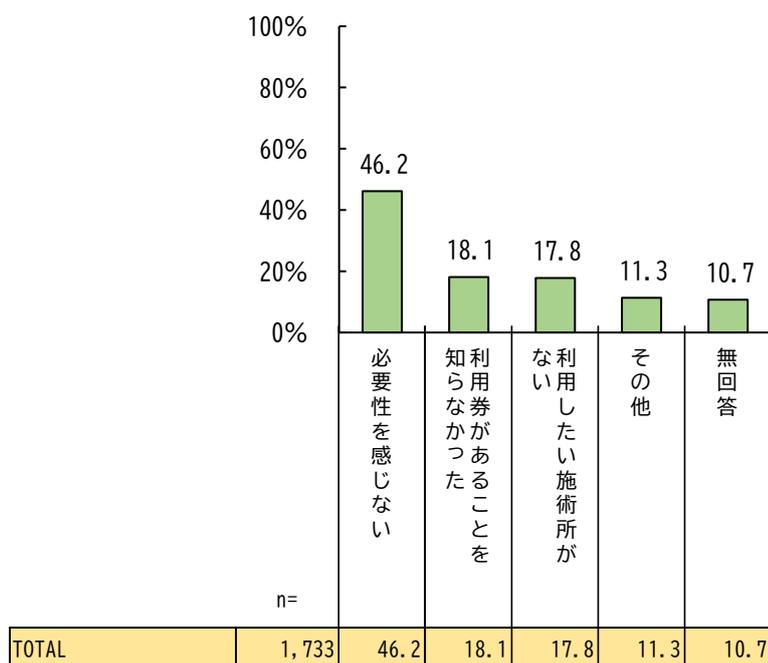
(4) 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券を利用していない理由

問43で「2. 利用券はあるが利用していない」「3. 利用券をもらっていない」と回答した方にうかがいます。(70歳以上で利用していない方)

問44 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券を利用していない理由は、「必要性を感じない」が46.2%と最も多く、次いで「利用券があることを知らなかった」が18.1%、「利用したい施術所がない」が17.8%、の順となっています。

【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「必要性を感じない」が全体の割合に対して4.2ポイント多くなっています。女性は「利用したい施術所がない」が全体の割合に対して2.3ポイント多くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

n=		必要性を感じない	利用可能な券があったことを知らなかった	利用したい施術所がない	その他	無回答	上段：人数
							下段：％
TOTAL	1,733 100.0	801 46.2	313 18.1	309 17.8	195 11.3	186 10.7	
男性	776 100.0	391 50.4	151 19.5	119 15.3	82 10.6	74 9.5	
女性	930 100.0	399 42.9	157 16.9	187 20.1	110 11.8	107 11.5	
前期高齢者	705 100.0	331 47.0	126 17.9	134 19.0	79 11.2	67 9.5	
男性 前期高齢者	338 100.0	171 50.6	71 21.0	52 15.4	31 9.2	30 8.9	
女性 前期高齢者	365 100.0	158 43.3	55 15.1	82 22.5	48 13.2	37 10.1	
後期高齢者	1,014 100.0	466 46.0	185 18.2	172 17.0	112 11.0	118 11.6	
男性 後期高齢者	436 100.0	220 50.5	80 18.3	67 15.4	49 11.2	44 10.1	
女性 後期高齢者	563 100.0	241 42.8	101 17.9	104 18.5	62 11.0	70 12.4	
(再掲)85歳以上	198 100.0	82 41.4	45 22.7	28 14.1	18 9.1	30 15.2	
男性(再掲)85歳以上	74 100.0	31 41.9	20 27.0	9 12.2	4 5.4	11 14.9	
女性(再掲)85歳以上	120 100.0	51 42.5	23 19.2	19 15.8	14 11.7	17 14.2	

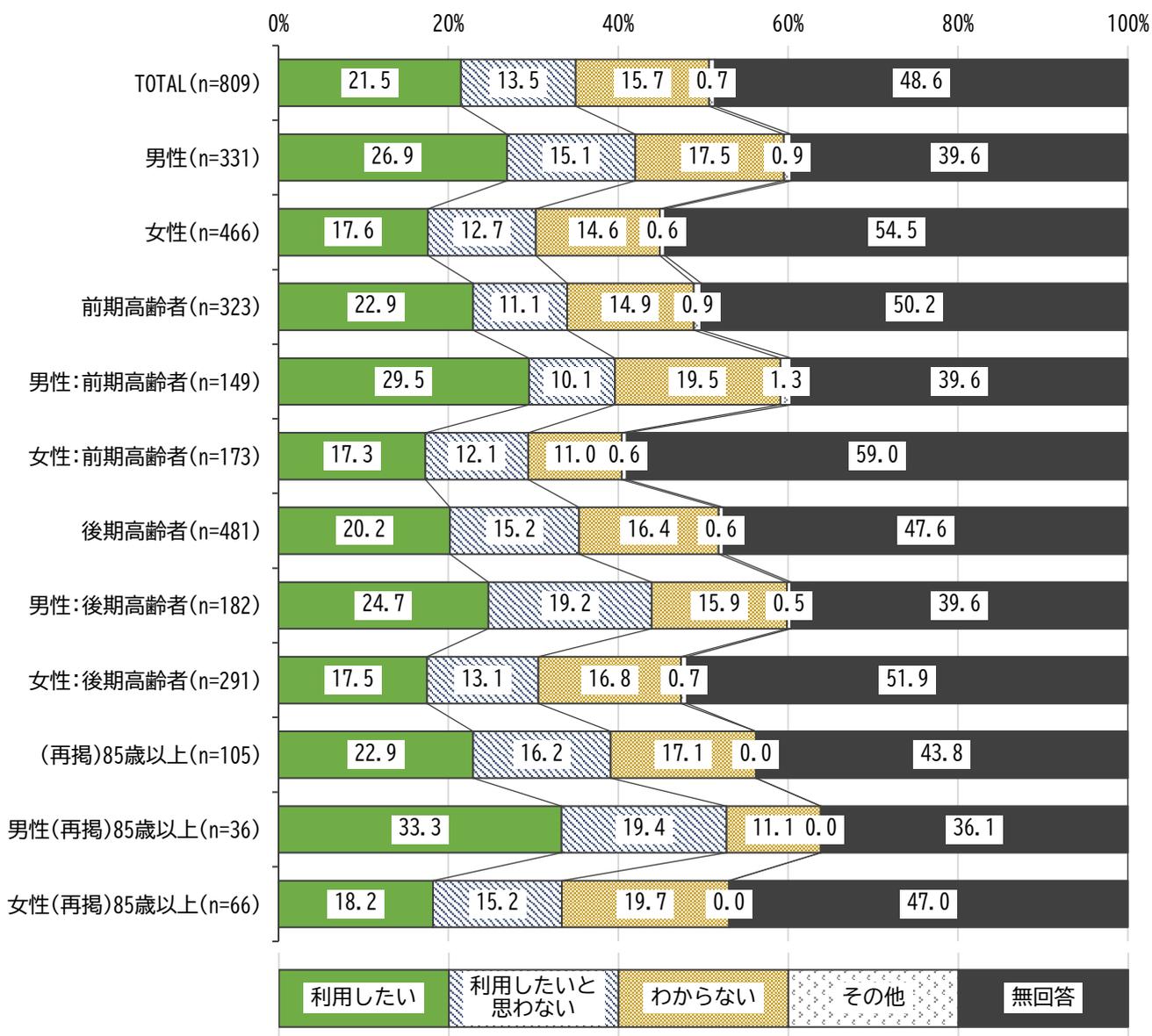
(5) 高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券の利用希望

問44で「3. 利用券があることを知らなかった」と回答した方にかがいます。

問45 今後、高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券を利用したいと思いますか。
(1つに○)

高齢者はり・きゅう・マッサージ利用券の今後の利用意向をみると、「利用したい」が21.5%と最も多く、次いで「わからない」が15.7%、「利用したいとは思わない」が13.5%の順となっています。

【基本属性別 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「利用したい」が全体の割合に対して5ポイントほど多くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

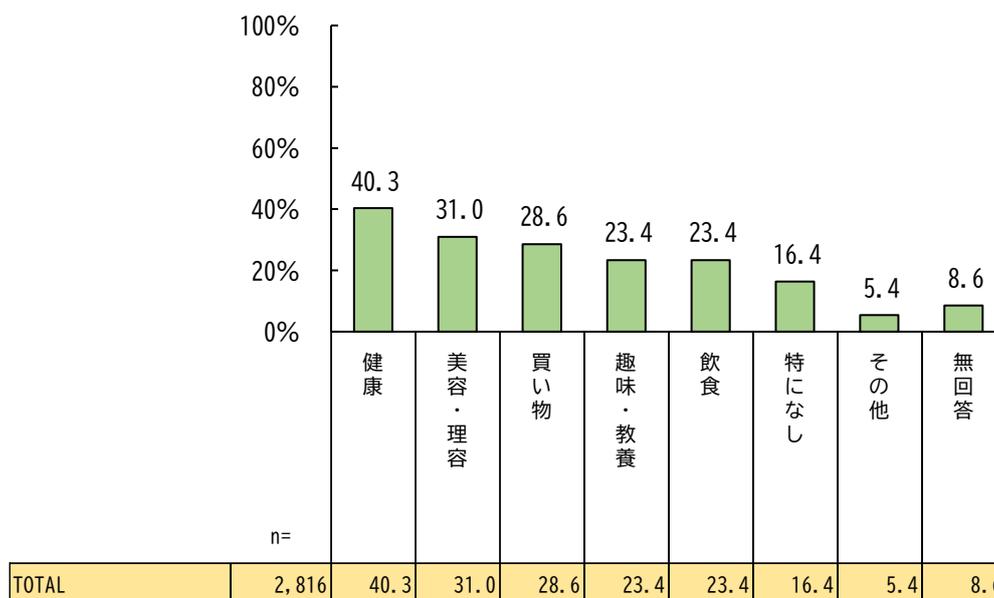
	n=	利用 した い	思 利 わ 用 な し た い と	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答	上段：人数 下段：％
TOTAL	809 100.0	174 21.5	109 13.5	127 15.7	6 0.7	393 48.6	
男性	331 100.0	89 26.9	50 15.1	58 17.5	3 0.9	131 39.6	
女性	466 100.0	82 17.6	59 12.7	68 14.6	3 0.6	254 54.5	
前期高齢者	323 100.0	74 22.9	36 11.1	48 14.9	3 0.9	162 50.2	
男性 前期高齢者	149 100.0	44 29.5	15 10.1	29 19.5	2 1.3	59 39.6	
女性 前期高齢者	173 100.0	30 17.3	21 12.1	19 11.0	1 0.6	102 59.0	
後期高齢者	481 100.0	97 20.2	73 15.2	79 16.4	3 0.6	229 47.6	
男性 後期高齢者	182 100.0	45 24.7	35 19.2	29 15.9	1 0.5	72 39.6	
女性 後期高齢者	291 100.0	51 17.5	38 13.1	49 16.8	2 0.7	151 51.9	
(再掲)85歳以上	105 100.0	24 22.9	17 16.2	18 17.1	0 0.0	46 43.8	
男性(再掲)85歳以上	36 100.0	12 33.3	7 19.4	4 11.1	0 0.0	13 36.1	
女性(再掲)85歳以上	66 100.0	12 18.2	10 15.2	13 19.7	0 0.0	31 47.0	

(6) 利用助成を希望する施設の内容

問 46 どのような施設の利用助成があればいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

助成券で利用したい施設は、「健康」が40.3%と最も多く、次いで「美容・利用」が31.0%、「買い物」が28.6%の順となっています。

【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、全体の割合よりも男性では「健康」、「趣味・教養」、「飲食」、女性では「美容・理容」、「買い物」が多くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

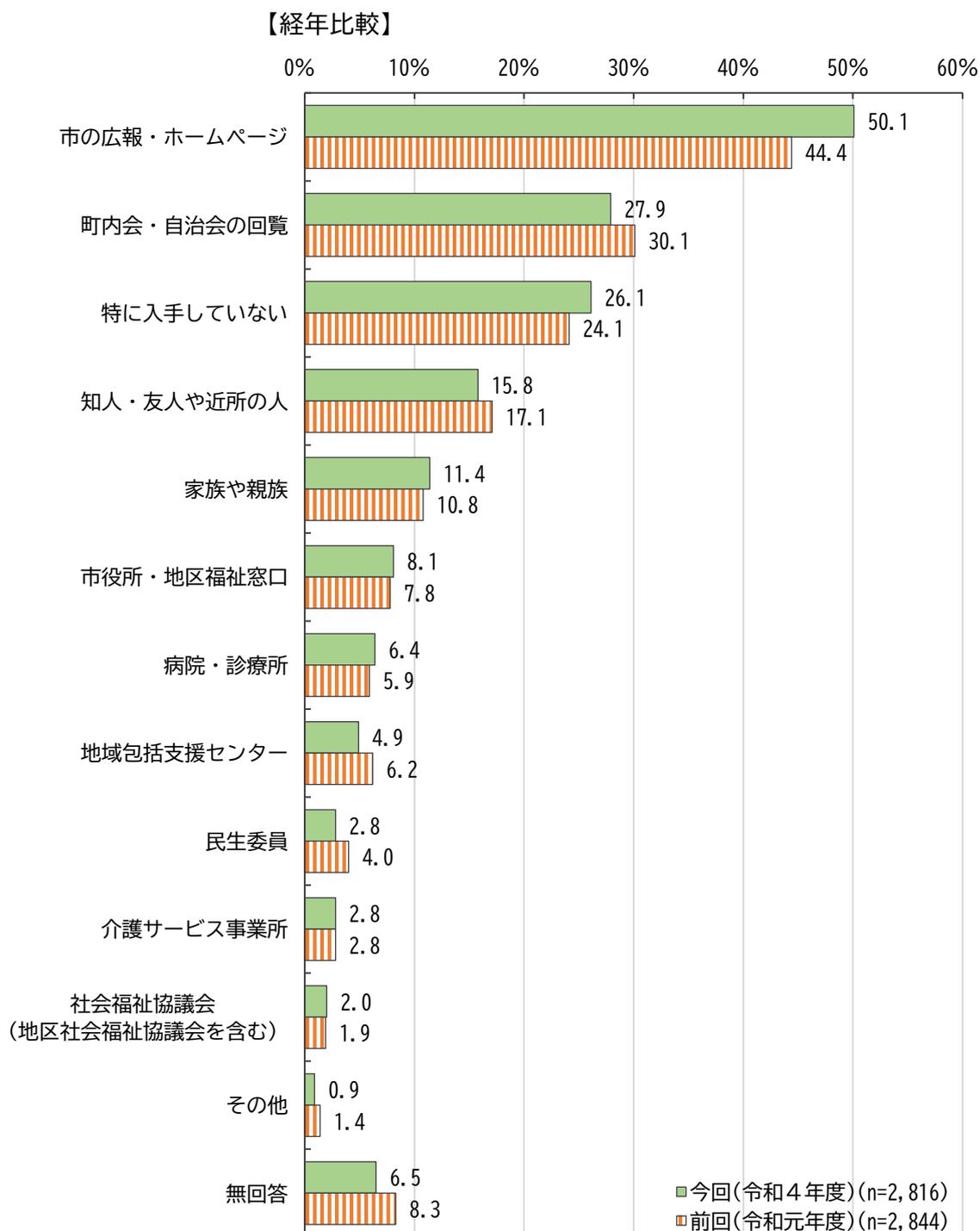
n=		健康	美容・理容	買い物	趣味・教養	飲食	特になし	その他	無回答	上段：人数 下段：％
TOTAL	2,816 100.0	1,134 40.3	874 31.0	805 28.6	658 23.4	658 23.4	461 16.4	153 5.4	241 8.6	
男性	1,220 100.0	575 47.1	294 24.1	301 24.7	360 29.5	325 26.6	187 15.3	65 5.3	80 6.6	
女性	1,549 100.0	545 35.2	568 36.7	487 31.4	284 18.3	319 20.6	269 17.4	87 5.6	151 9.7	
前期高齢者	1,368 100.0	627 45.8	465 34.0	441 32.2	370 27.0	385 28.1	221 16.2	69 5.0	67 4.9	
男性 前期高齢者	644 100.0	337 52.3	166 25.8	177 27.5	215 33.4	205 31.8	94 14.6	28 4.3	24 3.7	
女性 前期高齢者	718 100.0	287 40.0	297 41.4	261 36.4	150 20.9	178 24.8	127 17.7	41 5.7	43 6.0	
後期高齢者	1,420 100.0	495 34.9	402 28.3	356 25.1	282 19.9	265 18.7	237 16.7	83 5.8	169 11.9	
男性 後期高齢者	573 100.0	235 41.0	127 22.2	123 21.5	144 25.1	119 20.8	93 16.2	37 6.5	56 9.8	
女性 後期高齢者	826 100.0	254 30.8	270 32.7	224 27.1	134 16.2	141 17.1	142 17.2	46 5.6	108 13.1	
(再掲)85歳以上	288 100.0	92 31.9	88 30.6	75 26.0	55 19.1	46 16.0	51 17.7	20 6.9	40 13.9	
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	39 37.9	29 28.2	20 19.4	28 27.2	20 19.4	17 16.5	6 5.8	10 9.7	
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	53 29.8	57 32.0	51 28.7	26 14.6	25 14.0	34 19.1	14 7.9	27 15.2	

19. 高齢者に対する施策(サービスや事業など)について

(1) 高齢者に対する施策(サービスや事業など)に関する情報の入手方法

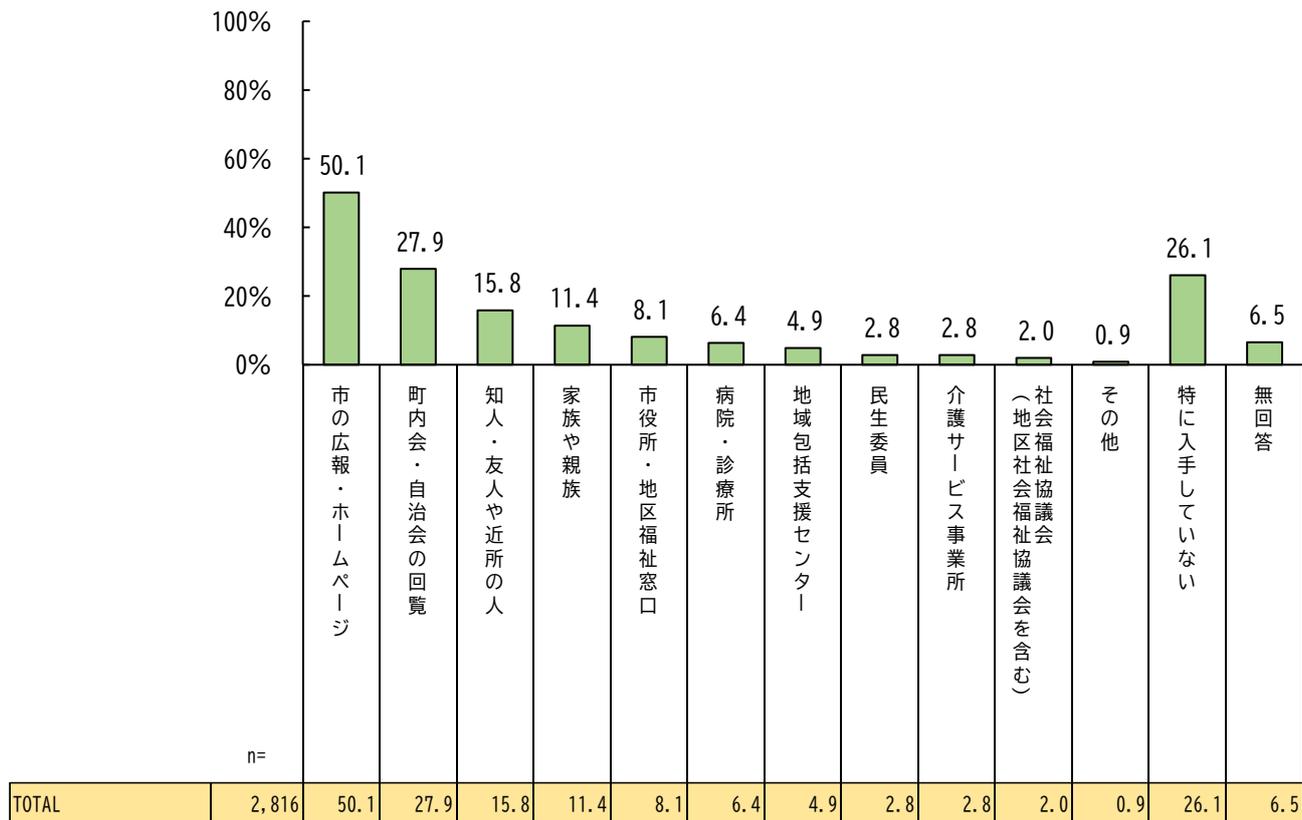
問 47 市が実施している高齢者に対する施策(サービスや事業など)に関する情報をどのような方法で入手していますか。(特にあてはまるもの5つまでに○)

高齢者に対する施策に関する情報の入手方法は、「市の広報・ホームページ」が50.1%と最も多く、次いで「町内会・自治会の回覧」が27.9%、「特に入手していない」が26.1%の順となっています。



第2章 調査結果の詳細

【単純集計 (%)】



性別にみると、女性では「知人・友人や近所の人」が全体の割合に対して多くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

	n=	市の広報・ホームページ	町内会・自治会の回覧	知人・友人や近所の人	家族や親族	市役所・地区福祉窓口	病院・診療所	地域包括支援センター	介護サービス事業所	民生委員	（地区福祉協議会 社会福祉協議会を含む）	特に入手していない	その他	無回答	上段：人数 下段：％
TOTAL	2,816 100.0	1,411 50.1	785 27.9	445 15.8	321 11.4	229 8.1	179 6.4	139 4.9	80 2.8	78 2.8	56 2.0	736 26.1	26 0.9	183 6.5	
男性	1,220 100.0	630 51.6	345 28.3	164 13.4	173 14.2	110 9.0	89 7.3	47 3.9	26 2.1	33 2.7	28 2.3	336 27.5	10 0.8	59 4.8	
女性	1,549 100.0	764 49.3	428 27.6	276 17.8	141 9.1	114 7.4	90 5.8	92 5.9	53 3.4	44 2.8	26 1.7	388 25.0	16 1.0	114 7.4	
前期高齢者	1,368 100.0	712 52.0	375 27.4	181 13.2	158 11.5	110 8.0	92 6.7	58 4.2	41 3.0	15 1.1	21 1.5	405 29.6	11 0.8	46 3.4	
男性 前期高齢者	644 100.0	341 53.0	170 26.4	70 10.9	100 15.5	56 8.7	46 7.1	20 3.1	12 1.9	6 0.9	12 1.9	197 30.6	8 1.2	17 2.6	
女性 前期高齢者	718 100.0	369 51.4	204 28.4	110 15.3	58 8.1	54 7.5	46 6.4	38 5.3	29 4.0	9 1.3	9 1.3	206 28.7	3 0.4	28 3.9	
後期高齢者	1,420 100.0	686 48.3	401 28.2	261 18.4	158 11.1	115 8.1	87 6.1	81 5.7	38 2.7	61 4.3	35 2.5	325 22.9	15 1.1	132 9.3	
男性 後期高齢者	573 100.0	287 50.1	174 30.4	94 16.4	72 12.6	53 9.2	43 7.5	27 4.7	14 2.4	26 4.5	16 2.8	139 24.3	2 0.3	42 7.3	
女性 後期高齢者	826 100.0	391 47.3	222 26.9	165 20.0	83 10.0	60 7.3	44 5.3	54 6.5	24 2.9	35 4.2	17 2.1	181 21.9	13 1.6	86 10.4	
(再掲)85歳以上	288 100.0	134 46.5	78 27.1	63 21.9	40 13.9	25 8.7	18 6.3	20 6.9	5 1.7	15 5.2	10 3.5	60 20.8	2 0.7	33 11.5	
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	55 53.4	37 35.9	21 20.4	17 16.5	12 11.7	7 6.8	5 4.9	3 2.9	6 5.8	4 3.9	20 19.4	0 0.0	10 9.7	
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	77 43.3	39 21.9	42 23.6	22 12.4	12 6.7	11 6.2	15 8.4	2 1.1	9 5.1	5 2.8	39 21.9	2 1.1	20 11.2	

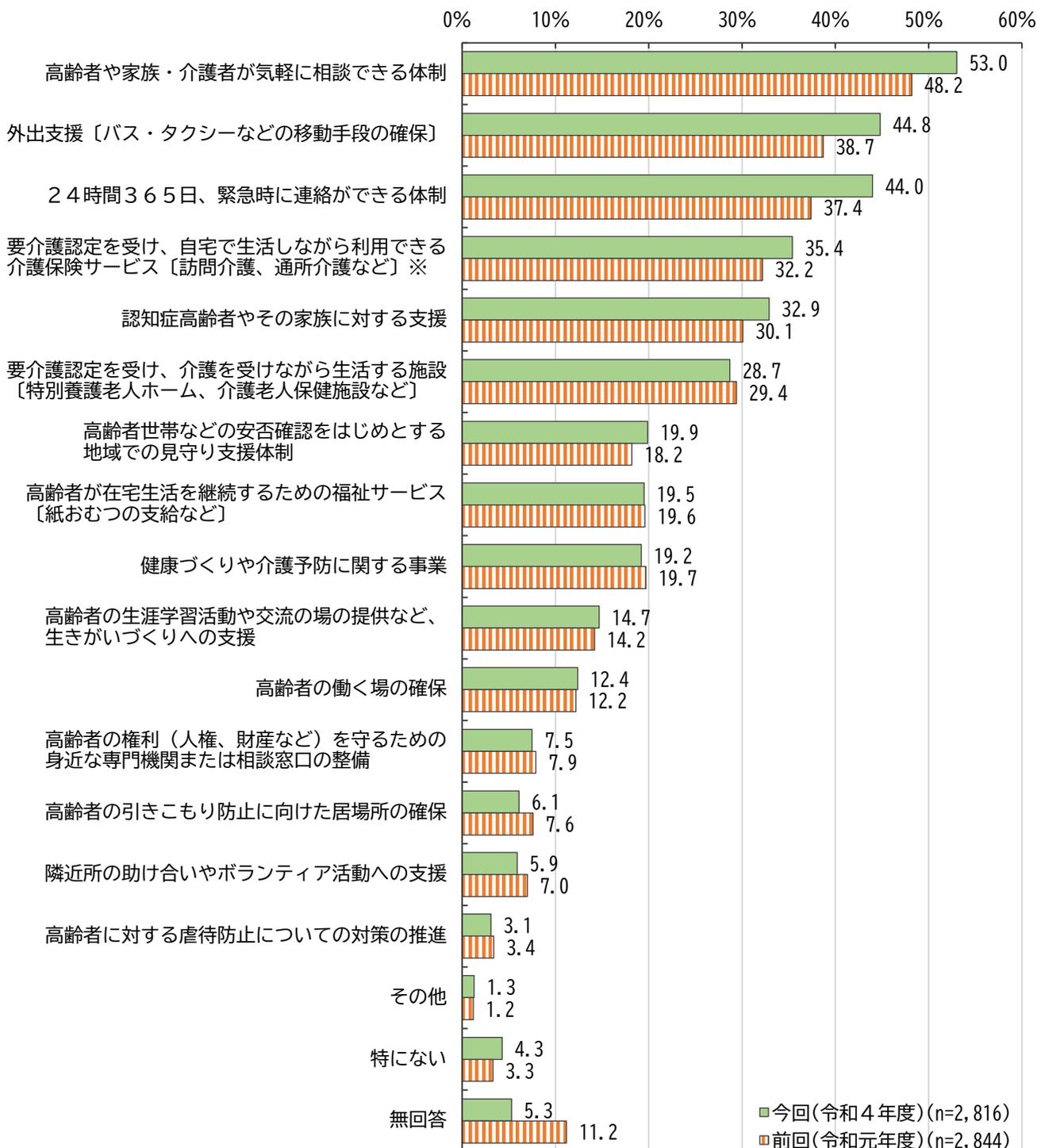
第2章 調査結果の詳細

(2) 今後優先すべき施策（サービスや事業など）

問 48 今後、高齢者に対する施策は、どのような事業などを優先的に進めていく必要があると考えますか。（特にあてはまるもの5つまでに○）

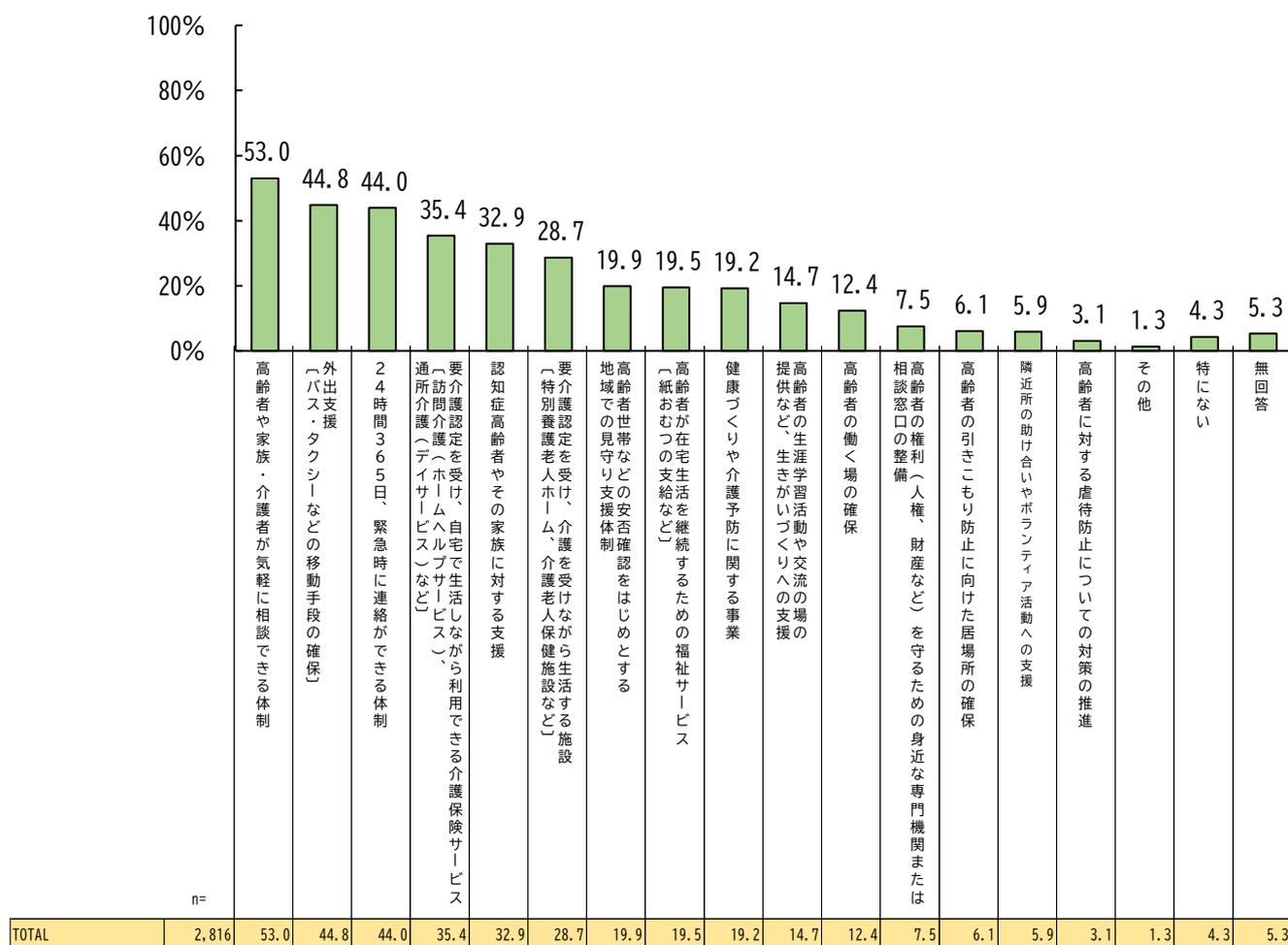
今後優先すべき施策は、「高齢者や家族・介護者が気軽に相談できる体制」が 53.0%と最も高く、次いで「外出支援〔バス・タクシーなどの移動手段の確保〕」が 44.8%、「24 時間 365 日、緊急時に連絡ができる体制」が 44.0%の順となっています。

【経年比較】



※訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）部分を要約しています。

【単純集計 (%)】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性は「要介護認定を受け、自宅で生活しながら利用できる介護保険サービス」が全体の割合に対して6ポイント弱低くなっています。女性は「外出支援〔バス・タクシーなどの移動手手段の確保〕」、「要介護認定を受け、自宅で生活しながら利用できる介護保険サービス」が全体の割合に対して比較的多くなっています。

【基本属性別（人数・％）】

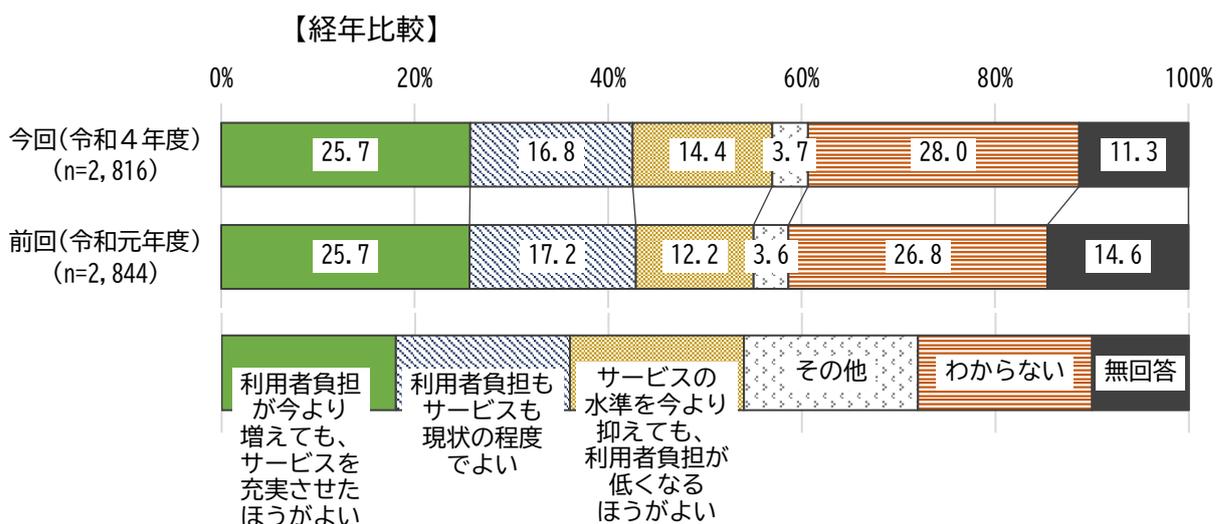
	n=	高齢者や家族・介護者が気軽に相談できる体制	外出支援 （バス・タクシーなどの移動手手段の確保）	24時間365日、緊急時に連絡ができる体制	介護保険サービス（訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）など）	要介護認定を受け、自宅で生活しながら利用できるサービス	認知症高齢者やその家族に対する支援	施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など）	地域での見守り支援体制	高齢者世帯などの安否確認をはじめとする福祉サービス（紙おむつの支給など）	健康づくりや介護予防に関する事業	高齢者の生涯学習活動や交流の場の提供など、生きがいづくりへの支援	高齢者の働く場の確保	高齢者の権利（人権、財産など）を守るための身近な専門機関または相談窓口の整備	高齢者の引きこもり防止に向けた居場所の確保	隣近所の助け合いやボランティア活動への支援	高齢者に対する虐待防止についての対策の推進	その他	特にない	無回答
TOTAL	2,816 100.0	1,492 53.0	1,261 44.8	1,239 44.0	996 35.4	926 32.9	808 28.7	561 19.9	548 19.5	541 19.2	415 14.7	349 12.4	212 7.5	171 6.1	165 5.9	86 3.1	37 1.3	122 4.3	148 5.3	
男性	1,220 100.0	669 54.8	483 39.6	524 43.0	361 29.6	436 35.7	307 25.2	243 19.9	196 16.1	287 23.5	179 14.7	208 17.0	96 7.9	72 5.9	69 5.7	32 2.6	15 1.2	71 5.8	52 4.3	
女性	1,549 100.0	800 51.6	762 49.2	698 45.1	621 40.1	480 31.0	490 31.6	305 19.7	344 22.2	245 15.8	229 14.8	139 9.0	114 7.4	97 6.3	93 6.0	53 3.4	21 1.4	49 3.2	89 5.7	
前期高齢者	1,368 100.0	761 55.6	621 45.4	646 47.2	472 34.5	490 35.8	399 29.2	272 19.9	267 19.5	287 21.0	213 15.6	246 18.0	111 8.1	86 6.3	84 6.1	49 3.6	13 1.0	56 4.1	40 2.9	
男性 前期高齢者	644 100.0	375 58.2	248 38.5	294 45.7	193 30.0	239 37.1	163 25.3	130 20.2	103 16.0	167 25.9	111 17.2	149 23.1	50 7.8	37 5.7	36 5.6	19 3.0	8 1.2	30 4.7	14 2.2	
女性 前期高齢者	718 100.0	382 53.2	368 51.3	348 48.5	275 38.3	249 34.7	231 32.2	141 19.6	164 22.8	118 16.4	101 14.1	97 13.5	61 8.5	49 6.8	48 6.7	30 4.2	5 0.7	26 3.6	26 3.6	
後期高齢者	1,420 100.0	717 50.5	627 44.2	582 41.0	516 36.3	431 30.4	403 28.4	282 19.9	277 19.5	250 17.6	196 13.8	102 7.2	99 7.0	84 5.9	78 5.5	37 2.6	23 1.6	65 4.6	104 7.3	
男性 後期高齢者	573 100.0	294 51.3	233 40.7	229 40.0	167 29.1	197 34.4	144 25.1	113 19.7	93 16.2	119 20.8	68 11.9	59 10.3	46 8.0	35 6.1	33 5.8	13 2.3	7 1.2	41 7.2	37 6.5	
女性 後期高齢者	826 100.0	415 50.2	391 47.3	348 42.1	343 41.5	228 27.6	254 30.8	164 19.9	179 21.7	127 15.4	127 15.4	42 5.1	52 6.3	48 5.8	44 5.3	23 2.8	16 1.9	23 2.8	63 7.6	
(再掲)85歳以上	288 100.0	137 47.6	119 41.3	114 39.6	102 35.4	72 25.0	71 24.7	55 19.1	61 21.2	38 13.2	34 11.8	13 4.5	20 6.9	23 8.0	18 6.3	7 2.4	7 2.4	18 6.3	26 9.0	
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	61 59.2	38 36.9	46 44.7	24 23.3	32 31.1	22 21.4	22 21.4	17 16.5	18 17.5	14 13.6	8 7.8	8 5.8	6 3.9	4 1.0	1 1.0	1 8.7	9 5.8	6 5.8	
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	72 40.4	79 44.4	66 37.1	76 42.7	39 21.9	48 27.0	33 18.5	42 23.6	20 11.2	20 11.2	5 2.8	11 6.2	16 9.0	14 7.9	6 3.4	6 3.4	9 5.1	17 9.6	

上段：人数
下段：%

(3) 高齢者に対するサービスの利用者負担について

問 49 問 48 にあるようなサービスを利用するにあたって、一定の利用者負担を支払うことについて、どのようにお考えですか。(1つに○)

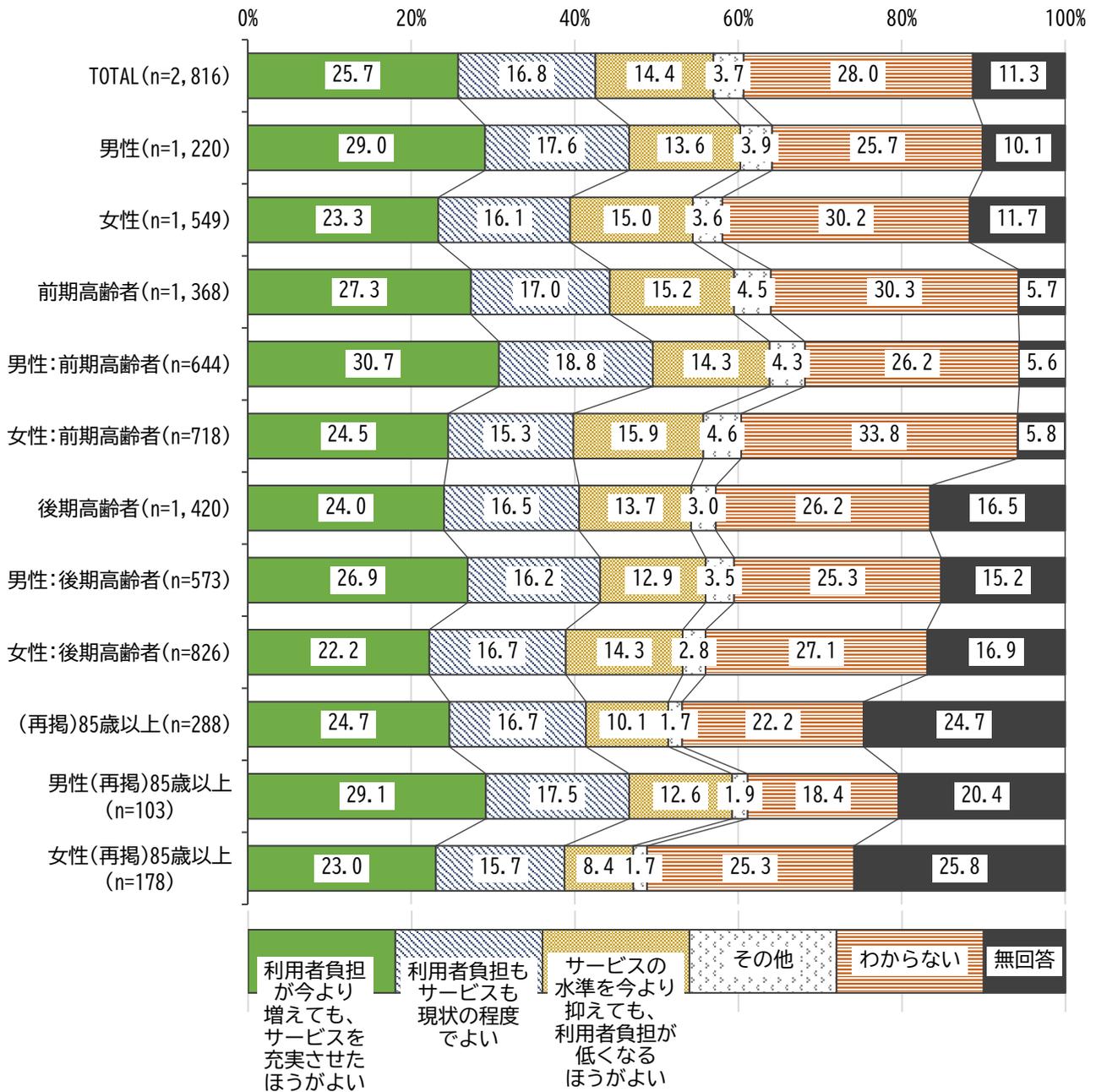
高齢者サービスの利用者負担については、「利用者負担が今より増えても、サービスを充実させたほうがよい」が25.7%、「利用者負担もサービスも現状の程度でよい」が16.8%、「サービスの水準を今より抑えても、利用者負担が低くなるほうがよい」が14.4%となっています。



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男性では「利用者負担が今より増えても、サービスを充実させたほうがよい」が全体の割合に対して多く、女性は「サービスの水準を今より抑えても、利用者負担が低くなるほうがよい」が全体の割合に対して多くなっています。

【基本属性別 (%)】



【基本属性別（人数・％）】

	n=	利用者 サービス負担が 充実が今より 増えたり抑え てもよい	現 状の 程度 負担 でも よい	利 用 者 の 負 担 が 低 く な る よ り 抑 え て も よい	サ ー ビ ス の 水 準 が 低 く な る よ り 抑 え て も よい	そ の 他	わ か ら ない	無 回 答	上段：人数 下段：％
TOTAL	2,816 100.0	725 25.7	473 16.8	406 14.4	105 3.7	789 28.0	318 11.3		
男性	1,220 100.0	354 29.0	215 17.6	166 13.6	48 3.9	314 25.7	123 10.1		
女性	1,549 100.0	361 23.3	250 16.1	232 15.0	56 3.6	468 30.2	182 11.7		
前期高齢者	1,368 100.0	374 27.3	233 17.0	208 15.2	61 4.5	414 30.3	78 5.7		
男性 前期高齢者	644 100.0	198 30.7	121 18.8	92 14.3	28 4.3	169 26.2	36 5.6		
女性 前期高齢者	718 100.0	176 24.5	110 15.3	114 15.9	33 4.6	243 33.8	42 5.8		
後期高齢者	1,420 100.0	341 24.0	234 16.5	195 13.7	43 3.0	372 26.2	235 16.5		
男性 後期高齢者	573 100.0	154 26.9	93 16.2	74 12.9	20 3.5	145 25.3	87 15.2		
女性 後期高齢者	826 100.0	183 22.2	138 16.7	118 14.3	23 2.8	224 27.1	140 16.9		
(再掲)85歳以上	288 100.0	71 24.7	48 16.7	29 10.1	5 1.7	64 22.2	71 24.7		
男性(再掲)85歳以上	103 100.0	30 29.1	18 17.5	13 12.6	2 1.9	19 18.4	21 20.4		
女性(再掲)85歳以上	178 100.0	41 23.0	28 15.7	15 8.4	3 1.7	45 25.3	46 25.8		

20. 今後の高齢者保健福祉施策に対するご意見

★ 今後の高齢者保健福祉施策に対して、ご意見があれば、どのようなことでもかまいませんので、ご自由にご記入ください。

自由記入は、724人の回答がありました。「サービス・生活支援について」が215件で最も多く、次いで「高齢者保健福祉施策について」(138件)、「行政に対する期待について」(106件)と続いています。

項目	件数
アンケートについて	94
行政に対する期待について	106
交通費の補助について	94
高齢者保健福祉施策について	138
サービス・生活支援について	215
将来の不安について	60
介護予防・健康づくりについて	70
介護保険施設整備について	65
広報・PRについて	48
ボランティア・社会参加について	62
街づくりについて	40
介護保険制度について	23
独居高齢者について	16
介護保険料等について	26
相談体制について	39
自治会・町内会・民生委員について	16
医療体制について	38
業者・従業員について	20
住まいについて	15
要介護認定について	13
その他	73

【アンケートについて】

- このアンケートが広範に活用され、充実することを願っています。ありがとうございました。
- アンケート記入はつかれました。
- 高齢者という自覚がない現在ですが、時とともに沢山の方の力をかりての生活へと移ることが予想できたアンケートでした。大丈夫などとは思えぬ事態になる前に知識を得られ良かったです。系の皆さんにお手数をかけますが、このアンケートは1年に1度くらい現状を知るために（周囲の家族や本人が）していただければ有り難いです。皆さん常日頃よりお世話になりありがとうございます。
- 今回のアンケートの内容を受けてみて、何となく日頃考えている事を整理出来た様に思いますがやはりその時になってみないと解らないというのが実感の様な気がしますがより良い終末が向えられる様に皆様がお考え下さる事に感謝申し上げます。
- アンケート、その年になっていないのでピンと来ません。「もし」という問いはナンセンス答えようがない。意図がわからない。その時になったら手遅れがない様にします。
- 本件のアンケートは多項目で長すぎます。もっとポイントをしばったアンケート様式にする方が良いと思います。
- 現在65歳で高齢者という言葉には実感がなく、親の介護の真最中です。このアンケートには親などの介護をしているか？の設問がなく、自分のことよりまだ親のことの世代である人へのサポートもほしいですね。
- 今回アンケートに回答していく中で、藤沢市の取り組みが良く分かった様な気がします。今以上に健康に留意し、出来得る限り頑張っていかなければと感じております。緊急事態時には、市のバックアップを積極的に受けたいと思います。今後の藤沢市の取り組みに期待しております。以上
- 今回の調査の目的がよくわからない。アンケートの結果をどのようにして連絡するのか、高齢者支援施策にどのように結びつけるのか、藤沢市が高齢者支援策に力を入れていると自己満足に終るような気がする（報告義務が必要）。秋葉台体育館のサウナ利用者は障がい者の入浴が大半であることを知ってますか（入浴料、駐車場料金、付添者すべて無料である）。障害者を優遇することは悪いことではなく必要なことであるが、税金を支払っている市民の利用について検討すべきである。市幹部・市議会議員を含めた関係者が実態を知らなさすぎる。コロナワクチン接種も県下で38番という実態を認識すべきである。コールセンターに話をしたら、自分たちもそう思うという感想でした。南には秩父宮、北には秋葉台体育館という立派な設備をもっているながら、市長を始め関係者がもっと知恵を絞って業務を推進すべきと考えるがいかがでしょうか。中核都市にふさわしい人口45万人の行政とは思えない。
- 質問が多すぎます。
- 質問項目・回答項目が多すぎて回答するのに疲れる。もう少し短く簡単にしたい。
- このアンケートに参加出来ました事に感謝申し上げます。まだ皆様に助けて頂く状態ではございませんが、いずれの日時近い内に訪れる介護の問題は深く身に堪えています。一番の気掛りは後見人制度です。行政司法立法の三権の皆様が携わられる証人が必要と思っています。一人の権利者が独断的に偏見を持って当事者の管理を行使する例が危惧されます。目に見える方法が必要です。
- 75歳になった直後のアンケート回答は難しい。今後の健康状況に関して予想が立たない。高齢者を要する家族へアンケート実施するのが適当と考える。
- 年末の忙しい時期のアンケートには疑問を感じる。

第2章 調査結果の詳細

- Qが多すぎて途中でイヤに。
- 現在健康なのでアンケートで要望が他人事の部分があるのでは？切実の状態では回答が変わるのではないかと実感致します。
- 自分が書けなくなったりした時、家族に迷惑をかけたくないのでこのようなアンケートも高齢者には大変です。(負担かな)
- 質問の数が多すぎて負担である。途中で挫折しそうだった。
- 今日のアンケート、参考になりました。82歳健康に全く不安はありませんが、人間いつどうなるか判らぬゆえ、相談する場所があることをもっと周知させる必要があります。
- 現在93歳のため思う様に回答出来ません。よろしく願いいたします。80歳までは元気でしたが90歳を過ぎて大分体力、視力、足がおとろえて来ています。頑張って生きております。
- このようなアンケートは老人の我儘を助長させてしまう恐れもあり注意が必要と思います。子ども世代に負担させる福祉の充実には賛成できません。
- もう少しポイントを絞った調査が必要では？結果を公開して下さい。
- 年齢にも幅があるし体力もいるしむずかしい問題だと思う。○×だけでは決められない。
- 現在は手足が自由に動くのであまり実感がなくて質問に答えることがうまくできませんでした。今後、体の不自由を感じたら別の回答になるかもしれません。日々体力の衰えを感じながら、それでも一人でがんばろうと思います。家族への負担が少なく余生をすごせたらと思っています。
- このアンケートとてもむずかしく感じ大変でした
- お疲れ様です。このようなアンケートをぜひ行政に反映させてくだされば幸いです。
- このアンケートはわざと項目が多い。年寄り向けではないな！！
- アンケートを書き出しても、実際になければ信用性がないです。
- 市役所に高齢者支援課がある事をはじめて知った状況です。今回のアンケートは、大変有意義な事だと思いますので、アンケート結果の市政への反映を期待します。昨今のIT化に伴いマイナカード対応など高齢者が対応しにくいケース等へのサポートがあれば良いと思います。
- 私は現在自立しておりますが、このアンケートを見て近い将来介護が必要になると思いました。その時に、町内に相談できるプロがいてほしいと思います。
- アンケートが非常に多く、健康でなければ正確な回答ができないと思われるので、一考を要す。
- この様なアンケートを実施して、市内の高齢者の保健と福祉について声を聞く施策は良いことです。集計整理してできることから具体的に実現して欲しいと思います。期待しています。
- 年金の支給額は増えないのに、後期高齢者保険、介護保険、窓口負担(1割~2割へ)等々、年金から天引きされる額は増えるばかりで、減ることはない。又、無税の方への補助はあっても、そうでない人へは税を払うばかりで何の支援もない。講座や講演会(必要以上にやってほしくあり。知ろうと思えば情報はいつでも入手できる)などにより、実際の生活の方が大変になってきている。特に急激な物価上昇の折、これ以上、高齢者の負担を大きくしないで欲しいと願うばかりです。 ※最近、市からのアンケートもとても多い。一つのアンケートを実施するのに沢山の金がかかると思う。大事な血税です。わずかな年金の中から払っています。どうぞ有効に使って下さい。誰も自分の健康は頑張っって自分で守っているんです。むしろ1人1人の負担を少なくする方法を考えていただきたい。
- アンケート見て色々勉強になりました。知らないことが多かったので、よかったです。
- 今回のアンケート記入しながら今迄漠然としか考えていなかったことに気づきました。現在72

歳、健康で仕事をさせて頂いていますことに感謝しつつ今後の老後対策を考えて参りたいと思います。ありがとうございました。

- これからの時代高齢者（自分を含め）いろいろな問題が出る事は沢山ある事と思います。それを考えて下さる若い方々に感謝を致します。私が結婚する頃、S41年22歳でした。今は80を過ぎあの頃に戻りたいと思う今日この頃です。でも月日は戻ってくれません。自分の思う通りには家庭を始めいろいろな事がうまくいきません。でも、今を大事に明るく楽しい家庭を作って行くしかないと思います。これを企画して下さった方々に感謝を致します。有難度うござ居ます。
- アンケートの項目が多すぎる。
- あまり必要を感じないで暮らせているので、改めて考えて対策を立てて下さっている事を知って感謝しています。まだ身につまされる事が少ないですが、早晚お世話になる時が来るのでしよう。余り今はやりの“仕舞い”生活に向きあっていませんが、半分なるようになるさ、と思ってくらしています。免許の返納をせまられる日が近いのはわかっていますが、とにかく夜の運転はやめています。Web調査試しましたが、問10に欠陥があり、ここから前に勧めず3回位やり直しましたが、結局あきらめました。システムエラーと思います。
- 現在79歳ですが、健康ですので質問内容があまり身近に感じられない。今後は大切な事なので真剣にとりくみたい。
- 仕事に従事出来ているので正直、未だ高齢者の保健福祉に対しての認識が低いと思っています。その様な意味でも現在の体調を維持することがいかに大切か、このアンケートによって知らされました。ありがとうございました。
- 今元気に過ごしていてボランティア、認知症、介護の事を考えた事がなかったので誰でも分かる高齢者支援を広報ふじさわに時々でいいですからおしえて下さい。アンケートに答えられなくてすみませんでした。
- 新型コロナウイルスの感染を避けて足掛け3年。栃木県の知人宅に避難し、徳洲会病院の予約がある時だけ帰投するような生活を続けておりました。藤沢での暮らしの現実感が乏しくなっております。今回のアンケートも、そのような状態で回答しております故現実感の薄いピントはずれになっていることを危惧しております。申し訳ありません。
- 高齢者に関わった人や経験した人の人数を増やし最後は自分も辿る道だと言う事を頭に入れて色々な意見を出しあい最後の人生を穏やかに暮らせる様になったら嬉しいです。このアンケート用紙に関わった方々お疲れ様です。アンケートをして下さり、ありがとうございました。
- 新型コロナに感染しないことばかりを重点的に生活を送っておりましたが、このアンケートにお答えするうちに認知症・介護予防等の言葉が身近かに感じられ自分自身のこととして真剣に深く考えていかなければならないと感じました。よろしくお願ひします。
- 高齢者の医療費の負担増、今後予想される後期高齢者の保険料の値上げ、各種生活物資の高騰。そして年金の減額、高齢者の生活環境は悪くなるばかりです。その中での当アンケート、高齢者に対する政策を考えての調査と思いますが、優先順位は人件費を含め無駄を省く政策をして、税金を安くしてほしい。
- 市広報の印刷文字が老眼では読みにくいです。今回のアンケート程度の濃さにしてほしいです。
- 65歳以上のアンケートごくろうさまです。アンケートをすることに依っていろいろ問題や要求が出てくると思います。私は88歳です。少しアンケートのポイントからずれますもう少し年齢幅の要求を考慮していただくといいのでは。これから年齢層もずーっと高くなるでしょうから。問題の設定と考慮していただきたいと思いました。
- 国勢調査以上に疲れた…！！ *Web、トライしたがURL正しく入力しても上手くいかな

第2章 調査結果の詳細

かったよ…。(理由不明…)

- このアンケートを通じて、素晴らしい湘南地区が高齢者に対して増々優しい街になる事を願っています
- 今回のアンケートそのものが当方自身のケアにつながります。市自身がなにを考えているか理解出来、とても重要と知りました。
- 両親が高齢で年に何回か実家に帰り、改めてこのアンケートがありがたく思いました。自分達もうすぐだから。こういうアンケートをとってくれてる事がすごいありがたいと思いました。ありがとうございます。
- この様なアンケート結果を充分真剣に取りくんで頂きたい。
- 今回アンケートに回答し自分はまだまだ高齢者・介護など考えていなかったが、少しずつ家族などと今後の事を話し合っていたら良いと思いました。
- 人として生かされて居りますことにはどのような日常をも懸命に努力しつつ邁進致して居りましても、心身の老化に勝ることは出来ませんと思いつつ、出来る限り自らの精神を鍛えお役所さまや多くの方々にご迷惑・ご負担を少なくして頂きたい所存のアンケートの返答になり、恐縮に存じますがお役立て出来ず返信させて頂きました。
- アンドロイドスマホでご回答しようと思ったのですが、問10が完全に表示されませんでした。12/3土
- 今月中に80歳になりますが、藤沢市は市政運営が素晴らしく良く、お陰様で快適で楽しい日々を過ごしておりますので、高齢になっている気分ではなくアンケートの記入に苦労しました。参考になりますかどうか気になっております。宜しくお願い致します。
- この記入にあたって、少し疲れしました。宜しくお願いいたします。
- 今回の調査は必要且つ重要であります。コロナ禍である為高齢者は思うように外出が出来ない点がある。(家の中にこもりがちである)その為外出だけでなく、旅行もレジャーもせず我慢している人が多いのではないかとその影響が今回の調査にあるかも知れない。
- 今回の調査で、認知症について学習したいと思いました。
- 娘です。高齢者へのアンケートは勿論ですが、その高齢者をフォローする娘世代へのアンケートも必要なのでは？！
- 質問の内容が乏しいので…。質問表は現状を十分に把握して下さい。(机上論)お役目ご苦労さまでした。
- アンケートを考える方も大変だったと思いますが、正直疲れしました。このアンケートの結果がどのように反映されるか知りたいです。高齢者への支援はしていただきたいと思いますが、大変なのはヘルパーさんや家族なのでそちらへの支援も考えていただきたいと思えます。
- アンケート遅くなってすいません。アンケート大変勉強になりました。
- 今回のアンケートで知った施策もございました。一部の方だけでなく、必要としている方、皆の知るところのわかりやすい計画説明が必要ではと、これからも期待しております。
- ありがとうございます。かく必要がない様な事をかいているかも？自分の思いでかかせていただきました。
- 本アンケートの設問が多過ぎて高齢者にはどうなのか？
- まずは高齢者に、この長いアンケートは疲れしました。困っている方に簡単にアクセス出来る様なシステムがどんどん増えると良いなと思えます。
- この様なアンケートは年々体力等の変化で変わっていくため、3年5年後にも同じようなアン

ケートを行ってほしい。

- アンケートの質問が多すぎる。一定の年齢の方を対象にした勉強会を開催されるのは如何でしょう。年2～3回、各回1時間程度。例えば、認知症への取り組み、65歳からの健康づくり、介護予防・日常生活支援について、権利・擁護について、人生最期の時（終活）について等今回のアンケートで藤沢市の取り組みをあらためて知る事ができました。ありがとうございました。
- 私自身、「80歳」半ばまで年相応に生活できることのよろこびを感じています。今日…これからは1日…1日を大事に「80歳」代を楽しく過ごしたいと願っております。尚今回のアンケートにつき色んなことを取り上げていますが、もっと簡素に私なり（年齢）にやっていただければと思っています。以上「80歳」主婦より。
- 今現在を不自由なく生活しておりますので、アンケートを上手に記すことができませんでした。申し訳ありません。質問に考えさせられたり、とまどったりと…すぐ近くまで来ている自分の将来をみつめるアンケートでした。
- いろいろお世話様です。今回設問が多過ぎて少々つかれました。至らぬところがあると思いますが、よろしく願い申し上げます
- アンケートはアンケートでいいのですが、アンケート結果公表だけで終わらないで欲しいです。
- 多岐(49問)にわたる問題提起に感銘！！ 時節柄のお勤めご苦労さん(5963)以上、宜しく(4649)お願い致します。
- このアンケートについて 巻頭に大体の所要時間を明記した方がよい 性別の設問は問題ある行政の地区割と実生活での地区が異なる地区がある事を理解していない 設問25-1の回答取り消せない。さらに未回答の項目があるとのメッセージが出るがその箇所がわからない。設問25の回答を「ない」として次に進んだ。アンケート結果の信憑性に影響する 高齢者には設問が多すぎる。半分程度が適切ですね。
- 非常に重要なアンケートですが、今のところ健康で不便のない生活をしています。体験してみないと分からない内容が多く適格な回答が出来ない事ご了承下さい。
- 今回のアンケートについてですが、URLの記載はありましたが、普段URLを手打ちする経験はほとんどなく(検索エンジンがあるから)、なかなかホームページにたどりつけませんでした。(誤入力为主因ですが、英数記号の無意味な羅列なので厳しい)市のホームページにリンクを貼っていただければ楽にできたと思います。なおスマホは持っていますが、字が小さい画面が小さく見づらい入力がめんどろ、などの理由で使用しませんでした
- このようなアンケート調査を毎年続けてもらいたい
- 67歳に自分にアンケートが来たがまだ健康なのでピンとこなかった。お役所仕事でない親身になった専門担当者を置いて対応して欲しい。
- アンケートをどうまとめて生かせるのか？市で計画している具体的事例事について意見を聞くようにでもしないと、現状をどう改善できるのか不安である。高齢者に限らないが、コロナワクチン接種問題でも市民の望むような改善が成されていないので。
- 高齢者だけでなく藤沢市の保健・福祉全体システムを知った上で答えたいアンケートだ。

【行政に対する期待について】

- 現在自身がまだ健康体ですので、意見等は具体的に分かりませんが、なるべく外部との接触を保ちながら自立できるような施策を願いたいと考えます。国の施策についても現状に合った政策、施策を考えて頂きたい。

第2章 調査結果の詳細

- 具体的な費用がわからないので、なんとも言えない。亡くなった両親の時を思い出して書いた。サービスを利用すれば、費用はかかる。払える、払えないが出てくるのでなんとも言えない。費用は安く、施策は暖かくなるとよい。よろしく願います。(誰にも相談できなく、サービスも知らず、生活に困っているお年寄がいないようにしていきたい。
- 家事や孫の世話を現在もやっているので私自身まだ種々のサービスを受ける状態ではないのでどう答えて良いのかわかりません。そのうちお世話になると思いますが、主人の時、介護保険の認定が遅く、利用しないで終わりました。何のために介護保険料取られていたのか、腹立たしい気持ちもあります。役所の仕事は遅すぎます。
- 要介護状態になった場合、施設への入所が簡単に行え、費用も入所者の所得に応じた対応ができる施策を考えて頂ければと思います。いろいろと難しいとは思いますが、今後高齢者がますます増加しますので、藤沢市の高齢者施策が全国のトップレベルになることを期待いたします。
- 問34に関して。たずね人の放送は女性の声で！！男性は聴力低下の為、ききにくい。放送回数が多過ぎる為、I C ・ T A Gのスマホ等で現在地が分かるので改善が急務。
- これから高齢者人口がますます増えていきますが、安心して暮らせる「藤沢市」であるとうれしいです。
- ①市は予防医学について、もう少し力を入れてもらいたい。②80を過ぎて悪くなり、その時だけ医者に来て直るわけがない。③老人会で声を大にして云っても理解してもらえない。よろしくたのみます。
- 市や福祉団体などの活動が、今までより身近に感じられるようになるのが、一番ありがたいし有効であると思う。年をとるとコミュニケーションの苦手な人は、ますます孤独になり、あまり他人とは話さなくなる傾向があります。いろいろな集会や組織の集まりも、話を聞いてくれる人が少ないのが現状です。私たち自身ももっと人に接し、いろいろなテーマについて話しあうことが大切ではないでしょうか。
- 介護保険を支払っているのに、いざという時の連絡先がわからない。入所したくても入所できない。・運転免許を返納すると、行動範囲が狭くなってしまふ。また病院へ行くことも不便になる。交通手段の補助を充実してほしい。⇒自主返納をうながして高齢者の危険運転を防止してほしい。
- 市に関係する高齢者としての活動の場として、主に「やすらぎ荘」のお世話になっています。(「童話・唱歌の会」(活動中)と「囲碁サークル」(休会中)の2サークルに所属しています。) 常々感じていることは、①「やすらぎ荘」は著しく交通不便な所にあつて残念なこと。②「やすらぎ荘」にはエレベーターが無く、老朽化してしまっていること。の2点です。建替検討時には是非改善をお願いします。建替時にサークル活動が継続出来るよう配慮していただきたいし、場所もより交通に便利なところに変えてもらいたいと思います。善行公民館の周辺には空いたスペースが一杯あるので、ここに「生き生きシニアセンター」の名称で建替前に施設を建設願いたいと思います。藤沢市が「高齢者福祉」の先端都市となるよう、これからも頑張ってください。
- 利用券は廃止すべきだ。利用しない税金の無駄は止めるべき。現金でB a c kすべきで、余計な施策はしないこと。
- 違う自治体であっても自治体間での連携があり、介護者やその家族が離職等に於て弊害を被る事なく利用できる施設や介護サービスを望みます。(国家レベルの問題かもしれないですが…)・財源の問題も有る事も重々承知していますが、もう少し低料金で本人、介護者及びその家族が利用できる施設の充実も併せて切望致します。(特養程度の料金)・最後に全ての福祉関係に従事されている方々への感謝を申し上げます。

- 近頃、「保健所」の名称から「保健福祉センター」へと名称変更されるケースを多く目にします。「保健（医療面）」と「福祉」の連携って重要だと思います。高齢者各人の態様に応じて、「保健」「福祉」の面から利用出来るサービス等の情報提供と各人に適応したサービスへのマッチングや対応を、包括的・一体的にしての支援を願いたいです。行政の縦割り対応は勘弁して欲しい。
- 老人と同居する家族の有様を、同居人にも理解出来る施策があれば、いじめ・虐待も少なくなるのではないのでしょうか。家族の中の様子は外にはわかりづらいので。
- 今回アンケートに回答していく中で、藤沢市の取り組みが良く分かった様な気がします。今以上に健康に留意し、出来得る限り頑張っていかなければと感じております。緊急事態時には、市のバックアップを積極的に受けたいと思います。今後の藤沢市の取り組みに期待しております。以上
- もっとシンプルに中間マージンを減らし、必要とする利用者や家族に対する負担が軽減できるシステムの構築をすることが必要と考える高齢者が安心して過ごせる社会作りです。
- 今回の調査の目的がよくわからない。アンケートの結果をどのようにして連絡するのか、高齢者支援施策にどのように結びつけるのか、藤沢市が高齢者支援策に力を入れていると自己満足に終るような気がする（報告義務が必要）。秋葉台体育館のサウナ利用者は障害者の入浴が大半であることを知ってますか（入浴料、駐車場料金、付添者すべて無料である）。障害者を優遇することは悪いことではなく必要なことであるが、税金を支払っている市民の利用について検討すべきである。市幹部・市議会議員を含めた関係者が実態を知らなさすぎる。コロナワクチン接種も県下で38番という実態を認識すべきである。コールセンターに話をしたら、自分たちもそう思うという感想でした。南には秩父宮、北には秋葉台体育館という立派な設備をもっているながら、市長を始め関係者がもっと知恵を絞って業務を推進すべきと考えるがいかがでしょうか。中核都市にふさわしい人口45万人の行政とは思えない。
- このアンケートに参加出来ました事に感謝申し上げます。まだ皆様に助けて頂く状態ではございませんが、いずれの日時近い内に訪れる介護の問題は深く身に堪えています。一番の気掛りは後見人制度です。行政司法立法の三権の皆様が携わられる証人が必要と思っています。一人の権利者が独断的に偏見を持って当事者の管理を行使する例が危惧されます。目に見える方法が必要です。
- 今後高齢者増加していく中でどのように支援していくか、国全体が考えていく必要になり、地域密着による体制が必要になり、支援が一人一人に届くように実感が感じられるような社会にして頂きたいです。
- 若い人に余り負担をかけたくないです。財源を考えてお金を使うよう、自力更生・自己責任の教育を。
- 藤沢市は子育てなど若い世代にはいろいろ手厚く対応しているが、高齢者に対してはほとんどと言っていい位、冷たい無関心に近い市だと思います。その点をふまえて高齢者のことも考えて欲しいと思います。この物価高の折、高齢者・若い世代など全てに支援金を出すべきです。
- はっきり申し上げて、市の行政は何をしているかよくわからないし、中途半端な行政ならやめた方がいいと思う。
- 1. はり・きゅう・マッサージ券配布よりバスカードの方が利用する人がいるのではないかな。
2. 高齢者に対しての福祉サービスが低い。
3. 何事に対しても平等にしてほしい。老人が2人で住んでいても、1人で住んでいる税金が変わってくるのではないかな。
- 認知になった場合の施策はとても進んでいると感じるが、高齢者でまだ動ける人々が快適に行動できる為に、ぜひ神奈中以外のバス（でなくても）移動のサービスが多くある事を臨む。車

第2章 調査結果の詳細

の運転をやめ駅に行くのも雨の時などバスは少なく、結局家にとどまる老人が多くなるのです。外出して刺激を得て元気であるために、ぜひ小型の自動車を利用できる手段を考えて欲しいです。辻堂駅への交通手段が住宅地をまわって下されば老人は本当によろこびます。マッサージ券の費用も、皆が選べるものにして欲しいです。交通費も健康手段になると思います。何故神奈中だけなのでしょう？多くの老人がバス停で話している声が市の職員迄届いていないだけです。改革を望みます。

- 私は六会です。又、市の職員が来て下さること楽しみにしています。10月は健康づくり課、認知症の話、食事バランス。11月健口体操の話。私は1日3回歯を磨く、3ヶ月に一度歯科医院を受診しています。12月に14日市の職員が出張して又色々お話し下さる。整骨院先生がボランティアで体操して下さい、早18年です。バランス体操とストレッチ体操週一（水）1～30～2-30分。時には藤沢カワセミ体操先生がきて下さってやっています。
- 今までこのようなことに、あまり感心が有りませんでした。この春から一人になり、急に不安になっています。まずは、このような時、どちらへ相談するかがあまりわかりません。もっと市役所、高齢者保健福祉施策を利用できるようにしてほしいです。
- 老後の生活はとても大変な事です。私の母は同居して自宅で94歳まで元気にすごしました。デイサービス、ショートをうまく使いながら家族との生活を楽しみながら本当に幸せにすごしました。家族との関わりが老後はとても大切だと思います。気持ちよく心から幸せに老後をすごしたいと思っています。そのためには「公共のサービスの充実」がいちばんと思います。頑張ってください。
- 高齢者の移動手段として以前、善行地区でコミュニティバスの運行を計画していました。試行運転まで行っていました但中止になりました。行政の介入で中止と聞いています。その代替手段として神奈中バスを市民病院経由としたようですが、とても失望しました。せめてバスの本数を増加する程度の方法を会社側と交渉していただきたかったです。公共の交通手段の充実が高齢者の生活を支援する大きな方法と感じています。
- 今後老人がどんどん増え、寿命もどんどん伸びていくかと思われます。老人が元気で経済面でも不安のないような国造りをお願いします。税金の使い方をうまく利用して国民がくらしやすい国になってもらいたいです。
- 関係ないのかも知れませんが、65歳になったと同時に介護保険料を支払うという事は初めて知りました。年金も多いわけでもないのに差引かれてしまうという現実に驚きました。将来に不安を感じる年代ではありますが、皆さんも同じですよ。提出する書類とか、もっと簡単に手続が出来ると良いと思っています。自分が書けなくなったりした時、家族に迷惑をかけたくないのこの様なアンケートも高齢者には大変です。（負担かな）
- ・高齢者を守るのは最終的には本人と家族になる。・市は高齢者が最終的にどうしようもなくなった時に手を差し伸ばしてくれれば良いと思う。本人と家族が行きづまった時に居場所を確保してほしい。
- 実効ある制度の充実を検討されたものにしてほしい。
- 本当に必要な事業に資金を集中させるべきだと思います。単に老人の人気とりに過ぎないような事業が多くあり、一方、本当に困っている人には手が届けられていない様に見えます。このようなアンケートは老人の我儘を助長させてしまう恐れもあり注意が必要だと思います。子供世代に負担させる福祉の充実には賛成できません。
- 市の施策はお体裁に見かけ倒しが多く、あまり期待していないが、やるなら本当に救う本気が必要である。街のあちこちにある広報スピーカーにしても家の中では聞こえないのに何にも改善されていない。藤沢は人口こそ多いが、回わりの人口が少ない都市の施策の方が進んでいる。

市長以下幹部諸氏はいつまで嗜眠をむさぼっているのか。小子高齢化が益々進む中、ほっておけば市の衰退につながるのに未だに歯止めがからない。もっと真剣に取り組んでもらいたい。

- 藤沢市には日本中、どういう社会にしたいか、何もない。倅せな社会とは、どういうものか。どう生きるか？それが無い現状。ますます社会は患っていく。泥沼の施策ではつまらぬ事に金、税金を使うのみだろう。
- 市の実施している具体的な支援策を知らしめて欲しい。
- 個人個人に密着型の福祉施策を望みます。この施策が形式的なものにならないよう、切に望みます。
- 死後の処理（相続、葬儀等）を、生前に話し合い費用負担（個人）も含め、行政が代行してくれると安心。法的な問題があり、難しいと思うが、独居老人が増加していくのは見えているので、踏みこんだ施策を行政に期待したい。私自身は身内に負担をかけたくないので、NPO法人に委託を考えているが、委託金の担保に不安はある。その点でも行政なら安心感がある。
- 市の福祉施設に対し（節電等）税金のむだ使いをしないでもっと、必要な事に対し市税を使ってほしいですね。こぶし荘でも風呂が始まる前1、2時間前から全部男女ぞついで室よく室つけっぱなし。年間になると大きなむだ使いです。前々の所長さんの時は、そんなことはなかったですね（利用する時電気をつければ良いことです）
- 自身のことではないが、ex) 今まで、動き回って家のことをしてきた主婦が不自由になり動くことが自由にできなくなった上に家族が積極的に協力しない様な状態になった時、本人が助けを求める場も手段も、そういう事をする勇気というか精神的に自分のことで色々手伝ってもらおうとする気持ちにも抵抗を感じるような人が居た場合、もっと早く補助ができれば少しでも前向きに生きる事が早めに出来たのに…という様なことがあったり他の人が手伝ってあげたい！と思っても、何かあったらと責任も感じることもあり…大変でしょうが、ある程度の年頃の家庭にその環境を把握するための、おおきなお世話を（訪問とか）したりして会話をして行動を起こす手助けが出来るときかけを作って頂ける様にと最近です。（わかりにくい文で申し訳ありません）
- 藤沢市は良くやっていると思います。小生は利用していませんが、聞くところによるとですが、頑張っているヨ…
- この様なアンケートを実施して、市内の高齢者の保健と福祉について声を聞く施策は良いことです。集計整理してできることから具体的に実現して欲しいと思います。期待しています。
- 年金の支給額は増えないのに、後期高齢者保険、介護保険、窓口負担（1割～2割八）等々、年金から天引きされる額は増えるばかりで、減ることはない。又、無税の方への補助はあっても、そうでない人へは税を払うばかりで何の支援もない。講座や講演会（必要以上にやってほしくあり。知ろうと思えば情報はいつでも入手できる）などにより、実際の生活の方が大変になってきている。特に急激な物価上昇の折、これ以上、高齢者の負担を大きくしないで欲しいと願うばかりです。 ※最近、市からのアンケートもとても多い。一つのアンケートを実施するのに沢山の金がかかると思う。大事な血税です。わずかな年金の中から払っています。どうぞ有効に使って下さい。誰も自分の健康は頑張っ自分で守っているんです。むしろ1人1人の負担を少なくする方法を考えていただきたい。
- 1. 温泉ではないが、風呂（5種類位の風呂）と食堂が一緒になった健康ランド？が近所であり繁盛していたが、10年程前に地代の関係で閉鎖となってしまった。この様な家族で楽しめる憩いの場をもっと誘致して欲しい 2. 3年程前迄は（コロナウイルス前迄は）近所の市民プールによく行ったが、コロナ発生以降は行かなくなった。もう安全なのか（利用しても安全なのか）不安全なのか、市役所より通知（市民へ公表）して頂きたい。

第2章 調査結果の詳細

- お家の周りをポリスも市の方も来たことはありません。藤ヶ丘中学校の正面からみて、東にある場所です。不便な場所ですので、一度見に来て下さる事も大切だと思います。そこにどれくらいの老人が住んでいるか見て欲しいです。若い時には感じていない今日この頃です。
- 生まれた時から、高齢者の時代は必ずおとずれると誰もが知っているのですから、幼児の時代から家庭、学校で学ぶこと、訓練することこそが基本的な備えなのだと考えます。私たちの国民性だと思いますが、個人の自立を好まないで、かまひ過ぎて、問題をかかえこんでしまう傾向が目にあまります。すでに「有事」とみなす昨今ゆえに心にかけています。
- 健康第一と考え、常に体調に注意し病院の世話のない様に心がけています。病院の世話を受けずに過ごせた分「祝い金」の様な形で支給される事があれば、一層健康に注意して生活出来る。楽しみがもてると思います。いかがですか？医療費 20%です。福祉としては？です。
- やはりコロナが心配です。かかった場合、どんな対応をしていただけるのか目に見えるようにしてほしい。藤沢市として！！
- このような意見、要望はあってもなかなか市民の声はとどかないことが多いしこれからもこまっている方の力になってほしいと思います。低所得者にやさしいサービスであってほしいと願います。
- 現在は必要な福祉施策は行われていますが、人数が増加する 10 年、15 年後でもある程度の施策が出来ますよう長期的な計画を立てていただきますようお願い致します。
- ※介護保険は受益者負担を多くして高齢者のひとりひとりの保険金は安くして下さい。一生全く利用しないで拂い続ける苦しさは如何ばかりか。健康保健（医療保険もしかり）一度も医者にかからず自分で健康に注意し栄養を考えて日常生活していて、医療費の 2 割、3 割負担という収入に応じての支払いは仕方ないとしても年間全く医療費を使わなかった人にはほかに恩典がないものでしょうか？高齢で病氣しない人は日常細かく心を使って病氣はいやだからと注意している人です。前は役所から一年間医療費を使わなかった人にはごほうび品下さいましたが多少のものでもはげみになります。
- ・歩行が困難等通常の生活に於いて苦勞しているにもかかわらず障害者認定が軽かったりもれてしまったりする高齢者が見受けられる。その様な方の把握やケアの対策をお願いしたい。・何よりも市役所に高齢者支援課なるものの課の有る事を知らない人が多いのでは？
- 年金支給金額が減額し、今後の生活をどの様にしたら良いかを考えると貯金するしかないのかと思われるが、なかなか貯金が出来ない現状です。今回コロナで国から 10 万円の助成があり、ずいぶんたすかりました。今後、低所得者に対し非課税対象者の件は知ってますが、もう少し「くらしやすい」方法はないでしょうか。たとえば一市営住宅の入居条件の緩和。
- 現在、主人の介護生活で精神的にも時間的にも余裕のない生活です。介護サービスも受けてはいますが、もっと家族に負担の少ない生活ができれば良いと思う。介護保険料を上げるのではなく、国がもっと色々な面にサポートをして欲しい。
- 高齢者の医療費の負担増、今後予想される後期高齢者の保険料の値上げ、各種生活物資の高騰。そして年金の減額、高齢者の生活環境は悪くなるばかりです。その中での当アンケート、高齢者に対する政策を考えての調査と思いますが、優先順位は人件費を含め無駄を省く政策をして、税金を安くしてほしい。
- よりよいサービスをうける為にそれなりの出費は当然だと思う。私の個人的な感想では高齢者は優遇されているような。困窮している若年層にもっと力をいれる方がよいのではないかなあ…別件になってしまうが、町内会の運営が危機的状態。自治会活動を行政はどう考えているのだろうか。
- 高齢者支援課皆様 数カ月前、自転車でスーパーに行く途中杖をついた高齢の男性がとてもお

ぼつかない足取りで歩いているのを見かけ、一度は通り過ぎたものの、気になって戻ってみるとほとんど進んでいない状況だったので「どちらにいらっしゃるの？」と声をかけました。あまり要領を得なかつたので交番に行って（土曜日でいきいきセンターが休みだったので）おまわりさんに見てきてほしいと頼みました。本来の仕事ではなかつたのか気乗りしないようでしたが、行ってみると云ってくれたので私は先に男性の所に戻って「大丈夫ですか？」と話しかけると、丁寧に「気にかけて頂いてありがとうございます」と云われました。そのうちおまわりさんが来てくれたのですが「名前と生年月日が云えるから大丈夫」と云って帰って行きました。男性は立っているのがやっとでとても大丈夫そうには思えなかつたのですが、おまわりさんがそう云うのだから、私がそれ以上のことは出来ないと思いスーパーに行きました。帰りにも気になって声をかけたのですが「気にかけて下さって有難うございます」と云われました。雨も降りそうで私も自分のことが先になり家に帰りました。しかし、どうしても気になって戻ったら、3人の方達が彼を支えて道の端に立っていて、「道に倒れていた」とのことでした。私は一度家に帰って、椅子とアメとお茶を持って戻ったのですが、とても後悔しました。男性のお家は3丁目で山本市長の向い側ということでしたが、皆よく分からなかつたので、結局若い方が救急車を呼んでくれました。後日いきいきセンター行ってその後のことは分かりません。あの方のことを思い出しては心が痛みます。無理なお願いかもしれませんがお元気かどうか分からないでしょうか。高齢者の淋しそうな姿を見るのはほんとうに辛いことです。藤沢で生涯を終える人達がそれまでどんな人生を送ってきたとしても最後は生きてきてよかったと思っしてほしいと願っています。老人福祉のためにこのようなアンケートをとって頂き有難うございます。お忙しいとは存じますがくれぐれもお体大切に御活躍になられますようお祈り申し上げます。

- 人間だれでも年を重ね、今まで出来ていた事が困難になることがあります。その様な時あたたかいまなざしで、見守ってくださる街であってほしいと思います。行政の手で力をかしていただきたいと念願しています。いつまでも住み良い「湘南藤沢」であってほしいと思っています。
- 運転免許証を返納しましたので、タクシー無料の支援を介護職員の賃金を上げて下さい。賃金が上れば働く人もふえ、介護もゆきとどくと思います。
- 自立生活と健康寿命の確立について。自立できる生活支援が必要であり、個々の体力や気力に対応した行政サービスであってほしい。一方、一日でも生命を維持する長寿社会よりも個人の尊厳を守るため生命維持装置を拒否する決断と安楽死の是非について議論を深めていただきたい。生きることを求め続けるも自分の終息は自ら判断したい。
- 歩道を水平に統一して下さい。車道と同じ高さでないと各個の家庭で自家用車の出入のため歩道を低くするため2.3m毎に凸凹が出来て夜道は近所でも歩けません。善行二丁目バス停から団地入口の信号歩道を歩いて見て下さい。高齢者には明るい時間帯はまだ良いけれど、暗いと歩く事が出来ません歩道を作る際はせつかく税金を使って作るのだから安心して歩ける道路を作して下さい。
- 年金減額、介護保険料増額、後期高齢者健康保険料増額しない福祉施策を。生活保護、市民税非課税世帯になりたくない。
- 少子高齢化が進む中で、老人の健康や自立が難しい方が増え、認知症の方も増える中で、市役所の幅広い支援への取組みに感謝します。各種取組や対策が更にきめ細かく施されていますが、対象となる高齢者の自覚や自立継続する姿勢も大切な事ですので、役所の支援を期待します。
- 寿命が延び「人生百年」と言われている現在、高齢者向けの事業を立ち上げれば需要が多く確実に利益が得られると思います。アンケート問31の項目包括支援センターの活動について、本当にその目的が記されている通りなのか…大いに疑わしく思います。書きたい事がたくさんありますので別紙に記入します。その実情も知らず包括センターを訪れたところ近くの高齢者

第2章 調査結果の詳細

サービスステーションの職員が来ました。さまざまな契約をさせられ、さらに営利を目的とした業者達の標的にされ、さんざんな目に遇いました。常に高圧的な態度で接してくるのが不快でなりませんでした。洗いざらいここに明記したい程です。訪問看護という名目で主人は医療行為を受けましたが…失敗しました。本当に看護師の資格があるのかと不信に思いました。失敗しても自分達の非を認めて謝ることはありませんでした。これが委託を受けた業者のやる事でしょうか？全く信用できません。私達はこの業者を断りました。今まで通り病院で受ける事にしました。主人が亡くなり、十年近く経ちました。私は現在少しの不自由はありますが普通の生活をしています。今後どのような状況になっても包括支援センターは利用しません。子ども達も利用しません。高齢対策事業計画を立てておられる様ですが「福祉」という名目を付ける限り本当に中身のある計画を立てて頂きたいと心より願っています。

- 現在の生活では不自由なく暮らしていますが、この先市の方にご相談またはお世話になる事があるかと思っています。その切は宜しくお願い致します。
- 市役所福祉部高齢者支援課を初めて知ったのですが、直接問い合わせ（訪問）は可能なのですか？1人での生活（ほとんど）では、先行き不安だらけ。いつ突然死を迎えるか分からない状況の体調。生きていうちに1度訪問（連絡）したいと考えています。叶わぬ夢だと思いますが…
- 高齢者に限らず、市民が困っている事を市に願い出たら回答をきちっとしてほしい。
- ①高齢者の交流や地域とのつながりの場として、小学校区単位にある「地域市民の家の終日開放をお願いします。留守番に市のOG・OBを配置すれば、困り事の相談や情報提供はできるでしょう。市民の家は利用率が低くもったいない。担当部局の壁を越えて活用の道を！ ②市はいい仕事をたくさんしているのですが、情報の発信が各課ごとに広報・チラシ・パンフレットで出されます。保健・医療・福祉・介護についての情報を一皿にまとめたものがあれば、これを見ればどこに相談したらいいと分かる。そういうのって、今あるのかな。成人健診のしおりのような、さらにふくらませたものもいいな。
- 色々な情報が多く、どれが正しいのか混乱することもあり、シンプルで伝わりやすいように情報が整理されると助かります。また、近隣との関係は高齢になってから築こうとしても難しいので、普段から少しずつつながりを築いていけたらよい。現代は個人情報の保護や人間関係を広げたくないといった人も多いのでなかなか難しいけれど、いざという時助け合えるつながりが出来ると良いと思う。その為に地域や行政が、さりげなく関わってくると有難い。
- 高齢者が増加するのに合わせて、保育園で子育ての手伝いが出来たり（手遊びやお話読み聞かせ、歌の指導）、若い方々の介護職の待遇が改善されて増えていくと良いと思います。学童での勉強のサポートが出来たり、共存の世の中へ…71歳、塾のスタッフ&家庭教師&リモートでの家庭教師を続けている者として、高齢者の能力活用！！
- それぞれに事情はあろうと、大部分の方が真面目にこれまでの人生を生きて来られたと思います。高齢になっても安心して暮らせる様、取り残される人がいない様、行政の方々をお願いしたいと思います。
- 善行団地に居住しております。石川町に前にミニバスでも良いので、1日3回程運行して欲しいです。小田急、神奈中交通との架け橋を市長さんをお願いして欲しいです。
- 問49について。負担について、これ以上増やしてもらうことに反対します。
- 際限のない高齢者支援は止めるべきである。その理由、①高齢段階の状況は過去の生活の結果であり、基本的には自己責任とする。（（例）暴飲暴食で気ままな生活の結果の要介護状況等は全て自己負担とする。）②予防に重点をおき、予防努力をした高齢者に対する支援に徹するべし。（例）毎年の市が実施する健康診断を受け、結果に対する医師の助言を実行してきた結果でも要介護状態になった人間が介護対象とする。③治療費より予防費の方が安価ではないか。④

全ての高齢者がピンピンコロリ状態の死が理想的ではないか。

- 以前高齢者入居者の事で（私は家主）包括支援センターに相談に行ったが、高圧的な態度であった。これでは困った人を助ける事は出来ないと思う。職員は同じ事の繰り返しだろうが、相談に行く人は分からないから行くのである。
- 良く分からないが…他の国…や他の市…やっている良い事を真似てやって下さい。一般的には、負担が少なくサービスも充実と思うから…そこは難しいよね。
- 今後、高齢化が進み、介護・福祉の需要が増すことは理解しています。年金のみ生活になり、それでも介護保険料は上がり、物価は上がり、医療費も今までよりかかるようになっていきます。サービスを充実させるが、負担も増やすのは、サービスを受けたくても、我慢する人が増えるのではないのでしょうか。私たちは市民税も納めています。精査を重ね、市民税の使い方の検討を望みます。
- ・一部の人が利用していたり、あまり払ってない人が保険をうまく利用している感が有る。公平でない感が有る。介護保険料を払っていても最後まで利用しないで死ぬ人もいる分、何も払わなかったり少ししか払わないで最高の介護を受けている人もいる。非常に公平感がない。又、市議会議員など何もしていない人が多すぎる。もっと仕事をしない人はやめさせなければ何も始まらない。もっと頭を使い、現実、実を見る必要が有るのではないですか。お金使い道も、必要ないものが多すぎると思う。
- ◎使われていない田んぼ、畑など気軽に使えるようにして欲しい。まとまった所があれば休憩小屋などあればなお良い。◎保健福祉施策ではないかも知れませんが、ライフタウン（けやき通り）で歩道けやきの根がもりあがり高齢者の散歩、車イス、自転車などきけんです。根を掘りおこし平らにとは言いません（お金がかかる）ペンキで印をつけるとか工夫した方がいいと思います。
- 地域ごとに福祉課の職員が高齢者世帯に直接訪問をしてそれぞれの実態をしっかりと把握してゆく必要があると思います。それをふまえた上でより市民に寄り添う福祉の施策が実現してゆくものではないかと思います。私の望みますことは、市民一人一人が豊かに安心して暮らせる町を常に目指してほしいと思います。小さな実現を見続けます。
- 母の介護を通じて感じたこと：デイサービスでの食事、母はほとんど食べれなくて（小食）残していました。個人により99歳の方は完食、設備によるとは思いますが、レストランのように軽食などと選べるようなシステムを導入してほしい。高齢者もカルチャーセンターのように趣味を選択できて楽しく生き活きとした高齢者の福祉を施策してほしい。しかし今の現状では、予算の問題で、むずかしいと思いますが、日本の介護現場をもっと明るく生き活きとしたところになることを願っています。
- 低額で質の良い支援制度を期待しています。少しでも前進していただければ幸いです。 R4. 11. 29
- ・市内移動のバス、電車の無料券の配布、外出が増える。（現行のサービスの代替） ・Qが多くつかれた ・テスト的に善行支所に受付を設置しては？気楽に聞ける雰囲気、用件のワンストップ化。
- 市はどこまでの高齢者の人々に理解をするのか？100%まではダメ、150%~200%位が必要である。人口も増えるので、反面高齢者も多くなるのでそこんところをよく考えて、これからも大切である。以上
- 1. 自動車運転免許証の扱いについて：「80歳に達した者の免許証は、全て失効！とし、特殊事情により特に認める者のみ許可する」ことのご検討を… 2. 行方不明者の対応について：行方不明者を市内広報により協力を要請するののも一つの方法であるが、人権に配慮しながら

第2章 調査結果の詳細

「全地球測定システム（GPS）」を活用すべきでは…

- 日本は子供、若い方々には助成をしているが、働けなくなった老人からは介護保険や国民保険と色々な制度を作っては負担をかけすぎている。収入は無い、支払いはあると困っている高齢者はたくさんいると思う。ひきこもりや職が無い若い世代に働いてもらう仕組みを考えて欲しい。私は死ぬ直前まで働いて税金や保険を払い続けなければいけないのでしょうか？
- 他県他市の良い所を参考にし、支援向上に役立ててほしいです。
- 成年後見人制度の信頼性の確保はどのように確認できるか気になるところです。成年後見人を利用するには費用が高いので考えものだとも聞きますが、市の公の援助の制度があれば利用しやすいかと思います。又一度お願いすると止める事が出来ないのも考えものです。
- 高齢者支援を充実させる施策は進めていただきたいが、「年齢による差別」的な仕組みは、少なくしていただきたい。このアンケートでカバーする話ではないですが、高齢者の運転免許更新手続きは、高齢者だけに不利益・負担を強いる差別制度です。これを「差別」と感じない行政・社会に不安を感じます。年齢によって、一律に何かをするのではなく、一人ひとり、必要とする支援は、異なるでしょうから、それぞれに合った支援を提供できる仕組みを作り上げていただきたいと思います。
- 持続可能な施策
- 将来的の衣食住に追加不安の無い市政の具体作政策。
- 藤沢市が高齢者福祉施策に優れた町として誇れる様、積極的な施策を今後ともよろしくお願いいたします。
- 法人税を増税し、ODA を辞め、また財源を見直し、公務員の生産性をアップ（行政のデジタル化）人員削減し、国会議員、県議、市議、町議、を半分以下にし社会保障費を無償化せよ！居眠り議員はいらねえぞ！
- 多岐にわたり行政の仕事をありがとうございます。自分がどのように年を重ねるのかわかりませんが、子供に頼る状態ではないのでなるべく予防をしながら自立した生活を続けたいと思います。いつか思うように体が動かなくなったら行政や企業のお手伝いを総動員させて助けていただきながらどうか頑張って生きていたいと思います。その時は気軽に相談させてください。よろしくお願いします。
- 市民からの福祉施策に対する要望に対して、耳を傾け、取りあえず直ぐに活動して頂けるような『直ぐやる課』の設置を希望します。市民の声に真摯に対応して頂けるような福祉施策であって欲しいと考えます。
- アンケートをどうまとめて生かせるのか？ 市で計画している具体的事例事について意見を聞くようにでもしないと、現状をどう改善できるのか不安である。高齢者に限らないが、コロナワクチン接種問題でも市民の望むような改善が成されていないので。
- 現状の運営に関して、正確な内容や資金などを把握していないので、適切な意見を出来ると思わないが、高齢者に限らず自立した生活をする為の施策を望む。
- 高齢者施設では高齢者の高額所持品がなくなったりすることもあり不安がある。しかしながら現状では在宅での生活には、支援体制（特に見守り、介護支援体制、緊急連絡の時間など）の制度と体制が十分ではないと思う。
- 高齢者に予算を割くより 将来のある 子どもや若い親の為に保健福祉政策を充実してほしい。未来のために、 高齢者への福祉施策はほどほどで良いと思います。
- 図書館を小田原市、茅ヶ崎市を参考に改善して欲しい。今の施設はゆっくり本を読んだり調べ物もできない。本が揃っているだけが図書館ではないと思います。図書館は高齢者が多く利用

しています。各図書館を順番に改善してください。

- 介護保険なんて一生使わないかもしれないのにふんだくる政策が嫌い
- 個人として一律ではない、きめ細かい対応をして欲しい
- 当方居住地域にショッピングセンターの誘致をお願いします。
- 今回のアンケートとは関係ないが、以前実父が亡くなったおり、市役所の相続税相談にいきましたら、叔母さんの弁護士が担当で、とても 対応が悪くて、がっかりした経験があります、また妻がめまいが酷くなった時も相談に行ったが、まさに、けんもほろろの塩対応で、とても 市の活動は信用できないとおもいました。アンケートの前に税金を使っている活動の内容をよく調べて欲しいと思います。

【交通費の補助について】

- 横浜で行っている交通（バス・地下鉄等）の利用パスを藤沢でもあったら助かります。
- 助成券に老人が一番必要としている外出時（病院、買物）のバス代やタクシーの助成がどうしてないのか不思議でなりません。以前2回くらい市役所へ直接電話を入れています。お風呂も、プールも、マッサージも本当に決まった人しか必要としませんが、外出時のバス、タクシー代の方は高齢者が一番助かることだと思います。
- 高齢者いきいき交流助成券を交通費としても使用できるようにして欲しい
- 支援施設を利用したいと思っても交通の移動手段がない。家族も勤めがあるので自由にならない。つつい出かけるのが面倒になる。玄関先までとは思いますが、細かい交通手段を考えてもらえたらと思います。
- 交通手段の充実をお願いします。昔に比べて乗降客の少ない路線に限らずバスの本数が激減したように感じます。高齢者が運転免許証を返納しやすくするためにもコミュニティバス等の交通手段の充実をお願いします。
- 今は「わいわい市」まで自分で車を運転して買い物に行ってますが免許を返納したら行けません。なぜなら、国道467号線はバスが通ってないからです。藤沢産の新鮮な野菜が食べたいです。是非、辻堂駅発、藤沢駅発等、各主要な施設や販売所に行けるコミュニティバスの充実を宜しくをお願いします。

【高齢者保健福祉施策について】

- 高齢者で低所得の者が医療費負担2割になったら生活できません。
- 年代別（70代、80代、90代別）の保健福祉施策を検討してみてください。
- 高齢者が何に困っているか、高齢者が置かれている多様性に目を向ける努力をしてほしい。
- 「高齢者保健福祉施策」に対する行政スタッフの日々の努力に感謝申し上げます。2025年、65歳以上の5人に1人が認知症だと大きく報道され将来が不安です。
- アンケートに回答して行くにつけ、やたら「高齢者」という文言が出て来て何か気になります。人生100年時代に65歳以上を「高齢者」と一括りにせず、良いネーミングを（愛称でも良いのでは？）市民の投票等で考えてみるのもいかがでしょうか？

第2章 調査結果の詳細

【サービス・生活支援について】

- 私が住んでいる地域では、市の福祉サービスを受けている人は少ないです。情報が少ないのか、積極的に調べないのか、孤独な老人をよく見かけます。近くに「こぶし荘」があり、アクティブな方々は参加して楽しい老後を過ごしています。その反対で淋しい生活をしている方が多くいます。このコントラストを埋めて行きたいですね。
- いきいき交流助成券を今まではプールで利用していましたが、体調が悪くなると行けなくなり全部を使いこなせなくなります。各運動施設での講座にも利用できると良いと思います。
- 交流助成券（主人がいただいています）ですが、内容を見ると私自身、使いたいなあと思うものはありません。健康増進と介護予防を図るためということですが、例えば健康に関する図書購入や、定期的に受けている 8020 運動（歯科検診等）にも使えるとありがたいです。
- 高齢者いきいき交流助成券の増額を要望する。事由は、利用枠の工夫や人との出合いの機会等により健康維持に貢献でき、市民全体の介護サービス等の利用が多少なりとも減少するかどうかからです。さらに、高齢者の外出を促進する意味でも、神奈中・江の電のバス利用割引券等の検討を期待します。

【将来の不安について】

- 低年金の人は生活費で精いっぱいだと思うので介護を受けたくてもなかなか出来ないと思います。家族間がうまくいってなくて、嫁に無視されているので今後どのような生活になるのか不安でいっぱいです。
- 今のところは、家族（夫や娘夫婦）と共に生活ができているが、少々ボケてきていて、認知症になったら、家族に迷惑をかけると思うと気が重いし心配です。
- 自分自身が高齢者となり、さらに高齢の親の介護に直面しており、先の見えない不安を感じます。
- 年金も期待できないので、高齢になって一番不安なのは金銭面です。子ども達には負担をかけたくないし、不安がいっぱいです。

【介護予防・健康づくりについて】

- 人生 100 年時代と言われていますが、健康であってこそだと思います。平均寿命が何歳ではなく、健康寿命が何歳かをもっとアピールして行くべきだと思います。介護施設等の充実も大事だと思いますが、健康を維持するための予防施設等の充実や補助を充実させて行くことも大切だと思います。
- 健康寿命を延ばすことを重点とした啓もう活動及び施策をこれまで以上に取組むべきだと思います。そのためには、たとえば、少年の森、里山ひろば等を利用した高齢者が外で体を動かせる活動の施策も必要だと思います。
- 健康な状態を長く維持するための対策、仕組みがあればよいと思います。結果として医療費用や介護費用が削減されると感じています。
- 今後は高齢者が増加するので、リハビリや各種予防を大切にして、誰でも参加できる施策が必要と感じます。特に男性は引きこもりにならぬよう考えるべきだと思います。

【介護保険施設整備について】

- 特別養護老人ホームへの入所の申込後、決定までの期間が長すぎると思います。施設が少ないためではないでしょうか。
- 在宅介護はもう限界にきているのではないのでしょうか。数十年前とは全く異って、子どもの数が1人～2人の現在、親の介護は子供への負担があまりに大きすぎます。寝たきりの親の介護は子供の家庭の破壊につながります。在宅介護ではなく施設での介護を是非積極的に考えてください。長生きになってしまった高齢者のために特養ホームの増設を願っています。特に女性は年金額が少額なため、生活保護以下の生活を強いられています。
- 要介護の家族がいて、介護してくれた人が亡くなった場合、面倒をみてあげたくても、住宅事情や、子育て中、仕事との両立などで難しいこともあるので、その場合「一時入所」の施設があったら良いと思います。
- 安い費用の特養をもっと増やして下さい。
- 認知症になった時に入所できる介護施設の充実が必要と思います。

【広報・PRについて】

- 高齢者のいる家庭に市からの広報誌の定期配布をお願いします。交流活動の紹介記事がありましたら配布して下さい。
- 高齢者保健福祉施策のパンフレットを年1回郵送してほしい。(今回のアンケートで知り得た情報が多かったため)
- 認知症に家族になった場合に相談する所が、すぐにわかるように冊子を作り、各家庭に、配布してもらえたら良いです。
- 要介護認定の申請方法を知りたいです。
- 母が介護サービスを利用していますが、包括支援センターの仕組みが良くわからないので広報等で周知してほしい。

【ボランティア・社会参加について】

- 仕事をやめたばかりなのでまだ何も考えていないが、青少年指導員をしてこのまま子供達の育成に協力して行きたい。
- 老人は孤独になりがちなので、健康ならなるべく友人を作る機会や場所があると良いと思う。
- テレビ等で御近所同士の高齢者が集い、お茶をしたり、歌を楽しんだり、雑談に花を咲かせている光景を見受けます。生きている意義は、こんなところにもありそうです。藤沢市にも、老人の集まれる場所があったらよいなあと思います。
- 毎年行われている老人会はお金も人材も大変だと思いますので中止して下さい。その分商品券などにしてほしいと思います。友人皆ほとんどが同じ意見です。
- 高齢になっても社会のために何か役に立てる人間であれば長生きをしたい。楽しく生きられない長寿の人生なんて淋しいですね。元気な長寿が社会に貢献できる場があったらと思います。

【街づくりについて】

- 藤沢駅周辺の階段をエスカレーターに改善して欲しい。高齢者には階段は無理です。よろしくお願いします。
- 鵜沼地域は道が狭く歩道がある道はありません。高齢者として大変危険です。車庫に車を入れ

第2章 調査結果の詳細

るために、鉄板、コンクリート、プラスチック等の段差よけが道路上に置いてあります。夕方それにつまずき、大変恐い思いをしました。市道は市民、共有の財産です。どうか道路としての美化のためにも道路上に置かないよう市の道路課の方にはお願いします。

- ショッピング・カーゴを引く高齢者にとって、善行地区は歩道が狭く舗装がガタガタで歩きにくい。また車の出入のため歩道が急傾斜で削っており、重い荷物がはいたたカーゴを引いている時は危検である。体重の軽い人間は重いカーゴに引っぱられてしまう。先日はこのことによる事故で転び、顔に裂傷を負い救急車で病院に搬ばれた。急坂の多い上に狭く、舗装の不整備を早急に改修してほしい。駅周辺の自動車のための道路整備だけでなく、安心して歩ける歩道の整備に取り組んでほしい。
- 道路やイベント広場等、公共の場に段差があった場合は、歩行の障害となります。更なるバリアフリー化をお願いします。
- 藤沢市は緑が多く、全国でも住みたい町の上位にランクされていたが、今や藤沢市は緑が少なくなり、狭い道路に車が増加し、私のように脳疾患で半身不自由な人にとっては、住み難い町になってしまった。高齢者が精神的に安定した生活を送るためには、緑の多い公園や広場は気持ち落ちついて良い。散歩道、美術館、博物館など作ってほしい。藤沢市は市の方針として文化的施設は造る計画はないとの話だが、高齢者としては残念である。

【介護保険制度について】

- 介護保険制度が収入割合に応じて1割負担、それ以上となっているが単にその年の収入だけでなく財産がどれだけあるのかをも参考にして決めないと真の公平さは保てない。
- これからは、一人暮らしの高齢者が増えてくると思いますので、福祉サービス、介護施設を充実させて下さい。
- 長生きするには、自立できて健康が維持できるかが大切で、そのためには、できる努力をし、それができなくなったら介護保険制度の支援が必要になると思います。しかし、介護サービスを受けるには経済的余裕がないため、“支援と負担”の問題が一番の葛藤だと思います。介護サービスを受けたいが支払うのが困難という問題が生じることを心配しています。

【独居高齢者について】

- 現在 90 歳代で一人暮らしです。急に体が悪くなったり、動くのが困難になったりした時のことを考えると、どうしたらいいのか不安を感じます。
- 家族無しの一人身なので、精神的な相談など親身に受け入れて下さる場所が欲しい。
- 1人暮らしだと閉じこもりがちになると思うので家からひっぱり出す活動をしてほしい。
- 高齢者が1人でも健康で生き生きと安心して生活できるような社会を作ってもらいたい。80歳以上で一人暮らしの方に対しては、1週間に1、2回くらい安否確認の電話をしてもらいたい。
- 高齢者の一人暮らしが多くなるなか、孤独死をなくすための見守りをする人を強化してほしい。

【介護保険料等について】

- 介護保険料を下げてください。
- 高額所得者からは保険料を高くして低額者に援助してほしい。○低所得者は無料で介護を受けられる支援がほしい。

- 80才以上の人は、介護保険料を無料にしてもらいたい。
- 介護保険を2～3年全く使わなかった人には、少しお金を返えすような仕組みがあってもいいのではないのでしょうか。

【相談体制について】

- 高齢の母がいます。先日、要支援2を通知されました。介護について包括センターに相談したいのですが、平日に休みがとれず相談できません。土、日にも月1回でもよいから開所してもらえればありがたいです。
- いきいきサポートセンターや市の相談窓口などもっと充実してほしい。広報など一方的なものや相談による双方向のサービスの両方の充実を望みます。
- 地域で支えあうコミュニティづくりが重要だと思います。既存の組織のネットワークを活かし、個別の悩みや相談、緊急時の迅速な支援（医療も含む）ができる仕組みができると良いと思います。
- 趣味、困りごと、健康など電話1本で、後日、専門の方から連絡が来るような「高齢者福祉なんでも相談室」があったら良い。藤沢に10年前引越してきた時も病院もわからず困りました。

【自治会・町内会・民生委員について】

- 地域の民生委員の方々の気づかいに感謝しております。動けるので今はいいですが、藤沢診療所のお世話になってます。藤沢は心強く思える市と期待してます。
- 民生委員が機能していない。親子2人で生活していて、子は昼間会社に行っていて高齢な親は昼間1人で生活していても民生委員は一度も見守りはしていない。
- 高齢になり、イベントへの参加や自治会の役員などのひきうけが困難となり、自治会を脱会した場合に、資源ゴミや、その他のもの、を出しにくくなる状態になり、自治会を抜けられないという話を聞きました。これはおかしいことと思います。市の方から各自治会に、そのようなことがないようきちんと通知をしていただきたい。
- 自治会、町内会単位で気楽に集まる場があれば良いのではないのでしょうか。（私の自治会は市民の家を利用しているが、会議だけしか利用していない）是非自治会の集まれる場所の支援をお願いします。また、自治会単位で出来ることが多いのではないのでしょうか。自治会への補助金等を合せて考えてはかがかかと思えます。
- 地域で支えあうコミュニティづくりは重要。既存の組織間のネットワークを活かし、個別の悩みや相談、緊急時の迅速な支援（医療も含む）ができる仕組みができると良いと思います。

【医療体制について】

- 高齢者にとって、一番望みたいのは、近くに訪問医師が何人か居て下さることです。各地域で、お願いできる病院がわかれば安心だと思います。
- 地域に1ヶ所ぐらい、整形外科のリハビリや理学療法士の方に指導してもらえるところがあれば、医療費が軽減されるのではないかと思います。実際に行っている地域では医療代が下がったと聞いてます。ひきこもりの予防にもつながるのではないかと思います。
- 頼れる“かかりつけ医”を作してほしい。大病院などを定年退職された医師が開業できるように援助して欲しい。また、健康のための食事の重要性を理解するような活動も希望します。

第2章 調査結果の詳細

【業者・従業員について】

- 私は特養にボランティア参加しています。職員さん達を見て大変な仕事をしていると思います。高齢者は自分の意志を通すので職員さんは上手になだめてストレスのたまる仕事です。いずれ自分もお世話になるかもしれないと考えると複雑です。介護職の方にとって良い対策が必要と思いました。
- 通所、入所において介護担当者が非常に少なく、現職員等は大変な苦勞していることを市は知っていますか。重労働の割りに給料が安いので市として補助すべきではないか。
- 介護相談をした時に、市の職員の不親切な対応に疑問を感じ、がっかりした。
- 地域包括支援センターの職員は単なる仲介者であり、各種サービスに対しての専門スキルが不足しているため、本庁介護保険課へ行って相談しないと回答を得られなかった。センターの位置づけ、仕組みが分からない。配置している人員について見直しをお願いしたい。

【住まいについて】

- 高齢者や若者たちが一緒に生活できるシェアハウスがたくさんあっていいと思います。
- 還暦を過ぎたばかりでまだ高齢者という言葉がピンと来ません。賃貸マンションやアパートでも入居者に年齢制限をしないでほしいと思います。私はずっと鶴沼に住み続けたい。鶴沼で生涯を終えたいと思っています。
- 今、一番困っていることは、年金が少ないため、家賃の支払いが大変なことです。市営、県営住宅は中心から離れているのと、入居者の評判が良くないことが不安です。もう少し、家賃の負担軽減を考慮してもらえたらと考えるのですが、いかがでしょうか。

【要介護認定について】

- 要介護3以上からではなく、要介護1～2の段階での認定を早くしてアドバイスを積極的に行なってほしい。
- 申請してから介護認定がおりるまでに時間がかかりすぎると思います。
- 私もうすぐ90代になりますが、序々に足元が不安になり物忘れもひどくなり、日々、不安が増えてきて、暗い気持の毎日です。本人が希望を出しましたら是非認定していただきたいと思っています。

【その他】

- 老人でも年令に関係なく働ける場所を作って（増やして）ほしい。元気であれば、生きがいのある生活を送りたいです。
- これから高齢者が益々増えていくなかで市町村や国の財政が心配です。
- 高齢者が安全に運転できる車の開発を望みたい。

第3章 調査票

2022年度高齢者の保健・福祉に関するアンケート

《アンケートご協力についてのお願い》

日頃から、本市の市政運営にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。さて、本市では、高齢者やそのご家族の方々が地域の中で安心して暮らし続けていくことができるよう「いきいき長寿プランふじさわ2023～藤沢市高齢者保健福祉計画・第8期藤沢市介護保険事業計画～」に基づき、各種の施策を行っております。

このたび、この計画の見直しにあたり、皆さまのご意見や共通する課題などを把握させていただきたく、65歳以上の方を対象に「高齢者の保健・福祉に関するアンケート」を実施する運びとなりました。

この調査は、無記名でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。

また、ご回答いただいた内容は高齢者施策推進や計画策定等に利用させていただきます。

お手数をおかけして大変恐縮ではございますが、アンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年(令和4年)11月

藤沢市長 鈴木 恒夫

《アンケートご記入にあたってのお願い》

- このアンケートは、10月1日現在、藤沢市内にお住まいの介護保険制度の要介護・要支援の認定を受けていない65歳以上の方のうち、無作為に抽出した4,000人の方にお送りしています。

※アンケートが届いた時点で、介護保険制度の要介護・要支援認定を申請中の方は、下記に印をして、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、ご投函ください。(以下のアンケートの回答は不要です)

介護保険の要介護・要支援認定を申請中

- お答えの○印は、番号を囲むように濃くつけてください。(例)①・2・3
「その他」を選択された場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
- 原則、現時点での状況を、宛名のご本人がお答えください。
- ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、12月9日(金)までにご返送ください。よろしくお願いいたします。

《この調査に関するお問い合わせ先》

藤沢市役所 福祉部 高齢者支援課

電話：0466-50-3571 (直通) FAX：0466-50-8412

【はじめに】

*宛名のご本人（以下、「ご本人」といいます。）についてうかがいます。ご家族などご本人以外の方が記入される場合にも、特に指定のない限り、ご本人についてご回答ください。

【宛名のご本人様について、おたずねします。】

問1 性別をお答えください。（1つに○）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

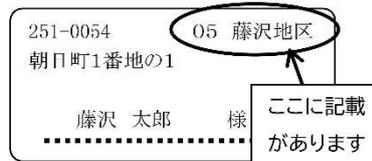
問2 年齢は何歳ですか。（2022年（令和4年）11月1日現在の満年齢）（1つに○）

1. 65～69歳	2. 70～74歳	3. 75～79歳
4. 80～84歳	5. 85～89歳	6. 90～94歳
7. 95～99歳	8. 100歳以上	

問3 お住まいの地域をお答えください。（1つに○）

1. 片瀬	2. 鶴沼	3. 辻堂	4. 村岡
5. 藤沢	6. 明治	7. 善行	8. 湘南大庭
9. 六会	10. 湘南台	11. 遠藤	12. 長後
13. 御所見			

※ お住まいの地域がお分かりにならない方は、このアンケートが入っていた封筒のラベルの右上にある記載をご確認いただき、ご回答ください。



問4 家族構成をお答えください。（1つに○）

1. ひとり暮らし →問5へ	
2. 夫婦のみ(二人暮らし)	3. 二世帯同居
4. 三世帯同居	5. 兄弟姉妹
6. その他 ()	

→ 問4-1 《ひとり暮らしではない方のみ(問4で「2」～「6」のいずれかを回答した方)お答えください。》

日中、ご自宅などで一人になることはありますか。（1つに○）

1. よくある	2. たまにある	3. ない
---------	----------	-------

→ 問4-2 《ひとり暮らしではない方のみ(問4で「2」～「6」のいずれかを回答した方)お答えください。》

同居のご家族の中に、次のような方はいますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 介護を必要とする人	2. 看病を必要とする人
3. 障がいのある人	4. ひきこもり状態の人
5. 1～4に該当する人はいない	

【すべての方におたずねします。】

【お住まいの状況について、おたずねします。】

問5 どのような住宅にお住まいですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 持ち家の一戸建 | 2. 持ち家の共同住宅(分譲マンションなど) |
| 3. 市営・県営の賃貸住宅 | 4. 公社・URの賃貸住宅 |
| 5. 民間の賃貸住宅
(アパート、借家、賃貸マンションなど) | 6. 社宅・官舎・公舎など |
| 7. 福祉施設
(養護老人ホームや有料老人ホームなど) | 8. その他 () |

問6 現在のお住まいについて、困っていることはありますか。(特にあてはまるもの5つまでに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 住宅が古くなったりいたんだりしている |
| 2. 庭の手入れが大変である |
| 3. 段差があったり、ろうかや階段に手すりがなかったりして危険である |
| 4. エレベーターの設置がなく、階段での上り下りが大変である |
| 5. トイレや浴室が使いにくい |
| 6. 住宅が広すぎて管理が大変である |
| 7. 家賃や住宅維持費などの経済的負担が大きい |
| 8. その他 () |
| 9. 特にない |

問7 介護保険制度の要介護認定を受けた場合の生活について、どのような希望をお持ちですか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 介護サービスを利用しながら自宅で生活したい |
| 2. 介護サービスを利用せず、家族の介護を受けながら自宅で生活したい |
| 3. 介護保険施設(特別養護老人ホームなど)や病院でサービスを受けながら生活したい |
| 4. 有料老人ホームや高齢者向けのアパートに住み替えて介護サービスを利用しながら生活したい |
| 5. その他 () |
| 6. わからない |

問8 住み慣れたご自宅で暮らし続けるために、どのようなことが必要と思われますか。(特にあてはまるもの5つまでに○)

- | |
|--|
| 1. 家族や親族が同居または近くにいる |
| 2. 見守ってくれる友人・知人が近くにいる |
| 3. 日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある |
| 4. 必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある |
| 5. 入浴のみ、食事のみ、リハビリのみなど、短時間の通所サービスが受けられる |
| 6. 介護者の入院など緊急時に入所可能な短期入所サービスが利用できる |
| 7. 夜間にも訪問介護や訪問看護など、訪問してくれる介護サービスがある |
| 8. 身近に利用できる医療機関がある |
| 9. 自宅に医師が訪問して診療してくれる |
| 10. いつでも利用(入所)できる施設が近くにある |
| 11. その他 () |
| 12. わからない |

【健康状態について、おたずねします。】

問9 ご自分の心身の健康状態をどのように感じていますか。(1つに○)

1. 健康だと思う	2. どちらかといえば健康だと思う
3. あまり健康だとは思わない	4. 健康だと思わない

→問9-1へ

問9-1 《問9で「3. あまり健康だとは思わない」、「4. 健康だと思わない」のいずれかを回答した方にうかがいます。》

身体的不調を感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 循環器の不調	2. 呼吸器の不調
3. 胃腸の不調	4. 血圧の値に不安がある
5. 血糖値の値に不安がある	6. 視力に不安がある
7. 聴力に不安がある	8. 物忘れに不安がある
9. その他 ()	

→問9-2へ

問9-2 《問9-1で「7. 聴力に不安がある」と回答した方にうかがいます。》

自分の聴力についてどのように感じますか。(1つに○)

1. よく聞こえる	2. やや聞こえにくい
3. かなり聞こえにくい	4. ほとんど聞こえない

問9-3 《問9-1で「7. 聴力に不安がある」と回答した方にうかがいます。》

日常生活における、聞こえ具合をうかがいます。(それぞれ1つに○)

ア. 言葉を聞き取りにくいと感じることはありますか。	1. よくある	2. たまにある	3. まったくない
イ. テレビの音を聞き取りにくいと感じることはありますか。	1. よくある	2. たまにある	3. まったくない
ウ. 耳の聞こえが悪と言われることはありますか。	1. よくある	2. たまにある	3. まったくない

問10 治療や健康について相談する、かかりつけの医師、歯科医師、薬局がありますか。(それぞれ1つに○)

ア. かかりつけ医	1. ある	2. ない
イ. かかりつけ歯科医	1. ある	2. ない
ウ. かかりつけ薬局	1. ある	2. ない

問11 現在何種類の薬を服用していますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 1. 飲んでいない | 2. 6種類未満 | 3. 6種類以上 |
|-----------|----------|----------|

問12 食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。(1つに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 何でもかんで食べることができる |
| 2. 歯や歯ぐき、かみ合わせなど気になる部分があり、かみにくいことがある |
| 3. ほとんどかめない |

【外出等の状況について、おたずねします。】

問13 1人で家の中などを移動できますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 問題なくできる | 2. 見守りや声かけを要する |
| 3. 一部介助を要する | 4. 全介助を要する |

問14 外出が「むずかしい」、「おっくうである」と感じることはありますか。(1つに○)

- | | | |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

問15 外出(散歩や通院も含む)はどのくらいの頻度で行っていますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3~4回程度 |
| 3. 週に1~2回程度 | 4. 月に1~2回程度 |
| 5. ほとんど外出しない | |

問15-1 《問15で「1」~「4」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
外出の際の移動手段は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 |
| 3. バス、電車 | 4. タクシー |
| 5. 車(自分で運転) | 6. 車(家族や友人などが運転) |
| 7. 病院などが運行する送迎バスなど | 8. その他() |

問15-2 《問15で「3. 週に1~2回程度」「4. 月に1~2回程度」「5. ほとんど外出しない」と回答した方にうかがいます。》

外出しない・外出が少ない理由は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 1. 身体上の理由で外出が困難なため | 2. 体力面に不安があるため |
| 3. 自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じるため | 4. バス・電車などの乗り降りが困難なため |
| 5. 付き添ってくれる人がいないため | 6. 外出したい場所がないため |
| 7. 人と会うのがわずらわしいため | 8. 知り合いがいないため |
| 9. 交通費が高いため | 10. コロナ禍であるため |
| 11. その他() | |

問15-3 《問15で「3. 週に1～2回程度」「4. 月に1～2回程度」「5. ほとんど外出しない」と回答した方にうかがいます。》
 外出しない日はどなたと過ごすことが多いですか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 夫や妻と | 2. 息子や娘、孫と |
| 3. 兄弟姉妹など親族と | 4. 友人や近所の人と |
| 5. 昼間は一人だが夜は家族と | 6. ペットと過ごすことが多い |
| 7. 一日中一人で過ごすことが多い | 8. その他 |
| () | |

【すべての方におたずねします。】

【買い物の状況について、おたずねします。】

問16 あなた(ご本人)は日ごろ、食料品や日用品など、日常生活に必要な買い物で不便を感じることはありますか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 不便を感じない | |
| 2. 多少は不便を感じる | 3. 大いに不便を感じる |
| 4. 買い物(外出)しないのでわからない | |

問16-1 《買い物で不便を感じている方のみ(問16で「2. 多少は不便を感じる」または「3. 大いに不便を感じる」と回答した方) お答えください。》
 その理由は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 徒歩圏内に食料品や日用品などを買うお店がない |
| 2. 公共交通機関(バス・電車など)の利便性が悪い |
| 3. 公共交通機関(バス・電車など)の乗り降りが体力的にきつい |
| 4. 車や自転車の運転が負担、困難 |
| 5. 徒歩や自転車での移動が体力的にきつい |
| 6. 重たいものが持てないため1度に少量しか購入できない |
| 7. 家族等の協力がないと好きな時に買い物に行けない |
| 8. 買い物を手伝ってくれる家族や友人などがいない |
| 9. その他 () |

問16-2 《買い物で不便を感じている方のみ（問16で「2. 多少は不便を感じる」または「3. 大いに不便を感じる」と回答した方）お答えください。》

あなた（ご本人）は、食料品や日用品など、日常生活に必要な買い物をする時、必要とする（希望する）支援やサービスはありますか。

（特にあてはまるもの3つまでに○）

- | | |
|--|---|
| 1. 自宅から注文する宅配サービス | |
| 2. お店で買ったものを自宅へ配達するサービス | |
| 3. スーパー等のインターネットサイトで注文したものが、自宅へ配達されるサービス | |
| 4. お店への送迎サービス | |
| 5. 移動販売車・移動スーパー | |
| 6. 買い物を手伝ってくれる家族や友人などの協力 | |
| 7. 介護ヘルパーなどの付き添い支援 | |
| 8. 公共交通機関（バス・電車など）の利便性の向上 | |
| 9. その他（ | ） |
| 10. 特に必要はない | |

【同居の家族以外のお付き合いの状況について、おたずねします。】

問17 普段、同居の家族以外でどのような方とお付き合いをしたり、連絡をとりあったりしていますか。（特にあてはまるもの3つまでに○）

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 近所の人 | 2. 友人・知人 |
| 3. 地域のサークルや老人クラブの仲間 | 4. 親戚 |
| 5. 職場の同僚 | 6. 別居している家族 |
| 7. 自治会や町内会の人 | 8. 民生委員 |
| 9. その他（ | ） |
| 10. つきあいはほとんど無い | |

問18 普段、近隣や地域の方とお付き合いする機会はどの程度ありますか。（1つに○）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3～4回程度 |
| 3. 週に1～2回程度 | 4. 月に1～2回程度 |
| 5. ほとんどない | 6. その他（ |
| | ） |

問18-1 《問18で「5. ほとんどない」と回答した方のみ、お答えください。》

お付き合いがほとんどない理由は何ですか。（特にあてはまるもの3つまでに○）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 普段付き合う機会がないから | 2. あまり関わりをもちたくないから |
| 3. 気の合う人が近くにいないから | 4. ご近所と知り合うきっかけがないから |
| 5. 仕事や家事などで忙しく時間がない | 6. 引っ越ししてきて間もないから |
| 7. 同世代の人が近くにいないから | 8. その他（ |
| 9. 特に理由はない | ） |

【すべての方におたずねします。】

【生きがい・楽しみについて、おたずねします。】

問19 (1) 現在、どのようなことに充実感や生きがいを感じていますか。また (2) 今後してみたいことはありますか。(1) (2) それぞれにお答えください。
(それぞれ特にあてはまるもの10個までに○)

(1) 現在、充実感や生きがいを感じていること	(2) 今後してみたいこと
1. テレビ・ラジオ・新聞・読書 2. 家庭菜園・園芸 3. 手芸・陶芸等の創作活動 4. 運動・スポーツ・散歩 5. サークル活動 6. 習い事 7. 学習や教養を高めるための活動 8. 特技や技術を活かした創作活動 9. 仕事・就労 10. ショッピング・買い物 11. 旅行・レジャー 12. 友人・知人・近所とのつきあい 13. 町内会・自治会・子ども会などの地域活動・老人クラブ活動 14. ボランティア活動 15. 子や孫の世話など家族との団らん 16. ペットの世話 17. カラオケ 18. パソコン・インターネット 19. スマートフォン 20. その他	1. テレビ・ラジオ・新聞・読書 2. 家庭菜園・園芸 3. 手芸・陶芸等の創作活動 4. 運動・スポーツ・散歩 5. サークル活動 6. 習い事 7. 学習や教養を高めるための活動 8. 特技や技術を活かした創作活動 9. 仕事・就労 10. ショッピング・買い物 11. 旅行・レジャー 12. 友人・知人・近所とのつきあい 13. 町内会・自治会・子ども会などの地域活動・老人クラブ活動 14. ボランティア活動 15. 子や孫の世話など家族との団らん 16. ペットの世話 17. カラオケ 18. パソコン・インターネット 19. スマートフォン 20. その他
[] 21. 特にない	[] 21. 特にない

問20 市が生きがいづくり・社会参加に対する取り組みをすすめていくうえで、どのような支援が必要と考えますか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

1. 高齢者の趣味や娯楽など、サークルなどの活動への支援
2. 高齢者が参加できるボランティア活動への支援
3. 高齢者が誰でも気軽に集まったり、活動できる施設・場所の整備
4. 高齢者の働く機会の確保
5. 高齢者が外出や社会参加しやすいような交通体系や施設の改善
6. 生涯学習環境を充実させて多くの方が生涯を通じて学習活動を継続できるような条件の整備
7. その他 ()

【情報通信機器・ICTの利用状況についておたずねします。】

問21 どのようなもので情報を得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 携帯電話 | 2. スマートフォン |
| 3. パソコン・タブレット | 4. 固定電話 |
| 5. テレビ | 6. ラジオ |
| 7. ファクシミリ | 8. 広報ふじさわ |
| 9. 新聞 | 10. 情報誌 |
| 11. 特にない | 12. その他 () |

《問21で1から3のいずれかを1つ以上選択した方へうかがいます。》

問22 情報通信機器をどのようなことに利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・友人等と連絡をとる
2. 電子メールで家族・友人等と連絡をとる
3. インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする
4. SNS (Facebook、Twitter、LINE、Instagram等) を利用する
エスエヌエス フェイスブック ツイッター ライン インスタグラム
5. ホームページやブログへの書き込みまたは開設・更新をする
6. ネットバンキングや金融取引(証券・保険取引等)をする
7. 国や行政の手続きをインターネットで行う(電子政府・電子自治体)
8. その他 ()
9. いずれも使わない

【就労の状況について、おたずねします。】

問23 就労状況をうかがいます。(1つに○)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 常勤の社員・職員 | 2. 非常勤、嘱託、パート、アルバイト |
| 3. 自営業・自営業手伝い | 4. シルバー人材センターでの就業 |
| 5. その他の就業 | 6. 求職中 |
| () | |
| 7. 仕事をしていない | |

→ 問23-1 《問23で「1」～「6」のいずれかを回答した方にうかがいます。》

仕事をしている(または探している)理由は何ですか。

(特にあてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 生活費を得るため | 2. 小遣いを得るため |
| 3. 将来の蓄え(預貯金)のため | 4. 生きがいを得るため |
| 5. 持っている技術や資格を活かすため | 6. 健康のため |
| 7. 社会と関わりを持つため | 8. 何もしないでいると退屈なので |
| 9. その他() | |

【すべての方におたずねします。】

問24 今後、就労をしたい(就労を続けたい)と考えていますか。(1つに○)

- | |
|------------------------|
| 1. 就労をしたい(就労を続けたい) |
| 2. 就労はしたくない(就労は続けたくない) |
| 3. 就労はできない |

問24-1 《問24で「1. 就労をしたい(就労を続けたい)」と回答した方にうかがいます。》

今後、どのような形態で就労をしたいと考えますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 常勤の社員・職員 | 2. 非常勤、嘱託、パート、アルバイト |
| 3. 自営業・自営業手伝い | 4. シルバー人材センターでの就業 |
| 5. その他の就業 | |
| () | |

問24-2 《問24で「1. 就労をしたい(就労を続けたい)」と回答した方にうかがいます。》

就労するうえで、重視することは何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. 生計が成り立つ収入(賃金)が確保できること |
| 2. 自身の生活にあった勤務時間であること |
| 3. 事務職、現業職などの職種が合うこと |
| 4. 職場が自宅から近いこと |
| 5. 体力的に問題がない業務であること |
| 6. 経験が活かせる業務であること |
| 7. 地域や人の役に立てる業務であること |
| 8. 年金が減額されない程度の収入(賃金)であること |
| 9. その他() |
| 10. 特にない |

【すべての方におたずねします。】

【地域で参加している活動について、おたずねします。】

問25 現在、地域で参加している活動がありますか。(1つに○)

1. ある 2. ない 3. わからない →問 25-3 へ

→問25-1 《地域で参加している活動がある方のみ（問25で「1. ある」と回答した方）お答えください。》

現在、地域で参加している活動の参加状況について、ご記入ください

「町内会・自治会活動への参加」～「その他」まで、それぞれあてはまる番号に○をおつけください。 （「その他」がない場合は、回答いただかなくて結構です。）	週に2回以上	週に1回くらい	月に1回くらい	年に1回くらい	参加していない
町内会・自治会活動への参加	1	2	3	4	5
老人クラブへの参加	1	2	3	4	5
文化・歴史・芸術などのサークルなどへの参加	1	2	3	4	5
防災・防犯活動への参加	1	2	3	4	5
高齢者や障がい者への支援や介助に関する活動	1	2	3	4	5
子育てへの支援などに関する活動	1	2	3	4	5
自然環境の保全に関する活動	1	2	3	4	5
祭りなど地域文化活動	1	2	3	4	5
運動・スポーツ	1	2	3	4	5
運動・スポーツ以外の健康づくりに関する活動	1	2	3	4	5
教養や芸術に関する文化的な活動	1	2	3	4	5
趣味・娯楽活動	1	2	3	4	5
NPO(民間非営利組織)などの活動	1	2	3	4	5
その他 ()	1	2	3	4	5

→問25-2 《地域で参加している活動がある方のみ（問25で「1. ある」と回答した方）お答えください。》

地域の活動に参加した理由は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

1. 生活に充実感をもちたいから	2. 自分の技術・経験を活かしたいから
3. 新しい友人・知人を得たいから	4. 健康や体力に自信をつけたいから
5. 地域社会に貢献したいから	6. 新しい知識を得たいから
7. その他 ()	8. 特にない

問 25-1 と問 25-2 に回答した方は、次ページの間 26 へお進みください。

問25-3 《地域で参加している活動がない方のみ（問25で「2. ない」または「3. わからない」と回答した方）お答えください。》

今後、地域で参加したい活動はありますか。（特にあてはまるもの5つまでに○）

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 町内会・自治会活動への参加 | 2. 老人クラブへの参加 |
| 3. 文化・歴史・芸術などのサークルなどへの参加 | 4. 防災・防犯活動への参加 |
| 5. 高齢者や障がい者への支援や介助に関する活動 | 6. 子育てへの支援などに関する活動 |
| 7. 自然環境の保全に関する活動 | 8. 祭りなど地域文化活動 |
| 9. 健康・スポーツ | 10. 教養や芸術に関する文化的な活動 |
| 11. 趣味・娯楽活動 | 12. NPO（民間非営利組織）などの活動 |
| 13. その他（ | 14. 特にない |

【すべての方におたずねします。】

問26 地域の活動に参加する上で支障となることや問題点として感じているものはありますか。（特にあてはまるもの5つまでに○）

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 地域でどのような活動が行われているか知らない | 2. 参加する時間的余裕がない |
| 3. 参加する経済的余裕がない | 4. 気軽に参加できる内容が少ない |
| 5. 近くに利用できる施設がない | 6. やりたいことが見つからない |
| 7. 同好の友人・仲間がない | 8. 活動に必要な技術、経験がない |
| 9. 健康・体力に自信がない | 10. 過去に参加したが期待はずれだった |
| 11. その他（ | 12. 特にない |

問27 お住まいの地域で何か他の人の手助けをしたら、どのようなことなら可能だと思いますか。（特にあてはまるもの10個までに○）

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. ごみ出し | 2. 買い物 |
| 3. 調理 | 4. 洗濯や部屋の掃除 |
| 5. 玄関前や庭などの家まわりの掃除 | 6. 簡単な力仕事 |
| 7. 病院への送迎 | 8. 病院への付き添いや薬の受け取り |
| 9. 病院以外の外出時の送迎 | 10. 病院以外の外出時の付き添い |
| 11. 声かけ・見守り | 12. 日頃の話し相手 |
| 13. 子どもの登下校時などの見守り | 14. 子どもの夜間の外出などの見守り |
| 15. 金銭管理・書類の管理 | 16. 市役所などでの手続き |
| 17. 家電器具やパソコン等の操作 | 18. その他（ |
| 19. わからない | |

問29 運転免許証の自主返納について、どのようにお考えですか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. すでに自主返納した | 2. 将来的に自主返納しようと考えている |
| 3. 自主返納をしようと思ったことがある | 4. 自主返納は考えていない |
| 5. 運転免許を持っていない | 6. わからない |

問29-1 《問29で「2. 将来的に自主返納しようと考えている」「3. 自主返納をしようと思ったことがある」と回答した方にうかがいます。》

自主返納をしようと思ったのは、どのようなときですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 運転する必要がなくなったように感じたとき | 2. 家族等に勧められたとき |
| 3. 新聞やテレビなどの報道を見て | 4. 運転に自信がなくなったように感じたとき |
| 5. 運転していてひやりとしたことなどがあったとき | 6. その他 () |

問29-2 《問29で「3. 自主返納をしようと思ったことがある」「4. 自主返納は考えていない」と回答した方にうかがいます。》

自主返納をためらう理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 車がないと生活が不便なこと | 2. 車を運転する楽しみが失われること |
| 3. 仕事を失うこと | 4. その他 () |

【すべての方におたずねします。】

【相談先について、おたずねします。】

問30 健康や福祉、介護のことなどで困った時は、どちらに相談していますか。

(特にあてはまるもの5つまでに○)

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1. 家族や親戚 | 2. 友人・知人や近所の人 |
| 3. 民生委員 | 4. 市役所・地区福祉窓口 |
| 5. 地域包括支援センター
(いきいきサポートセンター) | 6. 介護サービス事業所 |
| 7. 老人福祉センター | 8. 地域ささえあいセンター |
| 9. 病院・診療所 | 10. 薬局・薬剤師 |
| 11. どこに相談にいったらよいかかわらない | 12. その他 () |
| 13. 特に困ったことはない | |

問31 市内19か所に設置している地域包括支援センター（いきいきサポートセンター）※1
 をご存じですか。（1つに○）

- | |
|---------------------|
| 1. 知っていて、利用したことがある |
| 2. 知っているが、利用したことはない |
| 3. 知らない(今回の調査で知った) |

※1 地域包括支援センター(いきいきサポートセンター)は、住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう、様々な方面から高齢者の方を支える機関です。主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師などが配置されており、高齢者の日常生活に関する相談を受けるとともに、必要な保健福祉サービスの利用調整など、地域の関係機関と連携し、安心して暮らせるための支援を行っています。

→問31-1 《地域包括支援センターを知っている方のみ(問31で「1. 知っていて、利用したことがある」または「2. 知っているが、利用したことはない」と回答した方)お答えください。》

地域包括支援センターを何で知りましたか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 市役所・地区福祉窓口への相談・問い合わせ |
| 2. 市の広報・ホームページ |
| 3. 市民センター・公民館などの市の施設にあるチラシ・パンフレット |
| 4. 民生委員からの紹介 |
| 5. 知人・友人や近所の人からの紹介 |
| 6. 介護サービス事業所 |
| 7. その他 () |

問31-2 《問31で「1. 知っていて、利用したことがある」と回答した方のみ、お答えください。》

利用した結果に満足しましたか。（1つに○）

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 満足している | 2. ある程度満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. やや不満である |
| 5. 不満である | |

【すべての方におたずねします。】

【認知症について、おたずねします。】

問32 もし、認知症になったとしたら、どのように暮らしたいと思いますか。(1つに○)

1. できないことを自ら工夫して補いながら、現在お住まいの地域で、今までどおり自立的に生活していきたい
2. 医療・介護などのサポートを利用しながら、現在お住まいの地域で生活していきたい
3. 身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい
4. 周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい
5. 誰にも迷惑をかけないよう、ひとりで暮らしていきたい
6. その他 ()
7. わからない

問33 もし、ご自身またはご家族が認知症になったとしたら、どのようなことに不安を感じるとと思いますか。(特にあてはまるもの5つまでに○)

1. 家族や大切な思い出を忘れてしまうこと
2. 買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうこと
3. どこに相談すればいいかわからないこと
4. 家族に身体的・精神的負担をかけること
5. 経済的に苦しくなること
6. 必要な介護サービスを利用することができず、現在の住まいで生活できなくなること
7. 介護施設が利用できないこと
8. 外出した際に家への帰り道がわからなくなったりすること
9. 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうこと
10. 自身が仕事をやめなければならなくなること
11. 家族が仕事をやめなければならなくなること
12. 自身が子育てと介護の両立をしなければならなくなること
13. 家族が子育てと介護の両立をしなければならなくなること
14. その他 ()
15. 特に不安を感じることはない
16. わからない

問34 今後、増加が予想される認知症の方への取り組みとして、市はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。（特にあてはまるもの5つまでに○）

- | |
|---|
| 1. 認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供 |
| 2. 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実 |
| 3. できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり |
| 4. 家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み |
| 5. 家族の仕事と介護の両立支援などを含めた、経済的負担を減らす取り組み |
| 6. 認知症の人を地域で見守る体制の充実 |
| 7. 認知症であっても、地域、社会に関わっていける場づくり |
| 8. 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実 |
| 9. 認知症の人が利用できる介護施設の充実 |
| 10. その他（) |
| 11. わからない |

【人生最期の時（終活）について、おたずねします。】

問35 ご自分の人生最期のとき（終活）について、次のようなことをご家族と話していますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 医療や看取りについて | 2. 財産や相続について |
| 3. 葬儀・お墓について | 4. 延命治療の希望の有無について |
| 5. その他() | 6. 話していない |

問36 ご自分の人生最期のときをどこで迎えたいですか。（1つに○）

- | |
|------------------------------|
| 1. 訪問診療や訪問看護を受けながら自宅で最期を迎えたい |
| 2. 病院などの医療機関で最期を迎えたい |
| 3. 老人ホームなどの施設に入所して最期を迎えたい |
| 4. 分からない |
| 5. その他() |

【権利擁護について、おたずねします。】

問37 今後、認知症など、判断能力が不安になり何らかの支援が必要になった時、利用したい支援やサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 1. 成年後見制度 ^{※2} | 2. 日常生活自立支援事業 ^{※3} |
| 3. その他() | 4. わからない |
| 5. 特に利用したいサービスはない | |

※2 成年後見制度とは、認知症などの理由により判断能力が不十分な方の財産の管理、入院や施設への入所などの生活に関する契約などを、成年後見人が代理して行う制度です。なお、成年後見制度には、家庭裁判所に申し立てることにより成年後見人を選任する法定後見制度と、まだ判断能力が十分なうちに、あらかじめ後見人を決めておく任意後見制度があります。

※3 日常生活自立支援事業とは、高齢者などが安心して自立した生活が送れるように、預貯金の引き出しなどの金銭管理や福祉サービスの利用手続き、重要書類等の管理などについて、本人と社会福祉協議会との契約により行われる事業です。

→ 問37-1 《成年後見制度を利用したい方のみ(問37で「1. 成年後見制度」と回答した方)お答えください。》

成年後見制度を利用する場合、どなたに成年後見人をお願いしたいですか。(特にあてはまるもの2つまでに○)

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. 身近な親族 | 2. 弁護士などの専門職 |
| 3. 社会福祉協議会やNPO(民間非営利組織)などの法人 | 4. 市民後見人 ^{※4} |
| 5. その他() | 6. わからない・未定 |
| 7. お願いしたい相手がいない | |

※4 市民後見人とは、事前に自治体などが行う養成研修を修了した同じ地域に住む市民で、家庭裁判所に選任された成年後見人のことです。

【すべての方におたずねします。】

問38 成年後見制度や権利擁護に関する相談支援機関である「ふじさわ あんしんセンター^{※5}」をご存じですか。(1つに○)

- | |
|---------------------|
| 1. 知っていて、利用したことがある |
| 2. 知っているが、利用したことはない |
| 3. 知らない(今回の調査で知った) |

※5 ふじさわ あんしんセンターは、藤沢市社会福祉協議会が運営する、高齢者や障がい者の方などの成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用など、総合的な権利擁護に関する相談機関です。電話や窓口、訪問などによる相談のほか、毎月4回(第1～4水曜日)、弁護士、行政書士、司法書士、社会福祉士、税理士などによる専門相談も行っています。

【65歳からの健康づくり事業(介護予防事業)等について、おたずねします。】

問39 市で実施している介護予防に関する講演会・講座や地域での住民主体の介護予防実施の場に参加したことがありますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 参加したことがある | 2. 知らない(今回の調査で知った) |
| 3. 知っているが、参加したことはない | |

→ 問39-1 《参加したことがある方のみ(問39で「1. 参加したことがある」と回答した方)お答えください。》

次のうち、参加したことのある講座や講演会、事業は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. 運動に関する講座 [転倒予防講座] |
| 2. 認知症予防に関する講座 [認知症予防講座] |
| 3. 介護予防全般に関する講座 [介護予防教室] |
| 4. 介護予防に関する講演会 [介護予防講演会] |
| 5. 高齢者の通いの場 |
| 6. 公園体操 |
| 7. その他 () |

【すべての方におたずねします。】

問40 介護予防に関して、今後、市に力を入れてほしいことは何ですか。
(特にあてはまるもの5つまでに○)

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 生活習慣病の予防 | 2. ラジオ体操等の軽体操 |
| 3. 水中運動 | 4. ウォーキング |
| 5. 食生活(栄養など)の改善 | 6. 認知症予防 |
| 7. 口腔機能(のみこみ・かむこと)の向上 | 8. 高齢期のうつ予防 |
| 9. 誰もが気軽に集える場 ^{※6} | 10. 個別に相談できる場 |
| 11. その他 () | |

※6 地域の方が気軽に立ち寄れる場所として「地域の縁側」や「高齢者の通いの場」があります。

問41 あなたは普段、介護予防にどのくらい取り組んでいますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 大いに取り組んでいる | 2. まあ取り組んでいる |
| 3. あまり取り組んではない | 4. まったく取り組んではない |
| 5. わからない | |

問41-1 《問41で「1. 大いに取り組んでいる」「2. まあ取り組んでいる」と回答した方にうかがいます。》

あなたは普段、介護予防としてどのようなことに取り組んでいますか。
(特にあてはまるもの5つまでに○)

1. 栄養バランスに気をつけて食事をしている
2. 口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）
3. ウォーキングや体操など、定期的に運動をしている
4. 規則的な生活を心がけている（食事など）
5. パズルや計算作業など、認知症の予防に取り組んでいる
6. 年1回は健康診断を受けている
7. 年1回は歯科健診を受けている
8. 気持ちをできる限り明るく保つようにしている
9. 休養や睡眠を十分にとっている
10. 怪我をしないように心掛けている
11. その他（ ）

問41-2 《問41-1で「1」～「5」のいずれかを1つ以上選択した方にうかがいます。》
取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。

(特にあてはまるもの5つまでに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 家族のアドバイスや一言 | 2. 友人・知人からのアドバイスや一言 |
| 3. とおり近所の人からのアドバイスや一言 | 4. 市の広報紙や回覧板などの情報から |
| 5. 医師等の専門家からの指導や助言 | 6. 具体的に症状が現れたので |
| 7. 検査の結果（数値など）が気になって | 8. 新聞やテレビなどのマスコミの情報から |
| 9. 以前からの習慣で、自発的に | 10. その他（ ） |

【すべての方におたずねします。】

【介護予防・日常生活支援総合事業について、おたずねします。】

問42 交流できる通いの場として、どのようなものがあれば通いたいと思いますか。現在通っているものも含めてお答えください。(特にあてはまるもの5つまでに○)

1. 交流サロン、コミュニティ・カフェ
2. 食事会
3. 趣味活動・サークル活動の場
4. 習い事
5. 運動・スポーツに関する講座・講演会
6. 文化・教養に関する講座・講演会
7. 健康づくり・介護予防に関する講座・講演会
8. その他 ()
9. 特に通いたいとは思わない

問42-1 《問42で「1」～「8」のいずれかを1つ以上選択した方にうかがいます。》
上記のような通いの場に、自宅からご自身で通うことはできますか。(1つに○)

1. できる	2. できない →問42-2、問42-3へ
--------	-----------------------

問42-1-1 《問42-1で「1. できる」と回答した方》
自宅から通いの場まで、どのくらいの移動時間なら通いたいと思いますか。
また、その際の主な移動手段もお答えください。

(1)移動時間	()分くらい										
(2)主な移動手段 (1つに○)	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 徒歩</td> <td style="width: 50%;">2. 自転車</td> </tr> <tr> <td>3. バス</td> <td>4. 電車</td> </tr> <tr> <td>5. 車(自分で運転)</td> <td>6. 車(自分以外が運転)</td> </tr> <tr> <td>7. その他の手段</td> <td></td> </tr> <tr> <td>()</td> <td></td> </tr> </table>	1. 徒歩	2. 自転車	3. バス	4. 電車	5. 車(自分で運転)	6. 車(自分以外が運転)	7. その他の手段		()	
1. 徒歩	2. 自転車										
3. バス	4. 電車										
5. 車(自分で運転)	6. 車(自分以外が運転)										
7. その他の手段											
()											

問42-2 《問42-1で「2. できない」と回答した方》
ご自身で通えない理由は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

1. 身体上の理由で外出が困難なため	2. 体力面に不安があるため
3. バス・電車などの乗り降りが困難なため	4. 付き添ってくれる人がいないため
5. 移動手段がないため	6. その他 ()

問42-3 《問42-1で「2. できない」と回答した方》
どのような支援があれば通えると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 移動支援(自宅の玄関から外出先までの送迎)
2. 移動支援(決まった場所に集合して外出先まで送迎)
3. 外出の介助
4. その他 ()

【すべての方におたずねします。】

問46 どのような施設の利用助成があればいいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------|-------|----------|
| 1. 美容・理容 | 2. 健康 | 3. 趣味・教養 |
| 4. 買い物 | 5. 飲食 | 6. 特になし |
| 7. その他 () | | |

【高齢者に対する施策(サービスや事業など)について、おたずねします。】

問47 市が実施している高齢者に対する施策(サービスや事業など)に関する情報をどのような方法で入手していますか。(特にあてはまるもの5つまでに○)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 家族や親族 | 2. 知人・友人や近所の人 |
| 3. 民生委員 | 4. 町内会・自治会の回覧 |
| 5. 市役所・地区福祉窓口 | 6. 市の広報・ホームページ |
| 7. 社会福祉協議会(地区社会福祉協議会を含む) | 8. 地域包括支援センター |
| 9. 病院・診療所 | 10. 介護サービス事業所 |
| 11. 特に入手していない | |
| 12. その他 () | |

問48 今後、高齢者に対する施策は、どのような事業などを優先的に進めていく必要があると考えますか。(特にあてはまるもの5つまでに○)

- | | |
|--|--|
| 1. 高齢者や家族・介護者が気軽に相談できる体制 | |
| 2. 高齢者世帯などの安否確認をはじめとする地域での見守り支援体制 | |
| 3. 24時間365日、緊急時に連絡ができる体制 | |
| 4. 認知症高齢者やその家族に対する支援 | |
| 5. 高齢者に対する虐待防止についての対策の推進 | |
| 6. 健康づくりや介護予防に関する事業 | |
| 7. 高齢者の生涯学習活動や交流の場の提供など、生きがいづくりへの支援 | |
| 8. 外出支援〔バス・タクシーなどの移動手段の確保〕 | |
| 9. 高齢者の引きこもり防止に向けた居場所の確保 | |
| 10. 隣近所の助け合いやボランティア活動への支援 | |
| 11. 高齢者の働く場の確保 | |
| 12. 高齢者の権利(人権、財産など)を守るための身近な専門機関または相談窓口の整備 | |
| 13. 高齢者が在宅生活を継続するための福祉サービス〔紙おむつの支給など〕 | |
| 14. 要介護認定を受け、自宅で生活しながら利用できる介護保険サービス〔訪問介護(ホームヘルプサービス)、通所介護(デイサービス)など〕 | |
| 15. 要介護認定を受け、介護を受けながら生活する施設〔特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など〕 | |
| 16. その他 () | |
| 17. 特になし | |

問49 問48にあるようなサービスを利用するにあたって、一定の利用者負担を支払うことについて、どのようにお考えですか。(1つに○)

- 1. 利用者負担が今より増えても、サービスを充実させたほうがよい
- 2. 利用者負担もサービスも現状の程度でよい
- 3. サービスの水準を今より抑えても、利用者負担が低くなるほうがよい
- 4. その他 ()
- 5. わからない

【ご意見・ご要望について、おたずねします。】

★ 今後の高齢者保健福祉施策に対して、ご意見があれば、どのようなことでもかまいませんので、ご自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
誠に恐縮ですが、返信用封筒(切手不要)に入れ、12月9日(金)までにご返送ください。



「キュンとするまち。藤沢」
公式マスコットキャラクター
ふじキュン♡

藤沢市
高齢者の保健・福祉に関する調査
報告書

発行 2023年（令和5年）3月
藤沢市 福祉部 高齢者支援課

〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1
TEL 0466-25-1111 FAX 0466-50-8412